

宮崎県高岡町埋蔵文化財調査報告書第9集

橋山第1遺跡 (A・B地区)

花見工業団地造成に伴う
埋蔵文化財調査報告書

1996. 3

宮崎県高岡町教育委員会

正誤表 横山第1遺跡（A・B地区）

頁	訂正箇所	誤	正
4	例書 10	合源放行	合源放棄
12	9行目	古代になると、	この時期は、
14	9行目	II a層	II層（須瓦層含む）
14	10行目	II a・b層	II a層
14	17行目	出土がある。	出土はない。
69	18行目	暗黄色土	暗褐色土

宮崎県高岡町埋蔵文化財調査報告書第9集

橋山第1遺跡 (A・B地区)

花見工業団地造成に伴う
埋蔵文化財調査報告書

1996. 3

宮崎県高岡町教育委員会

序 文

この報告書は、花見工業団地造成工事に伴い1990年度と1991年度に実施した橋山第1遺跡の報告書です。

本調査では、縄文時代早期や後期の遺物が数多く出土し、南九州の当時の歴史を解明するうえで多大な成果をあげることができました。発掘で得られた成果は先人が残した私たちの文化遺産であり、これらの成果を活かすことが我々に課せられた重大な責務と考えております。本書が町内に所在する文化財の保存・保護に活用され、また本府の学術資料として学校教育、社会教育に活かされるとともに、幅広く活用していただければ幸いに存じます。尚、発掘調査にあたって、関係者各位より頂いたご指導、ご協力に対し心からお礼を申し上げます。

平成8年3月

高岡町教育委員会教育長
篠原和民

例　　言

- 1 本書は、花見工業団地造成にともない1991年に実施された埋蔵文化財発掘調査の報告書である。
- 2 発掘調査は、高岡町教育委員会が主体となり、A地区を島田正浩（当教育委員会主事）が、B地区を谷口武範氏（県文化課より派遣）がそれぞれ担当した。同遺跡C地区については、1993年に調査を実施し同年報告書を刊行している。
- 3 黒曜石の蛍光X線分析は、藻科哲男氏（京都大学原子炉実験所）のご好意による。また分析結果については同氏から玉稿を頂いた。
- 4 石器の使用石材の一部は、宍戸章氏の鑑定による。
- 5 現地における実測は、[] の協力を得た。
- 6 遺物の整理は、[]（以上高岡町文化財調査室）の協力を得た。
- 7 遺物の実測は、土器については金丸武司（別府大学学生／現田野町教育委員会）・小谷・松元の協力を得た。また、石器については、山本賢一朗（元天ヶ城歴史民俗資料館学芸員）がおこなった。トレースは、石器の一部を金丸、それ以外は小谷がおこなった。
- 8 土器の色調は、農林省農林水産技術会事務局監修による標準土色帳による。
- 9 方位は磁北、レベルは海拔高である。
- 10 本書の執筆は、Ⅲ—第2節1項1を谷口、Ⅱ—第1節1項を合原敏行（高岡町役場）、Ⅰ—第1節1項を岩崎健一（高岡町役場）、その他を島田が、それぞれ分筆した。
- 11 本書の編集は、島田がおこなった。

目 次

I 序 章.....	9
第1節 はじめに	9
1 調査に至る経過	9
2 調査組織	9
II 遺跡の概要	10
第1節 遺跡の環境	10
1 自然環境	10
2 歴史環境	10
第2節 遺跡の概要	12
1 調査経過	12
2 遺跡概要	14
1 基本層序	14
2 遺構	14
3 遺物	14
a 土器	17
b 石器	18
III 調 査	20
第1節 A 地区の調査	20
1 第IV層の遺構と遺物	20
1 遺構	20
a 砂群	20
b 純石遺構	20
2 遺物	28
a 土器	28
b 石器	67
2 第II層の遺構と遺物	69
1 遺構	69
a 土坑状遺構	69
2 遺物	71
a 土器	71
b 石器	95
第2節 B 地区の調査	106
1 第IV層の遺構と遺物	106
1 遺構	106
a 砂群	106

b 集石遺構	106
2 遺物	116
a 土器	116
b 石器	137
IV 分析	141
第1節 黒曜石産地同定	141
橋山第1遺跡出土の黒曜石製造物の原材料地分析	141
V まとめ	154

挿図目次

第1図 高岡町遺跡分布図	11	第27図 A地区第IV層縄文土器(Ⅶ・Ⅷ類)分布図	
第2図 橋山第1遺跡周辺地形図	13		46
第3図 橋山第1遺跡基本柱状図	14	第28図 A地区第IV層縄文土器実測図(1)	47
第4図 橋山第1遺跡グリット配置図	15	第29図 A地区第IV層石器実測図(1)	57
第5図 A地区第IV層調査状況図	21	第30図 A地区第IV層石器実測図(2)	58
第6図 A地区第IV層集石遺構実測図(1)	22	第31図 A地区第IV層石器分布図(1)	59
第7図 A地区第IV層集石遺構実測図(2)	23	第32図 A地区第IV層石器実測図(3)	60
第8図 A地区第IV層集石遺構実測図(3)	24	第33図 A地区第IV層石器実測図(4)	61
第9図 A地区第IV層集石遺構実測図(4)	25	第34図 A地区第IV層石器実測図(5)	62
第10図 A地区第IV層集石遺構実測図(5)	26	第35図 A地区第IV層石器分布図(2)	63
第11図 A地区第IV層集石遺構実測図(6)	27	第36図 A地区第IV層石器実測図(6)	64
第12図 A地区第IV層縄文土器実測図(1)	29	第37図 A地区第IV層黒曜石分布図	66
第13図 A地区第IV層縄文土器(I類)分布図	30	第38図 A地区第II層調査状況図	68
第14図 A地区第IV層縄文土器実測図(2)	31	第39図 A地区第II層第1・2号土坑状遺構実測	
第15図 A地区第IV層縄文土器実測図(3)	32	図	69
第16図 A地区第IV層縄文土器(II類)分布図	33	第40図 A地区第II層第1・2号土坑状遺構出土	
第17図 A地区第IV層縄文土器実測図(4)	35	遺物実測図	70
第18図 A地区第IV層縄文土器(III～V類)分布図	36	第41図 A地区第II層縄文土器実測図(1)	72
第19図 A地区第IV層縄文土器(VI～IX類)分布図	37	第42図 A地区第II層縄文土器実測図(2)	73
第20図 A地区第IV層縄文土器実測図(5)	38	第43図 A地区第II層縄文土器実測図(3)	74
第21図 A地区第IV層縄文土器実測図(6)	39	第44図 A地区第II層縄文土器(I類)分布図	
第22図 A地区第IV層縄文土器実測図(7)	40	75	
第23図 A地区第IV層縄文土器実測図(8)	42	第45図 A地区第II層縄文土器実測図(4)	76
第24図 A地区第IV層縄文土器実測図(9)	43	第46図 A地区第II層縄文土器(IV・V類)分布	
第25図 A地区第IV層縄文土器実測図(10)	44	図	77
第26図 A地区第IV層縄文土器実測図(11)	45	第47図 A地区第II層縄文土器実測図(5)	78
		第48図 A地区第II層縄文土器(II・III・VI類)分布図	79

第49図	A地区第II層縄文土器実測図(6)	80	第67図	B地区第IV層集石遺構実測図(4)	113
第50図	A地区第II層縄文土器(Ⅶ類)分布図	81	第68図	B地区第IV層集石遺構実測図(5)	115
第51図	A地区第II層縄文土器実測図(7)	82	第69図	B地区第IV層集石遺構実測図(6)	117
第52図	A地区第II層縄文土器実測図(8)	83	第70図	B地区第IV層集石遺構出土遺物実測図	118
第53図	A地区第II層縄文土器実測図(9)	84	第71図	B地区第IV層縄文土器実測図(1)	119
第54図	A地区第II層石器実測図(1)	95	第72図	B地区第IV層縄文土器実測図(2)	120
第55図	A地区第II層石器実測図(2)	96	第73図	B地区第IV層縄文土器(Ⅰ類)分布図	121
第56図	A地区第II層石器実測図(3)	97	第74図	B地区第IV層縄文土器(Ⅲ~V・IX類)分布図	123
第57図	A地区第II層石器分布図(1)	98	第75図	B地区第IV層縄文土器実測図(3)	125
第58図	A地区第II層石器実測図(4)	99	第76図	B地区第IV層縄文土器実測図(4)	126
第59図	A地区第II層石器実測図(5)	100	第77図	B地区第IV層縄文土器(Ⅵ類)分布図	127
第60図	A地区第II層石器実測図(6)	101	第78図	B地区第IV層石器実測図(1)	133
第61図	A地区第II層石器分布図(2)	102	第79図	B地区第IV層石器実測図(2)	134
第62図	A地区第II層黒曜石分布図	105	第80図	B地区第IV層石器分布図	135
第63図	B地区第IV層調査状況図	107	第81図	B地区第IV層黒曜石分布図	139
第64図	B地区第IV層集石遺構実測図(1)	110	第82図	黒曜石原産地	142
第65図	B地区第IV層集石遺構実測図(2)	111			
第66図	B地区第IV層集石遺構実測図(3)	112			

図版目次

図版 1	A地区遠景(北から)	159	図版 7	第26号集石遺構	165
	B地区遠景(西から)	159		第29号集石遺構	165
図版 2	A地区遠景(西から)	160		第30号集石遺構	165
	A地区全景	160	図版 8	第31号集石遺構	166
	A地区北側疊群検出状況	160		第31号集石遺構半截状況	166
図版 3	B地区西側(c群)疊群検出状況	161		第32号集石遺構	166
	B地区北側(b群)遺構検出状況	161	図版 9	第33号集石遺構	167
	B地区東側(a群)疊群検出状況	161		第34号集石遺構	167
図版 4	第1号集石遺構	162		第35号集石遺構	167
	第2号集石遺構	162	図版10	第35号集石遺構半截状況	168
	第3・4号集石遺構	162		第37号集石遺構	168
図版 5	第3号集石遺構配石	163		第38号集石遺構	168
	第12号集石遺構	163	図版11	第38号集石遺構	169
	第13号集石遺構	163		第39号集石遺構	169
図版 6	第14号集石遺構	164		第40・41号集石遺構	169
	第22号集石遺構	164	図版12	第42号集石遺構配石	170
	第25号集石遺構	164		第43号集石遺構	170

第44号集石遺構	170	図版16 第Ⅱ層出土土器(1)	174
図版13 第45号集石遺構	171	図版17 第Ⅱ層出土土器(2)	175
第46号集石遺構	171	図版18 第Ⅱ層出土土器(3)	176
縄文土器(521) 出土状況	171	図版19 石器(1)	177
図版14 第Ⅳ層出土土器(1)	172	図版20 石器(2)	178
図版15 第Ⅳ層出土土器(2)	173		

表 目 次

表-1 第VII類土器(押型文)口縁部分類表	19	表-11 B地区第IV層石器観察表	138
表-2 A地区第IV層縄文土器第VII類口縁部分類表	41	表-12 各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値(\bar{x})と標準偏差値(δ)	145
表-3 A地区第IV層縄文土器観察表	47	表-13 九州西北地域原産地採取原石が各原石群に同定される割合の百分率(%)	148
表-4 A地区第IV層石器観察表	64	表-14 橋山第1遺跡(A・B地区)出土の黒曜石製遺物分析結果	148
表-5 A地区第II層縄文土器最低個体数集計表	71	表-15 橋山第1遺跡(A・B地区)出土の黒曜石製石器、石片の原材料产地推定結果	151
表-6 A地区第II層縄文土器観察表	86	表-16 橋山第1遺跡、天ヶ城跡出土の縄文時代早期遺物の原石产地別頻度分布	153
表-7 A地区第II層石器観察表	103	表-17 縄文土器出土最低個体数集計表	154
表-8 B地区第IV層グリット別疊構成表	109	表-18 橋山第1遺跡報告書登録表	179
表-9 B地区第IV層縄文土器第VII類口縁部分類表	126		
表-10 B地区第IV層縄文土器観察表	129		

I 序 章

第1節 はじめに

1 調査に至る経過

高岡町では、就業機会の拡大と町民所得の向上を目指すため、テクノポリス建設を積極的に推進しつつ、これと関連する学術研究部門、居住部門を結び付けた「産」・「学」・「住」が調和した地域づくりを進めている。併せて地場産業の活性化を図るために1988年から花見工業団地の整備を進め、高付加価値企業等の優良企業の誘致を積極的に進めることとなった。

そうしたなか、高岡町は、大規模開発に伴う埋蔵文化財等の取り扱いについて宮崎県文化課と協議を行うことになった。まず、1988年9月文化課は、高岡町の依頼により開発区域周辺の分布調査を実施し、さらに同年11月に試掘調査を実施した。その結果、5箇所において遺跡が確認され、再度文化課と協議し、その後4箇所においては開発地区から除外することになった。しかしながら残りの1箇所については、造成するうえで保存するのは困難であるとの見解から、高岡町教育委員会を主体とした記録保存を目的とする発掘調査の実施が必要となった。これを踏まえ、高岡町教育委員会では調査体制の確立を図ることが急務と判断し、調査員の補充となった。

調査は、伐採が終了したことを確認後調査に入ることとし、工事よりも先行する方法をとった。これにより調査は、1991年1月～4月まで実施した。さらに、開発区域を広げることになった為、再度埋蔵文化財の取り扱いについて協議がされたが、先に調査した北側において発掘調査が必要となった。高岡町教育委員会では、調査員の不足から調査員の派遣を県文化課に依頼した。県文化課は谷口武範主査（当時主任主事）を派遣し、調査は、1991年7月から10月まで実施された。

2 調査組織

調査の組織は次のとおりである。

調査主体 高岡町教育委員会

1990年度（A地区）	1991年度（B地区）	1995年度（整理作業）
教 育 長 篠原和民	教 育 長 篠原和民	教 育 長 篠原和民
教 育 課 長 橋口律夫	教 育 課 長 錦田四郎	社会教育課長 岩崎健一
社会教育係長 岩崎健一	社会教育係長 岩崎健一	社会教育係長 本田正雄
同 係 主 事 烏田正浩（調査員）	県文化課主任主事 谷口武範（調査員）	同 係 主 事 烏田正浩

調査や整理にあたり、恒吉善祐（当時花見公民館長）をはじめ地元の方々には、多大な協力を得ることができた。また、岩永哲夫、永友良典、菅付和樹（以上県文化課）をはじめ、橋昌信（別府大学）、田中良之（九州大学）、本田道輝（鹿児島大学）、松永幸男（北九州市考古博物館）、新東晃一、前追亮一（以上鹿児島県埋蔵文化財センター）、桑畑光博（都城市教育委員会）、金丸武司（田野町教育委員会）の各諸氏から助言指導を頂いた。記して感謝の意を表したい。

II 遺跡の概要

第1節 遺跡の環境

1 自然環境

高岡町南部の高岡山地中央部及び東部には白堊紀の四万十累層群に属する砂岩を伴う頁岩、砂岩頁岩互層が分布しており、一部玄武岩、凝灰岩などの塩基性岩類が含まれる。内之八重付近の砂岩頁岩互層中には塩基性岩類に伴って、厚さ1m～2mのチャートが見られる。

高岡山地西部には、古第三紀の四万十累層群に属する砂岩を伴う頁岩、砂岩頁岩互層が分布しており、高岡山地を南北に横切る高岡断層によって前述の白堊紀の層に接している。

高岡町の中心部付近及び高岡山地北部には、新三紀の宮崎層群に属する砂岩、泥岩、砂岩泥岩互層が広い範囲で分布している。本層は四万十累層群を傾斜不整合に覆う海成層で、貝、カニ、ウニ等の化石を含む。

さらに、町中心部付近に及び西部は宮崎層群を不整合に覆う第四紀の礫、砂、及び粘土からなる段丘堆積物、主にシラスからなる姶良噴出物、及び主に礫、砂シルトからなる沖積層がみられる。段丘堆積物、姶良火山噴出物は急斜面とその上にある広い平坦面や緩斜面から形成される台地状の地形を有している。沖積層は、大淀川、浦之名川、内山川、飯田川等の河川流域沿いに分布している。

2 歴史環境

70%以上を山林が占める高岡町は、東に位置する宮崎平野と西に広大に広がる標高170m以上の台地に挟まつたところに位置し、狭い沖積平野や谷や小丘陵に生活の基盤をおいている。このような山々や丘陵などを含めた大淀川に起因する地理的条件は、その時々の人々が活躍するための歴史的要因である中のひとつである。

高岡町の遺跡は、現在知られているだけで140箇所あり、それらの遺跡のほとんどは、町中央を東流する大淀川やその支流（内山川・浦之名川など）により形成された河岸段丘に位置している。

旧石器時代では、表探資料として浦之名鬼山地区の剥片尖頭器がある。また、向屋敷遺跡では、集石遺構と共にナイフ形石器やスクレイパーが出土している。

縄文時代の遺跡は、密度の荒こそあれ、河川流域の小丘陵には必ずといってよいほど存在している。特に早期と後期の遺跡が多く知られており、早期は、蜜柑栽培による遺構面の搅乱を受けることは少なく、残存状態も良好である。橋山第1遺跡C地区・天ヶ城跡・宗栄司遺跡・橋上遺跡・久木野遺跡の5遺跡で、すでに発掘調査が実施されている。橋上遺跡は、早期の遺構遺物が検出された。早期は、幾型式かの集石遺構と、それに伴い、前平・吉田式等の貝殻文系円筒土器や押型土器、そして小型磨製石斧が出土している。天ヶ城跡は、標高120mの独立した丘陵に位置し、アカホヤの下から集石遺構に伴い押型文や桑ノ丸式を中心とした早期の遺物が出土している。また、九州一円からの黒曜石やサヌカイト製の製品が出土し、交易の広さを知る手がかりとなる。表探資料からは、後期の遺跡として山子遺跡が以前から知られており、浦之名川上流に位置する赤木遺跡と同様に後期の貝殻条痕土器が表探される。また、久木野遺跡でもその時期の住居址が検出されている。

弥生時代では、学頭遺跡があげられる。学頭遺跡は複合遺跡であり、時期は中期後半から終末までが確認されている。河川に挟まれた舌状の微高地に位置する生活遺跡である。また、城ヶ峰遺跡では、後期の遺物

第1図 高岡町遺跡分布図



が出土している。

古墳時代では、東高岡地区と浦之名一里山地区の丘陵を中心として遺跡が広がっている。久木野地下式横穴墓群で3基の調査が行われており、1984年の調査では鉄斧と玉類が出土し6世紀前半とされている。東高岡地区的古墳は未調査であるが、その中のひとつ高岡古墳周辺で古墳時代中期の壺と鉄製品（鉄斧など）が耕作中に発見されている。また、学頭遺跡では初頭～前期にかけての遺物が出土し弥生時代から引き続き集落が営まれている。その隣接した八見遺跡でも住居跡が検出されている。そして高岡麓遺跡でも住居跡が検出されている。このように丘陵でしか確認できなかったこの時代の遺跡が、最近の発掘調査により低地でも確認されだしたことは意義深いことである。

古代は、文献によると高岡周辺は「移佐郷」と言っていた。古代になると、宗宗司遺跡・蘇野遺跡・二反田遺跡があり前者2遺跡で調査が行われている。蘇野遺跡では、9世紀後半の土師器生産に伴う焼成土坑（窯）が検出されている。

中世では、12世紀に「島津庄移佐院」といわれ、南北朝期を経て、島津氏と伊東氏の興亡の歴史の中に入っていく。この時代の代表的なものは山城である。南北朝期は、移佐城が日向の中心となり足利氏の九州における勢力拡大の拠点となつた。それ以後、小規模な山城が点在したと考えられ、現在10箇所以上（文献等では18箇所）を確認している。移佐城は、三股院高城・新納院高城とともに日向三高城と称されているところである。網張り調査の成果として、南九州特有の特徴をもつとともに、機能分化をもたせた山城として評価されている。その後、移佐城は、島津久豈（8代）・忠国（9代）の居城、伊東氏48城のひとつとなるなど両氏の勢力争いの表舞台にあった。また、このころには、山城などの城館遺跡以外でも町内全体に数多くの遺跡が広がる。

この時期までの中心地は移佐城周辺だったのでに対して、近世になると天ヶ城周辺に一変する。薩摩藩は、天ヶ城（高岡郷）と移佐城（移佐郷）の据地に多くの郷士を居住させた。そして、綾・倉岡とともに閑外四ヶ郷として、特に高岡郷はその中心として薩摩藩の東側の防御の要として発展する。高岡麓遺跡では、計画的な街路設計がなされ郷士屋敷群と町域群に分割されている。そして、第1次調査における町屋の調査で素堀の井戸や土坑等を検出し、大火跡と思われる焼土層を確認している。また、昨年度の県文化課による調査では、武家屋敷の一画を調査し陶磁器類を検出している。近世の遺跡は、麓を含めて現在の居住地と重なる場合が多く、表探遺物や石造の墓標の存在からも参考となる。

第2節 遺跡の概要

1 調査経過

1991年1月～4月の調査をA地区とし、1991年7月～10月の調査をB地区とした。

A地区は、1月中旬、重機による表土剥ぎと抜根作業を実施した。表土剥ぎは試掘データをもとにⅡa層下部まで一気に掘削した。作業員による掘削作業はVグリットから開始し北側に移動した。掘削作業を始めすぐⅡ層から遺物の出土が確認されたため、それぞれのグリット内でⅡ層出土遺物の分布図を作成し、遺物取り上げ終了後Ⅳ層の調査に移った。Ⅳ層では上位で遺物の分布が認められ、図面を作成した後集石遺構を残した周辺を下位まで下げた。

B地区は、Ⅱ層の堆積はかなり浅く、第Ⅳ層からの調査であった。まず、A地区に近い南側の部分から掘削作業を開始し、西側へと進めた。縄群は西側でかなり密な状況で検出され始めたため、掘削終了後のグリットにおける出土遺物の分布図を同時進行で実施した。



第2図 横山第1遺跡周辺地形図

グリットは、主軸を磁北に合わせ、都合により8mピッチで設定した。そして、南北方向に北からA、B、C、・・・、東西方向に西から0、1、2、・・・と名称を付記した。

2 遺跡概要

1 基本層序

全体的な堆積状況は、A地区は北に高く南に緩やかに傾斜し、B地区は東側で高く西側と北側にゆるく傾斜する。基本層序は両地区とも大方においては同じような状況であり、第3図のとおりとなる。表土下は、II層のアカホヤ火山灰層が堆積する。両地区ともIIb層並びにIV層が薄浅い堆積状況を示している。特に、A地区西側はその堆積が非常に浅く、IV層の上にIIa層が堆積するというところもあった。遺物の包含層はIIa・b層とIV層である。A地区では、IV層は約60mに比高差約2.5m傾斜で堆積し、Tグリットで層厚50cm前後と深くなる以外は、平均して層厚20~30cmの堆積である。II層は先にも述べたようにかなり浅く、O12グリット～P12グリット～はII層の削平を受けており、表土下はいきなりIV層となる状況である。B地区では、IV層は北側でやや深くなるが、それ以外はA地区と同じように平均して層厚20~30cmの堆積である。

I層 黒褐色土耕作土である。

IIa層 暗黄色土2次アカホヤである。IIb層よりもサラサラしている。縄文・後期包含層となる。

IIb層 黄色土アカホヤ火山灰層である。粘質性はない。遺物の出土がある。

III層 淡青灰色土カシワバン相当層と思われる。

IV層 淡褐色土やや粘土質である。縄文早期包含層となる。

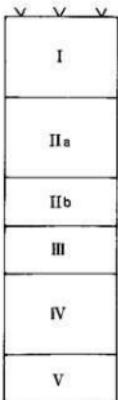
V層 純い褐色土黒色砂性ブロック多量に混入。

2 遺構

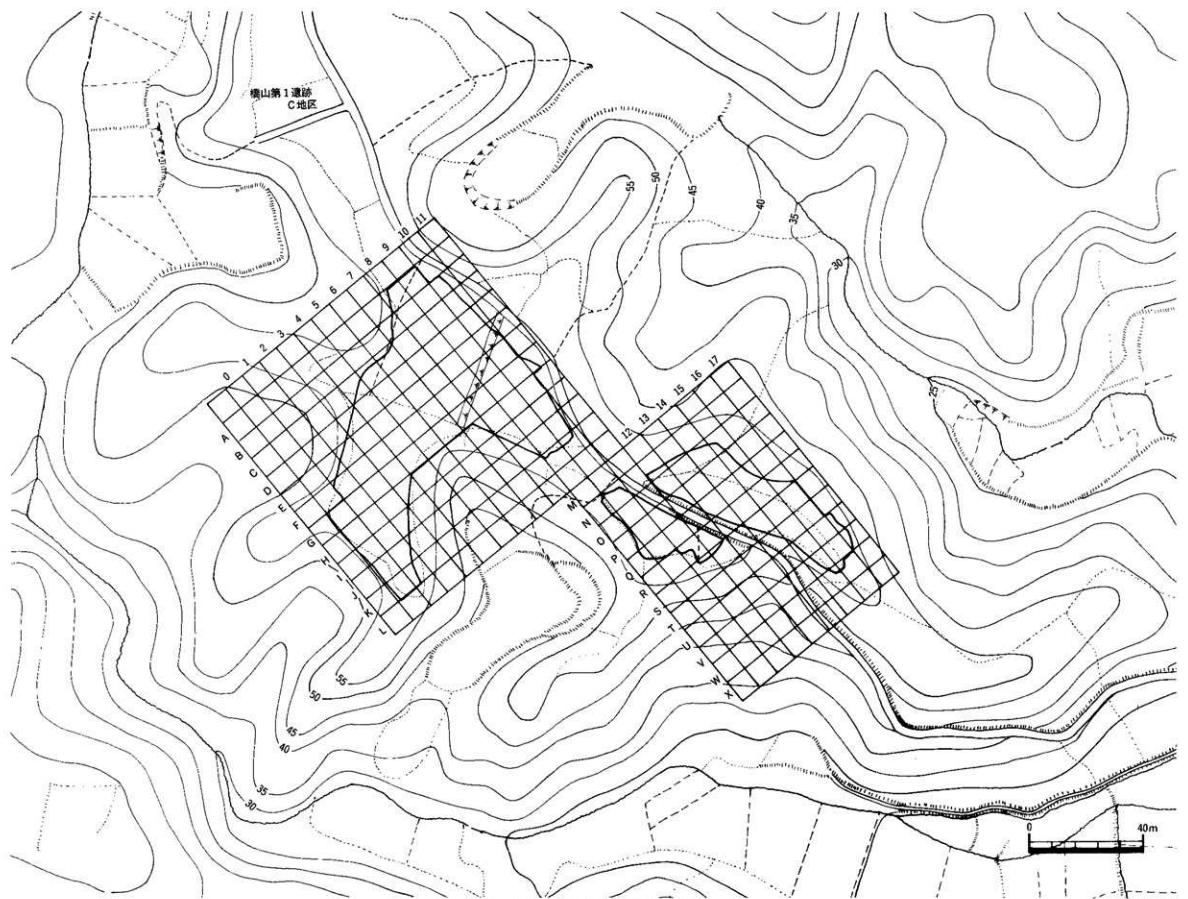
A地区ではIIa層とIV層、B地区ではIV層から遺構が検出された。IIa層では、A地区R11・12グリットで円形状の土坑が2基検出された。IV層では、A地区西側と南東側を中心に集石遺構が30基、B地区では16基検出された。その内訳は、土坑を伴うもので配石を有するもの（A1類）が4基、土坑を伴うだけのもの（A2類）が7基、土坑を伴わず配石を有するもの（B1類）が4基、疊が集積したのみのもの（B2類）が31基、合計46基を検出した。検出状況は、IV層掘削前に伴い焼穢が露呈したものや縄群を除去した下からが多く、中には下位から検出されたものも数基ある。縄群は、A地区的北東側、B地区は南東側と南西側に、何れもIV層上位で検出された。

3 遺物

出土遺物については、縄文土器と石器類が出土した。縄文早期の遺物はIV層から、そして縄文後期の遺物はIIa層から主に出土しているため、土器については、それぞれに記号を付し分類した。分類の基準等は「a土器」のとおりである。また、石器については器種ごとに分類した。



第3図 横山第1遺跡基本柱状図



第4図 横山第1道路グリッド配置図

a 土器

第IV層（縄文早期）出土土器

I 類土器

- 貝殻条痕を施し、口縁部に貝殻やヘラ状工具を使用して刺突・押圧するなどして文様を造らせる。
- 1類 ヘラ状工具や貝殻腹縁により口縁端部に連続刺突または押圧するもの。
 - 2類 貝殻やヘラ状工具により連続押圧文を深く2段に施すもの。
 - 3 a類 縦位に貝殻腹縁による連続刺突文を浅く施すもの。
b類 斜位に貝殻腹縁による連続刺突文を浅く施すもの。
 - c類 斜位に貝殻腹縁による連続刺突文を浅く施すが、b類との違いはc類が器面に垂直気味に刺突するのに対して斜角気味に刺突する。
 - 4類 貝殻腹縁により横方向に押引状に施すもの。
 - 5類 ヘラ状工具や貝殻腹縁により上から下に押し引くもの。
 - 6類 ヘラ状工具や貝殻腹縁により縦位に細く連続刺突するなどして条痕状に施すもの。
 - 7類 3～4段の貝殻腹縁押圧文線を横方向平行に施すもの。

II 類土器

口唇部は刻目、口縁部はやや外反し貝殻腹縁押圧文（刺突文）線にクサビ状突帯を施す。胴部は貝殻腹縁刺突文線や押引文を施す。胴部文様手法等で下記のように分類される。

- 1類 縦方向に貝殻腹縁押圧文（刺突文）線を施すもの。
- 2類 縦方向に貝殻腹縁押圧文（刺突文）線を施す。1類が器面に垂直気味に工具を当てるのに対し、器面に鋭角気味にあてる。
- 3類 器面に横位の連続押引文を施すもの。
- 4類 貝殻腹縁による縦位の連続刺突文と横位の連続押引文を交互に施すもの。

III 類土器

口縁部や胴部に斜位又は綾杉状に連続刺突文を施すもの。

IV 類土器

貝殻やクシ歯状工具等を使用して羽状や流水状に施文するもの。

- 1類 クシ歯状のもので斜位・羽状に短く施文するもの。
- 2類 貝殻やクシ歯状のもので横位や縦位に大きくゆるやかに流水状に施文するもの。
- 3類 クシ歯状のもので小さく流水状に施文するもの。
- 4類 貝殻を使って横位に流水状に施文し、長さ数センチの刻目突帯を貼り付けるもの。

V 類土器

塞ノ神・平底式土器である。

- 1類 口縁部や頸部に貝殻連続刺突文を施し、胴部は幅狭い条痕を斜位・横位に長く施すもの。
- 2類 2本の平行沈線間に撲糸文を施すもの。
- 3類 3～4本の平行沈線を施し、縦に帯状の撲糸文を施すもの。

VI 類土器

条痕文を施す。条痕には、文様として意識したものとそうでないものがある。後者については文様がないことから無文土器（ナデ調整）についても製作意識のうえで共通しており、この分類のなかに含めずIX類

にまとめた。

- 1類 口縁部下まで横位の条痕文、それより下を縱位の条痕文を施すもの。
- 2類 口縁部に1単位の横位の条痕文、その下に縱位・斜位の条痕を施すもの。

VII類土器

押型文土器である。文様形態により、山形・格円・格子目の三種類に分類した。それを、山形施文については、施文状況が密で丁寧に施してあるものを「山形A類」とし、施文が雑で間延びしたようなものや施文単位が大ききなものを「山形B類」とした。また、格円については、丸味のあるものを「格円A類」とし直線的で菱形状のものを「格円B類」に分け、さらに施文方向や施文部位等でそれぞれ分類した。口縁部については表1のとおりである。胴部については、山形A-2類、山形B-4類、格円A-4類、格円B類としてそれぞれ一括で取り扱った。底部については、山形B-5類として1点取り上げた。また、VII類の手向山式と思われるものも存在するが、押型文を施文しているものとしてⅧ類の中に分類した。

VIII類土器

「手向山式」で、これは、押型文の範囲で理解されているが、本書では別とした。器形は口縁部で大きく外反し胴部で屈曲する。文様は、沈線文や撫糸文を施す。

IX類土器

無文系の土器である。

- 1類 条痕を施すもの。(調整)
- 2類 無文のもの。(ナデ調整)

X類土器

その他としてまとめた。また、底部もここに一括した。

第II層（縄文後期）出土土器

出土した上器片が比較的小さいものが多いため、口縁部の文様形態により分類し、その中でさらに細分した。口縁部の文様形態には、列点文を施すもの（I類）、貝殻連続刺突文（II類）、沈線文（III類）がありそれを基本とした。そして、沈線間に文様を施すもの（IV類）、磨消繩文土器（V類）、突帯を主文様とするものの（VI類）も少量であるが分類した。また、胴部については、沈線文を施したものや無文系のものを一括（IX類）した。

b 石器

出土石器は、器種で確認できるもので、A地区IIa層出土は66点、A地区IV層出土は72点、B地区IV層出土は21点、遺構からの出土を合わせると全体で162点になる。剥片・礫片まで入れるとかなりの数である。石器の分類においては、器種ごとに分類したため、その名称をそのまま使用した。そして、その中で細分可能なものに関しては、それぞれ分類した。使用痕剥片に関しては、使用痕の形状により、長方形（台形状）・三日月状・半弧状等に分けることができる。黒曜石に関しては、稲利哲男氏のご好意により、螢光X線による産地同定を実施することができた。その結果、産地別に下記のように分類されることがわかった。詳細については、IV-第1節を参照されたい。また、石器観察表には、下記の記号を記しておいた。

- a 桑ノ木津留1群、b 桑ノ木津留2群、c 出水、d 白浜、e 上牛鼻、f 童ヶ水、g 腰岳、
h 淀姫、i 松浦、j 姫島、k 不明

表一 第VII類土器（押型文）口縁部分類表

分類記号			外面施文	内面施文	横状文	口唇施文	器形	備考
山形A	1	a	縱方向	○	×	○	外反	
山形B	1	a	横方向	×	×	×	直開	
		b	横方向	×	×	×	やや外反	
		c	横方向	○	×	○	やや外反	
		d	横方向	○	×	○	外反	
	2	a	縱方向	○	×	○	外反	
	3	a	斜方向	○	○	×	直開	
		b	斜方向	×	×	×	直開	
		c	斜方向	○	×	○	内傾	
横円A	1	a	横方向	○	×	×	やや外反	
	2	a	縱方向	○	×	×	やや外反	
		b	縱方向	○	×	○	やや外反	
		c	縱方向	×	×	×	外反	
	3	a	斜方向	×	×	×	外反	
		b	斜方向	○	○	×	外反	
		c	斜方向	○	×	×	外反	

I 調査

第1節 A地区の調査

1 第IV層の遺構と遺物

1 遺構

a 碑群

A地区で碑群として広範囲に確認できたのは、Q14グリット付近である。小規模なものでは、S~U16やP・Q11グリットでいくつか確認された。Q14付近の碑群はP14とQ13・14とR13・14グリットにまで及び約250m²を計る。ただ、O13・14グリットがすでに削平を受けていたことを考えれば、より広範囲であったことが予想される。その碑群はIV層上位で確認され、他の遺跡でみられるように下位にまで堆積が及ぶことはなく、浅い堆積状況を示す。集石遺構はその碑群の中及びその周辺で7基が検出されたが集石遺構と碑群の関係はつかめていない。

b 集石遺構

集石遺構は、A1類が1基、A2類が3基、B1類が4基、B2類が22基、合計30基を検出した。出土状況では、調査区全域（Pグリット以南）に分布し、IV層上位で検出されたものは22基、中位から下位にかけては8基である。また、焼跡はすべての集石遺構で確認された。

第1～4号集石（第6図）

第1号集石は、U17グリット下位で検出され、径1.0m内に拳大以上の碑と小碑とを集積する。碑は中央に集中しやや深くなる。そして全体に熱を受け赤く変色している。第2号集石は、V16グリットIV層上位で検出された。径0.7mの中に赤く変色した大小の碑が集積する。集積状況からみて廃棄碑の可能性もあるが他の遺構との関連など不明確な点が多い。第3・4号集石は、U15グリットIV層上位で検出された。第3号集石は土坑を伴わず、15～30cmの扁平な配石を3つ据えその周りに小規模な碑を集積し、そのうえに拳大以上の碑を集積している。南側や西側に集積する碑は、この遺構の関連碑であろうと思われる。第4号集石は、拳大ほどの丸碑と扁平な碑がみられる。碑の集積状況からみて3号集石に対する関連碑の可能性がある。

第6・14号集石（第6図）

第6号集石は、T15グリットIV層上位で検出された。西側で一部擾乱を受ける。拳大以下の碑を集積するが、碑自体のレベル差はあまりなく、平坦な堆積状況である。第14号集石は、S14グリットIV層上位で検出された。径0.7m内に拳大程の碑を集積し、碑のレベルが中央で深くなるが土坑を伴うものではない。

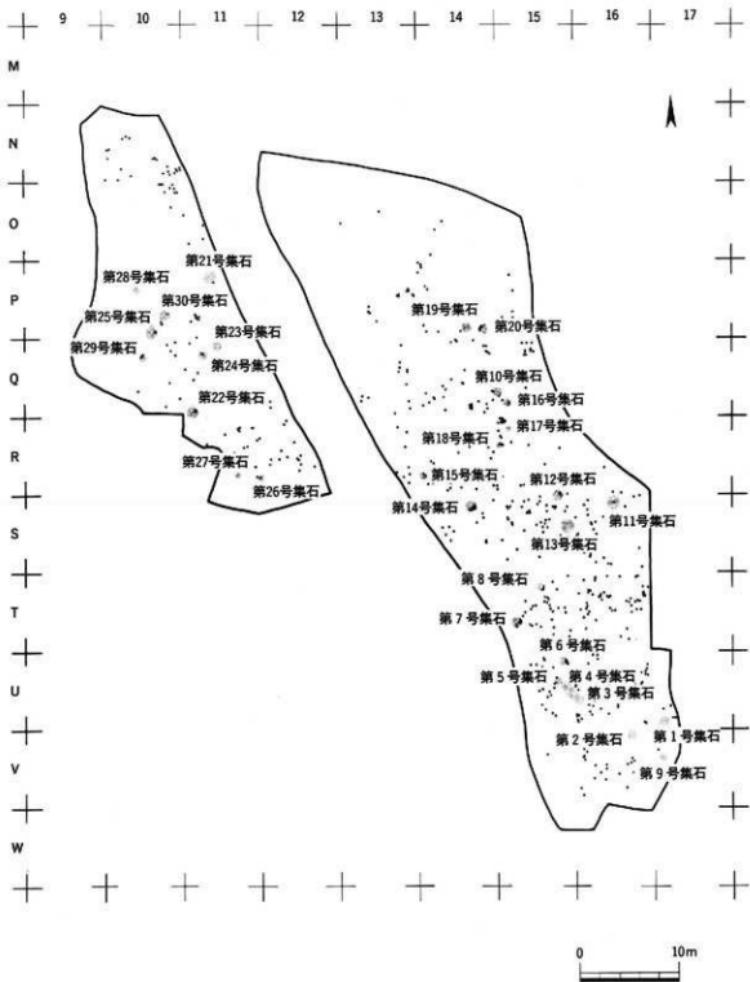
第8・15号集石（第7図）

第8・15号集石は、IV層上位で検出された配石を有する遺構である。8号集石は30cm大の扁平な碑の周りに小碑を詰めている。15号集石は30～40cm大の扁平な碑を2つ配している。

第9・17・18号集石（第7図）

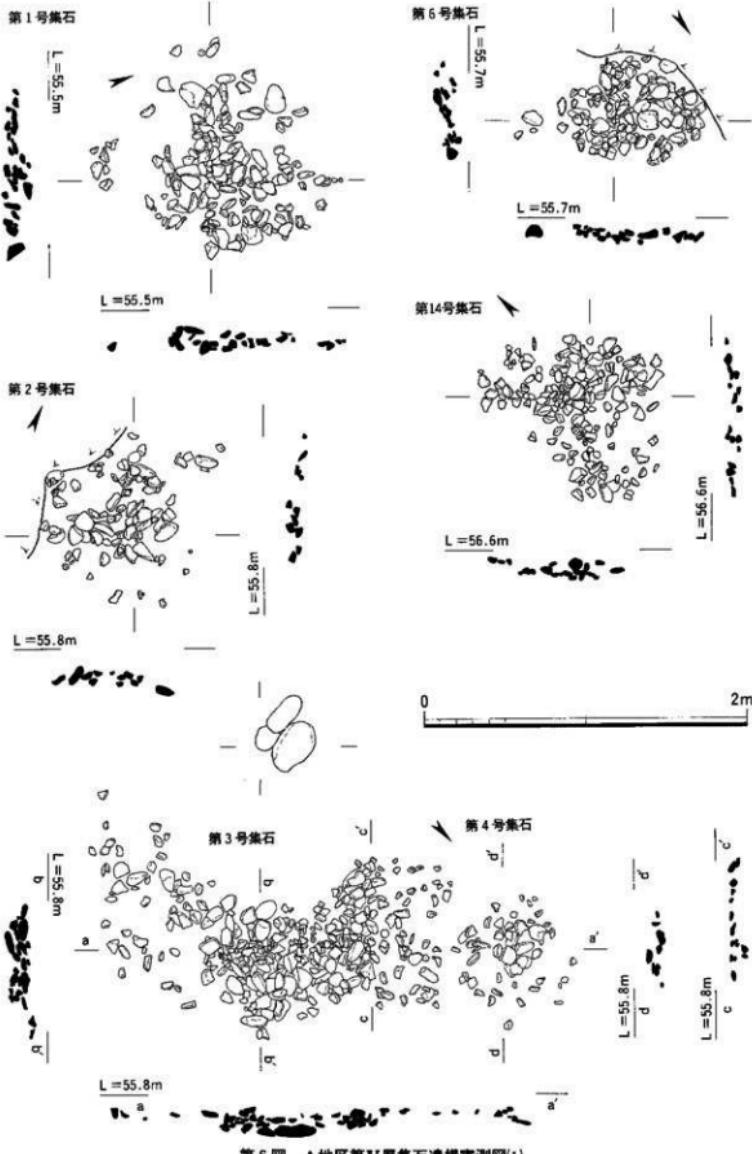
第9号集石は、V17グリットIV層下位で検出された。径0.5m内に拳大程の碑を集積する。西側の碑はこれの関連碑であろう。第17号集石は、R15グリットIV層上位から検出された。径0.4m程の小規模なもので、拳大以下の碑を集積する。性格不明な集石遺構である。

第23・26～28号集石（第7図）

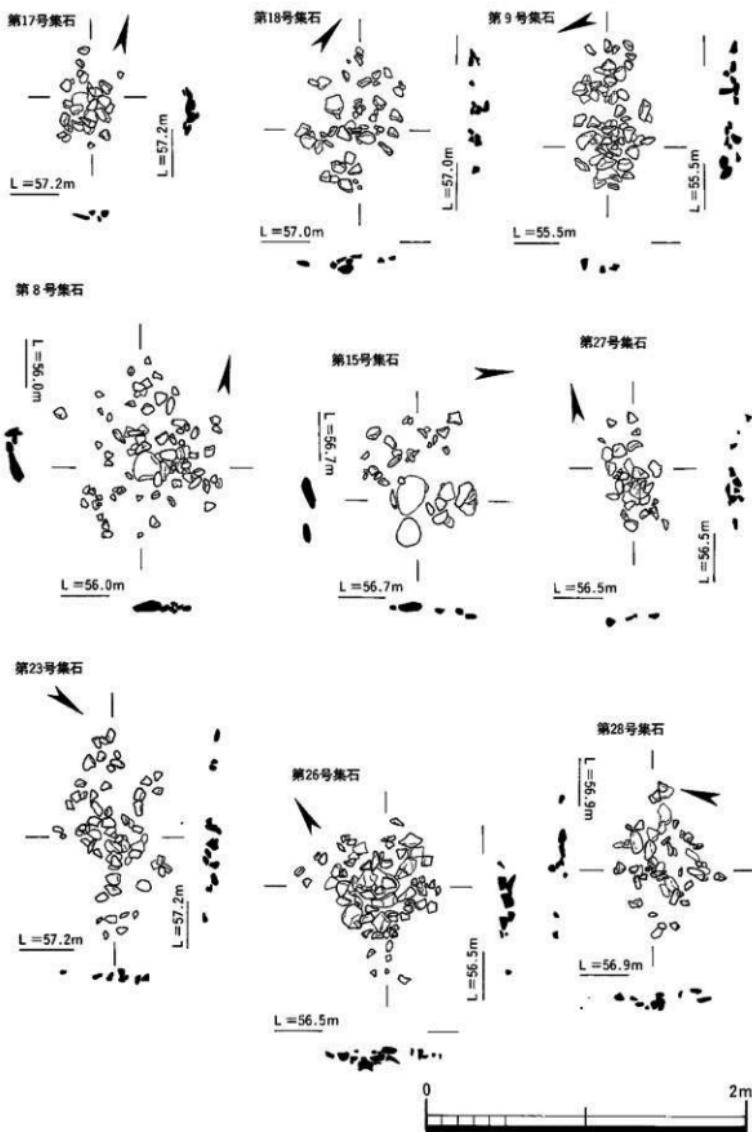


第5図 A地区第IV層調査状況図

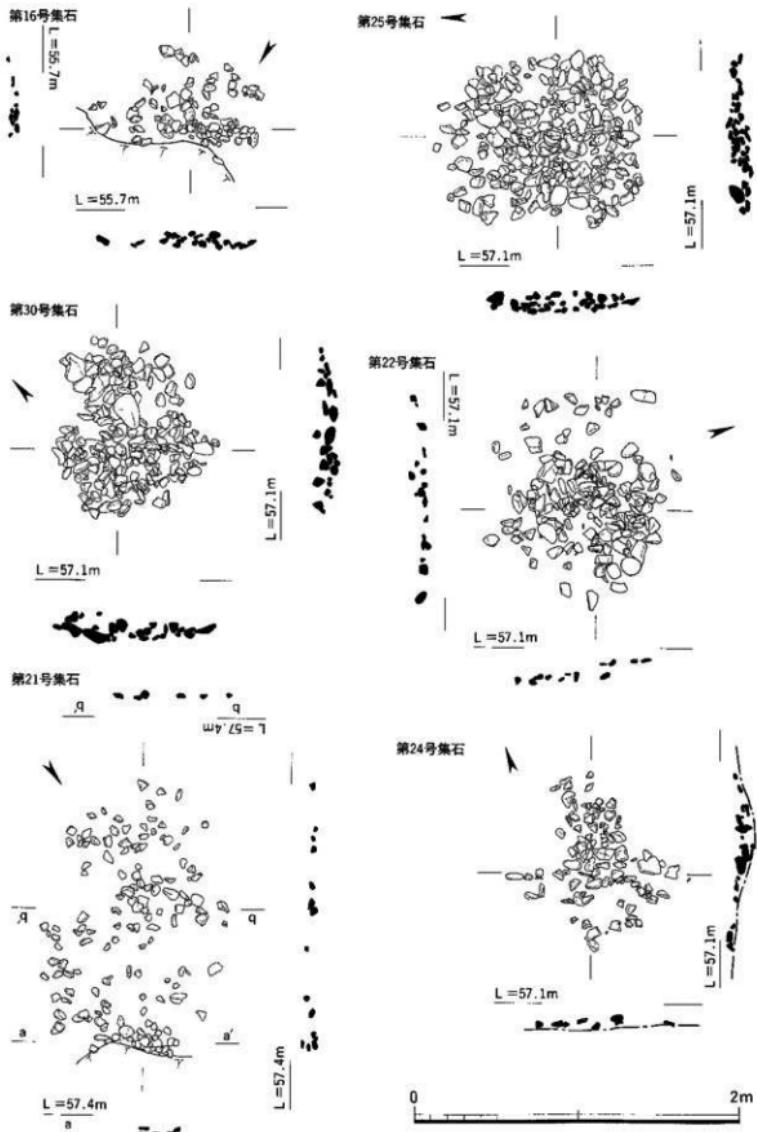
第23号集石は径0.6m内に拳大以下の礫が集積し、その周辺に間連礫が散布している。Q11グリットIV層上位で検出された。第26・27号集石は、R11グリットIV層下位で検出された。26号集石は径0.7m内に比較的大きな礫で構成される。中央部に深く堆積している。第28号集石は、P10グリット下位で検出された。



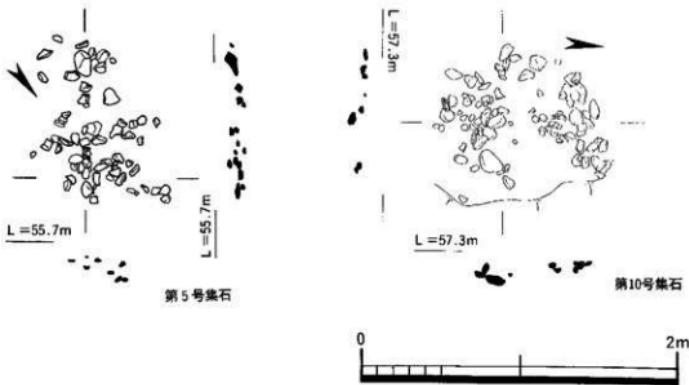
第6図 A地区第IV層集石造構実測図(1)



第7図 A地区第IV層集石遺構実測図(2)



第8図 A地区第1層集石遺構実測図(3)



第9図 A地区第IV層集石遺構実測図(4)

第16・21号集石（第8図）

両遺構とも半分以上擾乱により削平される。第16号集石は、Q15グリットIV層上位で検出され、径0.7m以上に礫が集積する。第21号集石は、P11グリットIV層上位で検出された。周辺の礫は堆積状況からみて間連繩と思われる。

第22・24・25・30号集石（第8図）

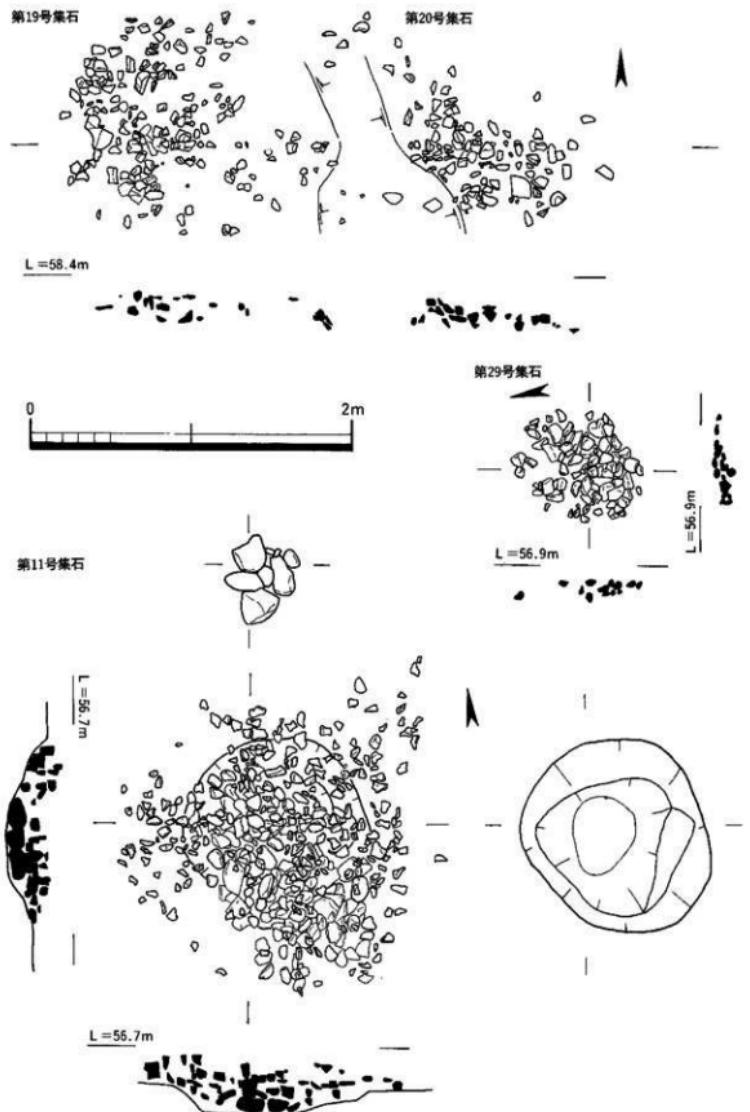
第22号集石は、Q11グリットIV層上位で検出された。径0.8m内に拳大以下の礫を集積し、その上に拳大以上の礫を数点みることができる。第24号集石は、Q11グリットIV層上位で検出され、23号の西側に位置する。拳大程度の礫が北側に集中し、そこを中心に礫の堆積深度が深くなる。第25号集石は、P10グリットIV層上位で検出された。径1.1m内に拳大程の礫と小礫とがかなり密に集積している。礫の深度幅は最大0.15mで、東側と南側でやや浅くなる。第30号集石はP11グリットIV層下位で検出された。径1.0m内に拳大程の礫を中心深く集積している。集石中央ではないが配石とも思える扁平な礫があり、断面図で確認できる。さらに、北側に見られる無造作に堆積した20cm以上の扁平な礫が配石の一部であったと仮定すれば、かなりしっかりしたつくりの集石遺構であったと思われる。

第5・10号集石（第9図）

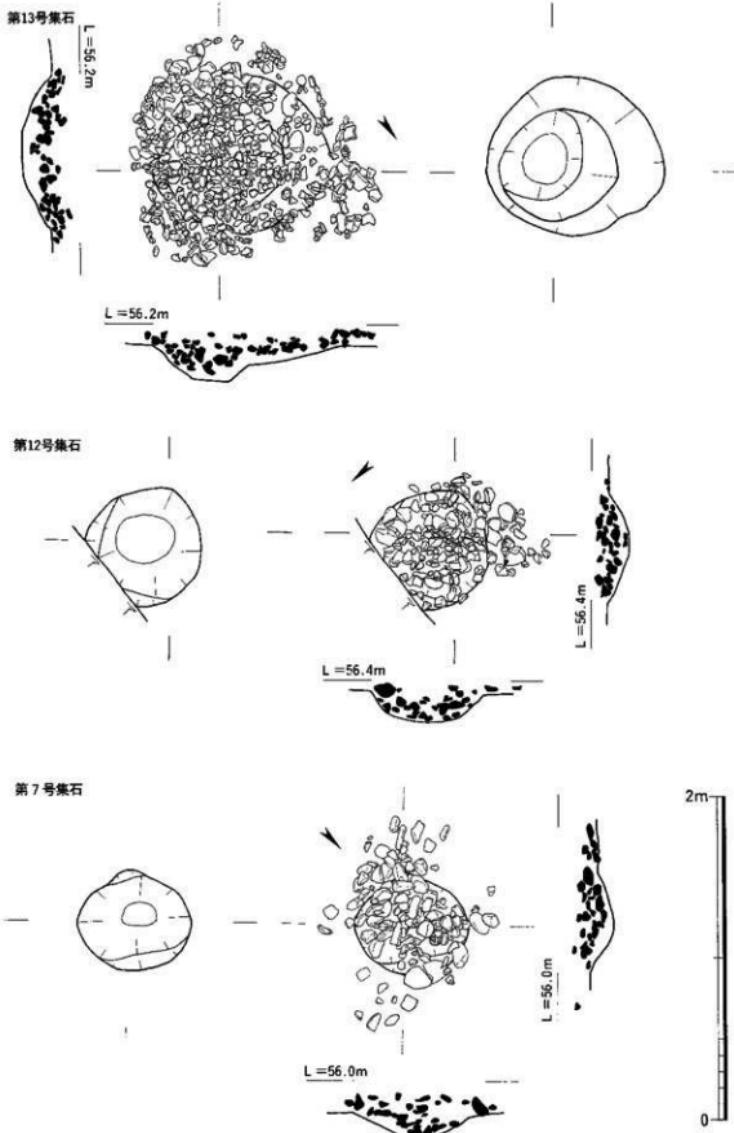
第5号集石はU15グリットIV層上位で検出された。径0.5m内に拳大以下の礫が集積する。第10号集石はQ15グリットIV層上位で検出された。拳大以下の礫が見られるが5号集石同様に廃棄礫の一部かもしれない。

第11号集石（第10図）

第11号集石はS16グリットで検出され、 $1.2\text{m} \times 1.0\text{m}$ 、深さ0.25mでテラス状の段を有する土坑に拳大ほどの礫を使用している。礫の堆積は西側で密になり3段以上積み重なる。土坑の床面中央には、20~30cm程の扁平な礫と角礫を5つ程用いて配石とする。配石は全体に赤く変色している。土坑は、壁面緩やかに立ち上がり床面はフラットである。



第10图 A地区第IV层集石遗构实测图(5)



第11図 A地区第II層集石造構実測図(6)

第19・20・29号集石（第10図）

第19号集石は、1.2m×1.0m拳大程の礫が2段ほど集積する。すぐ西側で条痕土器（106）が出土している。第20号集石は19号集石の東側に位置し拳大程の礫のみで構成される。第29号集石は、径0.7mに拳大以上の礫を中央が深くなるように集積させている。土坑は伴わない。

第7・12・13号集石（第11図）

すべて上坑をもつ集石遺構である。第7号集石はT15グリットIV層上位で検出された。0.7m×0.6m、深さ0.15mの土坑に拳大以上の礫を使用している。配石はもたない。土坑は、壁面はしっかりしており床面はフラットで狭い。断面摺鉢状に近い形状である。第12号集石はS15グリットIV層上位で検出され、遺構北側に削平を受ける。径0.8m程の土坑に拳大以下の礫を密に使用している。土坑の外には使用した礫のなかでは大きめの礫があり、土坑内には小さめの礫が堆積している。土坑は、床面が広くフラットで壁面はしっかりと立ち上がる。第13号集石はS15グリットIV層下位で検出され、土坑をもつ集石遺構の中では規模が一番大きい。1.1m×1.0m、深さ0.2mの段を有する土坑に5~10cm大の礫を多量に、しかも密に使用している。配石はもたない。土坑は、壁面が西側で緩やかに東側はしっかりと立ち上がり、床面は狭くフラットである。埋土は、12・13号集石とも灰を含んだ淡黒褐色の粘土で、7号集石は炭の堆積はほとんどなく、他の遺構ほど黒ずんでいない。7・12号集石はIV層上位で検出されたが、13号集石は下位で検出された。

2 遺物

a 土器

IV層を中心に出土した遺物は縄文早期に比定され、文様形態等により10類に分類した。出土状況は、全体的にIV層の上位で出土する傾向がみられるが、I類だけはIV層の中～下位で出土する傾向がみられ、他の出土遺物とは若干異なっている。平面でみた分布状況は、調査区全域に広がりをもつが、それぞれ群として認められるものではない。ただ、II類土器はその中である程度の群として分布する状況を示しているが、出土遺物の最低個体数を考えると他の遺物群と分布状況は変わらない。また、IV類土器は全体的にS・Tグリット周辺に分布するなどの傾向がある。時期的には、早期前葉に比定されるI類土器にはじまりV類土器の後葉までかなり長い期間での土器の出土がみられる。

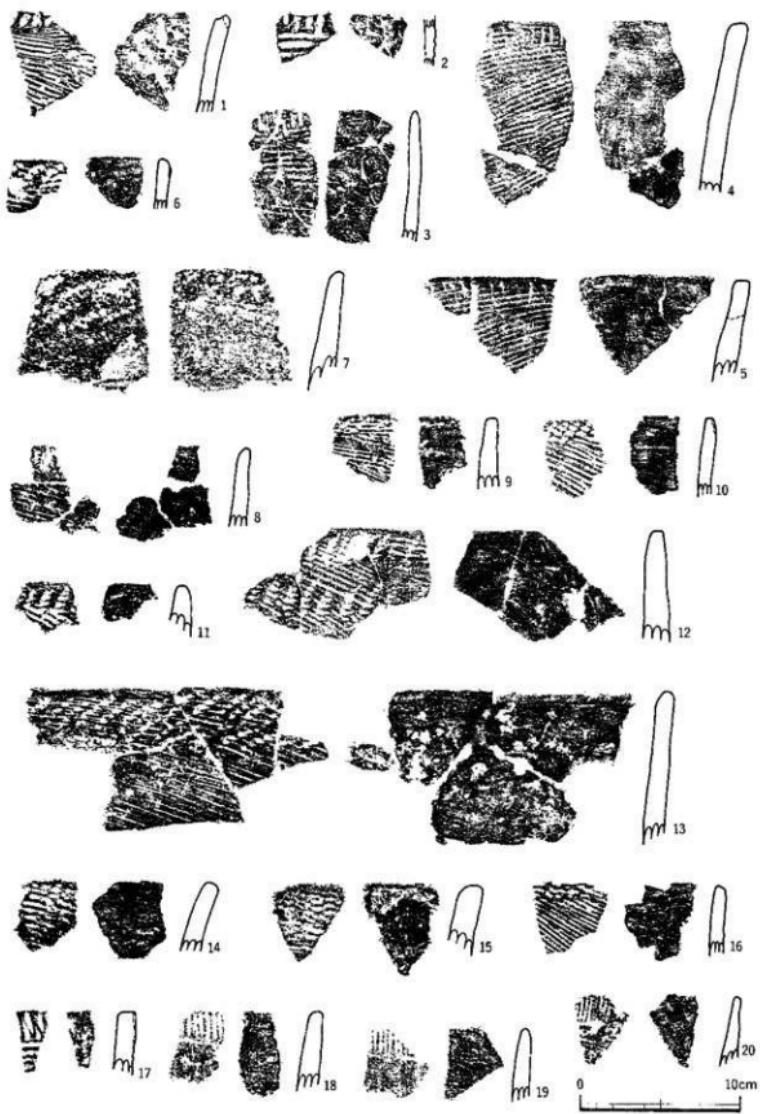
I類土器（1~21・64）

口縁部に貝殻やヘラ状工具を用いて、押圧又は刺突するなどして施文するものである。内面調整は、ミガキを施すものもあり丁寧な仕上げのものが多い。施文具や手法によって1~7類に分類される。遺物の分布状況は、調査区全域に広がっているが群を成すものではない。しかしながら、明確ではないものの、3b・c類はQ・Rグリット、3a類・4・6類はTグリット付近に集まっている。

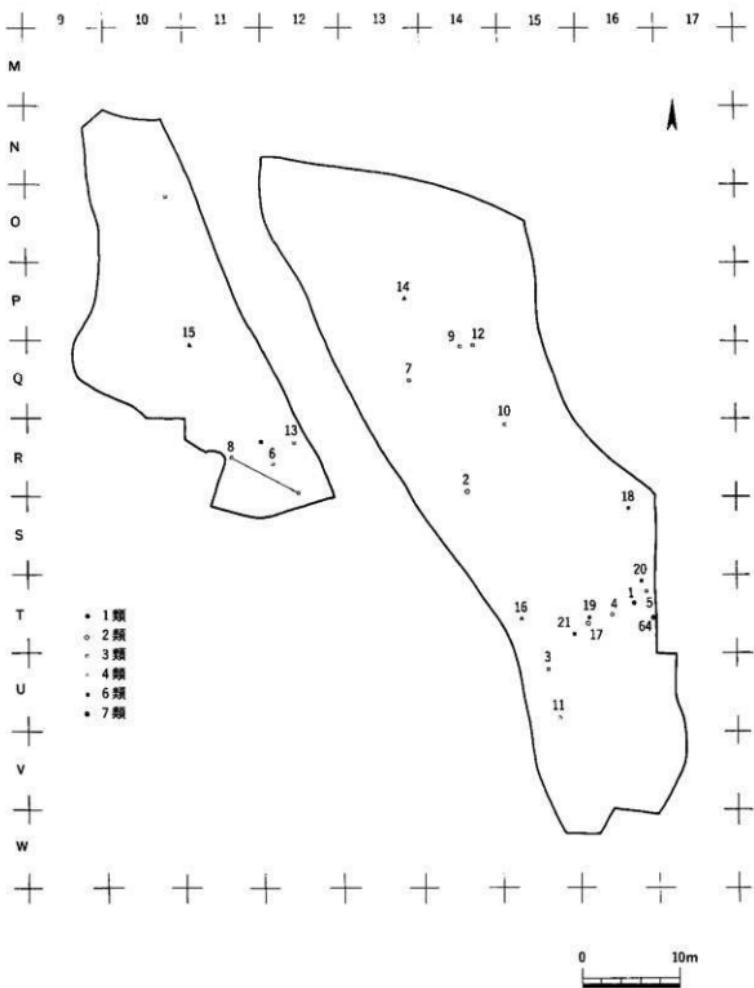
1類（1）口縁端部に連続刺突または押圧するものである。1は胴部条痕が雑に仕上げている。

2類（2・17）ヘラ状工具により連続押圧文を2段に施すもの。両方とも胴部条痕は太く丁寧に仕上げている。口縁部は浅くヘラで刺突される。

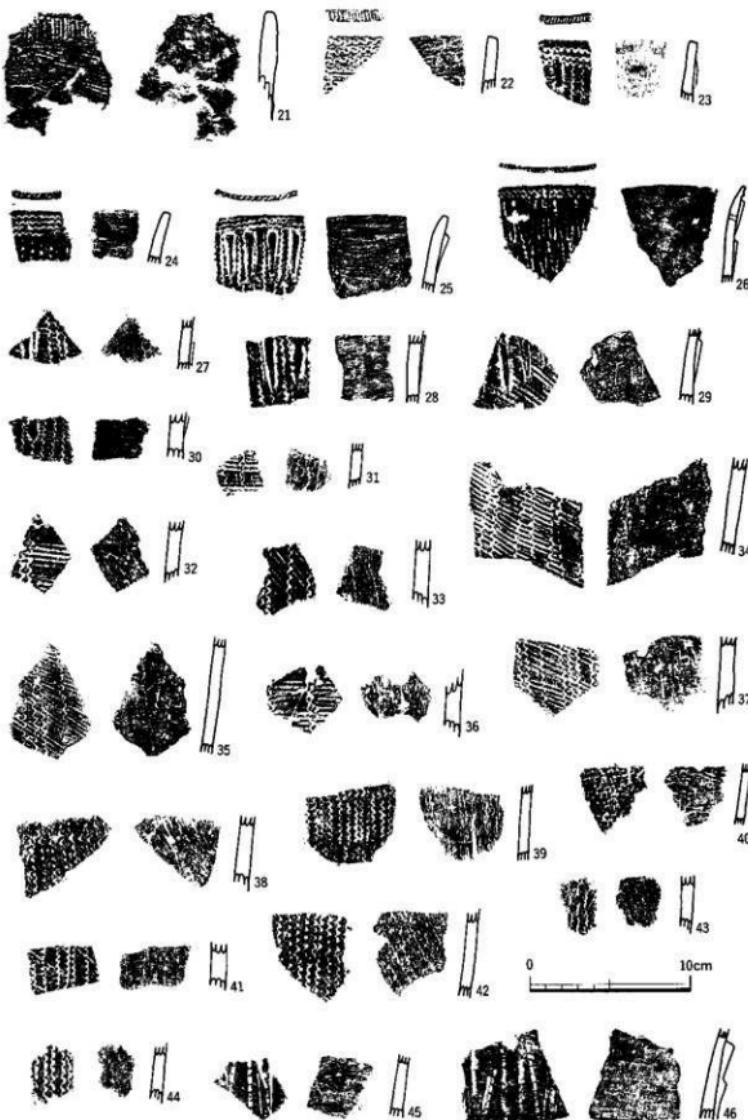
3類（3~13）貝殻腹縁を刺突し文様を施すもので、施文手法の違いから次の3つに細分できる。a類として縦位に貝殻腹縁による連続刺突文を浅く施すもの（3~5）、b類として斜位に貝殻腹縁による連続刺突文を浅く施すもの（6~9）、c類として斜位に貝殻腹縁による連続刺突文を浅く施すが、b類との違いはb類が器面に垂直気味に刺突するのに対して鋭角気味に刺突する（10~13）ものがある。器壁は割合厚手で大型のものが多い。12は貝殻腹縁連続刺突文を2段に分けてベルト状に施文される。13も2段に施文され



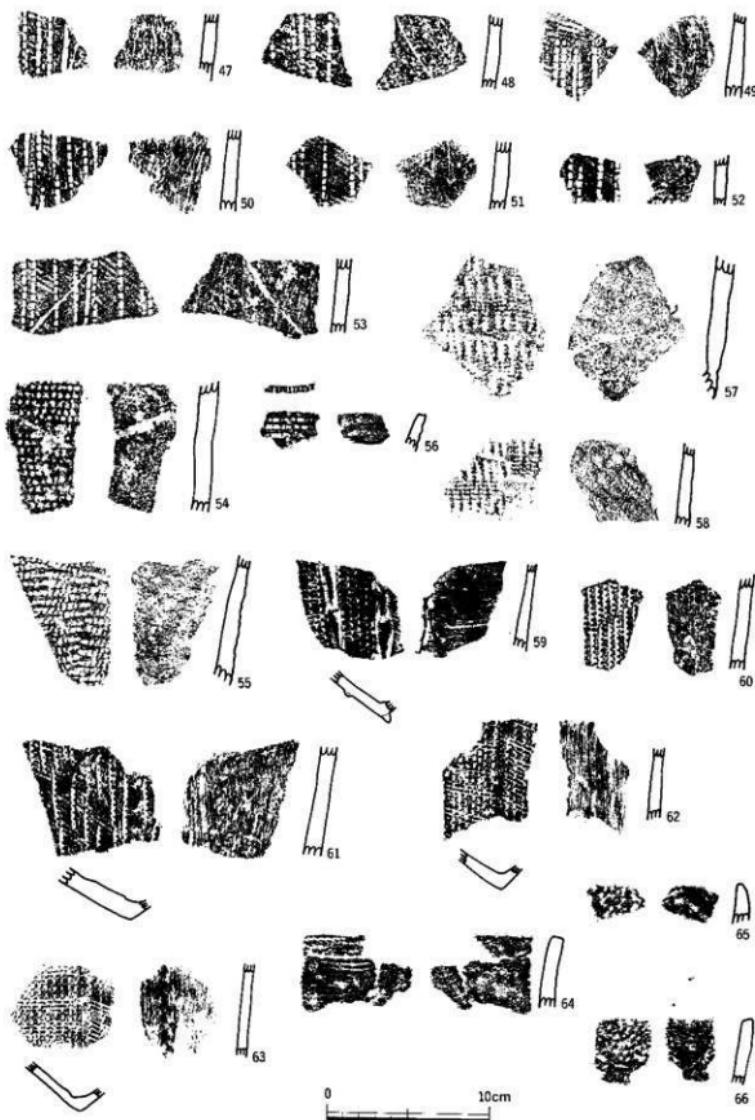
第12図 A地区第IV層純文土器実測図(1)



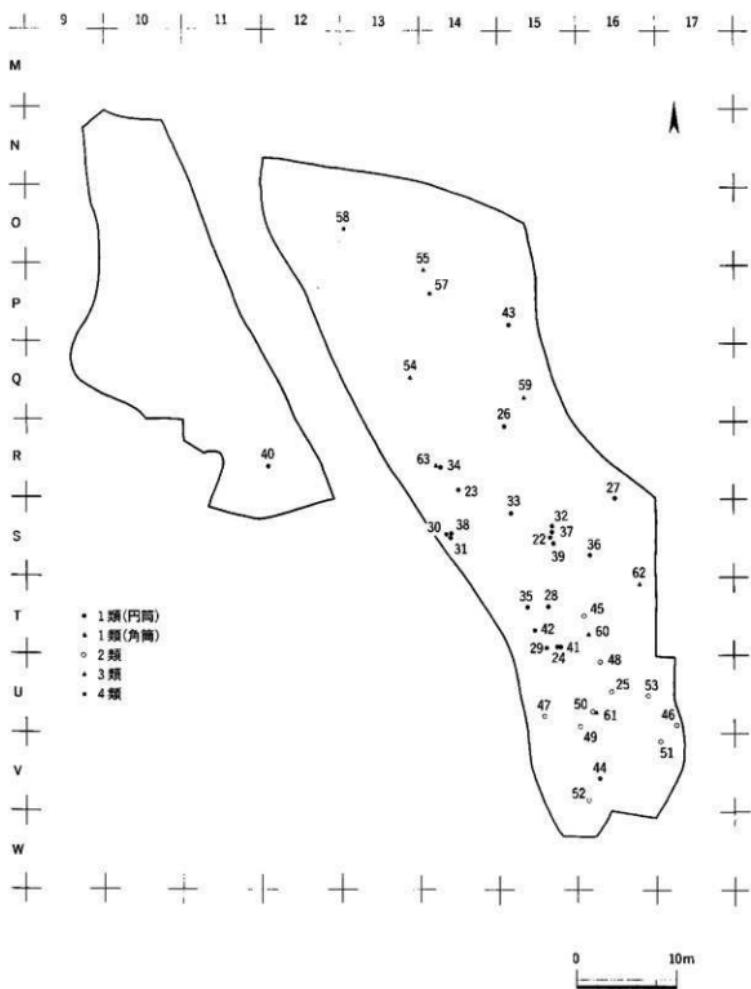
第13図 A地区第IV層縄文土器（I類）分布図



第14図 A地区第IV層縄文土器実測図(2)



第15図 A地区第IV層縄文土器実測図(3)



第16図 A地区第IV層縄文土器(Ⅱ類)分布図

るが、重なるように施文されることで12とは異なる。4と5は同一個体と思われる。

4類(14~16)貝殻腹縁により横方向に押引状に施すもの。高岡町橋上遺跡でも出土しているが、そこほど施文手法は明確ではない。

6類(18~21)ヘラ状工具や貝殻腹縁により縦位に細く連続刺突するなどして条痕状に施すものである。文様帶は狭く巾1.5cmほどである。18・19は胸部条痕が明確でない。胎土は砂粒を多く含み、I類のなかにあっては違和感がある。

7類(64)口縁部に貝殻腹縁による横位の押圧文線が何列かで平行に施文される。64は胴部は横位の貝殻条痕を施している。

II類土器(22~63)

「吉田系」の土器群である。器壁は比較的薄く、色調は赤みを帯びたものが多い。口縁部はクサビ形突帯を有し、文様は貝殻を利用している。内面調整については、口縁部は比較的丁寧に調整するのに対し、胸部は粗雑である。施文手法で4つに分類される。このほとんどは調査区南東に分布し、1類はR~T14・15グリット、2類はT16~V16グリット、4・5類はP14グリット周辺に、それぞれ集中している。

1類(22~24・26~44・59~63)胴部施文が縦方向に貝殻腹縁押圧文(刺突文)線を施すものである。22~24と26は口縁部で、横位に貝殻腹縁押圧文(刺突文)線を3~4段入れ、その下に縦位・斜位に押圧文線を施す。26は、横位に貝殻腹縁押圧文(刺突文)線を3~4段入れ、クサビ形突帯を2段貼りつけ、貼りつけ部分に貝殻腹縁により刺突する。26のクサビ形突帯は、他のものと比較すると密な間隔である。59~63は、角筒土器である。61以外は器壁が薄く丁寧である。61は2類の可能性もある。59はクサビ形突帯を2段貼りつけている。

2類(25・45~53)縦方向に貝殻腹縁押圧文(刺突文)線を施す。1類が器面に垂直気味に工具を当てるのに対し、器面に斜角気味にあてている。25は口縁部で、クサビ形突帯が密に施される。分布状況から2類のなかに入れた。

3類(54~56)器面全体に横位の連続押引文を施すものである。56は口縁部で、貝殻連続押引文を施し口唇部に刻目を入れる。クサビ形突帯はみられない。54・55は器面全体に押引文を施す。

4類(57・58)貝殻腹縁による縦位の連続刺突文と横位の連続押引文を交互に施すもので、同一個体ではないかと思われる。57は、底部で平底になるものと思われるが、底部側辺ぎりぎりまで施文している。施文は深くしっかりとしている。

III類土器(65~71)

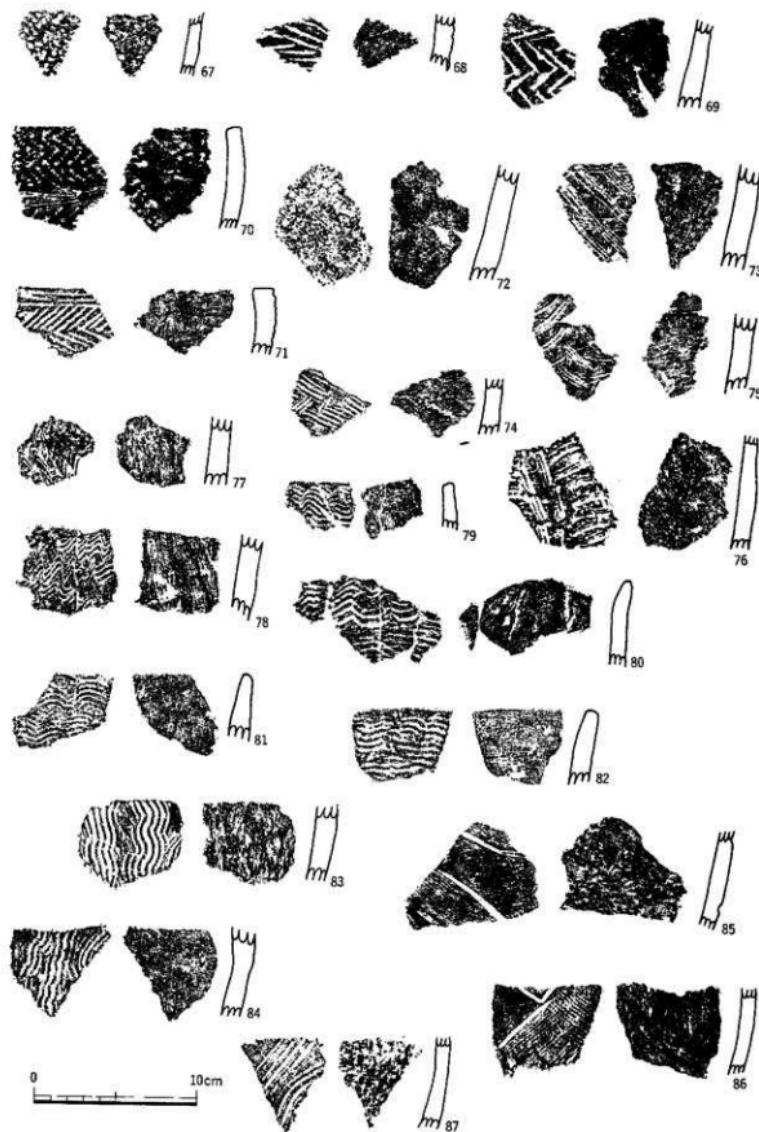
口縁部や胴部に斜位又は綾杉状に連続刺突文を施すものである。65~67は器面全体に刺突文を施す。70は、綾杉状に刺突されたもので、器形は71と同様に口縁部が内傾し、丁寧なナデ調整を施す。71は、口縁部に横位の貝殻復縁刺突文線を3段施し、その下に綾杉状に施文している。

IV類土器(74~84)

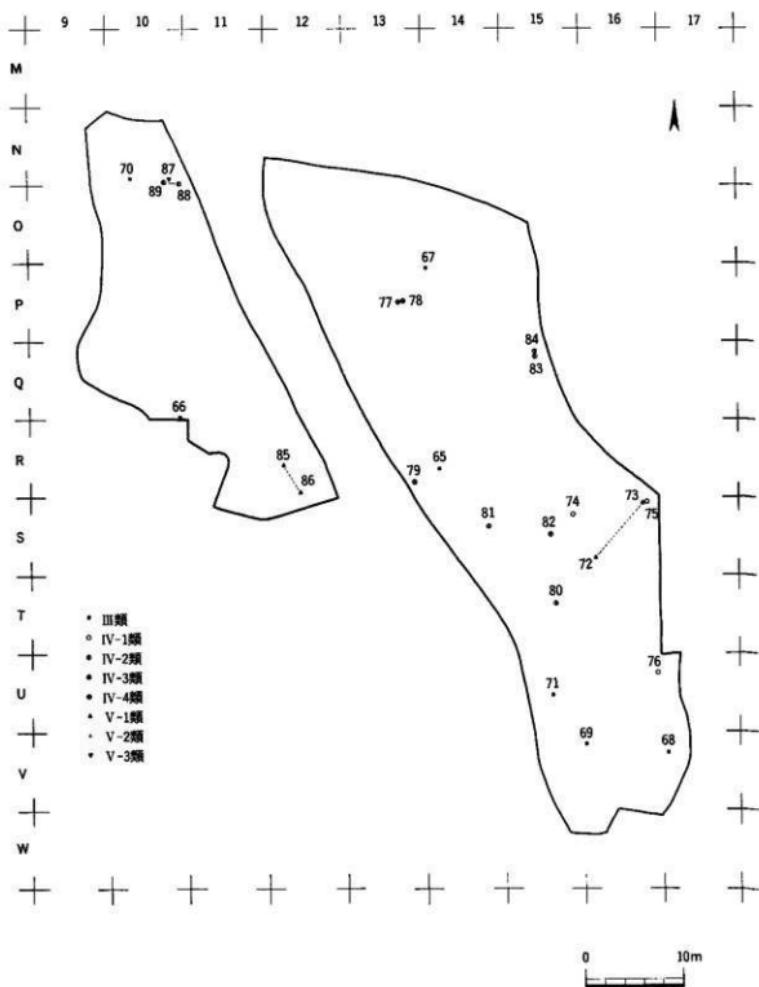
クシ歯状工具等を使って羽状や流水状に施文するもので、工具幅が幅広の施文具と幅狭のものとに分けられる。

1類(74~76)クシ歯状のもので羽状、綾杉状に短く施文するものである。74は4、5本を1単位で短く施文し、75は、3本1単位で長めに施文している。

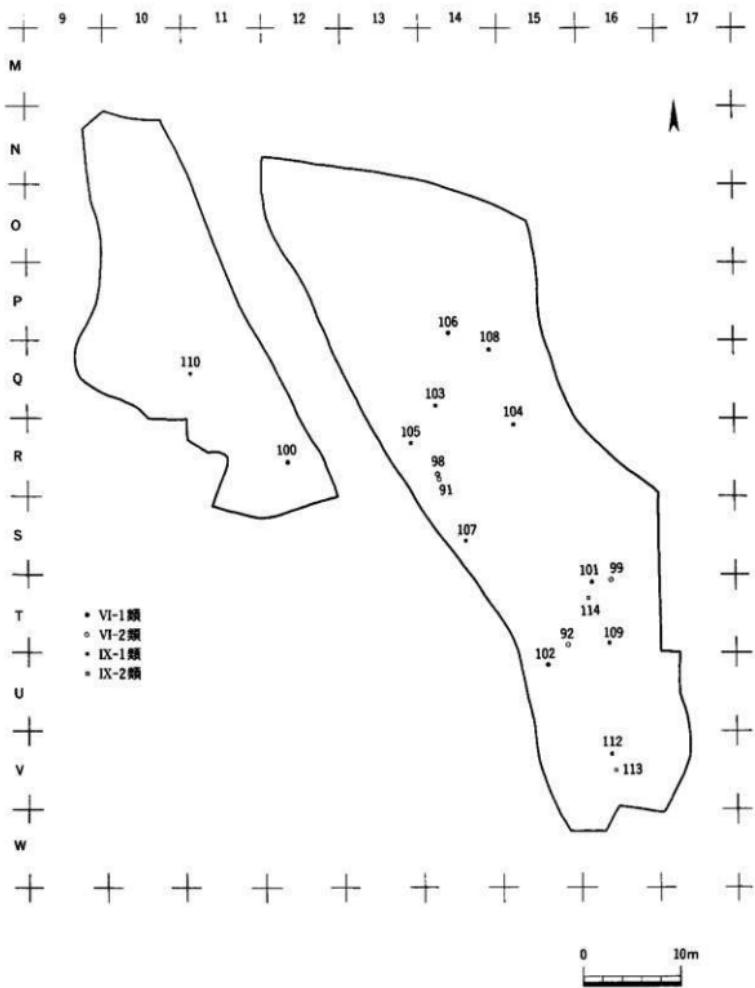
2類(79~84)クシ歯状(貝殻?)のもので横位や縦位に大きく流水状に施文するものである。口縁部はすべて横方向に施文し、胴部は、縦方向に施文している。80は、横方向の条痕後に波状文を施文する。6本



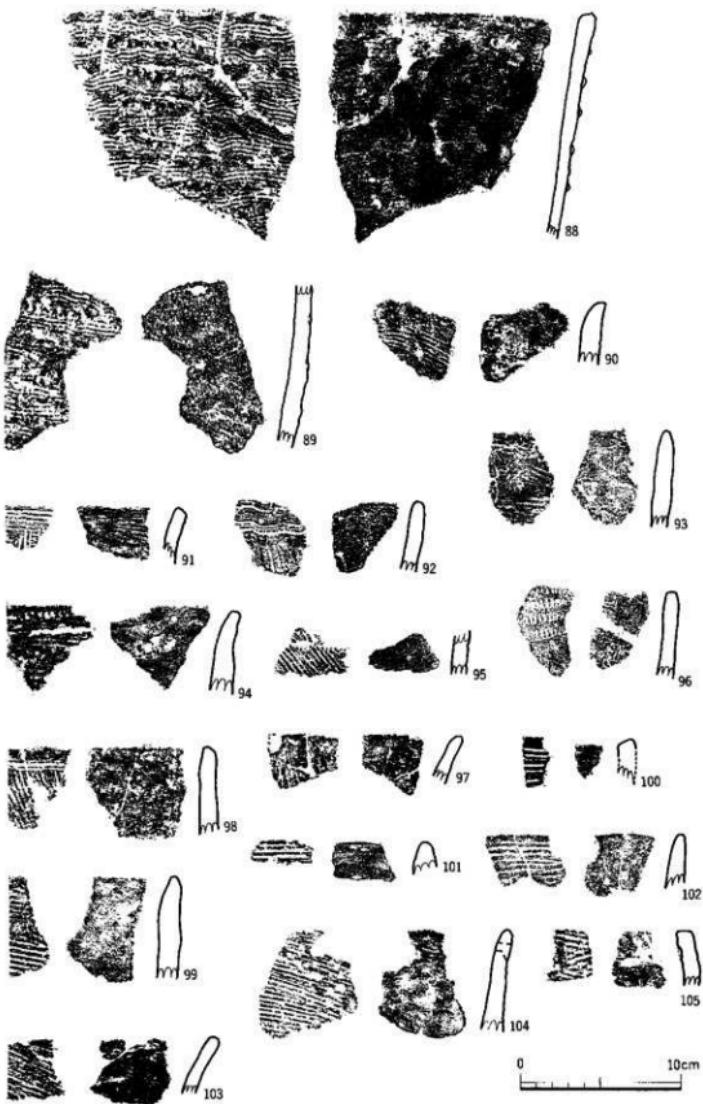
第17図 A地区第IV層縄文土器実測図(4)



第18図 A地区第N層縄文土器(Ⅲ~V類)分布図



第19図 A地区第IV層撰文土器（VI～IX類）分布図



第20図 A地区第IV層縄文土器実測図(5)

1 単位で施文している。

3 類 (77・78) クシ歯状のもので小さく流水状に施文するもので、同一個体と思われる。
4 類 (88・89) 器面に貝殻状のもので横位に流水状に施文し、長さ 5 センチ程の刻目突帯（細帯隆起文）を貼りつけるものである。88は口縁端に刻目を入れ、内面調整は横方向にナデる。口縁部から胴部に平行に貼られた突帯は 5 列まで確認され突帯は貝殻で刺突されている。器形は単純な深鉢形で頸部から口縁部にかけては直行する。89は、88と同一個体と思われ、刻目突帯が 2 段まで確認されることから突帯は胴部上半分までしか施文されないものと思われる。類似資料としては鹿児島県の横峰 C 遺跡などで出土している。両遺物とも N10グリットから出土し、その付近からはⅢ類と V-3 類が出土している。

V類土器 (72・73・85~87)

「塞ノ神式」や「平格式」といわれているものである。分布状況は、1 類が S16グリット、2 類が R12グリット、3 類が N10グリットで、それぞれ出土しているだけで点として押さえられることしかできない。

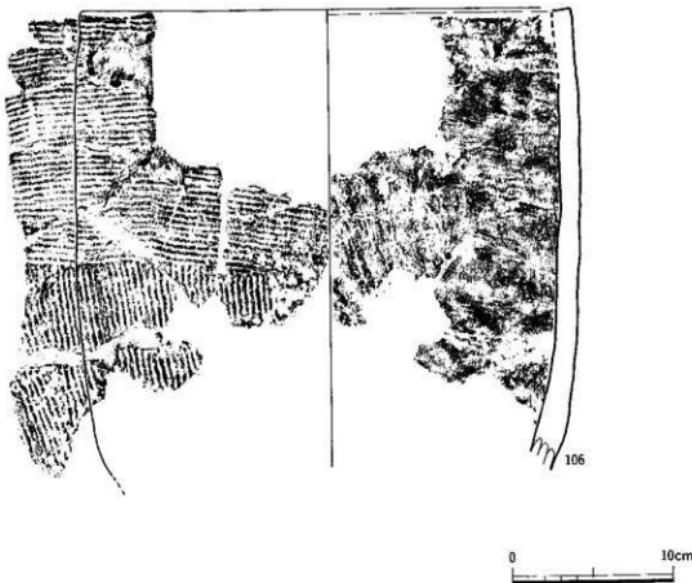
1 類 (72・73) 口縁部や頸部に貝殻連続刺突文を施し、胴部は幅狭い条痕を斜位・横位に長く施すもので、ここでは胴部のみ出土した。B 地区出土の 546 と胎土が似ている。

2 類 (85・86) 2 本の平行沈線間に撫糸文を施すもので、同一個体と思われる。器壁は薄く焼成もしっかりしている。

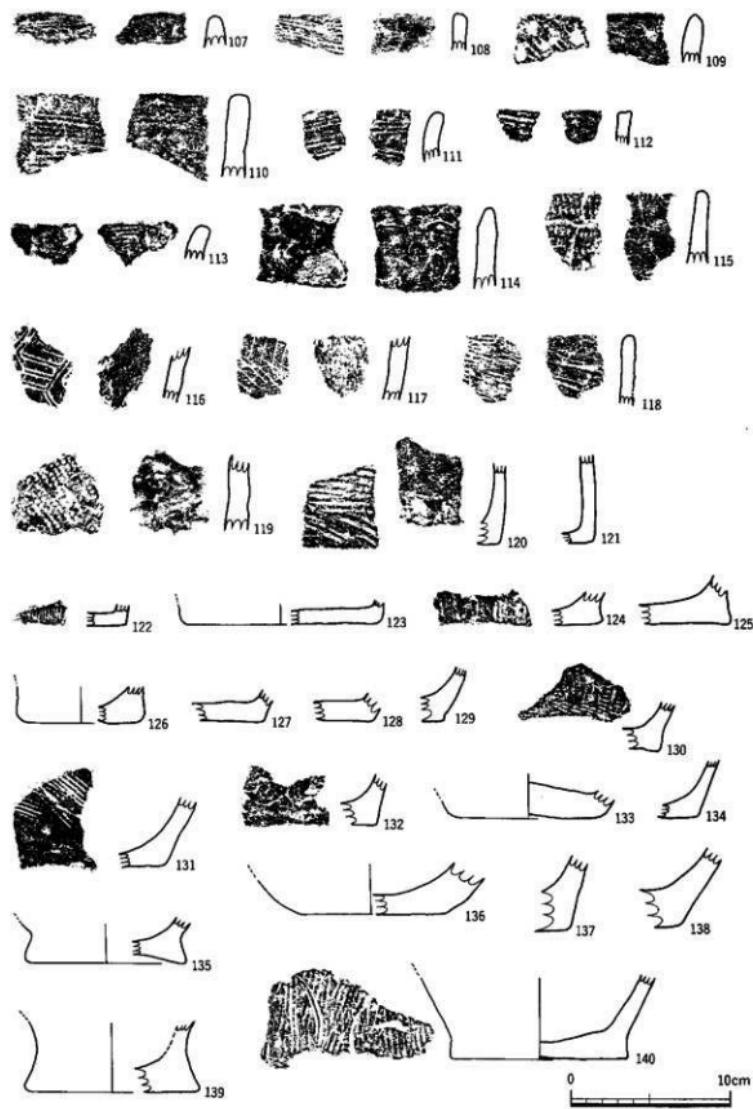
3 類 (87) 3 ~ 4 本の平行沈線を施し綴に帶状の撫糸文を施すもので、87は沈線文の部分である。

VI類土器 (91~92・98~102・106)

条痕文を施す。文様を意識して製作したと思われるものをここでまとめた。



第21図 A地区第IV層縄文土器実測図(6)



第22図 A地区第IV層縄文土器実測図(7)

1類 (100~102・106) 口縁部に横方向の丁寧な条痕文を施すものである。106は、口縁部から胴部上半分を横方向の条痕文を施し、それより下は継位の条痕文を施す。条痕は太くほぼ平行に施文される。器形は、胴部から口縁部まではほぼ垂直に立ち上がる円筒形深鉢形をなす。

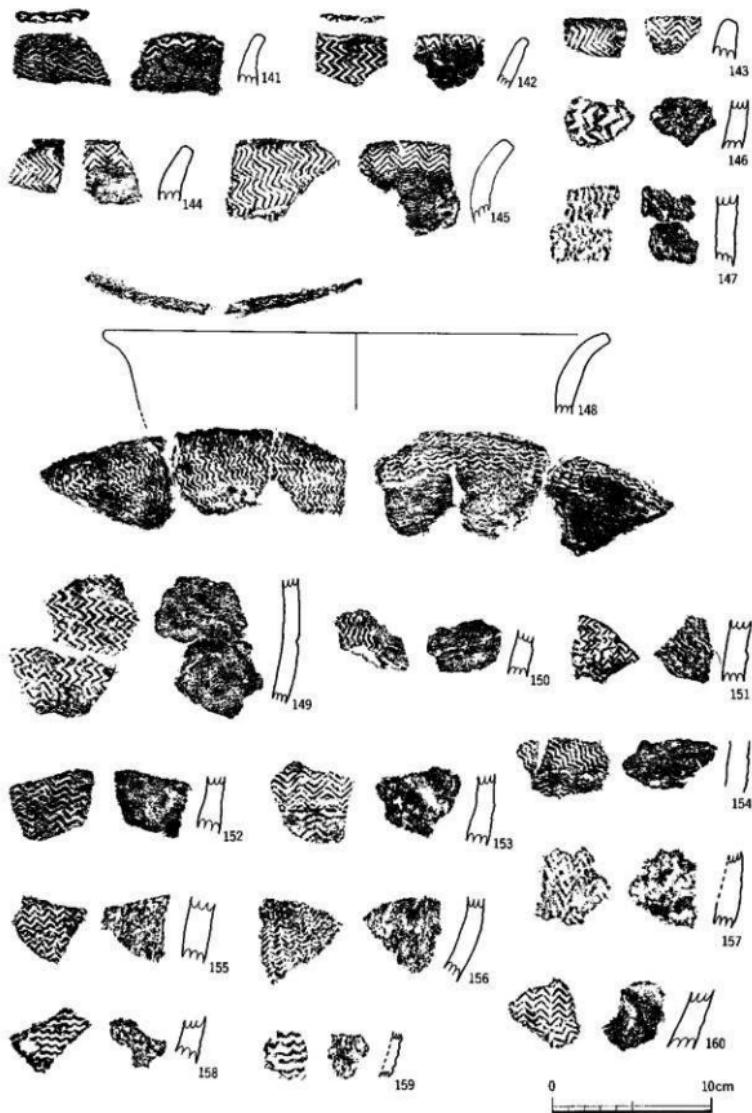
2類 (91・92・98・99) 口縁部に横位の直線又は波状の条痕文、その下に継位・斜位の条痕を施すものである。91は3~4本単位の条痕文を間隔をあけて継方向に施す。92は小さく流水状に条痕文その下は荒い条痕を施す。IV類に入れるべきかもしれない。99は横方向に条痕を入れた後、口縁端に半円状(流水文?)に入れている。

VII類土器 (141~210)

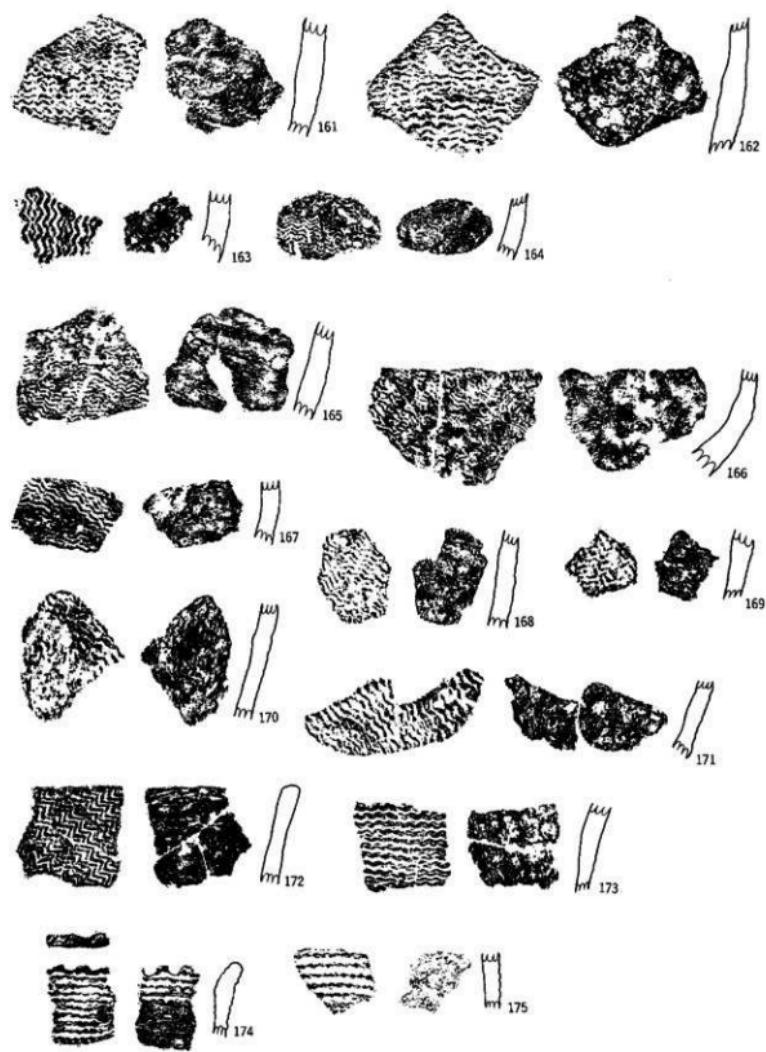
押型文土器である。文様形態により、山形・楕円・格子目の三種類に分類した。それを、山形施文については、施文状況が密で丁寧に施してあるものを「山形A類」とし、施文が雑で間延びしたようなものや施文単位が大きなものを「山形B類」とした。また、楕円については、丸味のあるものを「楕円A類」とし直線

表一2 A地区第V層縄文土器第VII類口縁部分類表

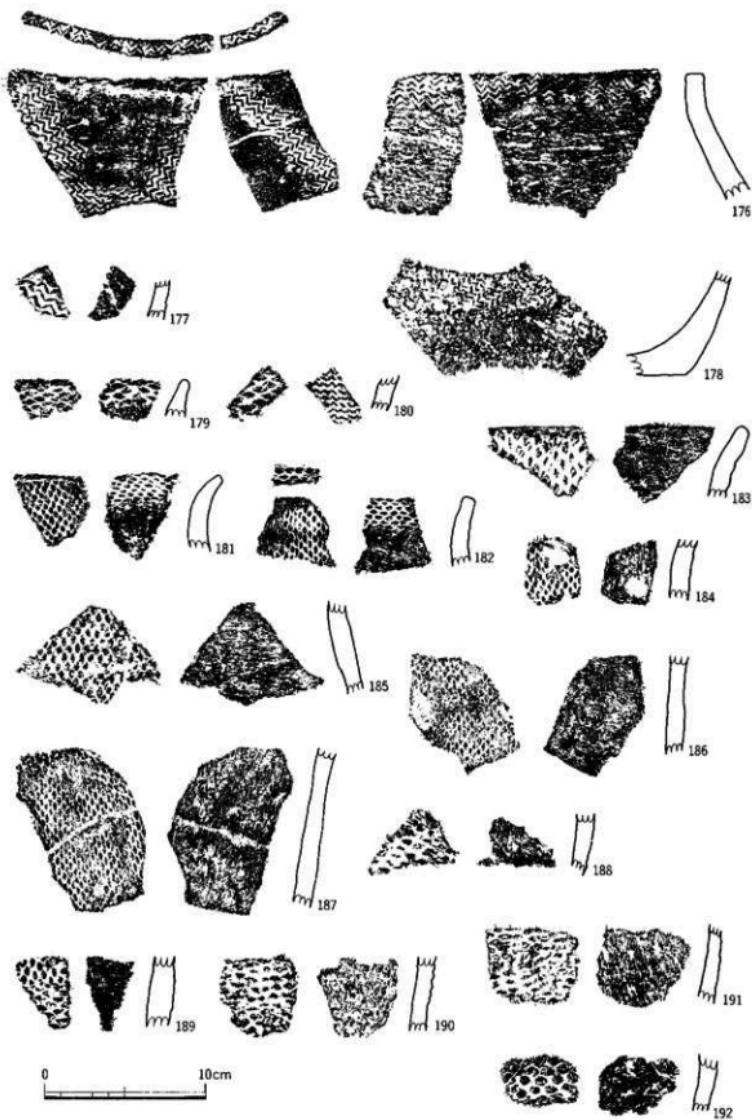
分類記号			外面施文	内面施文	横状文	口唇施文	器形	備考
山形 B	1	c	横方向	○	×	○	やや外反	174
		d	横方向	○	×	○	外反	141
	2	a	継方向	○	×	○	外反	148 142 145 143 144
		b	斜方向	×	×	×	直開	172
	3	c	斜方向	○	×	○	内傾	176
楕円 A	1	a	横方向	○	×	×	やや外反	179 180
		a	継方向	○	×	×	やや外反	181
	2	b	継方向	○	×	○	やや外反	182
		c	継方向	×	×	×	外反	183
	3	b	斜方向	○	○	×	外反	196
		c	斜方向	○	×	×	外反	197 201



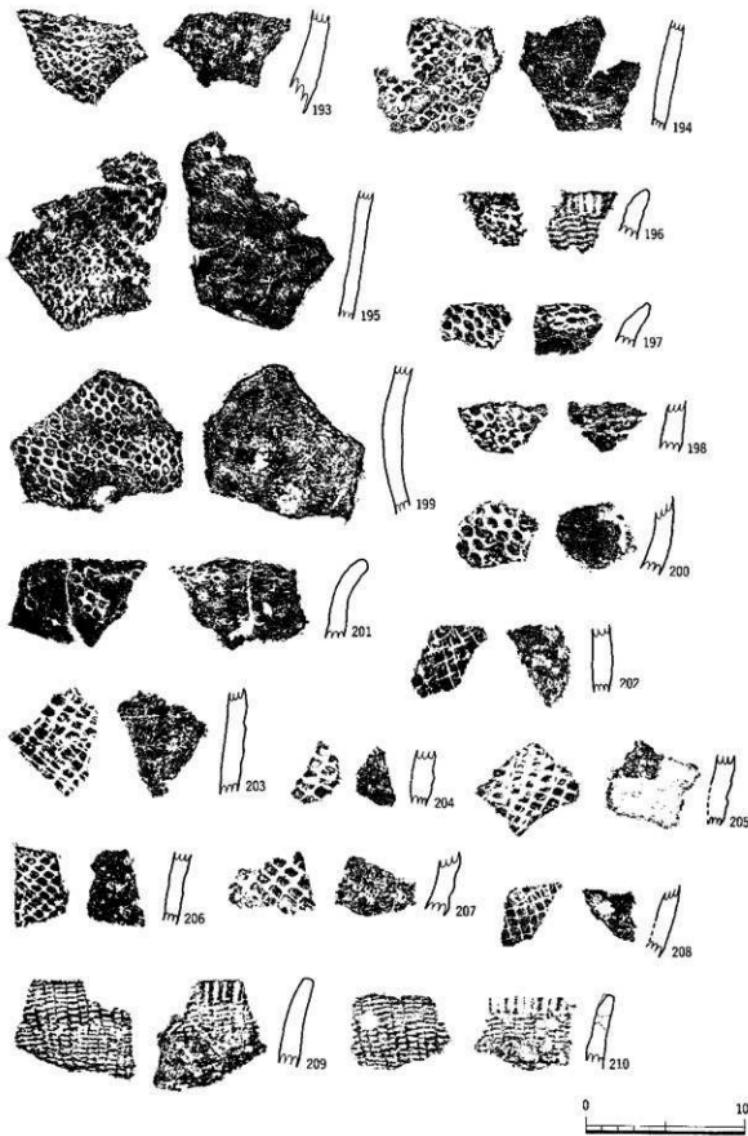
第23図 A地区第IV層縄文土器実測図(8)



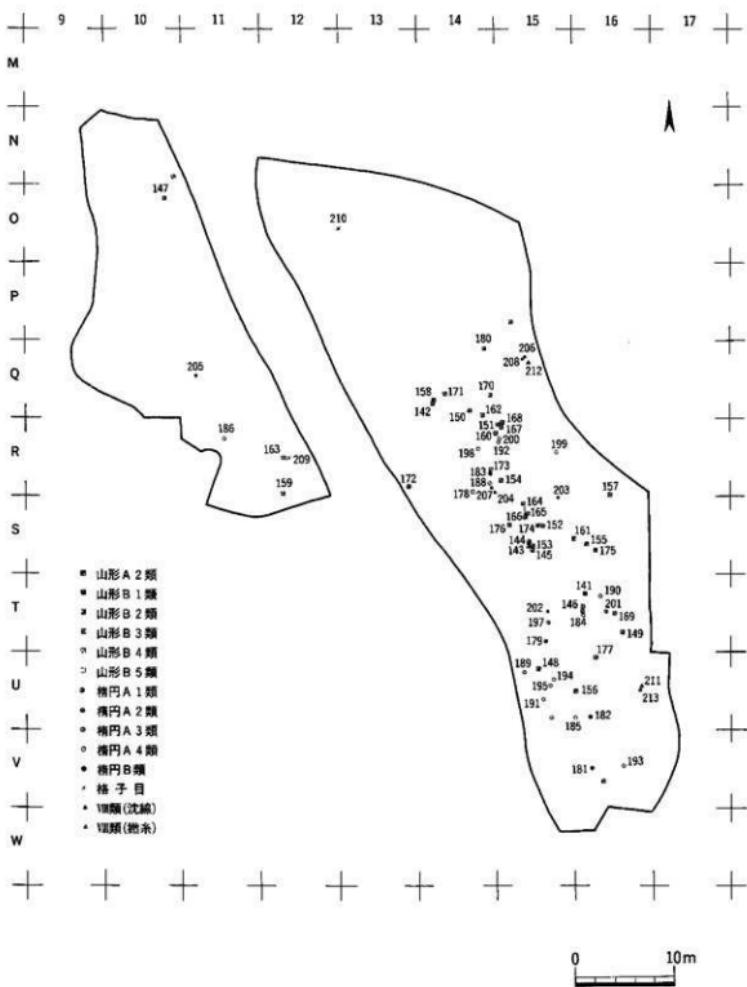
第24図 A地区第IV層縄文土器実測図(9)



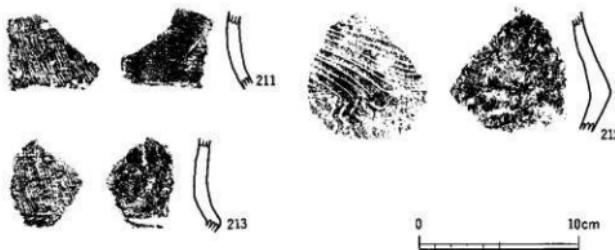
第25図 A地区第IV層縄文土器実測図(10)



第26図 A地区第IV層縄文土器実測図(1)



第27図 A地区第IV層縄文土器(VI・VII類)分布図



第28図 A地区第IV層縄文土器実測図(2)

表一3 A地区第IV層縄文土器観察表

■①口唇部 ②口縁部 ③側部 ④底部

No.	押抜	図版	出土地点	文様・溝溝		色調	胎土	焼成	備考
				外 面	内 面				
1	12	14	T-16	②滑部に連続刻突文 ③貝殻条痕	②横方向のナデ ③納底のナデ	外 Hue5YR にない橙6/4 内 Hue5YR にない橙6/6	半透明粒多量 白色粒少量 黒色光沢粒多量	堅	
2	12	—	R-14	②ヘラ状工具による押 抜文 ③貝殻腹縁横溝文	②ナデ(一部削離) ③ナデ	外 Hue2.5Y にない橙7/3 内 Hue2.5Y にない橙6/3	半透明粒(1mm~2mm)多量 黒色光沢粒少量	やや堅	
3	12	—	U-15	②貝殻条痕後、ヘラ状 工具による横の連続刻 突文 ③貝殻条痕	②横と縱方向のナ デ ③ナデ	外 Hue10YR にない橙7/3 内 Hue10YR にない橙7/2	半透明粒多量 白色粒少量 黒色光沢粒多量	やや堅	
4	12	—	T-16	②貝殻条痕後、貝殻腹 縁による横の連続刻 突文 ③貝殻条痕	②ミガキ ③ナデ	外 Hue7.5YR にない橙7/4 内 Hue7.5YR にない橙4/3	半透明粒多量 白色粒少量 砂粒少量 黒色光沢粒少量	堅	
5	12	—	T-16	②貝殻条痕後、貝殻腹 縁による横の連続刻 突文 ③貝殻条痕	②ミガキ ③ナデ	外 Hue5YR にない橙6/6 内 Hue5YR にない橙5.5/2	半透明粒多量 白色粒 砂粒少量 黒色光沢粒少量	堅	4と同・側体か?
6	12	—	R-12	②貝殻条痕後貝殻腹 縁による斜傾の連続刻 突文	②ていねいなナデ	外 Hue10YR にない橙6/6 内 Hue10YR にない橙5/1	半透明粒多量 白色粒少量 砂粒少量 黒色石状のスコリア少量	やや堅	
7	12	—	Q-13	②斜位に2段の貝殻腹 縁による連続刻突文	②ナデ	外 Hue10YR にない橙7/4 内 Hue10YR にない橙6/4	半透明粒多量 白色粒多量 砂粒少量 黒色光沢粒	堅	
8	12	—	R-11	②貝殻腹縁連続刻突文 ③貝殻条痕	②ていねいなナデ	外 Hue2.5Y にない橙8/4 内 Hue2.5Y にない橙8/2	半透明粒多量 砂粒少量 黒色光沢粒	やや堅	
9	12	14	Q-14	②貝殻条痕後、新位の 貝殻腹縁連続刻突文 ③貝殻条痕	②ミガキ	外 Hue2.5Y にない橙8/3 内 Hue2.5Y にない橙8/3	半透明粒多量 砂石状のスコリア多量 黒色光沢粒(極小)	やや堅	
10	12	—	R-15	②貝殻腹縁連続刻突文 ③貝殻条痕	②ていねいなナデ	外 Hue2.5Y にない橙8/4 内 Hue10YR にない橙8/4	半透明粒多量 砂石状のスコリア多量 黒色光沢粒少量	堅	

No.	探査	回数	出土地点	文様・調査		色 滴	胎 土	焼 成	備 考
				外 面	内 面				
11	12	—	U-15	②貝殻条痕後、貝殼壓 紋による斜位連続剥 离文	②ナデ	外 Hue2.5Y 赤系8/4 内 Hue2.5Y 赤系8/4	半透明粒多量 白色粒多量 黑色粒少量 黑色光沢少量	やや堅版	
12	12	—	Q-14	②①貝殻条痕後、貝殼 縦横剥離剥離文	②ていねいなナデ	外 Hue2.5Y 赤系8/3 内 Hue2.5Y 赤系8/4	半透明粒多量 輕石状のスコリア多量 砂粒少量 黑色光沢粒	堅版	
13	12	14	Q-12	②貝殻条痕後、貝殼壓 縦横剥離剥離文 ③貝殼剥離	②ナデ	外 Hue2.5YR 褐7/6 内 Hue7.5YR にい赤7/4	輕石状のスコリア多量 半透明粒多量 赤色粒多量 白色粒少量	堅版	
14	12	—	P-13	②貝殻条痕後、貝殼壓 縦横剥離剥離文	②ミガキ	外 Hue10YR にい黄7/4 内 Hue10YR にい黄7/2	半透明粒多量 白色粒少量 輕石状のスコリア少量 黑色光沢粒	堅版	
15	12	—	Q-12	②貝殻条痕後、貝殼壓 縦横剥離文	②ナデ	外 Hue2.5Y 赤系8/4 内 Hue2.5Y 赤系7/3	白色粒多量 白色光沢粒 (4mm粒) 半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	
16	12	14	T-16	②貝殻条痕後、貝殼壓 縦横剥離剥離文	②ていねいなナデ	外 Hue10YR にい黄7/4 内 Hue10YR にい黄7/4	半透明粒多量 白色粒少量 黑色光沢粒	堅版	
17	12	—	T-16	②ヘラ状工具による押 压文 ③貝殼縫合条痕文	②ナデ	外 Hue7.5YR 褐4/4 内 Hue5YR にい赤褐5/4	半透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒	堅	
18	12	—	S-16	②ヘラ状工具による押 压文	②ナデ	外 Hue2.5Y にい赤7/3 内 Hue5YR にい赤7/2	透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒	堅	
19	12	—	T-16	②ヘラ状工具による押 压文 ③貝殼縫合剥離剥離文 横方向の沈織文	②ナデ	外 Hue2.5Y 赤系8/3 内 Hue2.5Y 赤系6/1	半透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒	やや堅版	
20	12	—	T-16	②貝殼縫合による輻方 向の沈織文 横方向の沈織文	②ナデ	外 Hue2.5Y 赤系6/1 内 Hue2.5Y 赤系7/3	半透明粒多量 黑色光沢粒 白色光沢粒	やや堅版	
21	14	—	T-15	②貝殼による輻方向の 条痕文 ③貝殼条痕	②ナデ(一部剥離)	外 Hue2.5Y 赤系6/2 内 Hue2.5Y 赤系6/2	半透明粒多量 輕石状のスコリア多量 黑色光沢粒多量	やや堅	
22	14	—	S-15	①剥目 ②貝殼押圧(剥離)文織 ③貝殼条痕後、輻方向の 貝殼押圧(剥離)文織	②横方向のナデ	外 Hue10YR にい赤7/3 内 Hue7.5YR にい赤7/4	半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	
23	14	—	R-14	①剥目 ②貝殼押圧(剥離)文織 クサビ形突起	②横方向のナデ	外 Hue5YR にい赤7/4 内 Hue5YR にい赤7/4	白色粒多量 半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	
24	14	—	T-15	①剥目 ②貝殼押圧(剥離)文織 クサビ形突起	②ナデ	外 Hue5YR にい赤7/4 内 Hue5YR 明赤褐5/5	半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	
25	14	14	U-16	①剥目 ②貝殼押圧(剥離)文織 クサビ形突起	②横方向のナデ	外 Hue5YR にい赤7/3 内 Hue5YR にい赤7/4	白色粒多量 黑色光沢粒少量 黑色光沢	堅	
26	14	14	R-15	①剥目 ②貝殼押圧(剥離)文織 クサビ形突起	②ナデ	外 Hue5YR にい赤7/4 内 Hue5YR 明赤褐5/6	半透明粒多量 白色粒多量 黑色粒少量 黑色光沢粒	堅版	穿孔あり
27	14	—	R-16	②貝殼条痕後、貝殼押 圧(剥離)文織 クサビ形突起	②ナデ	外 Hue5YR にい赤7/4 内 Hue5YR 明赤褐5/6	半透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒	堅	
28	14	—	T-15	②貝殼押圧(剥離)文織 クサビ形突起	②ナデ	外 Hue2.5YR 赤系6/6 内 Hue2.5YR にい赤7/4	半透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒	堅	
29	14	—	T-15	②貝殼条痕後、貝殼押 圧(剥離)文織 クサビ形突起	輻方向のナデ	外 Hue5YR にい赤7/4 内 Hue5YR にい赤7/3	半透明粒多量 白色粒少量 黑色光沢粒	堅	
30	14	—	S-14	②貝殼条痕後、貝殼押 圧(剥離)文織 クサビ形突起	②ナデ	外 Hue5YR にい赤7/4 内 Hue5YR にい赤7/4	白色粒多量 輕石状のスコリア少量 黑色光沢粒	堅	
31	14	—	S-14	③貝殼条痕後、貝殼押 圧(剥離)文織	③ナデ	外 Hue10YR にい赤7/4 内 Hue7.5YR にい赤7/4	半透明粒多量 白色粒少量 黑色光沢粒	堅	

32	14	—	S-15	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	白色粒多量 半透明粒多量 白色光沢粒 黑色光沢粒 黑色光沢粒 コリア少量	堅	
33	14	—	S-15	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR 橙6/6	颗粒状のコリア多量 半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	
34	14	—	R-14	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③縱方向のケズリ 風ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	白色粒多量 半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	
35	14	—	T-15	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③縱方向のケズリ 風ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue5YR 橙6/4	半透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒	堅	
36	14	—	S-16	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue5YR 橙6/6	半透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒 黑色光沢粒少量	やや堅	
37	14	—	S-15	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③縱方向のケズリ 風ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/4 内 Hue5YR 橙6/6	半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	
38	14	—	S-14	③貝殻押圧(刺突)文線	③ケズリ風ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR にぶい橙6/4	半透明粒多量 白色粒少量 白色粒多量 黑色光沢粒	堅	
39	14	—	S-15	③貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue5YR 橙6/5 内 Hue5YR 明赤橙5/6	半透明粒多量 白色粒少量 黑色光沢粒	やや堅	
40	14	—	R-12	③貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒多量 白色粒少量 赤色粒少量 黑色光沢粒	堅	
41	14	—	T-15	③貝殻条痕後貝殻押圧(刺突)文線	③ケズリ風ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR 橙6/6	半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	
42	14	—	T-15	③貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR にぶい赤橙5/4	半透明粒多量 白色光沢粒 黑色光沢粒	堅	
43	14	—	P-15	③貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue5YR 橙6/6	半透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒少量	堅	
44	14	—	V-16	③貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue10YR 浅橙8/3 内 Hue10YR 浅橙8/4	白色粒多量 半透明粒少量 黑色光沢粒	やや堅	
45	14	—	T-16	②貝殻押圧(刺突)文線 クサビ形空洞	②横方向のナデ	外 Hue10YR 浅橙8/3 内 Hue10YR にぶい黄橙5/4	半透明粒多量 白色粒少量 黑色光沢粒	堅	
46	14	—	U-17	②貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線 クサビ形空洞	②横方向のケズリ 風ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	颗粒状のコリア多量 白色粒多量 半透明粒少量 黑色光沢粒	堅	
47	15	—	U-15	③貝殻押圧(刺突)文線	③ケズリ風ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙6/3	半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	
48	15	—	V-16	③貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/3 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	白色粒多量 半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	
49	15	—	U-16	③貝殻押圧(刺突)文線	③ケズリ風ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/3 内 Hue7.5YR にぶい橙6/3	半透明粒多量 黑色粒のコリア多量 黑色光沢粒	やや堅	
50	15	—	V-16	②貝殻押圧(刺突)文線	③ケズリ風ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue5YR にぶい橙7/4	半透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒	やや堅	
51	15	—	V-17	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	半透明粒多量 白色粒多量 赤色粒少量 黑色光沢粒	やや堅	
52	15	—	V-16	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/3 内 Hue5YR 明赤橙5/6	颗粒状のコリア多量 白色粒多量 半透明粒少量 黑色光沢粒	やや堅	
53	15	—	U-16	③貝殻条痕後、貝殻押圧(刺突)文線	③ナデ	外 Hue5YR にぶい橙6/3 内 Hue5YR 明赤橙5/6	半透明粒少量 黑色光沢粒	やや堅	

No.	押印	圧原	出土地点	文様・調整		色調	粘土	焼成	備考
				外 面	内 面				
54	15	—	Q-13	③貝紋腹縁連続押引文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/4 内 Hue7SYR にぶい黄橙3/3	半透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒	やや堅	
55	15	—	P-15	③貝紋腹縁連続押引文	③ナデ	外 Hue7SYR にぶい黄橙3/3 内 Hue7SYR にぶい黄橙3/3	白色粒多量 半透明粒多量 白色粒多量 黑色多量	やや堅	
56	15	—	T-16	①刻目 ②貝紋腹縁連続押引文	②ナデ	外 Hue7SYR 帶6/6 内 Hue7SYR にぶい黄橙6/4	黑色粒 黑色光沢粒 乳白色粒	やや堅	
57	15	—	P-14	③貝紋腹縁連続押引文 ・貝紋腹縁連続押引文	③ナデ	外 Hue7SYR にぶい黄橙6/3 内 Hue7SYR 帶6/2	白色粒 (1mm~2mm) 多量 半透明粒 (1mm~2mm) 多量 白色粒 (1mm~2mm) 少量 黑色光沢粒	やや堅	58と同一個体?
58	15	14	O-14	③貝紋壓錐連続押引文 ・貝紋腹縁連続押引文	③ナデ	外 Hue7SYR にぶい黄6/3 内 Hue10YR にぶい黄6/3	白色粒 (1mm~3mm) 多量 半透明粒 (1mm~2mm) 多量 白色粒 少量 黑色光沢粒	やや堅	57と同一個体?
59	15	—	Q-15	②貝紋冬痕後、目紋押 印 (刺突) 文様	②ナデ	外 Hue7SYR にぶい黄6/4 内 Hue7SYR にぶい黄6/4	半透明粒 白色粒 黑色光沢粒	やや堅微	角筒土器
60	15	—	T-16	③貝紋押圧 (刺突) 文 様	②ナデ	外 Hue7SYR にぶい黄6/4 内 Hue7SYR にぶい黄6/4	半透明粒 白色粒 黑色光沢粒 黑色粒	やや堅微	角筒土器
61	15	—	U-16	③貝紋冬痕後、貝紋押 圧 (刺突) 文様	③縱方向のナデ	外 Hue5YR 帶6/6 内 Hue5YR にぶい黄6/4	半透明粒多量 白色粒多量 白色粒少量 黑色光沢粒少量	やや堅微	角筒土器
62	15	—	T-16	③貝紋冬痕後、貝紋押 圧 (刺突) 文様	③縱方向のナデ	外 Hue5YR にぶい黄6/4 内 Hue5YR にぶい黄7/4	半透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒	やや堅微	角筒土器
63	15	14	R-14	③貝紋冬痕後、貝紋押 印 (刺突) 文様	③縱方向のナデ	外 Hue5YR にぶい黄6/4 内 Hue5YR 明赤褐6/6	半透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒	やや堅微	角筒土器
64	15	14	T-16	③貝紋押圧 (刺突) 文 様 貝紋冬痕	②ナデ	外 Hue5YR にぶい黄7/4 内 Hue5YR 帶6/6	半透明粒多量 黑色光沢粒	やや堅	
65	15	—	R-14	②貝紋剥炎文	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	白色粒多量 砂粒少量 半透明粒少量 黑色粒	堅	
66	15	—	Q-10	②貝紋剥炎文	②ナデ	外 Hue5YR 帶6/6 内 Hue5YR にぶい黄7/3	白色粒多量 半透明粒少量 黑色光沢粒	堅	
67	17	—	P-14	③貝紋剥炎文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄6/4 内 Hue10YR にぶい黄7/3	白色粒多量 半透明粒多量 赤色粒少量 黑色粒	やや堅微	
68	17	—	V-17	③貝紋剥炎文	③ナデ	外 Hue5YR にぶい黄7/4 内 Hue7.5YR にぶい黄6/4	白色粒多量 砂粒少量 黑色	堅	
69	17	—	V-16	③貝紋剥炎文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄6/3 内 Hue10YR 淡黄6/2	半透明粒 (1mm~3mm) 多量 白色粒多量	堅	
70	17	14	N-10	②クシ衝突工具による 刺突文と条状文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄6/3 内 Hue10YR にぶい黄7/3	半透明粒 (1mm~2mm) 多量 砂粒多量 黑色光沢粒多量	やや堅微	
71	17	14	U-15	②貝紋剥炎文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄6/3 内 Hue10YR にぶい黄6/3	白色粒 (1mm~2mm) 多量 半透明粒多量 砂粒少量 黑色光沢粒	やや堅微	
72	17	—	S-16	③横方向と斜方向の条 状	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄7/3 内 Hue10YR 淡黄6/3	白色粒 (1mm~4mm) 多量 素母多量	やや堅	73と同一個体?
73	17	—	S-16	③横方向と斜方向の条 状	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄7/3 内 Hue10YR にぶい黄7/3	白色粒 (1mm~4mm) 多量 素母多量 黑色光沢粒	やや堅	72と同一個体?
74	17	—	S-15	③クシ衝突工具による 羽状文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄7/4 内 Hue10YR にぶい黄7/3	白色粒 黑色光沢粒 乳白色粒	堅	

75	17	—	S-16	③クシ歯状工具による「ハ」字状文	③ナデ 外 Hue2.5YR 明赤褐色5/6 内 Hue5YR にぶい黄褐色5/4	黒色粒 乳白色粒 半透明光沢粒	堅	
76	17	—	U-16	③擬方向と横方向のクシ歯状文	③ナデ 外 Hue2.5YR 穀6/5YR 内 Hue5YR にぶい黄褐色5/4	乳白色粒(2mm前後)少量 透明光沢粒多量 黑色粒少 黑色光沢粒(極小)	堅	
77	17	—	P-13	③クシ歯状工具による流水文	③ナデ 外 Hue2.5YR 穀6/6 内 Hue10YR にぶい黄褐色6/4	透明光沢粒少量 白色粒 黑色粒 黑色光沢粒(極小)	堅	78と同一個体?
78	17	—	P-13	③クシ歯状工具による流水文	③ナデ 外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい黄褐色5/4	白色粒(1mm~3mm)多量 黑色光沢粒 半透明光沢粒	堅	77と同一個体?
79	17	—	R-13	②クシ歯状工具による流水文	②ナデ 外 Hue10YR にぶい黄褐色3/3 内 Hue10YR にぶい黄褐色7/2	黑色光沢粒 半透明光沢粒	堅	
80	17	—	T-15	②横方向の変形後クシ歯状工具による流水文	②ナデ 外 Hue10YR にぶい黄褐色7/3 内 Hue6/2 灰白6/2	半透明粒多量 黑色粒(極小)	堅	
81	17	14	S-14	②クシ歯状工具による流水文	②ナデ 外 Hue2.5Y 淡紫8/3 内 Hue2.5Y 灰白7/1	透明光沢粒(極小) 乳白色粒少	堅	
82	17	—	S-15	②クシ歯状工具による流水文	②ナデ 外 Hue10YR 浅黄褐色8/3 内 Hue10YR にぶい黄褐色7/2	黑色光沢粒多量 白色粒多量	やや堅板	
83	17	—	Q-15	③クシ歯状工具による擬方向流水文	③ナデ 外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄褐色6/4	黑色粒多量 黑色光沢粒多量 乳白色粒少	堅	
84	17	—	Q-15	③クシ歯状工具による擬方向流水文	③ナデ 外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄褐色7/4	黑色粒少量 黑色光沢粒 乳白色粒	やや堅板	
85	17	14	R-12	③沈錐文間に捺糸文	③ナデ 外 Hue10YR にぶい黄褐色6/3 内 Hue10YR にぶい黄褐色6/4	半透明粒(1mm~3mm)多量 白色粒多量 黑色粒	堅板	86と同一個体?
86	17	—	R-12	③沈錐文間に捺糸文	③ナデ 外 Hue7.5YR にぶい橙5/3 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	白色粒(1mm~2mm)多量 透明粒 黑色粒	堅板	85と同一個体?
87	17	—	N-10	④本の平行沈錐文	③ナデ 外 Hue5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	黑色光沢粒 透明光沢 乳白色粒 茶色光沢(1mm~5mm)	やや堅板	
88	20	15	N-10	⑤焼成目 ^{クシ} 工具による流水文、長さ5cm位の刷毛突起	③ナデ 外 Hue10YR にぶい黄褐色7/3 内 Hue10YR 灰白6/2	白色光沢粒 黑色光沢粒(1mm~3mm)多量 黑色光沢粒 黑色光沢のスコリア多量 黑色光沢粒	やや堅板	89と同一個体?
89	20	—	N-10	⑤クシ歯状工具による流水文、長さ5cm位の刷毛突起	③ナデ 外 Hue10YR 浅黄褐色3 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	白色光沢粒多量 黑色光沢粒 白色光沢粒 黑色光沢粒多量	やや堅板	88と同一個体?
90	20	—	S-15	②条痕文	②ナデ 外 Hue10YR にぶい黄褐色7/3 内 Hue10YR にぶい黄褐色7/4	牛乳光沢粒多量 白色光沢 赤色光沢 黑色光沢	やや堅	
91	20	15	R-14	②条痕文	②ナデ 外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 灰白6/2	牛乳光沢粒多量 赤色光沢 黑色光沢 黑色光沢粒多量	やや堅板	
92	20	15	T-15	②条痕文	②ナデ 外 Hue2.5Y 灰白6/2 内 Hue10YR にぶい黄褐色7/3	白色光沢 半透明粒多量 黑色光沢(極小)	堅	
93	20	—	R-11	②波状文	②ナデ 外 Hue2.5Y 灰白6/2 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	白色粒多量 黑色粒少 半透明粒少	堅	
94	20	—	T-16	②刺突文	②ナデ 外 Hue10YR にぶい黄褐色7/2 内 Hue10YR にぶい黄褐色7/3	茶色粒(1mm~4mm)多量 半透明粒多量 白色光沢粒 黑色光沢粒多量	堅	
95	20	—	Q-14	③条痕後刺突文	③ナデ 外 Hue5YR にぶい橙7/4 内 Hue2.5Y 橙7/6	牛乳光沢粒少 白色光沢 砂粒少 黑色粒	やや堅板	
96	20	15	Q-13	③刺突文	③ナデ 外 Hue2.5Y 青灰5/1 内 Hue10YR 浅黄8/4	半透明粒少 黑色光沢粒少	堅	

No.	押面	固版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外 面	内 面				
97	20	—	Q-14	⑤縞の条痕	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	
98	20	—	R-14	③朝方向の条痕後、横 方向へ条痕	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR 橙7/6	半透明粒少量 輪状のスコリア少量 黑色光沢粒多量	やや堅	
99	20	—	T-16	②横方向へ条痕後、羽 状文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue5YR 橙7/6	黑色粒 半透明粒多量 白色粒少量 赤色粒少量 黑色粒状のスコリア少量	堅	
100	20	—	R-12	③横方向の条痕文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue6YR 橙4/2	乳白色粒 半透明粒多量 白色光沢粒 白色光沢粒	やや堅紙	
101	20	—	T-16	③横方向の条痕文	②ナデ	外 Hue2.5Y 赤黄7/3 内 Hue10YR 淡黄8/3	半透明粒多量 輪状のスコリア多量 白色粒 黑色光沢粒	堅	
102	20	—	U-15	②横方向の条痕文	②ナデ	外 Hue2.5Y 灰青7/2 内 Hue2.5Y 灰青7/2	輪状のスコリア多量 半透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒多量	やや堅	
103	20	—	Q-14	②条痕	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue6YR 灰青6/2	半透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒	堅紙	
104	20	—	R-15	②条痕	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	白色粒多量 半透明粒多量 砂粒多量 黑色光沢粒	やや堅紙	穿孔あり
105	20	—	R-13	②条痕	②ナデ	外 Hue5YR 赤黄8/3 内 Hue5YR 黑褐3/1	半透明粒多量 砂粒多量 白色粒少量 黑色光沢粒少量	堅	
106	21	15	P-14	②横方向の条痕文 ③横方向の条痕文	②・③ナデ	外 Hue2.5YR 明赤粒5/6 内 Hue5YR にぶい黄橙5/4	白色粒 (1mm~3mm) 多量 半透明粒多量 砂粒多量 黑色光沢粒	やや堅紙	
107	22	—	S-14	②条痕	②ナデ	外 Hue10YR 淡黄8/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	半透明粒多量 赤色粒少量 白色粒多量 黑色石状のスコリア少量	やや堅紙	
108	22	—	Q-14	②条痕	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	半透明粒多量 白色粒少量 黑色光沢粒	堅紙	
109	22	—	T-16	②条痕	②ナデ	外 Hue10YR 淡黄8/3 内 Hue10YR にぶい橙7/4	乳白色粒多量 透明白色粒多量 黑色光沢粒	やや堅紙	
110	22	—	Q-11	②条痕	②ナデ	外 Hue2.5Y 赤黄8/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	半透明粒多量 白色粒少量 砂粒多量 黑色光沢粒少量	堅	
111	22	—	U-17	②条痕	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR 橙6/1	乳白色粒 (1mm~5mm) 透明光沢粒	やや堅紙	
112	22	—	V-16	②条痕	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 淡黄6/2	白色粒 白色粒 半透明光沢粒 黑色光沢粒	やや堅紙	
113	22	—	S-15	②ナデ	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	乳白色粒 (1mm~2mm) 黑色光沢粒 半透明粒	やや堅	
114	22	—	T-16	②ナデ	②ナデ	外 Hue10YR 淡黄8/4 内 Hue10YR 淡黄8/4	透明光沢粒 白色光沢粒 黑色光沢粒 黑色光沢粒 (板小)	やや堅	
115	22	—	Q-13	②貝殻刺突文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒多量 黑色光沢粒少量	堅	
116	22	15	T-15	②沈線文	②ナデ	外 Hue10YR 淡黄8/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	赤色粒少量 白色粒多量 半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	
117	22	15	U-15	②沈線文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄7/4 内 Hue7.5YR 淡黄6/2	白色粒多量 半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	

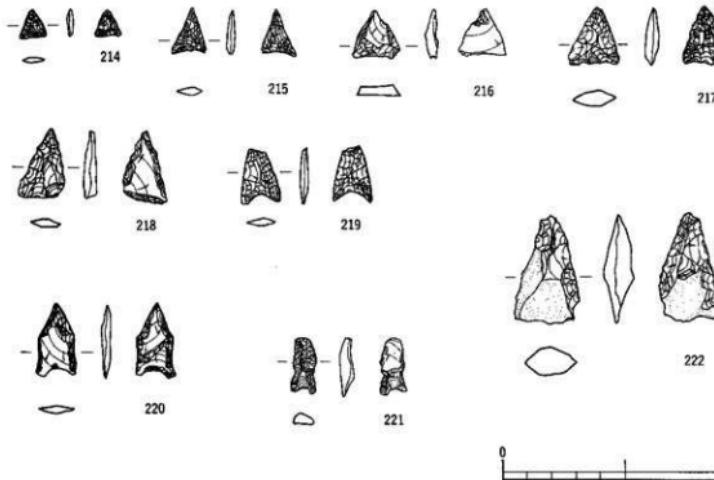
118	22	-	R-14	②燃条文	②ナデ	外 Hue7.5YR に近い 色相6/3 内 Hue7.5YR 色相4/3	白色粒 (1mm~4mm) 多量 半透明粒 (1mm~2mm) 多量 黑色光沢粒	堅	
119	22	-	O-13	③純文	③純文	外 Hue7.5YR に近い 色相7/4 内 Hue7.5YR に近い 色相6/4	白色粒 半透明粒 少量 砂粒 黑色光沢粒	堅	
120	22	-	U-16	①条痕 ④ナデ	③ナデ	外 Hue7.5YR に近い 色相7/4 内 Hue10YR に近い 色相7/3	白色粒 透明粒 黑色光沢粒	堅	
121	22	-	U-16	③・④ナデ	③ナデ	外 Hue7.5YR 色相7/6 内 Hue7.5YR 色相6/6	乳白色粒 透明粒 黑色光沢粒 少量	堅	
122	22	-	S-15	④側面は縱条痕	④ナデ	外 Hue10YR に近い 色相6/3 内 Hue10YR に近い 色相6/6	乳白色粒 白色粒 黑色光沢粒	堅	
123	22	-	U-16	④ナデ	④ナデ	外 Hue7.5YR に近い 色相7/4 内 Hue5YR に近い 色相5/4	透明粒 黑色光沢粒	堅	
124	22	-	U-16	④側面は条痕	④ナデ	外 Hue10YR に近い 色相7/3 内 Hue10YR に近い 色相7/2	白色透明粒 白色粒 黑色粒	堅	
125	22	-	T-16	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄6/3 内 Hue2.5Y 黄灰6/1	白色粒	やや堅	
126	22	-	V-16	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR に近い 色相6/3 内 Hue10YR 色相5/1	乳白色粒 黑色光沢粒 (極小) 半透明粒 多量	やや脆	
127	22	-	S-16	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR に近い 色相7/3 内 Hue10YR に近い 色相7/3	砂粒 黑色光沢粒	堅	
128	22	-	R-14	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR に近い 色相7/2 内 Hue10YR に近い 色相7/4	透明粒 砂粒 黑色光沢粒	堅	
129	22	-	S-16	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR に近い 色相7/4 内 Hue2.5Y 黄灰6/2	黑色光沢粒 多量 白色光沢粒 多量	堅	
130	22	-	O-10	④ナデ	④条痕	外 Hue10YR 浅黄6/4 内 Hue10YR 色相5/1	乳白色粒	堅	
131	22	-	S-15	①条痕 ④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR に近い 色相7/3 内 Hue2.5Y 浅黄6/3	黑色光沢粒 墨粉	堅	
132	22	-	T-16	④側面は条痕	④ナデ	外 Hue5Y 灰オリーブ6/2 内 Hue5Y 灰6/1	透明粒 素桜色粒 (2mm前後) 少量	やや堅	
133	22	-	Q-15	④ナデ	④ナデ	外 Hue5YR に近い 色相5/4 内 Hue10YR に近い 色相6/4	砂粒 (2mm前後) 黑色光沢粒 白色粒	堅	
134	22	-	S-15	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR に近い 色相7/4 内 Hue2.5Y 浅黄6/2	黑色光沢粒	堅	
135	22	-	T-15	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 黄灰6/3 内 Hue2.5Y 黄灰6/1	乳白色粒	やや堅	
136	22	-	Q-15	④ナデ	④ナデ	外 Hue5YR に近い 色相5/4 内 Hue10YR に近い 色相6/4	砂粒 (2mm前後) 黑色光沢粒 白色粒	堅	
137	22	-	Q-13	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR に近い 色相7/4 内 Hue2.5Y 黄灰6/2	乳白色粒 黑色光沢粒 (微量)	堅	
138	22	-	S-14	④ナデ	④ナデ	外 Hue7.5YR に近い 色相7/4 内 Hue2.5Y 浅黄6/3	黑色光沢粒 乳白色光沢粒	堅	
139	22	-	V-16	③・④ナデ	③・④ナデ	外 Hue5YR に近い 色相7/4 内 Hue7.5YR 色相6/1	乳白色粒	粗	

No.	探査	回数	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外 面	内 面				
140	22	—	R-12	①縦方向の条痕 ②アマ	③・④ナデ	外 Hue10YR 12-5/1 黄緑7/3 内 Hue10YR にぶい黄緑7/3	白色砂 黒色砂	堅焼	
141	23	—	T-16	①山形押型文 ②横位の山形押型文	③山形押型文	外 Hue5Y 淡黄8/3 内 Hue5Y 淡黄8/3	透明粒	堅	
142	23	—	Q-14	①山形押型文 ②複位の山形押型文	③山形押型文	外 Hue7.5YR にぶい黄緑5/4 内 Hue10YR にぶい黄緑6/3	白色砂粒	堅焼	
143	23	—	S-15	②複位の山形押型文	③山形押型文	外 Hue10YR にぶい黄緑7/3 内 Hue10YR にぶい黄緑7/2	白色砂粒 (1mm~3mm) 白色砂粒	堅焼	144・145と同個体?
144	23	—	S-15	③複位の山形押型文	③山形押型文	外 Hue10YR にぶい黄緑5/2 内 Hue10YR にぶい黄緑7/3	長め色粒 (2mm前後) 微量 透明粒 乳白色光沢粒	やや堅焼	143・144と同個体?
145	23	—	S-15	②複位の山形押型文	③山形押型文	外 Hue10YR にぶい黄緑7/4 内 Hue10YR にぶい黄緑7/4	乳白色砂 黒色砂	堅	143・144と同個体?
146	23	—	T-16	③複位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄緑5/4 内 Hue2.5Y 黄緑5/3	透明粒 白色砂粒	堅焼	
147	23	—	O-10	③崩れ気味の山形押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄緑6/4 内 Hue7.5YR にぶい黄緑5/3	乳白色粒 白色砂 透明光沢粒 茶褐色砂	堅	
148	23	15	U-15	①山形押型文 ②複位の周延び山形押型文	③山形押型文	外 Hue7.5YR にぶい黄緑6/4 内 Hue7.5YR にぶい黄緑6/4	透明光沢粒多い 黑色砂 白色砂 (2mm~3mm大)	堅	
149	23	—	T-16	③複位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄緑6/4 内 Hue10YR にぶい黄緑6/3	白色砂粒 白色砂粒 黒色砂	堅焼	
150	23	—	Q-14	③複位の周延び山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄緑6/4 内 Hue7.5YR にぶい黄緑6/4	白色砂粒 (0.5mm~2mm)	堅焼	
151	23	—	R-15	③複位と横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄緑5/4 内 Hue5YR 灰黄6/6	白色光沢粒 (2mm前後) 半透明光沢粒	やや堅焼	
152	23	—	S-15	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue5Y ナチュラル型3/1 内 Hue5Y 灰黄6/1	透明粒 (小)	堅	
153	23	—	S-15	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄緑7/4 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	白色砂粒 黒褐色砂 (4mm前後) 透明粒	堅	
154	23	—	R-15	③斜位と横位の周延び山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄緑7/3 内 Hue10YR にぶい黄緑7/4	白色砂粒	やや堅焼	
155	23	—	S-16	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄緑6/4 内 Hue7.5YR にぶい黄緑6/4	乳白色透明粒 白色砂粒	堅	
156	23	—	U-16	③複位の周延び山形押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄6/2 内 Hue2.5Y にぶい黄緑6/4	透明光沢粒 (1mm~3mm) 多量 乳白色砂	堅	
157	23	—	R-16	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄緑6/4 内 Hue7.5YR にぶい黄緑5/4	砂粒 (2mm~4mm) 多量 透明光沢粒 黒色光沢粒多量	堅	
158	23	—	Q-14	③崩れ気味の山形押型文	③ナデ	外 Hue5YR 灰褐5/2 内 Hue10YR にぶい黄緑5/3	透明粒 黑色光沢粒少量 白色砂 白色光沢粒	やや堅焼	
159	23	—	R-12	③崩れ気味の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR 地4/4 内 Hue10YR 灰黄6/6	黑色光沢粒少量 白色砂 透明光沢粒 乳白色砂 (1mm前後)	堅	
160	23	—	R-15	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 灰黄6/2 内 Hue2.5Y 灰黄7/4	乳白色粒 (0.5mm~2mm) 黑色光沢粒多量 透明光沢粒	堅	

161	24	—	S-16	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue10YR 黄赤褐色6 内 Hue2.5Y 淡黄7/4	乳白色 自色7/4 (3mm前後) 少量 赤色斑 半透明粒多量	堅	
162	24	—	Q-14	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄褐6/3 内 Hue2.5Y 淡黄7/3	黑色光沢粒 乳白色光沢粒 白色粒 半透明粒多量	堅	
163	24	—	R-12	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue5YR にぶい赤褐5/4 内 Hue5YR にぶい赤褐5/4	白色砂粒多量 乳白色粒 白色光沢粒 半透明粒 (2mm前後) 半透明粒	堅	
164	24	—	S-15	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄7/3 内 Hue2.5Y 淡黄6/2	黑色光沢粒多量 乳白色 (3mm前後) 1ヶ 赤色斑	堅	163・166 同一個体?
165	24	—	S-15	③横位と斜位の山形押型文	③山形押型文	外 Hue2.5Y にぶい黄褐6/3 内 Hue5YR 淡黄7/3	乳白色 (8mm前後1ヶ) 透明光沢粒 白色光沢粒多量 赤色光沢粒	堅	164・166 同一個体?
166	24	—	S-15	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄6/4 内 Hue2.5Y 淡黄7/3	透明光沢粒 乳白色 茶褐色光沢粒少量	堅	164・165 同一個体?
167	24	—	R-15	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/3	乳白色粒多量 半透明粒 茶褐色	堅	
168	24	—	R-15	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	乳白色粒多量 透明粒 黑色粒	堅	
169	24	—	T-16	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR 橙7/6 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	乳白色粒多量 半透明粒 茶褐色	堅	
170	24	—	Q-14	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄褐7/3 内 Hue2.5Y 淡黄6/4	透明光沢粒 黑色粒 白色粒 半透明粒	堅	
171	24	—	Q-14	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄褐7/4 内 Hue2.5Y 淡黄7/4	黑色粒 透明光沢粒 黑色光沢粒	堅	
172	24	—	R-13	②斜位の山形押型文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/6 内 Hue10YR にぶい黄褐6/4	乳白色半透明粒多量 黑色光沢粒	やや堅穢	
173	24	—	R-14	③横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue5YR 暗赤6/6 内 Hue5YR にぶい橙7/4	乳白色粒 黑色光沢粒	堅	
174	24	15	S-15	①透続押型文 ②崩壊した山形押型文	②崩壊した山形押型文	外 Hue5YR にぶい橙6/6 内 Hue5YR にぶい橙7/4	半透明粒少量 黑色光沢粒少量	堅穢	
175	24	—	S-16	③横位の崩れた山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR 淡黄褐7/4 内 Hue2.5Y 淡黄6/3	半透明粒 (1mm~2mm) 多量 白色粒多量 黑色光沢粒	やや堅穢	
176	25	15	S-15	①山形押型文 ②斜位に帯状の山形押型文	②山形押型文	外 Hue10YR にぶい黄褐6/4 内 Hue10YR にぶい黄褐6/4	白色粒多量 乳白色光沢粒 黑色粒	堅穢	
177	25	—	U-16	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue10YR 明黄褐6/6 内 Hue10YR にぶい黄褐5/4	黄色 乳白色粒多量 茶褐色	堅	
178	25	—	R-14	③斜位の山形押型文 ④ナデ	③・④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄褐6/4 内 Hue10YR にぶい黄褐7/3	乳白色粒多量 透明粒多量 黑色光沢粒多量	やや堅穢	
179	25	—	T-15	②横位の椿円押型文	②椿円押型文	外 Hue7.5YR にぶい橙5/3 内 Hue10YR 灰黄褐5/2	透明粒 黑色光沢粒	やや堅	
180	25	—	Q-14	②横位の椿円押型文	②山形押型文	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 淡黄7/4	黑色光沢粒 透明光沢粒 (極小) 白色移粒 (7mm大) 1ヶ	堅	
181	25	—	V-16	②複位の椿円押型文	②椿円押型文	外 Hue7.5YR 淡黄7/3 内 Hue10YR 淡黄褐5/4	黑色光沢粒少量	堅	
182	25	—	U-16	②複位の椿円押型文	②椿円押型文	外 Hue5YR にぶい橙5/4 内 Hue10YR にぶい黄褐5/3	半透明粒少量	堅穢	

No.	押印	回版	出土地点	文様・調整		色調	施土	模成	備考
				外面	内面				
183	25	—	R-14	②横位の構円押型文	③ナデ	外 Hue10YR に近い黄橙7/4 内 Hue10YR に近い黄橙7/3	白色砂粒(1mm~3mm) 灰色粒	卑級	
184	25	—	T-16	③横位の構円押型文	③ナデ	外 Hue25Y 黄灰6/1 内 Hue25Y 淡黄8/3	黑色光沢粒 透明粒多量 青母 白色粒	堅	
185	25	—	U-16	③横位の構円押型文	③ナデ	外 Hue25Y 淡黄8/4 内 Hue25Y 灰黄7/2	黑色光沢粒 半透明光沢粒多量 灰粒	やや堅級	
186	25	—	R-11	③横位の構円押型文	③ナデ	外 Hue25Y 淡黄7/4 内 Hue25Y 淡黄7/4	乳白色光沢粒多量 黑色光沢粒少量	堅	
187	25	—	S-16	③横位の構円押型文	③ナデ	外 Hue25Y 淡黄7/4 内 Hue25Y 淡黄7/3	乳白色光沢粒 黑色光沢粒	堅	
188	25	—	R-14 R-15	③横位の構円押型文	③ナデ	外 Hue25Y 淡黄7/3 内 Hue25Y 灰黄6/2	白色粒 孔白色光沢粒	やや堅級	
189	25	—	R-14 R-15	③横位と横位の構円押型文	③ナデ	外 Hue10YR に近い黄橙6/4 内 Hue25Y に近い黄6/3	乳白色光沢粒多量	堅	
190	25	—	T-16	③横位と横位の構円押型文	③ナデ	外 Hue75YR に近い橙7/4 内 Hue10YR に近い黄7/3	黑色光沢粒(0.5mm~2mm) 白色粒	やや堅級	
191	25	—	U-15	③横位と斜位の崩れ気味の構円押型文	③ナデ	外 Hue25Y に近い黄6/3 内 Hue25Y に近い黄6/3	青母 黄色粒 灰色无鉄粒(2mm前後)	堅級	
192	25	—	R-15	③横位と斜位の構円押型文	③ナデ	外 Hue75YR 橙7/6 内 Hue75YR に近い橙6/4	透明粒多量 黑色光沢粒	やや堅	
193	26	—	V-16	③横位と斜位の構円押型文	③ナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue25Y 淡黄7/3	透明粒多量 黑色光沢粒多量	堅	
194	26	—	U-15	③斜位の構円押型文	③ナデ	外 Hue10YR に近い黄6/5 内 Hue10YR に近い黄7/4	黑色光沢粒 砂粒(3mm前後) 白色粒	堅	
195	26	—	U-15	③斜位の構円押型文	③ナデ	外 Hue10YR に近い黄6/4 内 Hue10YR 明赤6/6	砂粒(1mm~5mm) 灰色粒 白色粒 黑色光沢粒	堅	
196	26	—	T-15	②斜位の構円押型文 ②構状文(返体各張) ①山形押型文	②ナデ	外 Hue75YR に近い橙6/3 内 Hue25Y 淡黄7/3	半透明粒 黑色光沢粒	堅	
197	26	—	T-15	②高位の構円押型文 ②横位の押型文	②ナデ	外 Hue5YR に近い赤褐5/4 内 Hue5YR に近い赤褐5/4	白色粒(2mm前後)1ヶ	堅	
198	26	—	R-14	③斜位の構円押型文	③ナデ	外 Hue75YR 橙7/6 内 Hue25Y 淡黄7/3	黑色光沢粒 乳白色光沢粒	堅	
199	26	—	R-15	③斜位の構円押型文	③ナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue5YR 明赤5/6	乳白色光沢粒 黑色光沢粒 砂粒(2mm~4mm) 少量	やや堅級	
200	26	—	R-15	③斜位の構円押型文	②構円押型文	外 Hue5YR に近い橙6/4 内 Hue5YR 明赤5/6	砂粒(3mm前後)	やや堅級	
201	26	—	T-16	③斜位の構円押型文	②構円押型文	外 Hue25Y 淡黄8/4 内 Hue25Y 淡黄7/3	乳白色光沢粒 黑色光沢粒	堅	
202	26	—	T-15	③斜位のひし形構円押型文	③ナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue25Y 淡黄7/4	透明光沢粒(極小) 灰色砂粒 乳白色粒	堅	
203	26	15	S-15	③複位のひし形構円押型文	③ナデ	外 Hue5YR 橙6/6 内 Hue5YR に近い橙6/4	乳白色粒	堅	

204	26	—	R-15	③根位のひし形楕円押 型文	③ナデ 型文	外 Hue10YR にぶい黄緑6/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/4 Hue6/4	光沢粒(極小) 乳白色粒(0.5mm~2mm)少量 茶色粒	やや堅敏	
205	26	—	Q-11	③楕位のひし形楕円押 型文	③ナデ 型文	外 Hue10YR 黄緑8/6 内 Hue2.5Y 浅黄7/4	乳白色粒(極小~3mm) 半透明粒 黑色粒(極小)	堅	
206	26	—	Q-15	③根位のひし形楕円押 型文	③ナデ 型文	外 Hue10YR 黄緑8/6 内 Hue2.5Y 浅黄7/4	透明光沢粒 黑色粒多量	堅	
207	26	—	R-14	③斜位のひし形楕円押 型文	③ナデ 型文	外 Hue7.5YR 7/6 内 Hue7.5YR にぶい黄緑6/4	透明光沢粒(極小) 黑色粒	堅	
208	26	—	Q-15	③斜位のひし形楕円押 型文	③ナデ 型文	外 Hue7.5YR にぶい黄緑7/4 内 Hue7.5YR 浅黄7/4	黑色粒多量	堅	
209	26	—	R-12	②格子口状押型文	②楕状文(原体柔軟) ・格子口状 押型文	外 Hue2.5Y 黄緑8/4 内 Hue2.5Y 浅黄8/4	黑色光沢粒多量 透明光沢粒 乳白色粒	堅	
210	26	15	O-13	②格子口状押型文	②楕状文(原体柔軟) ・格子口状 押型文	外 Hue2.5Y 浅黄7/4 内 Hue2.5Y 浅黄7/4	半透明粒(1mm~2mm)多量 白色粒(1mm~2mm)多量 跡粒少量 黑色光沢粒多量	やや堅敏 穿孔あり	
211	28	—	U-16	③撚糸文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄緑7/4 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明光沢粒多量 黑色光沢粒	堅	
212	28	15	Q-15	③沈縫文	③ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/4 内 Hue10YR にぶい黄緑7/4	半透明粒多量 跡粒多量 黑色光沢粒少量	堅敏	
213	28	—	U-16	③撚糸文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄緑7/4 内 Hue10YR にぶい黄緑7/3	黑色光沢粒少粒 半透明粒多量 魅石のスコリア少量	堅	



第29図 A地区第IV層石器実測図(1)

的で菱形状のものを「楕円B類」に分け、さらに施文方向や施文部位等でそれぞれ分類した。ただし胸部については一括で取り扱った。また、176など埴類の手向山式と思われるものも存在するが、埴類の中に分類した。A地区の押型文土器は表2のとおりである。出土状況は、調査区東側に集中して分布している。

山形A類 A地区では口縁部の出土ではなく胸部のみである。S16グリット付近に分布している。

山形B類 口縁部の施文方向は一定でなく横、縱、斜に分かれる。174は横施文で、口唇部に横状文（原体条痕）の代替かと思われる連続押圧文を施している。176は、胸部から頸部にかけて内傾し口縁部は垂直に立ち上がる。文様は、斜位帶状に施す。164～166は同一個体と思われる。177は無文の部分がある。

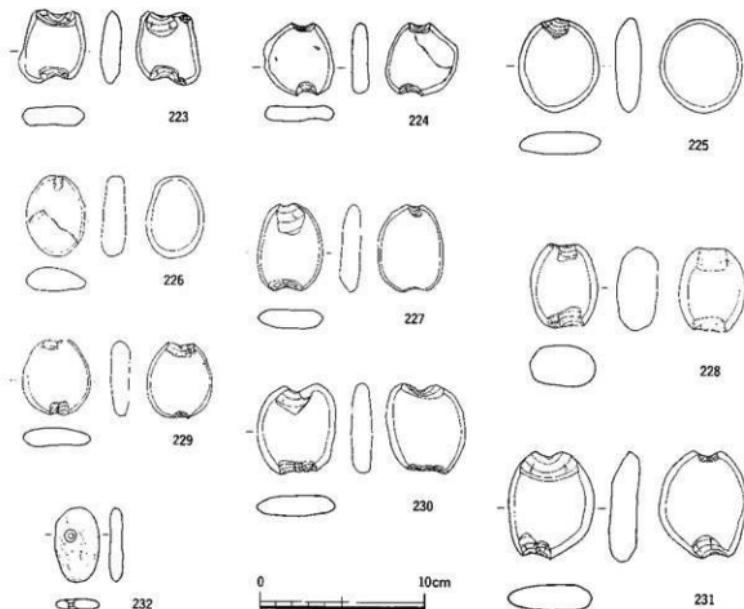
楕円A類 180は裏側施文が山形押型文である。196も裏側施文が開延びした山形押型文で横状文を施す。

楕円B類 202～208は胸部で直線的な菱形状の押型文である。Q16・R16グリット付近に分布している。

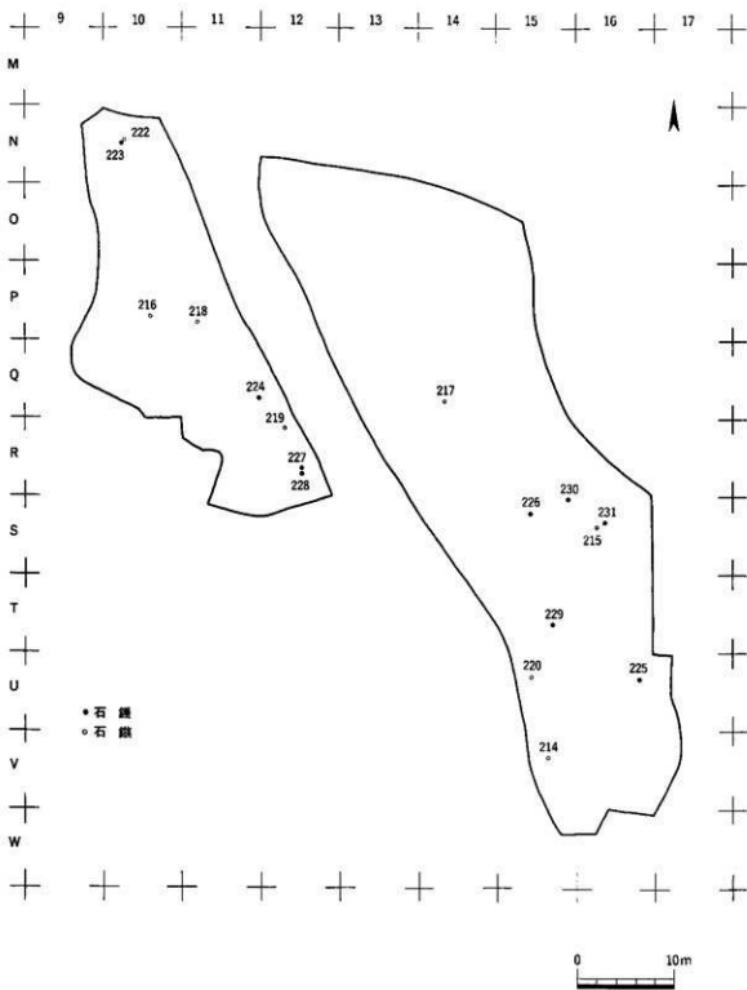
格子目押型文 (209・210) 210はO13グリットで出土し口縁部下に穿孔をもつ。

VII類土器 (211～213)

「手向山式」で、器形は口縁部大きく外反し胸部で屈曲する。文様は、212の沈線文や211・213の撲糸文を施す。押型文施文はVII類に分類した。

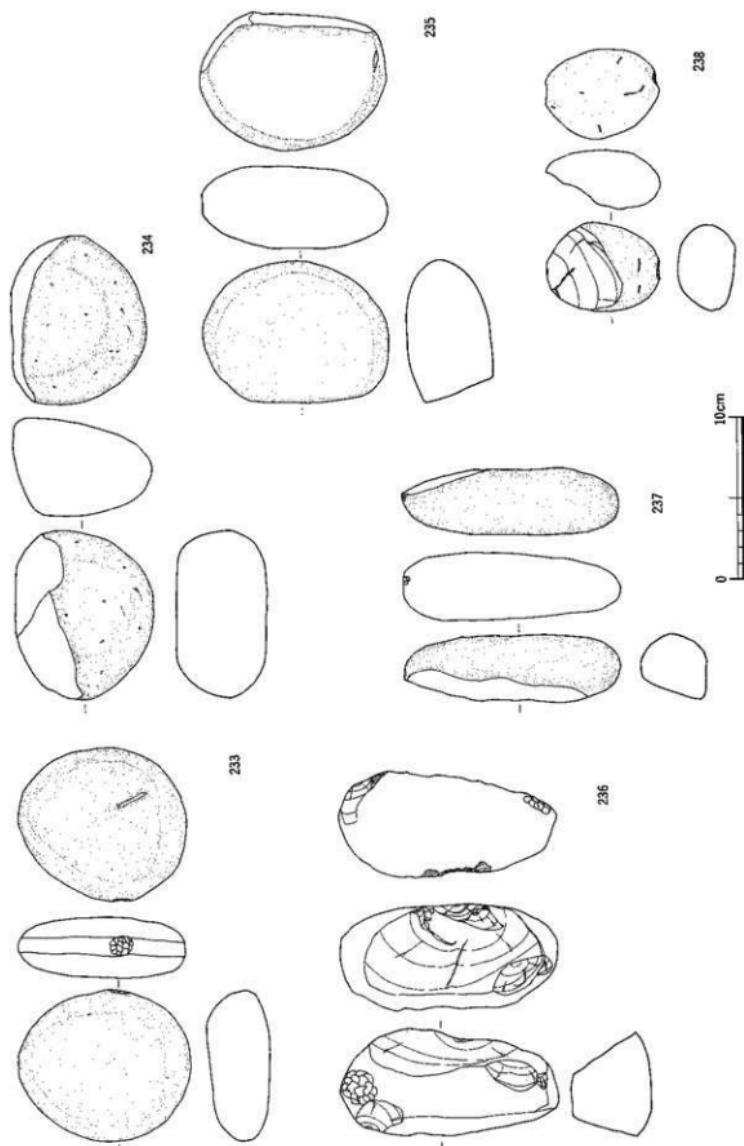


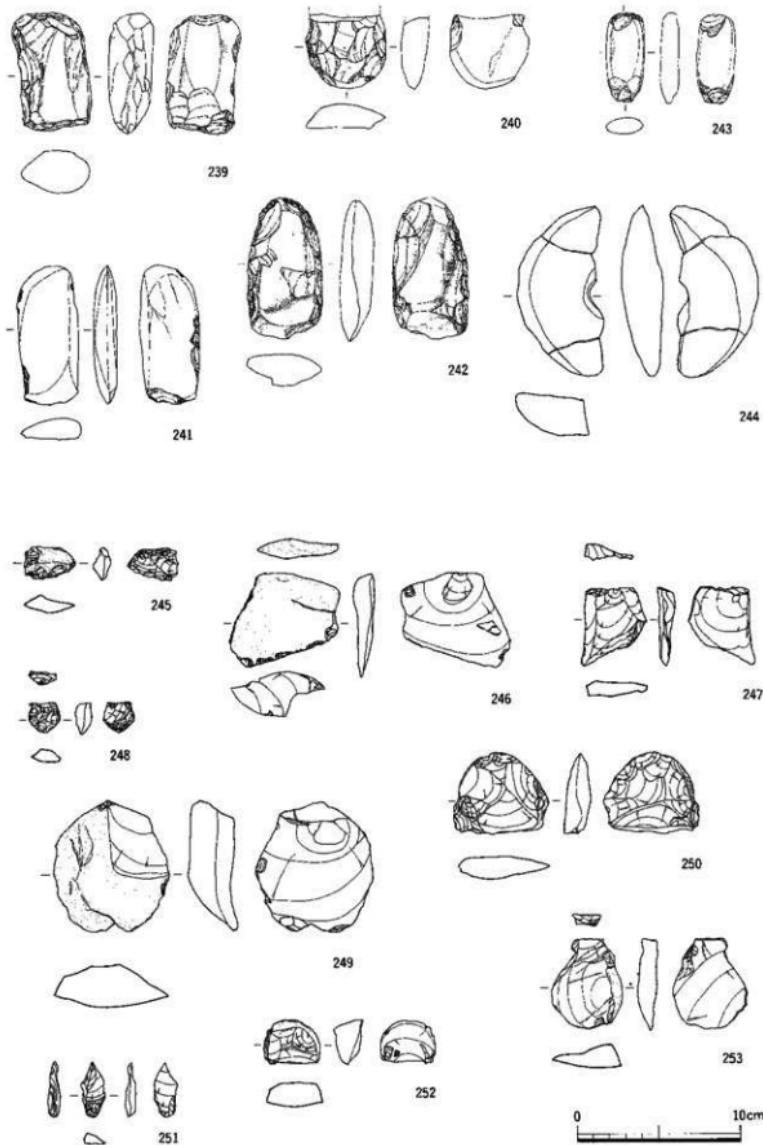
第30図 A地区第IV層石器実測図(2)



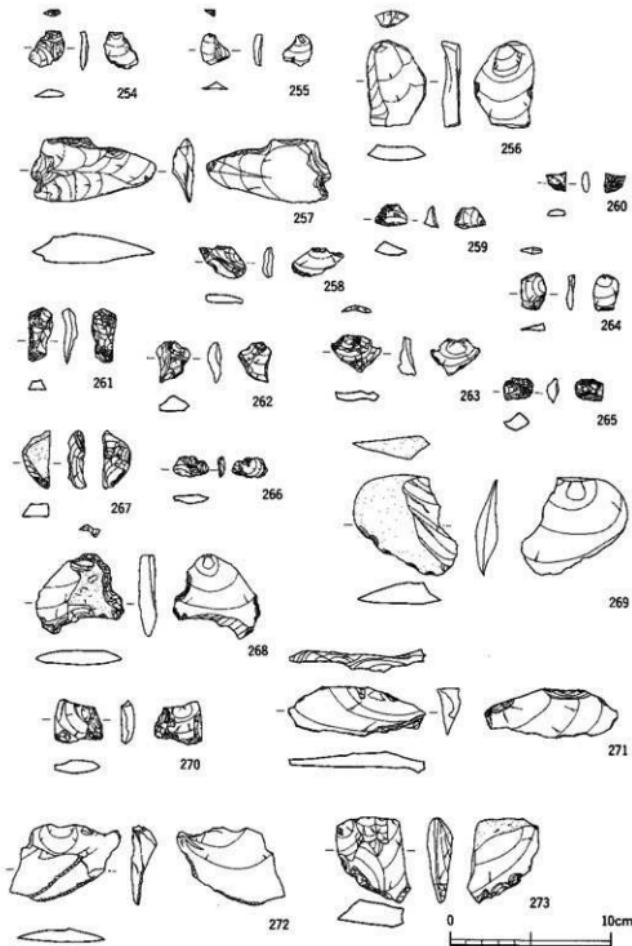
第31図 A地区第M層石器分布図(1)

第32图 A地区第IV层石器实测图(3)

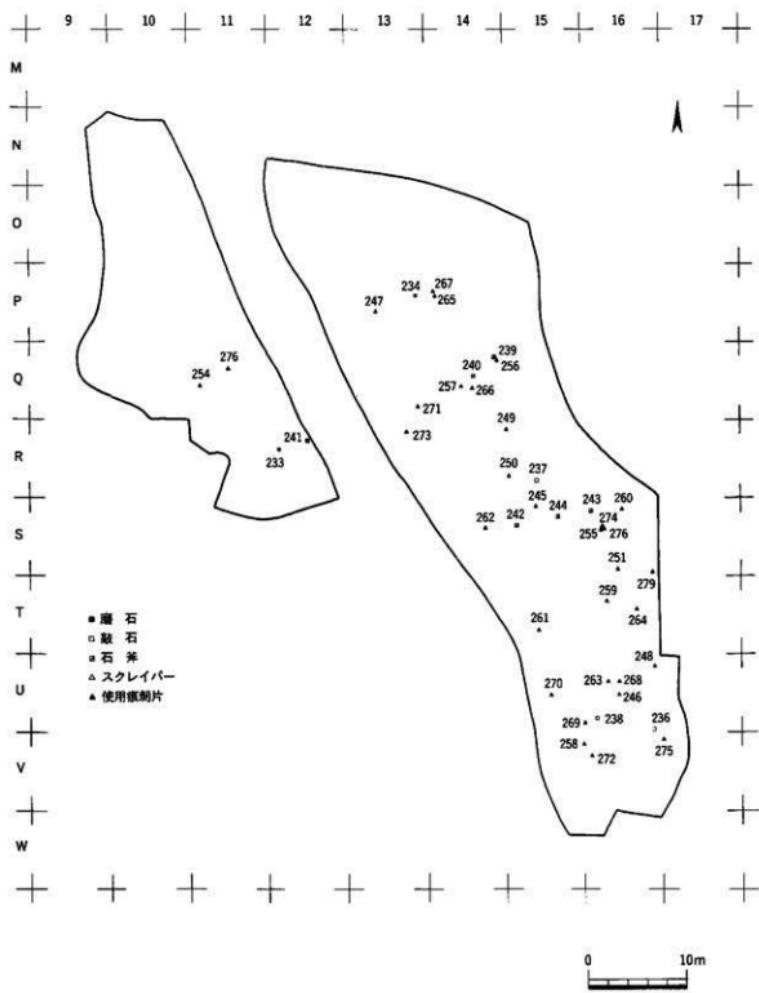




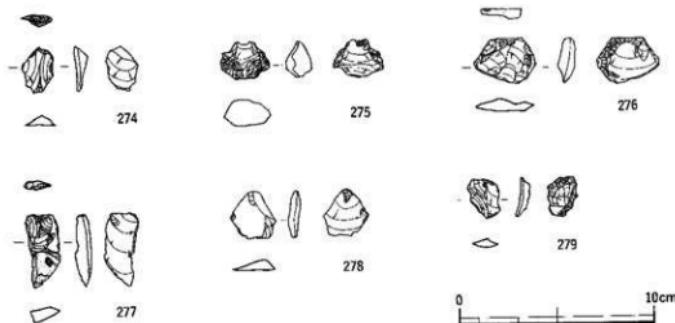
第33図 A地区第IV層石器実測図(4)



第34図 A地区第IV層石器実測図(5)



第35図 A地区第IV層石器分布図(2)

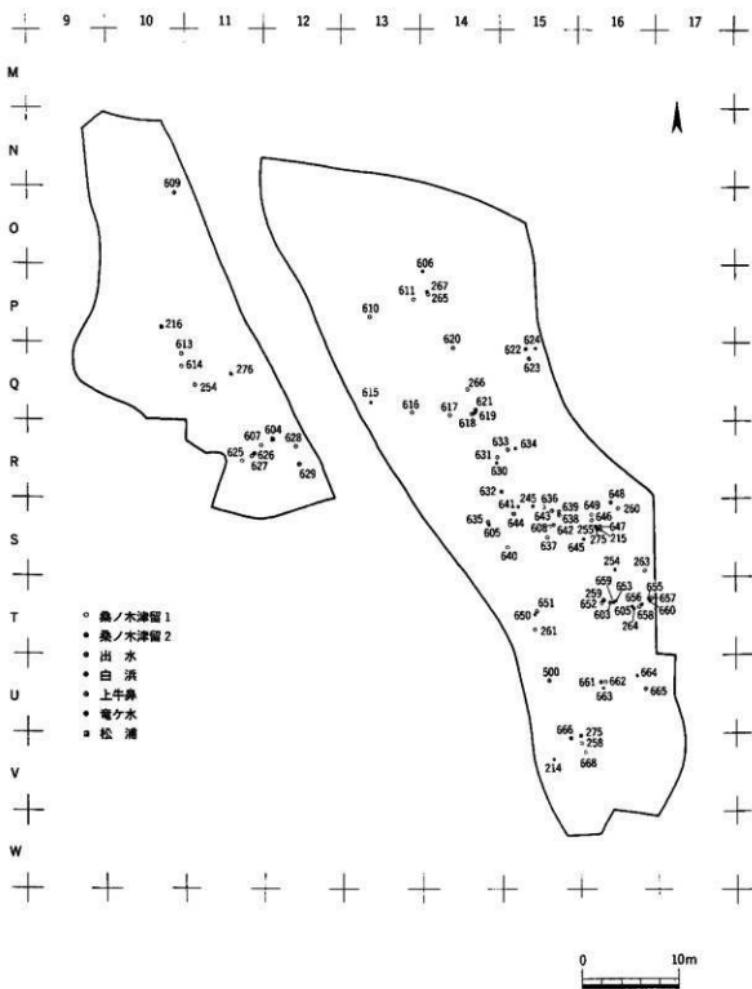


第36図 A地区第IV層石器実測図(6)

表-4 A地区第IV層石器観察表

No.	挿図	図版	出土地点	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	備考
214	29	—	V-15	石 鐵	1.15	1.0	0.25	0.5	黒曜石a	
215	29	—	S-16	石 鐵	1.90	1.4	0.3	0.5	黒曜石a	
216	29	—	P-10	石 鐵	2.0	1.95	0.45	1	黒曜石d	
217	29	19	Q-14	石 鐵	2.3	2.1	0.55	2	チャート	
218	29	—	P-11	石 鐵	3.0	1.75	0.55	2	頁岩(硬質)	
219	29	19	R-12	石 鐵	2.45	1.55	0.35	1	頁岩	
220	29	19	U-15	石 鐵	3.1	1.6	0.35	1	チャート	
221	29	19	Q-11	石 鐵	2.45	1.0	0.55	1	黒曜石	異形石鐵?
222	29	—	N-10	石 鐵	4.45	2.55	1.2	10	頁岩	
223	30	19	N-10	石 錘	4.4	3.95	1.15	29	砂岩	
224	30	—	Q-11	石 錘	4.35	4.20	1.05	26	砂岩	
225	30	—	U-16	石 錘	5.75	5.0	1.5	53	砂岩	
226	30	—	S-15	石 錘	4.95	3.5	1.5	31	砂岩	
227	30	—	R-12	石 錘	5.35	3.95	1.2	34	砂岩	
228	30	19	R-12	石 錘	5.15	4.05	2.45	69	砂岩	
229	30	—	T-15	石 錘	4.6	3.95	1.1	30	砂岩	
230	30	—	S-15	石 錘	5.25	4.7	1.25	49	砂岩	
231	30	20	S-16	石 錘	6.3	5.3	1.65	79	砂岩	
232	30	20	O-10	浮子	4.5	2.15	0.85	3	軽石	
233	32	20	R-12	磨石	10.45	9.45	3.7	466	砂岩(中粒)	側面敲打痕あり
234	32	—	P-13	磨石	8.35	10.3	5.95	700	尾鈴山酸性岩	
235	32	—	Q-14	磨石	11.4	8.75	5.05	730	砂岩(細粒)	
236	32	—	U-16	敲石	13.25	6.6	6.25	715	流紋岩	
237	32	—	R-15	敲石	13.2	4.15	4.2	316	砂岩(細粒)	

238	32	—	U-16	巖 石	6.95	5.5	3.5	150	珪質砂岩	
239	33	—	Q-14	石 斧	7.25	4.2	2.65	120	ホルンフェルス	
240	33	—	Q-14	石 斧	4.4	4.8	1.6	46	ホルンフェルス	
241	33	20	R-12	石 斧	8.45	3.6	1.35	57	ホルンフェルス	
242	33	20	S-15	石 斧	8.65	4.5	1.95	96	頁岩	
243	33	20	S-16	石 斧	5.45	2.25	1.1	17	硬質頁岩	
244	33	20	S-15	石 斧	10.45	4.95	2.5	81	溶結凝灰岩	環状石斧
245	33	—	S-15	スクレイパー	1.95	3.0	1.05	5	黒曜石a	
246	33	20	U-16	スクレイパー	5.3	6.4	1.2	41	頁岩	
247	33	—	P-13	スクレイパー	4.5	3.65	0.95	15	ホルンフェルス	
248	33	—	U-16	スクレイパー	1.8	1.8	1.0	3	黒曜石k	
249	33	20	R-15	スクレイパー	7.8	7.0	2.65	154	頁岩	
250	33	—	R-15	スクレイパー	4.9	5.7	1.5	49	頁岩	
251	33	—	S-16	スクレイパー	3.35	1.4	0.6	2	黒曜石a	
252	33	—	S-15	スクレイパー	2.6	3.4	1.7	14	黒曜石	
253	33	—	V-16	スクレイパー	5.5	4.5	1.15	28	頁岩	
254	34	—	Q-11	使用痕剥片	2.1	1.9	0.4	2	黒曜石a	
255	34	—	S-16	使用痕剥片	1.95	1.6	0.5	3	黒曜石a	
256	34	—	Q-14	使用痕剥片	5.3	3.45	1.05	18	流紋岩	
257	34	—	Q-14	使用痕剥片	3.8	7.45	1.25	34	頁岩	
258	34	—	V-16	使用痕剥片	1.85	2.55	0.55	2	黒曜石a	
259	34	—	T-16	使用痕剥片	1.2	1.9	0.8	1	黒曜石f	
260	34	—	S-16	使用痕剥片	1.25	1.15	0.4	0.5	黒曜石a	
261	34	—	T-15	使用痕剥片	3.3	1.45	0.7	3	黒曜石a	
262	34	—	S-14	使用痕剥片	2.35	2.0	0.8	2	黒曜石a	
263	34	—	S-16	使用痕剥片	2.25	2.95	0.95	3	黒曜石a	
264	34	—	T-16	使用痕剥片	2.2	1.55	0.35	1	黒曜石a	
265	34	—	P-14	使用痕剥片	1.2	1.75	0.7	2	黒曜石a	
266	34	—	Q-14	使用痕剥片	1.2	2.2	0.35	1	黒曜石a	
267	34	—	P-14	使用痕剥片	3.55	1.6	0.9	7	黒曜石a	
268	34	—	U-16	使用痕剥片	4.0	5.2	0.95	23	頁岩	
269	34	—	U-16	使用痕剥片	5.9	5.55	1.3	42	頁岩	
270	34	—	U-15	使用痕剥片	2.6	2.85	0.75	7	流紋岩	
271	34	—	Q-13	使用痕剥片	2.95	8.3	1.25	24	流紋岩	
272	34	—	V-16	使用痕剥片	4.6	5.45	1.4	26	頁岩	
273	34	—	R-13	使用痕剥片	5.45	3.9	1.55	30	流紋岩	
274	36	—	S-16	使用痕剥片	2.3	1.55	0.7	1	黒曜石e	
275	36	—	V-16	使用痕剥片	1.9	2.5	1.3	6	黒曜石a	
276	36	—	Q-11	使用痕剥片	2.3	3.2	0.85	6	黒曜石a	
277	36	—	S-16	使用痕剥片	3.65	1.55	0.8	4	黒曜石b	
278	36	—	S-14	使用痕剥片	2.35	2.25	0.5	2	黒曜石a	
279	36	—	S-16	使用痕剥片	2.0	1.45	0.45	1	黒曜石a	



第37図 A地区第1層黒曜石分布図

X類土器 (103~105・107~114)

無文のもので、条痕調整のものとナデ調整のものがある。

1類 (103・107~112) 条痕調整のみのもの。

2類 (113・114) ナデ調整だけの無文のもの。

X類土器

その他としてまとめた。また、底部もここに一括した。90は口縁部に7本1単位の条痕を横から斜めに施す。115は器面全体に継ぎ具剥落突文を施す。116と117は沈線文で幾何学文様を浅く施す。118は捺糸文で、119は繩文である。120~140は底部で垂直気味に立ち上がるものとやや外開きに立ち上がるものがある。すべて平底である。120は胴部条痕である。122は底部側面に縦位の刻線をめぐらす。130は底部内側に条痕調整がみられる。140は縦方向の荒目の条痕である。

b 石器

石器は、合計72点出土し、そのほとんどはA地区東側で出土している。スクレイバーや使用痕剥片は全域に分布しており、また石錐もまとまりのない出土状況である。石材は、剥片石器では黒曜石や頁岩の利用が多く、石錐は砂岩、磨石は尾鈴山酸性岩類の利用がみられる。黒曜石は、桑ノ木津留第1群と第2群がほとんどで全域に散布し、竜ヶ水や上牛鼻がA地区東南部で数点みられる。また、西北九州からのものは、A地区ではR12グリッドで1点のみ出土した。

石鎚 (214~222)

石鎚の形状により3角形のもの (214~218) と抉りをもつもの (219・220) に分けられる。また、222のように大型のものや221のような異形石鎚も出土している。

石錐 (223~231)

石錐はすべて打ち欠きで、長軸方向の両側に打撃を加えている。長さ6cm前後、幅4cm前後、重さは30g前後が多い。石材は、ほとんど砂岩を使用している。

浮子 (232)

浮子は1点のみ出土している。形状は扁平な長楕円状で穿孔が1箇所施される。軽石製である。

磨石・敲石 (233~238)

233は磨石で、側面に敲打痕がある。236~238は敲石で、石材は他の遺跡と同様で、砂岩や尾鈴山酸性岩類である。

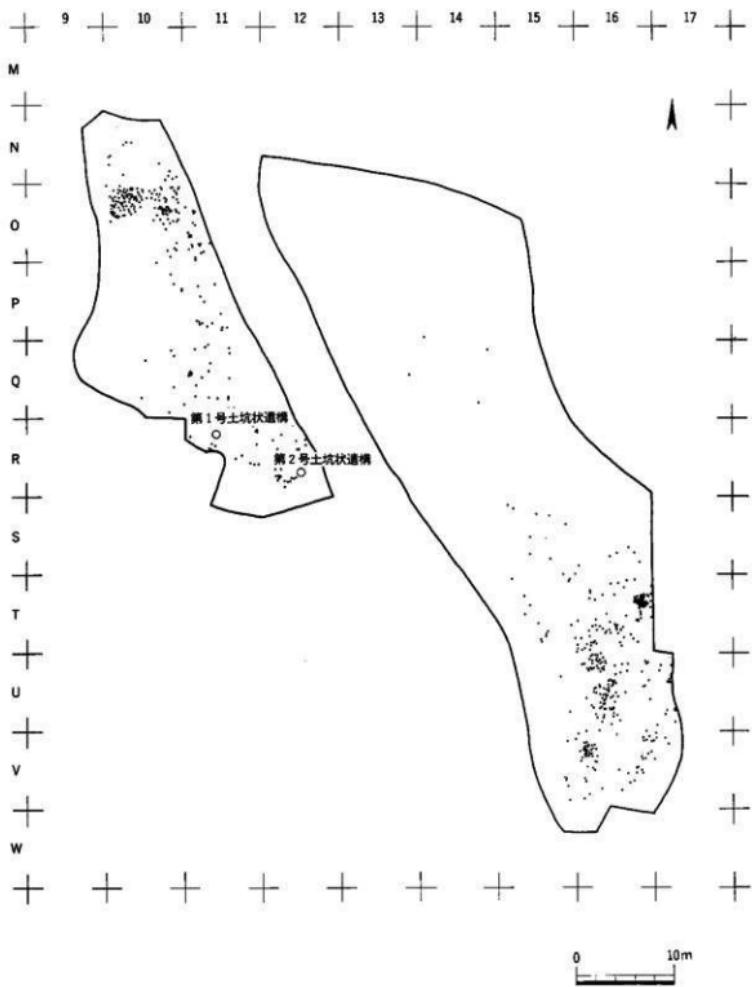
石斧 (239~244)

239は欠損。241は刃部のみ研磨され、自然面を残す。242はほぼ完形品で、両側を加工して先端部を研磨し刃部を作っている。243は小型石斧で、上下は欠損している。刃部は研磨されており丁寧な加工である。244は、片面が扁平な溶結凝灰岩の環状石斧である。そのほかの石斧は頁岩かホルンフェルスが使用されている。

スクレイバー (245~253)

スクレイバーは、黒曜石や頁岩など硬質の石材が使用されている。エンドスクレイバーとするもの (245・246)、ラウンドスクレイバーとするもの (248~250)、サイドスクレイバーとするもの (251~253) がある。

使用痕剥片 (254~279)



第38図 A地区第Ⅱ層調査状況図

使用痕を有する割片は、剥離痕の形状により三明形のもの（254～257・274～278）、長方形状の剥離が認められるもの（258～266・279）、深い弧状の輪郭をもつもの（267～273）がある。石材は、黒曜石が圧倒的に多く使用されている。

2 第Ⅱ層の構造と遺物

1 遺構

遺構は、調査区西側で土坑状遺構が2基検出されただけである。遺物が集中するO10グリット周辺でも遺構の痕跡はまったくみられなかった。

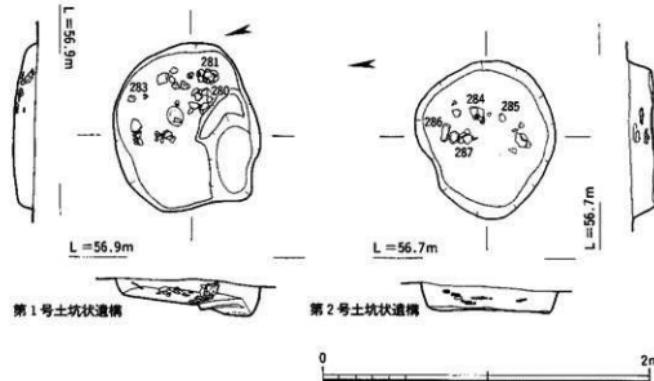
a 土坑状遺構

土坑状遺構は2基検出された。これは落ち込みのようなもので、いずれも調査区西側のRグリットから検出された。このグリット南側辺りは、表土下に2次アカホヤ（II a）層が極浅く堆積するのみで、アカホヤ（II b）層の堆積はほとんどなく、すぐにⅢ層が露呈する。そのため、あたかもⅢ層から掘り込まれたかのような状況で検出され、検出面がはっきりしない。さらに、埋土も2次アカホヤ（II a）層と称している土壤と粘質性に違いはある、色調はやや暗い感があるだけで酷似している。

第1号土坑状遺構（第39図）

この遺構は0.9m×1.0mのやや楕円状の落ち込みである。床面は3つのテラス状の段からなり、最上段で遺物が出土している。壁の立ち上がりはしっかりしており、深さは、浅いところで0.15m、深いところで0.25mを計る。埋土は暗黄色土である。遺物は土器を中心に出土した。280と281は、ヘラ状工具によるナデ調整のみの無文系土器で同一個体と思われる。器形は、胴部は張りをもたずまっすぐ開き気味に立ち上がり、口縁部は山形口縁でやや開き気味となる。色調は浅黄橙色である。282は口縁部に沈線を2本平行させ、その間に貝殻連続刺突文を施した磨消繩文を意識した土器である（IV-3類・分類基準は後述の「2遺物」参照）。口唇部は平坦で、内面とともに貝殻状痕がみられる。色調は浅黄橙色である。283は底部で、網代痕がある。色調はぶい黄橙色である。

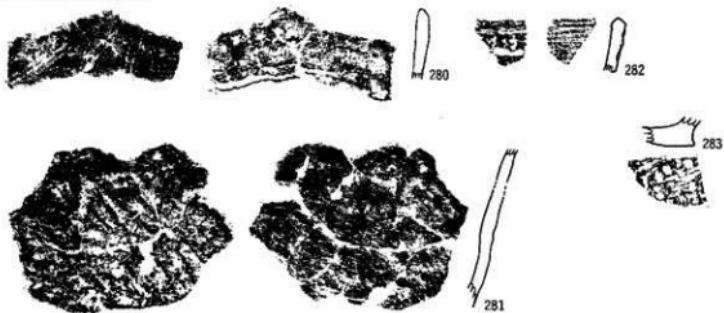
第2号土坑状遺構（第39図）



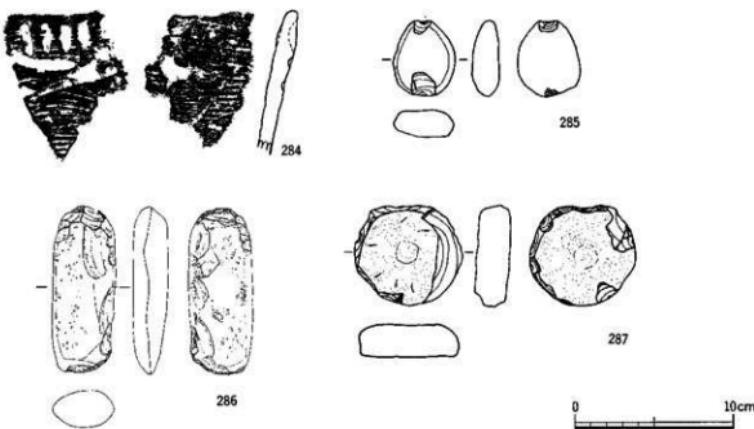
第39図 A地区第Ⅱ層第1・2号土坑状遺構実測図

第2号土坑状遺構は、R 12グリットで検出された。1.0m×0.85mのやや楕円形を呈する遺構である。床面は全体に平坦で壁の立ち上がりはしっかりとしている。深さは0.15m前後である。遺物が土坑中央で出土している。遺物は土器と石器が出土している。284は縦長の列点文を施し、その下に沈線文を廻らす。器面に貝殻条痕を残すが明瞭に見られるのは、この遺跡内ではこの1点のみで、他のものと比較すると違和感さえ感じられる。口縁部の文様形態等による分類ではI~4類である。色調はにぶい橙色である。285~287は石器である。285は石錐で、細粒砂岩を使用し長軸両端を打ち欠く。長さ4.6cm、幅4.0cm、重さ36gである。286は頁岩を使用した石斧で、両端を剥離させただけでそれ以外は磨かれている。長さ10.4cm、幅3.9cm、重さ134gである。287は側面に剥離調整を施した用途不明の石製品である。径6.5cm、器厚2.0cm、重さ144gの円錐（円盤）状で頁岩を使用し中央にヘソのような自然文様をもつ。

第1号土坑状遺構出土



第2号土坑状遺構出土



第40図 A地区第II層第1・2号土坑状遺構出土遺物実測図

2 遺物

a 土器

土器は小片なものが多く全体の形状や文様が把握できるものは少ない。そのため、口縁部の文様形態から、おもにヘラ状工具による列点文（I類）、貝殻腹縁による刺突文（II類）、沈線文のみ（III類）、磨消繩文系（IV・V類）に分類した。分布状況は、出土範囲が調査区内である程度まとまっており、特にO10グリッド周辺に密集している。詳細は表-5のとおりである。

I類土器 (288~345)

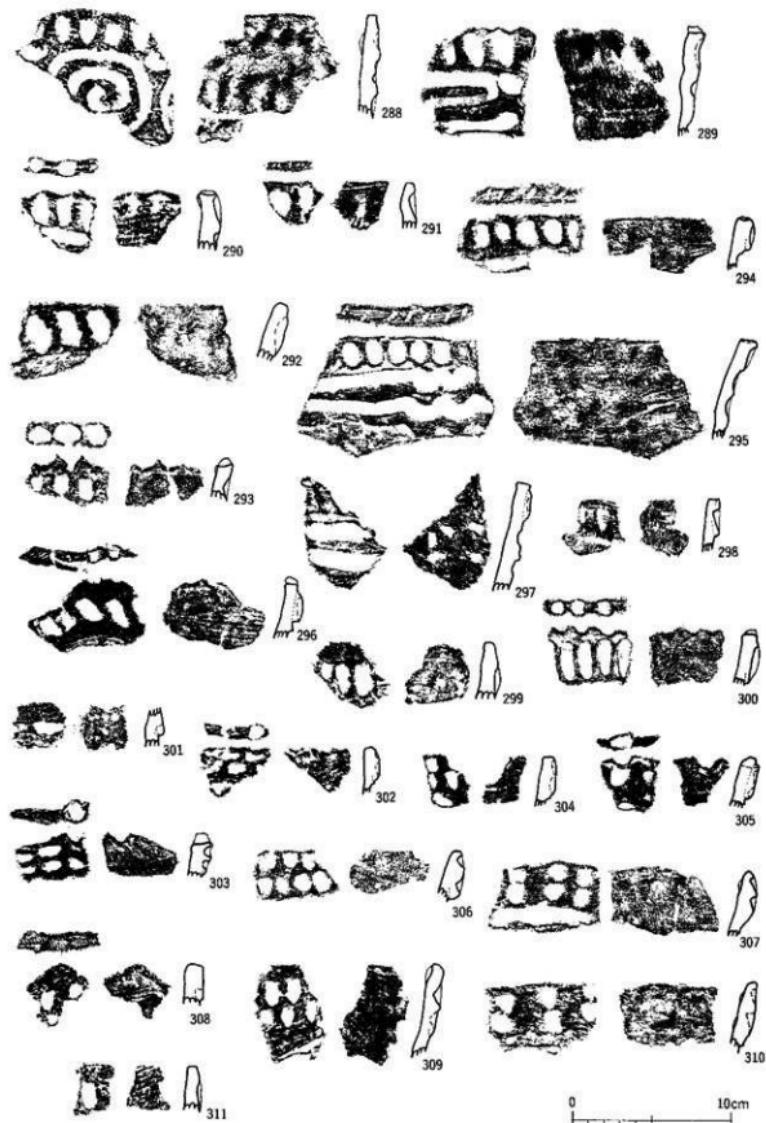
口縁部にヘラ状のもので列点文を施し、その下に沈線文を施す。条痕調整はナデ消されるものが多い口縁部のみの個体が多く脇部については定かでないことから、口縁部の文様形態のみから7類に分類した。1・2類は太めの列点文を1段施すのみで、列点文の施文幅が3類と比較して狭い。3類はさらに3分類されるが基本的には同じで、I類のなかでは一番強く口縁部を誇張する。

1 a類 (288・289) 大きな列点文を1段施し、やや幅広の沈線文を施す。器壁は厚い。b類よりも素朴さを感じる。288は列点文下に渦巻状の沈線文を施す。289は、口唇部の押圧状の刻印文に布状のような痕跡を残す。

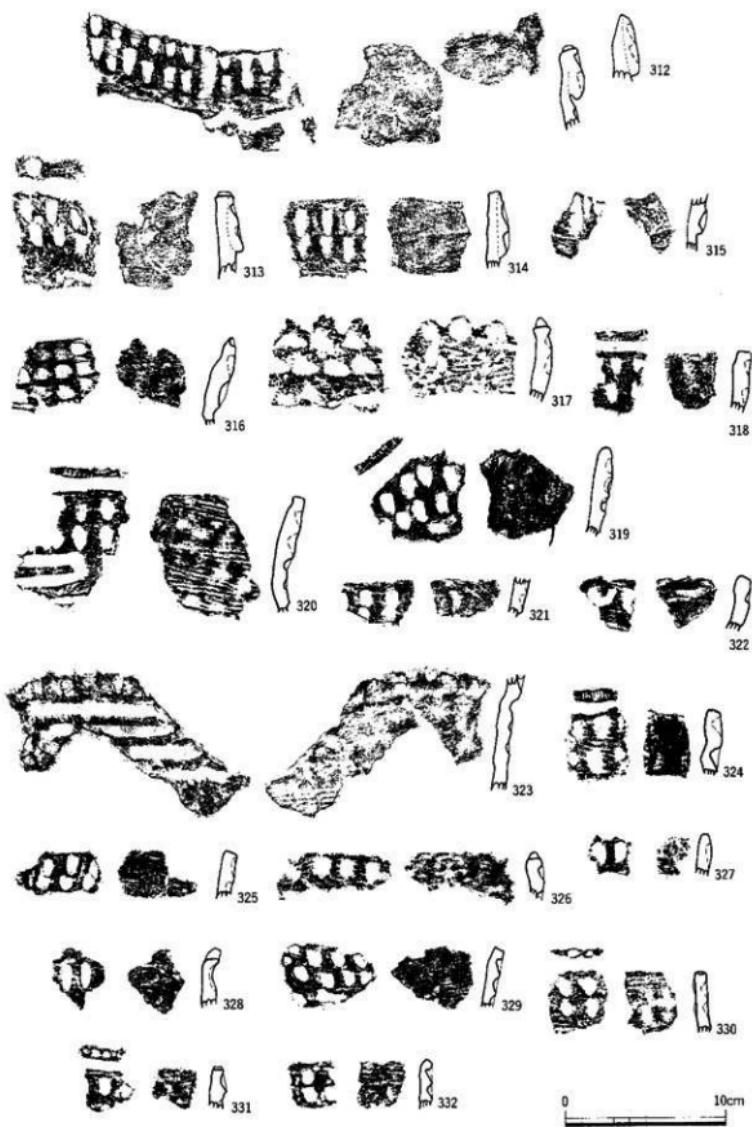
b類 (290~293) 大きな列点文を1段施し、やや幅広の沈線文を施す。a類よりも直線的である。基本的に

表-5 A地区第Ⅱ層繩文土器最低個体数集計表

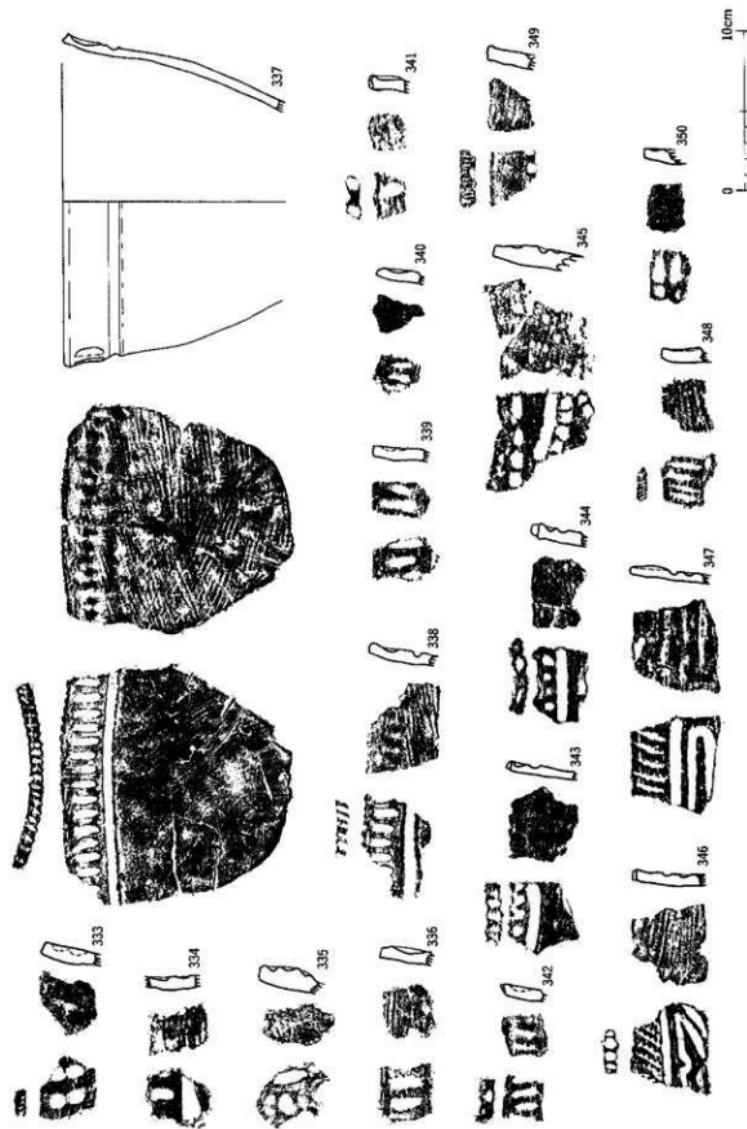
	I						II			III			IV			V			VI			VII			計	
	1		2		3		4		5	6	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3				
	a	b	a	b	a	b	c																			
N-10								1															1		2	
O-10	1	2	2	7	5	9	9	4			1	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	4		60	
O-11		1									1			2		1	1								6	
P-11																								2	2	
Q-11	1				1																		1	3		
Q-13			1																					1		
R-11	1					1	1	2		1		1	1											8		
R-12						3	1							1							1			6		
R-14														1										1		
T-15	1	1																						2		
T-16								1	1						1				3	2			8			
U-15																						1		1		
U-16			1	1							1									4	1		8			
U-17		1		1															2				4			
V-16		2	1						1	1				1						1			7			
V-17																					1		1			
小計	2	5	2	13	7	10	15	6	2	1	3	8	2	1	1	2	4	2	1	1	1	16	13	1		
計	63						3	11			7			4	1	1		30				120				



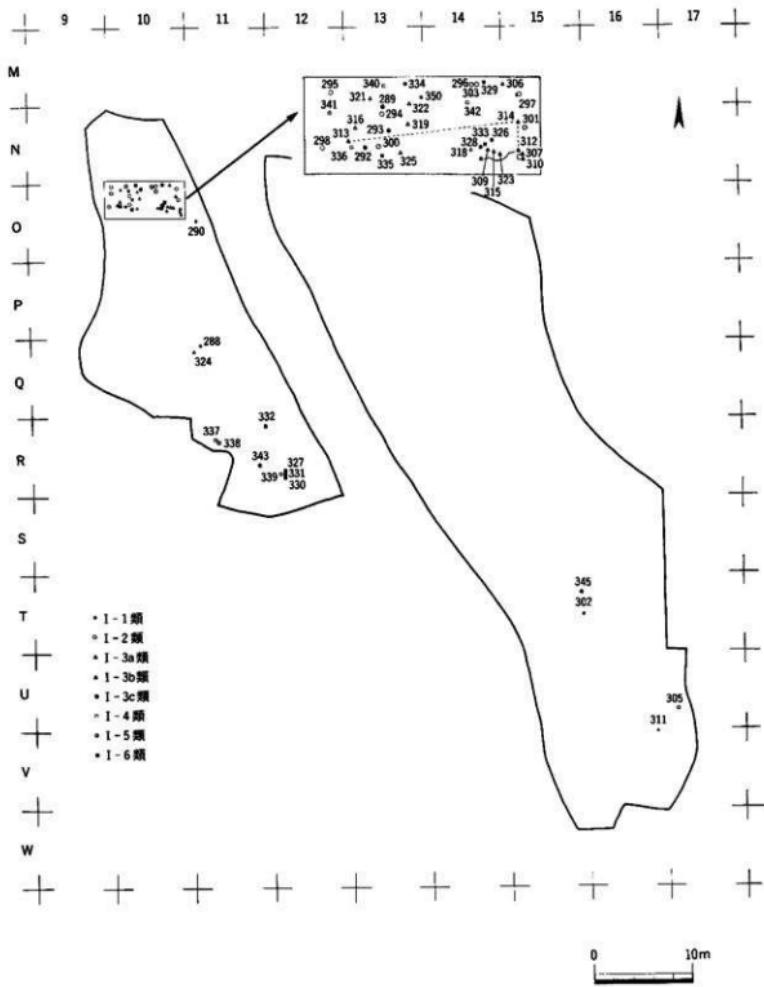
第41図 A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(1)



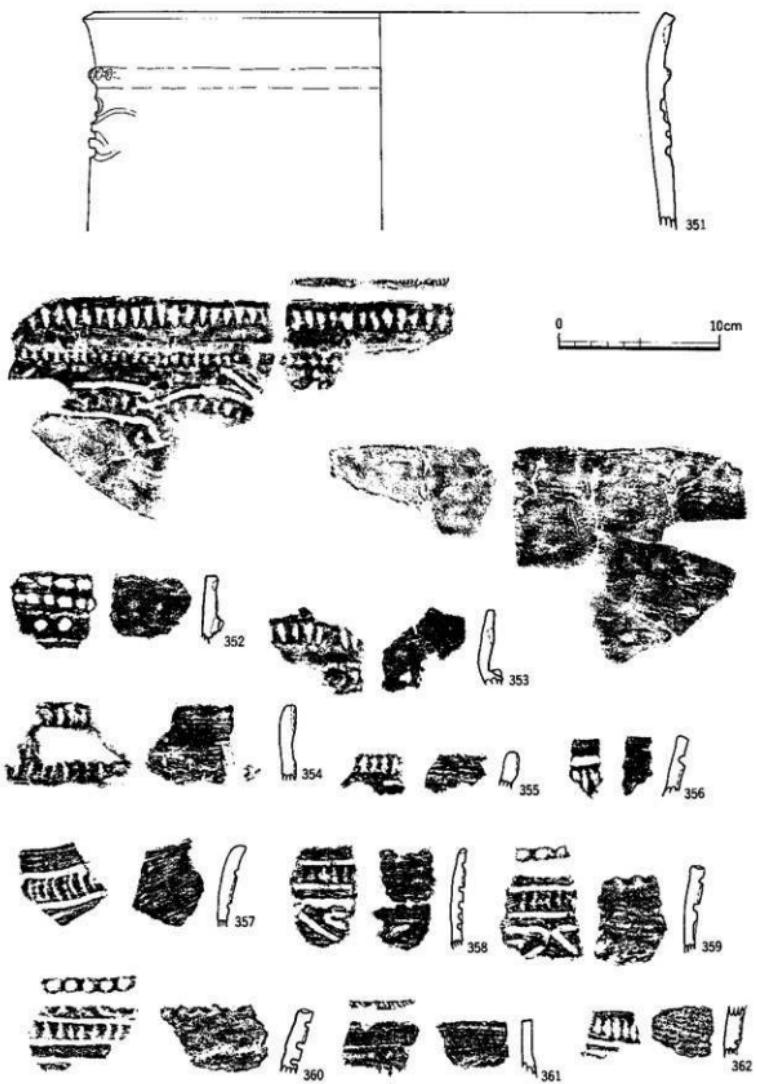
第42図 A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(2)



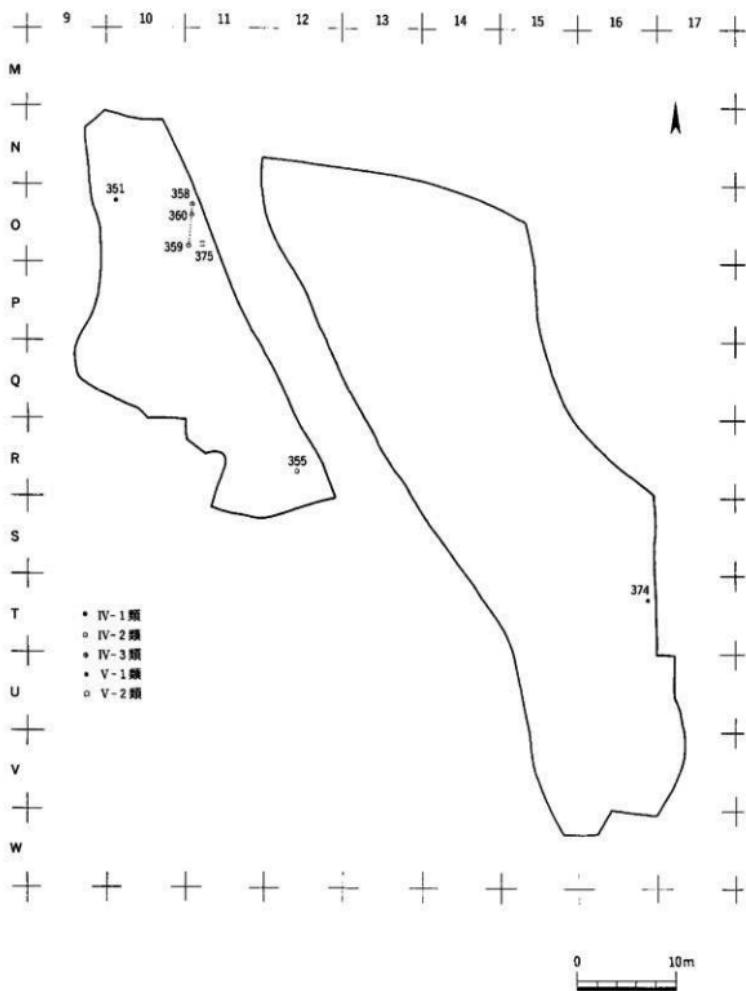
第43图 A地区第II层绳文土器实测图(1)



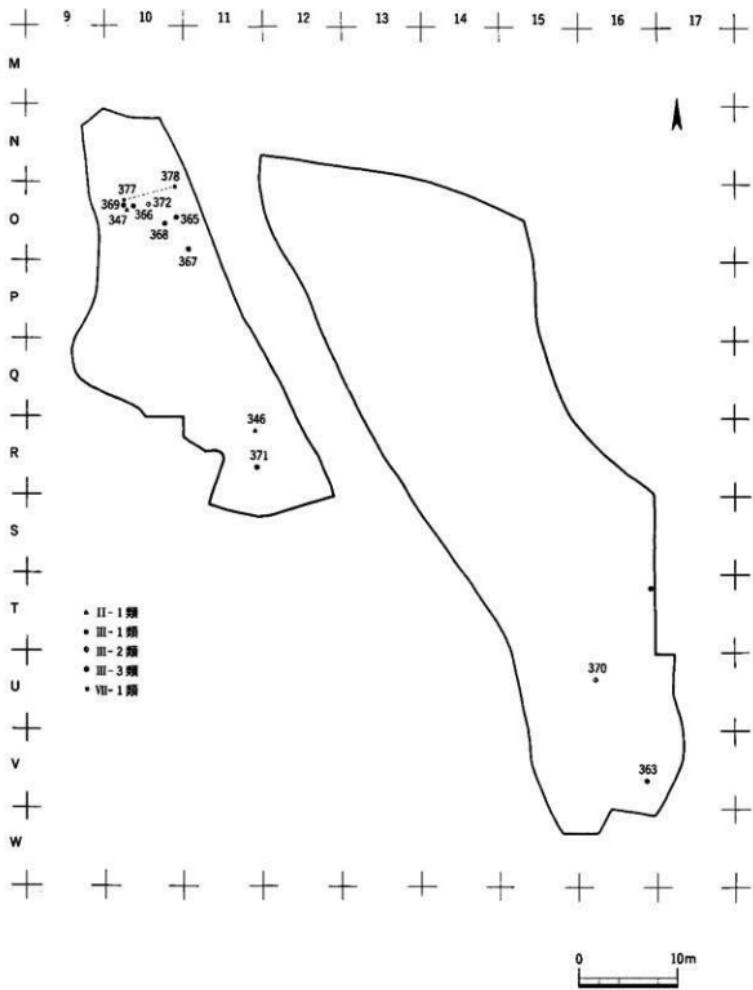
第44図 A地区第II層縄文土器（I類）分布図



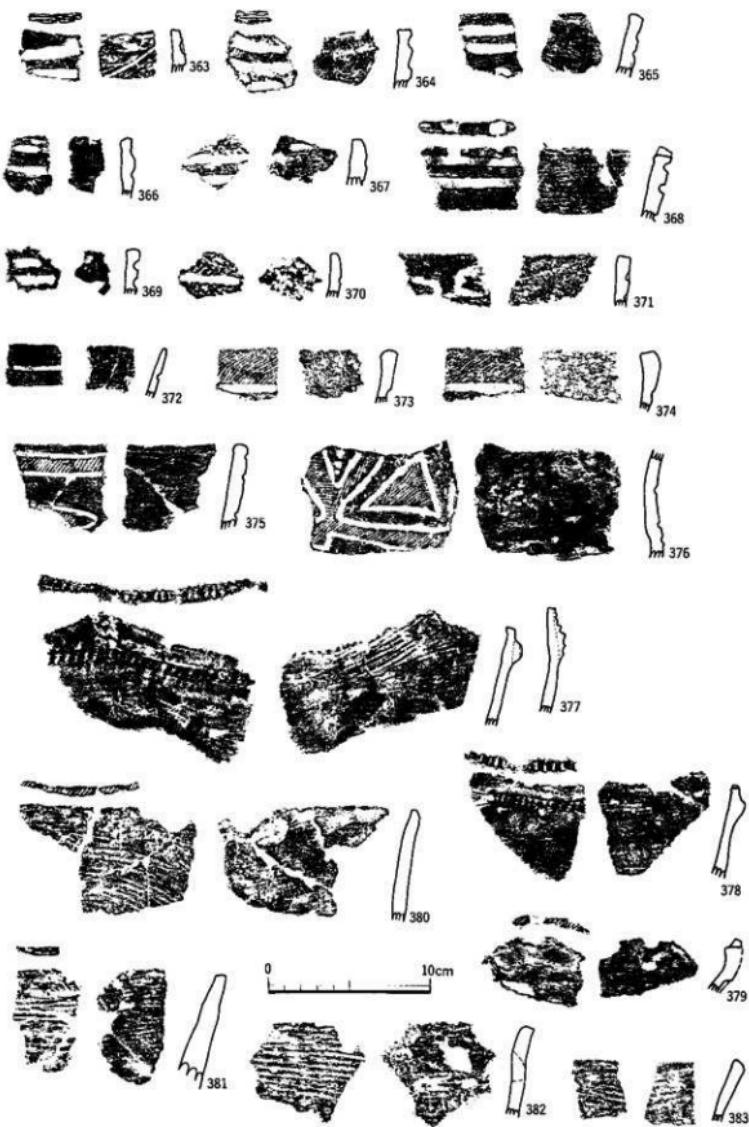
第45図 A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(4)



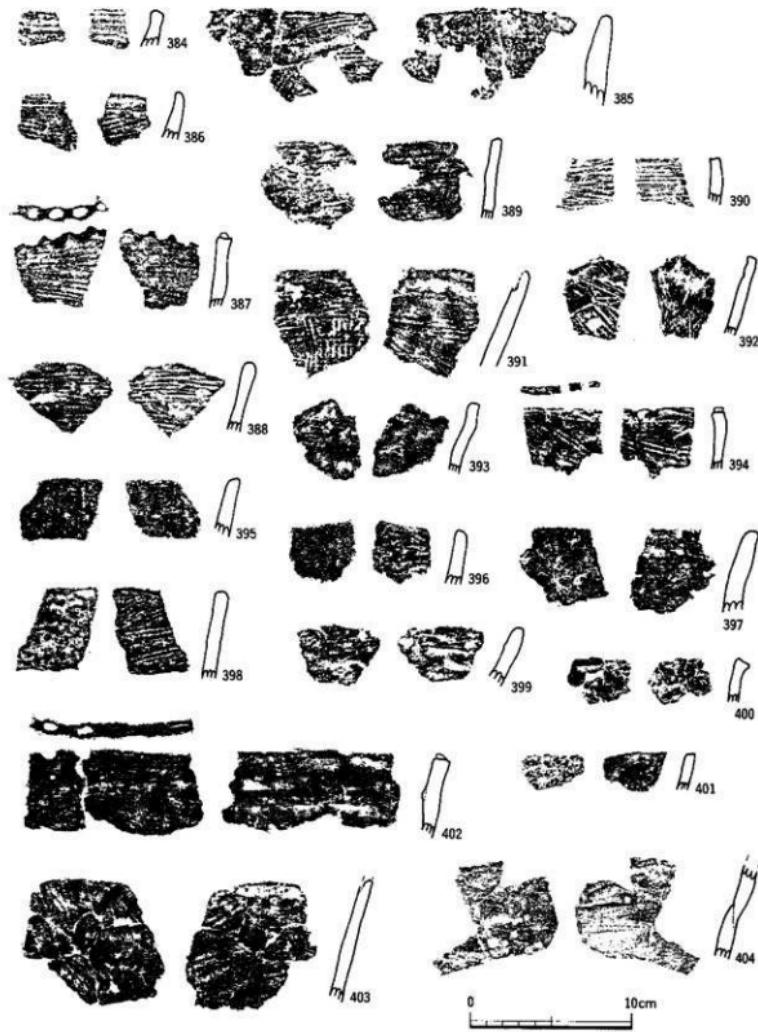
第46図 A地区第II層縄文土器(N・V類)分布図



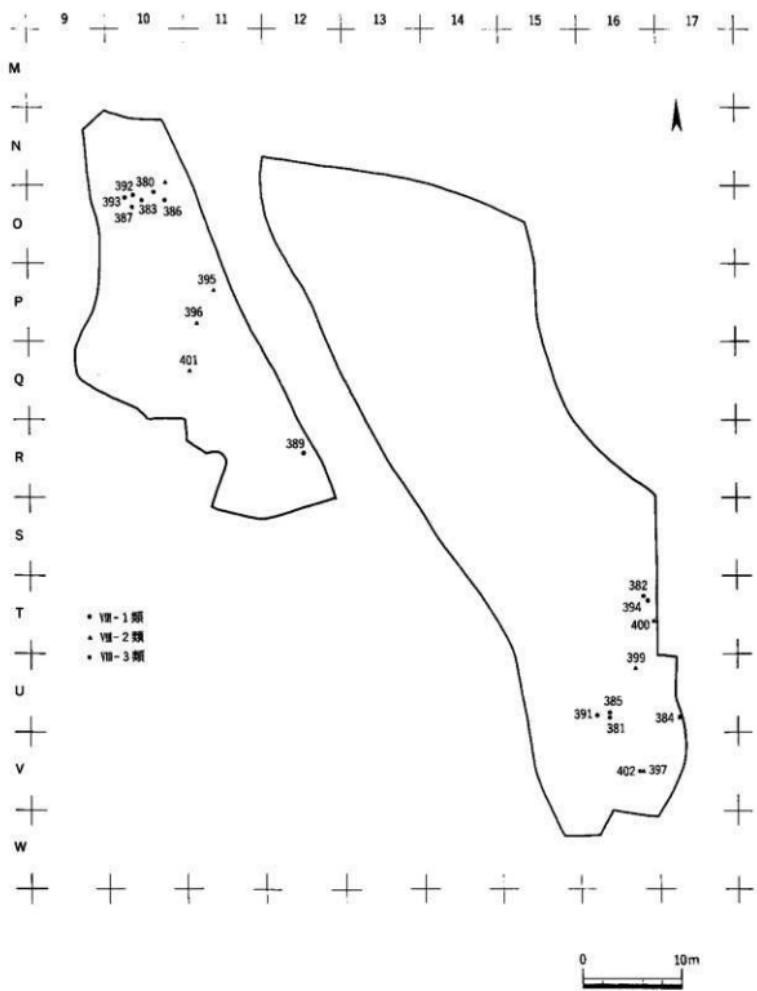
第47図 A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(5)



第48図 A地区第Ⅱ層縄文土器(Ⅱ・Ⅲ・Ⅶ類)分布図



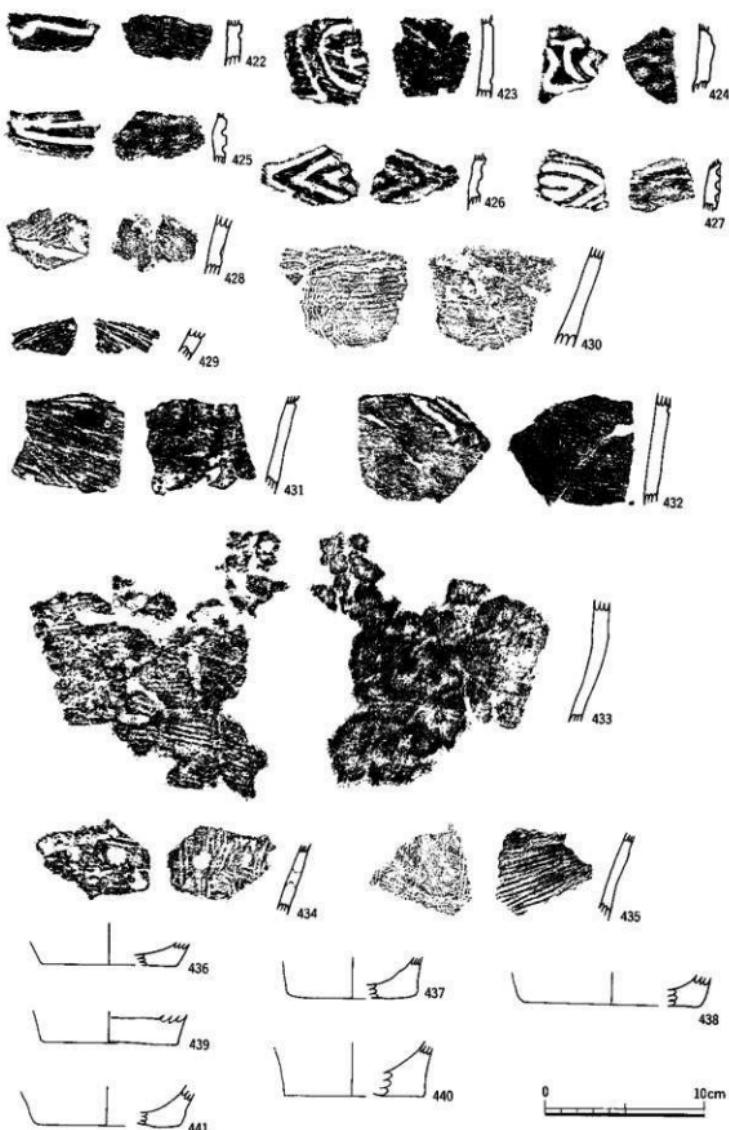
第49図 A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(6)



第50図 A地区第Ⅱ層縄文土器（種類）分布図



第51図 A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(7)



第52図 A地区第Ⅱ層縄文土器実測図(8)

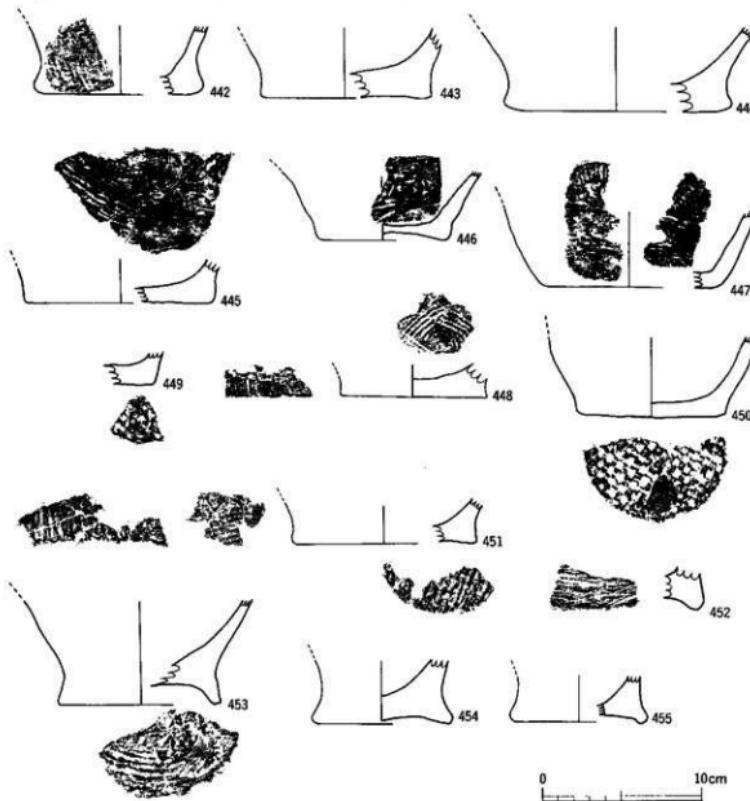
a・b類とも口縁部は肥厚しない。290は口唇部に刺突を、293は大きな押圧状の刻目を施す。291はやや斜めの刻目を施す。

2 a類(294・295) 口縁部に幅狭の粘土紐を貼りつけ、そのうえに列点文を施す。b類よりも素朴さがある。294・295は同一個体と思われる。口唇部は貝殻条痕後にやや斜めに間隔をあけて貝殻により刺突する。

b類(296~305) 口縁部に幅狭の粘土紐を貼りつけ、そのうえに列点文を施す。301~303は横位の列点文を施す。296・303は、山形口縁で頂部口唇部に大きな刻日を施す。300は口唇部に大きな刻目を施す。301~303は横方向に小規模な列点文を施す。

3 a類(306~314) 口縁部に粘土を貼りつけて肥厚させ、深目の列点文を施す。口縁部を誇張する。列点文は2段平行に規則的に施している。312~314は同一個体と思われ、山形口縁の谷部と頂部に押圧状の大きな刻目がある。

b類(315~321・323~325) 口縁部に粘土を貼りつけ列点文を施すが、a類のように肥厚しない。文様幅



第53図 A地区第Ⅱ層縄文土器実測図[9]

はa類と同じである。315は口縁端部が欠損しているが、3段からなる丸い列点文を施す。317は口唇部におきな押圧状の刻目を施す。323は列点文の状態はわからないが、胴部は320と同様に逆S字状に沈線を走らせる。

c類(326~335・350) 器壁が薄く、口縁部は肥厚しない。小さい列点文を施し、列点文自体は丸くなるものが多い。330は口唇部を小さく刺突する。333は口唇部に刻目を施す。335は頂部面のみ粘土を貼りつけ横位の押圧文を施す。350は横位の列点文である。

4類(336~342・352・353) 縦長に1段細い列点文を施し、その下に細い沈線を廻らす。沈線はやや直線的であるが、口縁部下の文様については337以外は不明である。337は口唇部に刻目、口縁部には縱位に細長の列点文と口縁に対して平行に細い沈線を1本廻らす。この沈線で口縁帯を作出している。胴部は貝殻条痕による調整のみである。341や342は口唇部に大きな刻目を施す。352と353は339や340の列点文に似ているが、その下に沈線の代わりに刻目突帯を巡らせている。

5類(343・344) 口唇部に連続刺突や連続押圧を施し、口縁部に小さな丸い列点文(343)や竹管文(344)と沈線文を施す。口縁部文様帶はかなり狭い。343は口唇部に貝殻による連続刺突文を斜方向から施す。

6類(345) 横位の列点文を1段施し、その下には沈線文と列点文とを平行に施文する。

II類土器(346~348)

口縁部に縱位の貝殻連続刺突文、その下に沈線文を施すもの。基本的には列点文のものと変わらないものと思われる。器壁は薄く、裏面調整は貝殻条痕である。346は口唇部に貝殻による連続刺突がみられ、348は刻目がみられる。

III類土器(363~372)

口縁部に沈線文を施すもの。

1類(363~369) やや幅広の沈線を施すもの。365~369は2本の沈線が口縁と平行に施される。363・364は口唇部に貝殻条痕を残し、368は大きな刻目を施す。

2類(370・372) 細い沈線を施すもの。

3類(371) 曲線状に沈線を施すもの。

IV類土器(351・360)

沈線間に文様を施すもの。口縁部文様の施文により3つに分類した。

1類(351) 口縁部に縦長の列点文を施文し、沈線間に同じ列点文を縱方向に施文するもの。列点文の下には沈線文ではなく、口縁に平行して刻目突帯を廻らせ口縁帯とする。列点文は縦長で細く353や340のものと同じである。口唇部は刻目を施す。

2類(354・355) 口縁部に短めの貝殻連続刺突文を施す。354は幅広の凹線状にし、その下に同じく短めの貝殻連続刺突文を施す。個体のうえからは沈線間に文様を施しているかどうかという判断は困難であるが、一応この分類にいたる。

3類(356~360・362) 口縁部に2本の平行沈線を施し、その間に貝殻連続刺突文を施すもの。358などは口唇部に大きな刻目を施し在地的要素が多分にみられる。

V類土器(373~376)

磨消繩文を施すもの。

1類(373・374) 口縁部に繩文帶をもつもの。

2類(375) 口縁部に2本の平行沈線を施し、その間に繩文がみられるもの。沈線が細く丁寧なつくりで

表-6 A地区第Ⅱ層調査土器観察表

※①口唇部 ②口縁部 ③肩部 ④底部

No.	持印	図版	出土地点	文様・溝整		色 漆	胎 土	焼 成	備 考
				外 画	内 面				
288	41	16	Q-11	①貝殻条痕 ②列点文やや幅広の沈 縦文	②ナデ	外 Hse7.5YR 褐7/6 内 Hse7.5YR 褐6/6	半透明粒(2mm前後) 多量 黒色光沢粒少量 黒色 白色粒多量	堅	
289	41	16	Q-10	①漁網押圧 ②底長の太い列点文 やや幅広の沈縦文	②ナデ	外 Hse7.5YR にぼい 黒7/4 内 Hse7.5YR 黒7/6	白色粒少し 半透明粒少量 黒色光沢粒少量	堅	
290	41	-	Q-11	①刺突 ②底長の太い列点文 やや幅広の沈縦文	②ナデ	外 Hse10YR にぼい 黒7/3 内 Hse10YR 黒3/3	黒色光沢粒多量 半透明粒多量	やや堅微	
291	41	-	R-11 R-12	①粗目 ②人目の列点文	②ナデ	外 Hse10YR 褐6/1 内 Hse10YR 褐6/1	半透明粒多量 黒色光沢粒少量	やや堅微	
292	41	-	O-10	②太目の粗長列点文 やや幅広の沈縦文	②ナデ	外 Hse2.5YR 黄6/1 内 Hse2.5YR 黄6/1	白色粒少量 半透明粒多量 黒色光沢粒少量	堅	
293	41	-	O-10	①漁網押圧 ②列点文	②ナデ	外 Hse10YR 浅黄6/3 内 Hse10YR 灰白2/2	半透明粒多量 砂粒状のスコリア少量 黒色光沢粒少量	堅	
294	41	-	O-10	①貝殻条痕、貝殻によ る刺突 ③粘土帶に列点状の押圧 文・やや幅広の沈縦文	②ナデ	外 Hse5 YR 褐2/6 内 Hse5 YR 褐5/6	半透明粒(1~2mm) 多量 茶色粒(1~2mm) 少量 黒色石状のスコリア少量 黒色光沢粒多量	堅	
295	41	16	O-10	①貝殻条痕、貝殻によ る刺突 ③粘土帶に列点状の押圧 文・やや幅広の沈縦文	②ナデ	外 Hse7.5YR 褐2/6 内 Hse7.5YR 褐6/6	砂粒多量 黒色光沢粒多量 黒色石状のスコリア少量	堅	
296	41	16	O-10	①貝殻条痕、頂部に 刺突跡 ③粘土帶に列点文・幅 広の沈縦文	②貝殻条痕	外 Hse10YR 浅黄6/3 内 Hse10YR にぼい 黒7/4	半透明粒多量 砂粒多量 黒色光沢粒 黒色粒	堅	山形口縁
297	41	-	O-10	②粘土帶に列点文・幅 広の沈縦文	②ナデ	外 Hse5 YR 褐2/6 内 Hse2.5YR 灰白2/2	半透明粒(1~3mm) 多量 砂粒多量 黒色 黒化光沢粒少量	堅	
298	41	-	O-10	粘土帶に列点文	②ナデ	外 Hse2.5YR 灰白2/2 内 Hse2.5YR 灰白2/2	砂粒多量 半透明粒少款 黒色光沢粒	堅	
299	41	-	V-16	粘土帶に列点文	②ナデ	外 Hse2.5YR 灰白2/2 内 Hse2.5YR 灰6/3	半透明粒多量 砂粒多量 黒色光沢粒少量	堅	
300	41	16	O-10	①漁網押圧 ③粘土帶に粗長の列点 文	②ナデ	外 Hse10YR にぼい 黒7/3 内 Hse10YR にぼい 黒7/3	半透明粒少款 黒色光沢粒少量	やや堅微	
301	41	-	O-10	粘土帶に横位の列点文	②ナデ	外 Hse10YR にぼい 黒7/2 内 Hse2.5YR 灰6/1	半透明粒多量 黒色粒	堅	
302	41	17	T-15	①貝殻条痕、押圧凹 み ②粘土帶に横位の列点 文を2段	②ナデ	外 Hse10YR にぼい 黒7/3 内 Hse10YR 灰6/2	茶色粒多量 砂粒多量 半透明粒多量 黒色光沢粒少量	堅	
303	41	17	O-10	①押圧凹み ②粘土帶に横位の列点 文を2段	②ナデ	外 Hse7.5YR 褐6/5 内 Hse7.5YR 褐6/5	茶色粒多量 半透明粒多量 黒色光沢粒少量	堅	山形口縁
304	41	-	V-16	②粘土帶に横位の列点 文を2段	②ナデ	外 Hse2.5Y 灰白2/2 内 Hse2.5Y 浅黄7/3	半透明粒多量 砂粒状のスコリア少量 黒色光沢粒多量	堅	
305	41	-	U-17	①頂部に押圧凹み ②粘土帶に列点文・沈 縦文	②ナデ	外 Hse2.5Y 灰白2/2 内 Hse2.5Y 浅黄7/3	半透明粒多量 黒色光沢粒少量	堅	山形口縁

306	41	—	O-10	③肥厚した口縁帯に列点文2段 ②ナデ	外Hue2.5Y 黄赤6/1 内Hue2.5Y 黄赤5/1	半透明粒多量 輕石状のスコリア少量 黑色光沢粒	堅	山形口縫?
307	41	16	O-10	②肥厚した口縁帯に列点文 沈織文 ②ナデ	外Hue2.5Y 黄赤6/4 内Hue2.5Y 黄赤6/4	半透明粒多量 茶色粒少量 輕石状のスコリア多量 黑色光沢粒	堅	310と同一固体?
308	41	—	U-16	①刻目 ②列点文 ②ナデ	外Hue5YR にい黄7/4 内Hue7.5YK にい黄7/4	半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	山形口縫
309	41	—	O-10	③肥厚した口縁帯に列点文2段 沈織文 ②ナデ	外Hue5YR にい黄7/4 内Hue5YR にい黄7/4	半透明粒多量 茶色粒多量 輕石状のスコリア少量	やや堅	
310	41	—	O-10	②肥厚した口縁帯に列点文2段 ②ナデ	外Hue2.5Y 黄赤6/3 内Hue2.5Y 黄赤6/4	半透明粒多量 輕石状のスコリア多量 茶色粒多量 黑色光沢粒多量	堅	307と同一固体?
311	41	—	V-16	②肥厚した口縁帯に列点文 ②ナデ	外Hue2.5Y 黄赤7/2 内Hue2.5Y 黄赤7/3	半透明粒多量 輕石状多量 黑色光沢粒多量	堅	
312	42	16	O-10	①押切凹み ②肥厚した口縁帯に列点文2段 沈織文 ②ナデ	外Hue2.5Y 黄赤6/3 内Hue2.5Y 黄赤6/1	茶色粒少量 半透明粒多量 黑色光沢粒多量	堅	313・314と同一固体 山形口縫
313	—	—	O-10	②肥厚した口縁帯に列点文2段 ②ナデ	外Hue2.5Y 黄赤6/3 内Hue2.5Y 黄赤5/1	半透明粒多量 黑色光沢粒多量	堅	312・314と同一固体 山形口縫
314	42	—	O-10	①面部に押切凹み ②肥厚した口縁帯に列点文・沈織文 ②ナデ	外Hue2.5Y 黄赤6/3 内Hue2.5Y 黄赤7/2	半透明粒 黑色光沢粒	平	312・313と同一固体 山形口縫
315	42	—	O-10	②口縁帯に列点文2段 ②ナデ	外Hue7.5YR 黄6/6 内Hue2.5YR 黄7/6	半透明粒多量 輕石状のスコリア少量 黑色光沢	堅	
316	42	16	O-10	②L口縁帯に横位の列点文3段 ②ナデ	外Hue5YR 黄6/6 内Hue5YR 黄6/6	半透明粒 (1~2mm) 多量 輕石状のスコリア少量 黑色光沢粒	やや堅	
317	42	16	O-10	①連続押切文 ②口縁帯に横位の列点文2段 ②ナデ	外Hue2.5YR 黄6/3 内Hue2.5YR 黄6/3	半透明粒 (2mm前後) 少量 茶色粒 (2mm前後) 少量 黑色光沢粒少量	堅	
318	42	—	O-10	①刻目 ②口縁帯に列点文2段 ②ナデ	外Hue2.5Y 黄6/6 内Hue2.5Y 黄6/2	半透明粒多量 輕石状のスコリア多量 黑色光沢粒少量	堅	
319	42	16	O-10	①刻目・頭部に押切凹み ②口縁帯に列点文2段・沈織文 ②ナデ	外Hue2.5Y にい黄5/3 内Hue5YR 黄6/6	半透明粒多量 白色粒少量 淡花粒少量 黑色光沢	堅	山形口縫
320	42	16	O-10	①刻目 ②口縁帯に列点文2段 ②ナデ	外Hue2.5Y 黄赤7/2 内Hue5Y 黄6/5	半透明粒 (2mm前後) 多量 スコリア (2mm前後) 少量 黑色光沢粒少量	堅	323と同一固体?
321	42	—	O-10	①口縁帯に列点文2段以上 ②ナデ	外Hue5YR にい黄6/4 内Hue10YR 黄6/2	半透明粒多量 輕石状のスコリア少量	やや堅	
322	42	—	O-10	②U字形に沈織文 ②ナデ	外Hue10YR にい黄7/2 内Hue10YR にい黄7/2	半透明粒多量 黑色光沢粒少量	堅	
323	42	16	O-10	②口縁帯に列点文 ②沈織文 ②貝殻条痕 (一部ナデ)	外Hue2.5Y 黄6/2 内Hue2.5Y 黄6/1	輕石状のスコリア多量 半透明粒少量 黑色光沢粒少量	堅	320と同一固体?
324	42	—	Q-11	①刻目 ②口縁帯に貝殻条痕、列点文2段 ②ナデ	外Hue5Y 黄6/4 内Hue5Y 黄6/3	半透明粒少量 輕石状多量 黑色光沢粒	堅	
325	42	—	O-10	②口縁帯に列点文2段以上 ②ナデ	外Hue10YR 黄6/2 内Hue10YR 黄6/2	白色粒少量 半透明粒多量 輕石状のスコリア少量 黑色光沢粒少量	堅	

No.	押出	回数	出土地点	丈様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外 面	内 面				
326	42	—	O-10	①押出凹み ②列点文	②ナデ	外 Hue2.5Y 内 黄7/3 Hue N 灰 5/1	茶色粒(1~3mm) 多量 半透明粒少量	やや堅緻	
327	42	—	R-12	②列点文	②ナデ	外 Hue7.5YR 内 黄5/4 Hue7/6	茶色粒(2mm前後) 少量 半透明粒多量 砂粒少量	やや堅緻	
328	42	—	O-10	①押出凹み ②列点文 2段以上	②条痕	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 Hue2.5Y 黄6/1	半透明粒(1~2mm) 多量 軽石状のスコリア少量 白色粒多量 黑色光沢粒少量	粗	
329	42	16	O-10	②列点文 2段 沈線文	②ナデ	外 Hue7.5YR 内 黄5/4 Hue 5 YR 黄6/6	半透明粒多量 軽石少量	堅	
330	42	—	R-12	①透窓刺突 ②列点文 2段 沈線文	②ナデ	外 Hue7.5YR 黄7/5 内 Hue10YR にい黄7/3	砂粒少量 半透明粒多量 川色光沢粒	やや堅緻	
331	42	—	R-12	①透窓刺突 ②列点文 2段	②ナデ	外 Hue7.5YR 内 黄5/4 Hue10YR 淡黄7/4	半透明粒多量 軽石状のスコリア多量	堅	
332	42	—	R-11	②列点文 2段 沈線文	②条痕	外 Hue 5 YR 内 黄5/4 Hue 5 YR にい黄7/4	軽石状のスコリア少量 半透明粒多量 黒少	やや堅緻	
333	43	—	O-10	①刺目 ②列点文 2段	②ナデ	外 Hue 5 YR 内 黄5/4 Hue10YR にい黄7/4	半透明粒多量 白色粒少量	やや堅緻	
334	43	—	O-10	②列点文 2段以上 沈 線文	②ナデ	外 Hue10YR 灰黄褐6/2 内 Hue10YR にい黄7/3	半透明粒多量 黑色光沢粒	やや堅	
335	43	17	O-10	①条痕 ②内部に横位の押出 ③縦長の列点文・ 沈線文	②貝殻条痕	外 Hue10YR 内 黄5/2 Hue7.5YR にい黄7/3	茶色粒多量 砂粒多量	山形口模	
336	43	—	O-10	②列点文	②貝殻条痕	外 Hue 5 YR 内 黄5/6 Hue 5 YR 内 黄5/6	半透明粒(1~3mm) 多量 川色光沢粒少量 透明粒	堅	
337	43	16	R-11	①刺目 ②縦長の列点文 沈線文 ③貝殻条痕	②・③貝殻条痕	外 Hue7.5Y 淡黄7/3 内 Hue10YR にい黄7/2	半透明粒少量 川色光沢粒多量	338と同一固体	
338	43	—	R-11	①刺目 ②縦長の列点文 沈線文	②貝殻条痕	外 Hue7.5Y 淡黄7/3 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒多量 白色粒少 黑色光沢粒	337と同一固体	
339	43	—	R-12	②縦長の列点文 沈線文	②ナデ	外 Hue 5 YR 内 黄5/4 Hue7.5YR にい黄7/4	半透明粒多量 白色粒少 黑色光沢粒少量	やや堅緻	
340	43	—	O-10	①刺目 ②縦長の列点文	②条痕	外 Hue2.5YR 内 黄5/5 Hue10YR にい黄7/3	白色粒少 半透明粒多量	やや堅緻	
341	43	—	O-10	①透窓刺突 ②列点文 沈線文	②ナデ	外 Hue10YR 内 黄5/4 Hue7.5YR 淡黄7/4	半透明粒多量 黑色光沢粒少量	やや堅緻	
342	43	—	O-10	①透窓 ②縦長の列点文 沈線文	②ナデ	外 Hue 5 YR 内 黄5/5 Hue7.5YR 内 黄5/4	半透明粒少 白色粒少 黑色光沢粒少	堅	
343	43	17	R-11	①貝殻透窓 ②列点文 沈線文	②ナデ	外 Hue7.5YR 黄7/6 内 Hue7.5YR にい黄6/3	黑色光沢粒少 透明光沢粒 白色粒	堅緻	
344	43	17	R-11	①透窓押出文 ②列点文 沈線文	②条痕	外 Hue7.5YR 黄7/6 内 Hue7.5YR にい黄7/4	半透明粒多量 軽石状のスコリア少量 透明粒少 黑色光沢粒少	堅緻	

345	43	17	T-16	②横位の列点文 沈縫文	③ナデ	外 Hue7.5YR 淡黄6/4 内 Hue10YR に近い黄橙7/3	半透明粒多量 暗色光沢粒多量 黑色光沢粒多量	略	山形口緑
346	43	17	R-11	①透紙判理 ②川筋連続判理文 沈縫文	②貝殻条痕	外 Hue5.5YR 暗黄6/4 内 Hue5.5YR に近い黄橙6/4	透明光沢粒多量 暗色光沢粒 黑色光沢粒 半透明粒	略級	
347	43	17	O-10	②川筋連続判理文 沈縫文	③貝殻条痕	外 Hue10YR に近い黄橙7/3 内 Hue10YR に近い黄橙7/3	半透明粒多量 暗色光沢粒少量 黑色光沢粒少量	やや堅級	
348	43	—	V-16	①剣目 ②貝殻連続判理文 沈縫文	②貝殻条痕	外 Hue7.5YR に近い黄橙7/3 内 Hue7.5YR に近い黄橙7/4	茶色粒（1～3mm）多量 暗色光沢粒多量 黑色光沢粒	やや堅級	
349	43	—	O-10	①剣目 ②列点文	③条痕	外 Hue10YR 淡黄6/3 内 Hue10YR に近い黄橙7/4	鈍石状のスコリア多量 透明粒多量 黑色光沢粒	やや堅	
350	43	—	O-10	②列点文	③ナデ	外 Hue10YR に近い黄橙7/3 内 Hue10YR に近い黄橙7/2	白色粒少 半透明粒少量 輕石粒のスコリア少量	やや堅	
351	45	—	O-10	①剣目 ②延長の列点文 ③貝殻文間に縱長の列 点文	③ナデ	外 Hue2.5Y 暗黄6/2 内 Hue2.5Y に近い黄橙7/3	鈍石状のスコリア 半透明粒多量 黑色光沢粒少量	略	
352	45	17	O-10	②横位の列点文2段 剣目夾突（押正）	③ナデ	外 Hue10YR に近い黄橙7/4 内 Hue10YR に近い黄橙7/4	半透明粒多量 半透明光沢粒多量 黑色粒	略級	
353	45	17	O-10	②縱長の列点文 剣目夾突（押正）	③ナデ	外 Hue2.5Y 暗黄6/2 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	半透明粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒	やや堅級	山形口緑？
354	45	17	R-11	③短い貝殻連続判理文 貝殻の跡 貝殻連続判理文	②ナデ	外 Hue10YR に近い黄橙7/4 内 Hue10YR に近い黄橙7/3	半透明粒（2mm前後）少量 赤色光沢粒 黑色光沢粒少量	堅	
355	45	17	R-12	③短い貝殻連続判理文 貝殻の跡	②ナデ	外 Hue10YR に近い黄橙7/3 内 Hue10YR に近い黄橙7/3	茶色粒少 半透明粒多量 白色粒少量	やや堅	
356	45	18	O-10	②沈縫下に貝殻連続判 突文	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄6/4 内 Hue2.5Y に近い黄6/3	半透明粒多量 茶色光沢粒 黑色粒	やや堅級	山形口緑
357	45	17	R-14	②沈縫間に貝殻連続判 突文	②貝殻条痕	外 Hue5 YR に近い黄7/4 内 Hue5 YR に近い黄6/4	白色粒 黑色光沢粒 半透明粒 透明粒（極小）	略級	
358	45	18	O-10	①透紙押正 ②沈縫間に貝殻連続判 突文	②貝殻条痕	外 Hue7.5YR に近い黄7/4 内 Hue7.5YR に近い黄7/4	極小状のスコリア多量 半透明粒 茶色光沢粒	やや堅級	359・360と同 一固体？
359	45	18	O-11	①透紙押正 ②沈縫間に貝殻連続判 突文	③ナデ	外 Hue7.5YR 淡黄6/4 内 Hue7.5YR に近い黄7/4	茶色粒（2mm以上）多量 半透明粒（2mm前後） 白色粒（2mm前後） 黑色光沢粒	やや堅級	357・358と同 一固体？
360	45	—	O-11	①透紙押正 ②沈縫間に貝殻連続判 突文	③貝殻条痕	外 Hue7.5YR に近い黄7/4 内 Hue7.5YR に近い黄7/4	半透明粒（1～2mm）多量 鈍石状のスコリア （1～2mm）少量	やや堅級	358・359と同 一固体？
361	45	18	O-10	①剣目 ②L線帶下に貝殻連続判 突文	②ナデ	外 Hue10YR に近い黄7/4 内 Hue5 YR に近い黄7/4	半透明粒少量 茶色光沢粒 砂粒多量 黑色光沢粒多量	やや堅級	
362	45	18	R-11	②沈縫文間に貝殻連続 判突	②ナデ	外 Hue7.5YR に近い黄7/4 内 Hue7.5YR に近い黄7/4	半透明粒少量 砂粒少量 黑色光沢粒	やや堅級	
363	47	—	V-16	①条痕 ②沈縫文	②ナデ	外 Hue10YR に近い黄7/4 内 Hue10YR に近い黄7/3	半透明粒 砂粒少量 黑色光沢粒	堅級	
364	47	—	O-10	①条痕 ②沈縫文	②ナデ	外 Hue2.5Y 灰黄7/2 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒（2mm前後）少量 砂粒多量 黑色光沢粒	堅級	

No.	押出	固版	出土地点	文様・満整		色調	胎上	焼成	備考
				外面	内面				
365	47	17	O-10	②沈線文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒（1～2mm）多量 鉱石状のスコリア多量 黒色光沢粒少量	堅微	
366	47	—	O-10	②沈線文	②貝殻条痕	外 Hue3.5Y 灰赤6/1 内 Hue2.5Y 灰赤6/1	白色粒多量 透明粒少量 鉱石状のスコリア少量	堅	
367	47	—	O-11	②沈線文	②ナデ	外 Hue3.5Y 灰赤6/2 内 Hue2.5Y 灰赤7/1	黑色光沢粒多量 半透明粒多量	やや堅	
368	47	17	O-10	①押出凹み ②沈線文	②貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue3.5Y 灰赤5/1	茶色粒 半透明粒（1～2mm）多量 鉱石状のスコリア少量 黒色光沢粒	やや堅微	
369	47	—	O-10	②沈線文	②ナデ	外 Hue3.5Y 灰赤6/2 内 Hue2.5Y 灰赤6/1	茶色粒 半透明粒多量 透明粒 黑色光沢粒	やや堅微	
370	47	—	U-16	②沈線文	②ナデ	外 Hue3.5Y 灰赤6/3 内 Hue2.5Y 灰赤7/3	白色粒（1～3mm）多量 鉱石粒少量 黑色光沢粒	堅	
371	47	17	R-11	②沈線文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	半透明粒（2mm前後）多量 鉱石粒	堅	
372	47	—	O-10	②沈線文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙6/3	半透明粒多量 鉱石状のスコリア少量 黒色光沢粒	堅微	
373	47	18	V-16	②磨消純文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	半透明粒（2mm前後）多量 鉱石状のスコリア多量 透明粒 黑色光沢粒	やや堅微	
374	47	18	T-16	②磨消純文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙6/3	半透明粒（2mm前後）多量 鉱石状のスコリア多量 透明粒 黑色光沢粒	堅	
375	47	18	O-11	②磨消純文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄橙6/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/4	灰色石（5mm大）少量 白色粒少量	堅微	
376	47	18	O-10	③磨消純文 右脣文	②でないなナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄橙6/3 内 Hue7.5YR にぶい黄橙6/3	灰色粒（1～2mm） 灰褐色粒（8mm前後） 透明粒 黑色光沢粒 青白少量	堅微	
377	47	18	O-10	①刻目 ②刻目突帯	②貝殻条痕	外 Hue5 YR にぶい黄6/4 内 Hue5 YR 灰黄6/3	砂粒少量 半透明粒少量 茶色粒少量 黑色光沢粒多量	堅	378と同一 山形口縁
378	47	—	O-10	①刻目 ②刻目突帯	②貝殻条痕	外 Hue7.5YR にぶい黄6/4 内 Hue2.5Y 灰黄6/3	白色光沢粒 半透明粒	堅	377と同一 山形口縁
379	47	—	V-17	①刻目 ②刻目突帯 ③突起付板	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	半透明粒多量 茶色粒少量 黑色光沢粒	堅	
380	47	—	O-10	①刻目 ②貝殻条痕	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	半透明粒（1～2mm）多量 黑色光沢粒 白色粒	堅	
381	47	—	U-16	①垂直 ②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/2	半透明粒多量 茶色粒少量 黑色光沢粒少量	堅	
382	47	—	T-16	②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/2 内 Hue2.5Y 灰7/1	半透明粒多量 茶色粒多量 鉱石状のスコリア多量 黑色光沢粒	やや堅微	
383	47	—	O-10	②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue10YR にぶい黄橙7/2 内 Hue10YR にぶい黄橙7/3	砂粒少量 半透明粒少量 茶色粒 黑色光沢粒	堅微	

384	49	—	U-17	②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue10YR にない黄橙7/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	半透明粒多量 輕石状のスコリア多量 透明光沢粒 黑色光沢粒	やや堅緻	
385	49	—	U-16	②貝殻条痕	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄6/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/3	茶色粒多量 半透明粒多量 輕石状のスコリア多量 黑色光沢粒	堅	
386	49	—	O-10	②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue2.5Y 淡黄6/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/4	半透明粒多量 輕石状のスコリア少量 黑色光沢粒少量	堅	
387	49	—	O-10	①浮遊母 ②貝殻条痕	②条痕	外 Hue2.5Y 淡黄6/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	半透明粒多量 白色粒少量 黑色光沢粒少量	やや堅緻	山形山峰
388	49	—	T-16	②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue10YR にない黄橙7/3 内 Hue10YR にない黄橙7/2	砂粒多量 半透明粒多量 黑色光沢粒	やや堅緻	
389	49	—	R-12	②条痕	②貝殻条痕	外 Hue10YR にない黄橙7/2 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	半透明粒多量 砂粒多量 黑色光沢粒多量	やや堅緻	
390	49	—	U-16	②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue2.5Y 淡黄6/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/3	輕石状のスコリア多量 半透明粒少量 白色粒少量 黑色光沢粒多量	やや堅緻	
391	49	—	U-16	②貝殻条痕 ?	②貝殻条痕 ?	外 Hue10YR にない黄橙7/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	半透明粒多量 黑色光沢粒少量	堅	
392	49	—	O-10	②貝殻条痕	②ナデ	外 Hue5 Y 灰黄6/1 内 Hue5 Y 灰黄6/1	半透明粒多量 白色粒少量 黑色光沢粒少量	やや堅	山形山峰
393	49	18	O-10	①押圧凹み ②貝殻条痕	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄6/4 内 Hue2.5Y 灰黄6/4	輕石状のスコリア少量 半透明粒多量 黑色光沢粒	堅	
394	49	18	T-16	①押圧凹み ②貝殻条痕	②貝殻条痕	外 Hue2.5Y 灰黄6/2 内 Hue2.5Y 灰黄6/1	白色粒（1~2mm）少量 半透明粒（1~2mm）多量 黑色光沢粒少量	堅	
395	49	—	P-11	②ナデ	②ナデ	外 Hue10YR にない黄橙7/4 内 Hue10YR にない黄橙7/4	半透明粒 黑色光沢粒	やや堅緻	
396	49	—	P-11	②ナデ	②条痕	外 Hue10YR にない黄橙7/3 内 Hue10YR にない黄橙7/4	半透明粒 透明光沢粒 黑色光沢粒 白色粒	やや堅緻	
397	49	—	V-16	②ナデ	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄6/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/1	白色粒少量 半透明粒少量 輕石状のスコリア多量 黑色光沢粒	堅	
398	49	—	T-16	②ナデ	②貝殻条痕	外 Hue2.5Y 淡黄6/3 内 Hue2.5Y 灰黄6/2	砂粒多量 半透明粒多量 輕石状のスコリア少量 黑色光沢粒	堅	
399	49	—	U-16	②ナデ	②ナデ	外 Hue10YR にない黄橙7/3 内 Hue10YR にない黄橙7/2	半透明粒少量 輕石状のスコリア少量 黑色粒	やや堅緻	
400	49	—	T-16	②ナデ	②ナデ	外 Hue7.5YR にない黄6/4 内 Hue10YR にない黄6/4	白色粒少量 半透明粒多量 砂粒少量	やや堅	
401	49	—	Q-11	②ナデ	②ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄6/3 内 Hue5 Y 灰色6/2	輕石状のスコリア 半透明粒 砂粒 黑色光沢粒	堅	
402	49	—	V-16	①押圧凹み ②ナデ	②ナデ 断面三角突起	外 Hue7.5YR にない黄6/3 内 Hue5 YR にない黄6/4	白色粒少量 黑色粒少量	やや堅緻	
403	49	—	O-10	③ナデ	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄7/3 内 Hue2.5Y 淡黄7/3	半透明粒少量 輕石状のスコリア多量 黑色光沢粒	やや堅緻	

No.	徘徊	回数	出土地点	文様・調整		色調	粘土	焼成	備考
				外面	内面				
404	49	—	O-10	③ナデ	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	半透明粒多量 鈍石状のスコリア少量 黑色粒	堅	
405	51	—	Q-11	③沈線文	③ナデ	外 Hue5.YR にぶい橙7/4 内 Hue5.YR にぶい橙6/4	半透明粒 (2 mm前後) 多量 白色粒少量 透明粒少量 黑色光沢粒少量	堅	
406	51	—	O-10	③沈線文	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 淡黄8/4	砂粒多量 半透明粒多量 鈍石状のスコリア少量 黑色光沢粒多量	やや堅緻	312・408と同 一固体?
407	51	—	O-11	③沈線文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙6/4	半透明粒 白色粒多量 黑色光沢粒	やや堅緻	
408	51	18	O-10	③条痕 (一部ナデ) 沈線文	③貝殻条痕	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 淡黄8/3	砂粒多量 半透明粒少量 黑色光沢粒多量	堅	312・406と同 一固体?
409	51	—	O-11	③沈線文	③貝殻条痕	外 Hue10YR 淡黄橙8/3 内 Hue10YR 淡黄橙8/4	茶色粒 (1 ~ 2 mm) 多量 半透明粒 (1 ~ 2 mm) 多量 黑色光沢粒多量	やや堅緻	
410	51	—	P-11	③沈線文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙7/3 内 Hue10YR にぶい橙7/4	砂粒多量 半透明粒多量 黑色光沢粒多量	やや堅緻	
411	51	—	Q-13	③沈線文	③貝殻条痕	外 Hue7.5YR にぶい橙7/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/3	砂粒少量 半透明粒少量 黑色光沢粒少量	堅緻	
412	51	—	O-10	③沈線文	③貝殻条痕	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/3	半透明粒多量 黑色光沢粒少量	堅緻	
413	51	—	Q-11	③沈線文	③貝殻条痕	外 Hue2.5Y 黄灰6/1 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	砂粒多量 半透明粒 (1 ~ 2 mm) 多量 鈍石状のスコリア多量	やや堅緻	
414	51	—	P-10	③沈線文	③ナデ	外 Hue7.5Y 灰4/1 内 Hue10Y 灰4/1	半透明粒 (1 ~ 2 mm) 多量 白色粒 (1 ~ 2 mm) 多量 黑色粒少量	堅	
415	51	—	R-14	③沈線文	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	白色粒少量 半透明粒多量 黑色光沢粒少量	やや堅	
416	51	—	U-17	③沈線文	③貝殻条痕	外 Hue2.5Y 淡黄8/4 内 Hue2.5Y 灰8/2	半透明粒多量 砂粒少量 黑色粒	やや堅	
417	51	—	O-10	③沈線文	③ナデ	外 Hue2.5Y 淡黄8/3 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒多量 鈍石状のスコリア多量 黑色光沢粒少量	やや堅	
418	51	—	O-10	③沈線文	③貝殻条痕	外 Hue2.5Y 淡黄7/4 内 Hue2.5Y 灰黄7/2	半透明粒多量 黑色光沢粒	やや堅	
419	51	—	P-11	③沈線文	③貝殻条痕	外 Hue5 Y 淡黄8/3 内 Hue5 Y 灰6/1	半透明粒多量 鈍石状のスコリア多量 黑色光沢粒	やや堅緻	
420	51	—	Q-11	③沈線文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/4 内 Hue7.5YR にぶい橙7/4	半透明粒多量 赤色粒多量 白色粒多量 黑色光沢粒	堅	
421	51	—	R-12	③沈線文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい橙6/3 内 Hue10Y にぶい黄橙6/3	鈍石状のスコリア多量 半透明粒 (1 ~ 2 mm) 多量 黑色光沢粒少量	堅緻	
422	52	—	O-10	③沈線文	③ナデ	外 Hue5 YR にぶい橙6/4 内 Hue5 YR にぶい橙6/3	砂粒少量 半透明粒多量 鈍石状のスコリア多量 黑色光沢粒少量	堅緻	

423	52	—	O-10	③沈縞文	③ナデ	外 Hue7.5YR に近い黄5/3 内 Hue10YR 黄黄6/2	半透明粒多量 焦色光沢粒	やや堅紙	
424	52	—	O-10	③沈縞文	③ナデ	外 Hue2.5Y 黄黄7/2 内 Hue2.5Y 黄黄6/1	半透明粒少 白色粒(多量) 黑色光沢粒少量	やや堅紙	
425	52	—	O-10	③沈縞文	③ナデ	外 Hue7.5YR に近い黄7/3 内 Hue10YR に近い黄7/2	砂粒多量 半透明粒多量 黄色少 黑色光沢粒	堅	
426	52	18	P-11	③沈縞文	③ナデ	外 Hue7.5YR に近い黄7/3 内 Hue7.5YR に近い黄7/3	半透明粒多量 黑色粒	やや堅紙	
427	52	—	P-11	③沈縞文	③ナデ	外 Hue7.5YR に近い黄7/3 内 Hue7.5YR に近い黄7/3	半透明粒多量	堅紙	
428	52	—	U-17	③貝殻条痕沈縞文	③ナデ	外 Hue2.5Y 黄黄6/1 内 Hue 5 Y 黄5/1	半透明粒多量 黑色光沢粒多量	やや堅	
429	52	—	U-17	③2本平行沈縞文	③ナデ	外 Hue2.5Y 黄黄6/2 内 Hue2.5Y 黄黄5/1	軽石状のスコリア多量 白色粒少 半透明粒少 黑色光沢粒	やや堅	
430	52	18	T-16	④貝殻条痕・2本平行沈縞文	③ナデ	外 Hue2.5Y 褐色7/1 内 Hue2.5Y 黄黄7/2	赤色粒(1~3mm)少 少 半透明粒少 黑色光沢粒	やや堅	
431	52	—	P-10	③沈縞文	③ナデ	外 Hue10YR に近い黄7/3 内 Hue2.5Y 黄黄7/3	半透明粒 黑色光沢粒(4mm前後)1ヶ 乳白色粒(3mm前後)極少	やや堅紙	
432	52	—	O-10	③沈縞文	③ナデ	外 Hue10YR に近い黄7/3 内 Hue10YR に近い黄7/3	半透明粒多量 黑色光沢粒多量 黑色光沢粒多量	堅紙	
433	52	—	U-17	③貝殻条痕	③貝殻条痕	外 Hue2.5Y 黄黄6/3 内 Hue2.5Y 黄黄7/2	黑色粒多量 半透明粒 黑色光沢粒多量	堅	
434	52	—	T-16	③貝殻条痕	③貝殻条痕	外 Hue7.5YR に近い黄7/3 内 Hue7.5YR に近い黄6/4	半透明粒多量 黑色光沢粒 黑色光沢粒 白色粒	堅	穿孔あり
435	52	—	U-17	③条痕	③貝殻条痕	外 Hue7.5YR 褐色6/6 内 Hue10YR に近い黄6/4	半透明粒多量 白色粒少 白色粒少 黑色光沢粒	やや堅紙	
436	52	—	O-10	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 黄黄8/3 内 Hue2.5Y 黄黄7/4	赤色粒 黑色光沢粒 黑色明瞭 黑色光沢粒	堅	
437	52	—	R-11 R-12	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR 黄黄5/4 内 Hue10YR に近い黄7/4	黑色光沢粒 乳白色粒 半透明粒	やや堅	
438	52	—	R-12	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR に近い黄7/3 内 Hue10YR に近い黄7/3	半透明粒 黑色光沢粒 黑色光沢粒	やや堅	
439	52	—	O-10	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 黄黄7/4 内 Hue2.5Y 黄黄7/4	白色粒 黑色光沢粒少 砂粒多 以	粗	
440	52	—	T-16	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 黄黄8/4 内 Hue2.5Y 黄黄7/2	赤褐色粒(1~3mm) 半透明粒多量 黑色光沢粒	粗	
441	52	—	Q-11	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR に近い黄7/3 内 Hue5Y 黄黄6/2	黑色光沢粒多量 乳白色粒	堅	
442	53	—	V-16	④側面に条痕	④ナデ	外 Hue2.5Y 黄黄8/4 内 Hue3Y 黑色8/2	黑色光沢粒 赤褐色粒 白色粒少	堅	

No.	辨別	回版	出土地点	文様・調査		色 清	胎 七	焼 成	備 考
				外 面	内 面				
443	53	—	O-10	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 内 Hue7.3Y 内 Hue2.5Y 内 Hue6.1Y	黑色光沢粒 黑色光沢粒 砂粒多量	堅	
444	53	—	U-16	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 内 Hue8.4Y 内 Hue2.5Y 内 Hue7.2Y	半透明粒 透明粒 白色粒多量 茶色粒 (1~3mm)	やや堅	
445	53	—	O-10	④ナデ	④貝殻条痕	外 Hue2.5Y 内 Hue8.4Y 内 Hue2.5Y 内 Hue7.2Y	黑色光沢粒 半透明粒	堅	
446	53	—	N-10	④ナデ	④貝殻条痕	外 Hue10YR 内 Hue7.4Y 内 Hue2.5Y 内 Hue7.2Y	茶色粒 (1~3mm) 黑色光沢粒 半透明粒 透明光沢粒	堅	
447	53	—	R-12	④側面は貝殻条痕	④貝殻条痕	外 Hue10YR 内 Hue7.4Y 内 Hue10YR 内 Hue7.3Y	黑色光沢粒 半透明粒	やや堅	
448	53	—	O-10	④側面は貝殻条痕	④貝殻条痕	外 Hue2.5Y 内 Hue8.3Y 内 Hue2.5Y 内 Hue7.2Y	黑色光沢粒 透明光沢粒 白色粒多量 茶褐色粒	やや堅	
449	53	—	R-11	④網代痕	④ナデ	外 Hue10YR 内 Hue8.4Y 内 Hue2.5Y 内 Hue7.2Y	黑色光沢粒多量 白色粒多量 茶褐色粒 半透明粒	堅	
450	53	—	O-10	④網代痕	④朱楓	外 Hue2.5Y 内 Hue7.3Y 内 Hue2.5Y 内 Hue6.3Y	黑色光沢粒多量 茶褐色 透明粒微量	やや堅	
451	53	—	O-10	④網代痕 側面は貝殻条痕	④貝殻条痕	外 Hue2.5Y 内 Hue6.1Y 内 Hue2.5Y 内 Hue6.1Y	半透明粒 白色粒	粗	
452	53	—	V-16	④側面は貝殻条痕	④ナデ	外 Hue2.5Y 内 Hue7.3Y 内 Hue2.5Y 内 Hue6.2Y	半透明粒 白色粒 黑色光沢粒 乳白色粒	堅	
453	53	—	T-16	④貝殻条痕	④ナデ	外 Hue2.5Y 内 Hue8.4Y 内 Hue2.5Y 内 Hue8.3Y	白色粒多量 灰褐色粒	やや堅	
454	53	—	U-17	④ナデ	④ナデ	外 Hue2.5Y 内 Hue8.4Y 内 Hue5.1Y 内 Hue6.1Y	乳白色粒多量 黑色光沢粒 透明粒 茶褐色粒	堅	
455	53	—	U-17	④ナデ	④ナデ	外 Hue10YR 内 Hue7.4Y 内 Hue10YR 内 Hue7.2Y	黑色光粒 (1~3mm) 嚙量 黑色光沢粒 半透明粒 白色粒多量	やや堅	

ある。

3類 (376) 幾何学文様状に沈線を施し、沈線間に純文がみられるもの。

VI類土器 (349・361)

口縁部下に文様を施す。口縁部の上半分は無文帯とし、下半分から文様を施すものである。

1類 (349) 列点文を施すもの。

2類 (361) 貝殻刺突文を施すもの。

VII類土器 (377・378)

口唇部に貝殻による刻目状の連続刺突を施し、口縁部に突帯文を施す。突帯は貝殻により連続刺突される。

377は、口縁頂部に縦の粘土帯と口縁部に横の粘土帯を貼りつけ連続刻みを施す。379は突帯が剥離したものと思われる。口唇部は頂部に大きな刻目を入れている。

VIII類土器 (380~402)

無文系のもの

1類 (380~394) 貝殻による調整条痕を残すもの。380は口唇部には斜方向の刻目を、381は公園に平行する条痕を施している。387は口唇部に貝殻による連続刺突を、394は大きな刻目を2つ並べて施す。

2類 (395~401) ナデ調整のもの。

3類 (402) ナデ調整で口縁部内側に断面三角状の突帯を貼りつけるもの。口唇部は大きな刻目を2つ並べて施す。

X類土器 (403~435)

胴部片をまとめた。胴部に沈線文を施すものと無文系のものに分けられる。

1類 (405~412) やや幅広の沈線を施すもの。405・407は311の胴部ではないかと思われる。

2類 (413~428・431・432) 細目の沈線を施すもの。沈線が直線的となる。428は沈線を粗雑に施す。

3類 (429・430) 細い平行沈線を施す。430は不規則な曲線文様を描く。

4類 (433~435) 条痕調整だけのものである。胴部片だけで数千点の数量を数える。

5類 (403・404) ナデ調整のもの。

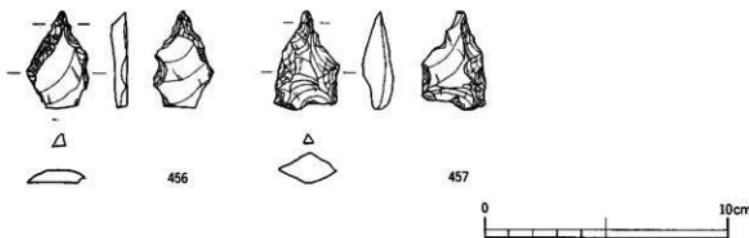
X類土器

その他とした。また、底部もここにいれた。452・453は上げ底となり貝殻条痕を施す。他はすべて平底である。449~451は網代痕を残す。

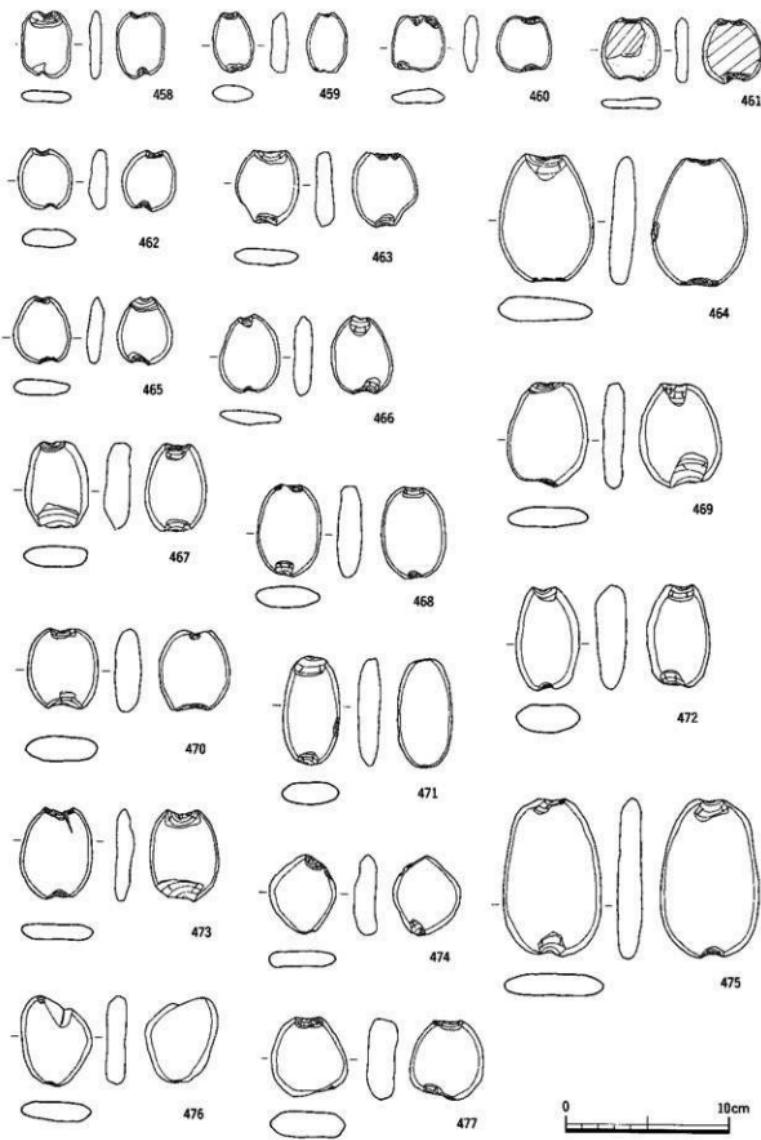
b 石器

石器は、66点出土した。分布状況をみると、土器の分布状況とは反対に、S16グリットより南側に集中している。O10グリット周辺では、スクレイバー、石斧、磨石が出土している。石錐は全域に分布しているが、RグリットやT・Uグリットに集中している。石材では、石錐に砂岩を、剥片石器類は流紋岩、頁岩、黒曜石を多用している。黒曜石を産地別にみると桑ノ木津留や出水産のものがほとんどを占める。

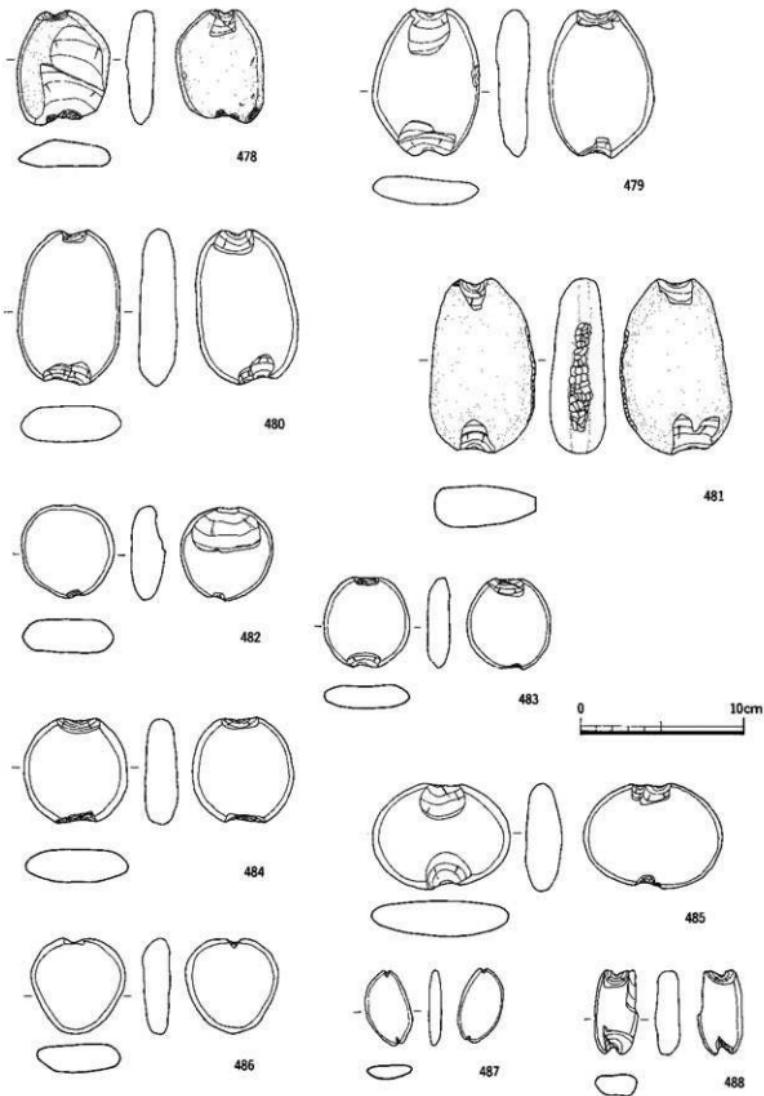
石錐 (456・457)



第54図 A地区第Ⅱ層石器実測図(1)



第55図 A地区第Ⅱ層石器実測図(2)

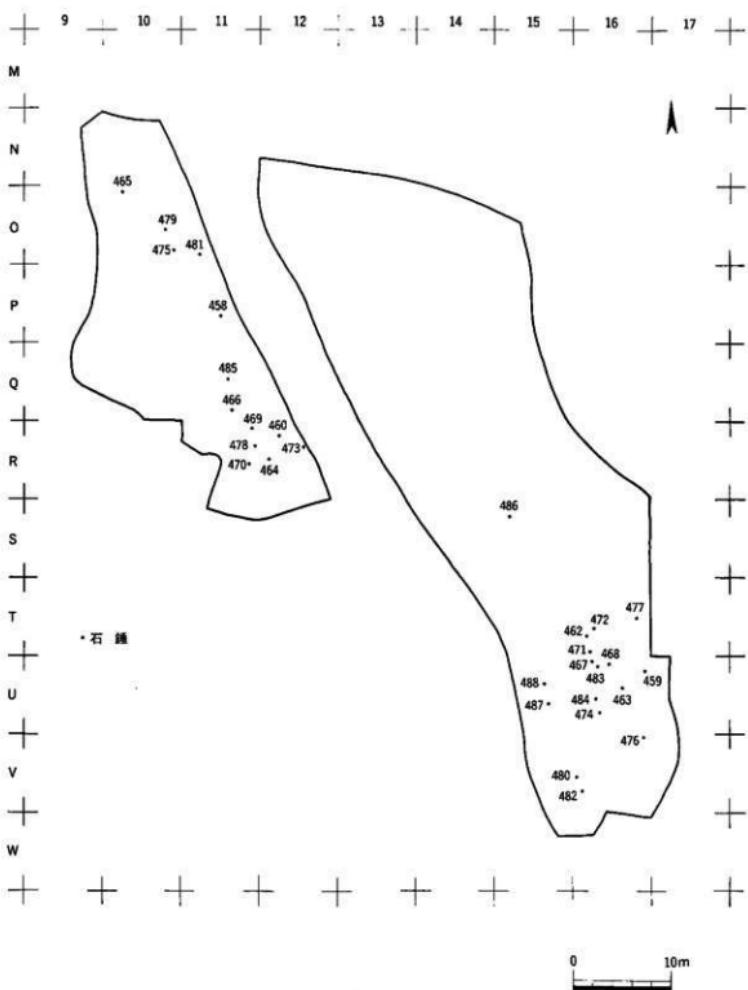


第56圖 A 地區第Ⅱ層石器實測圖(3)

両方ともU16グリットで出土した。石材は流紋岩を使用し、457は456と比較すると最大厚で重量が2倍ある。

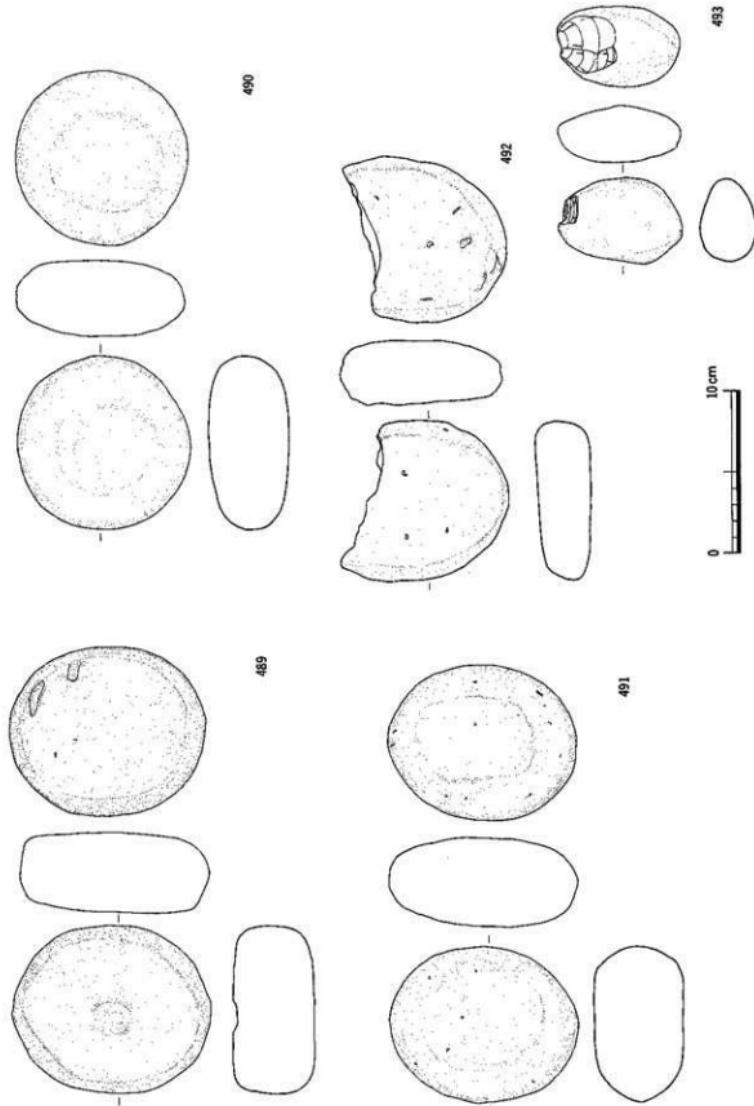
石錐 (458~488)

石錐は全部で31点出土した。長楕円形状で長軸方向を打ち欠いたもの (459~481)、やや円盤形で相対す



第57図 A地区第Ⅱ層石器分布図(1)

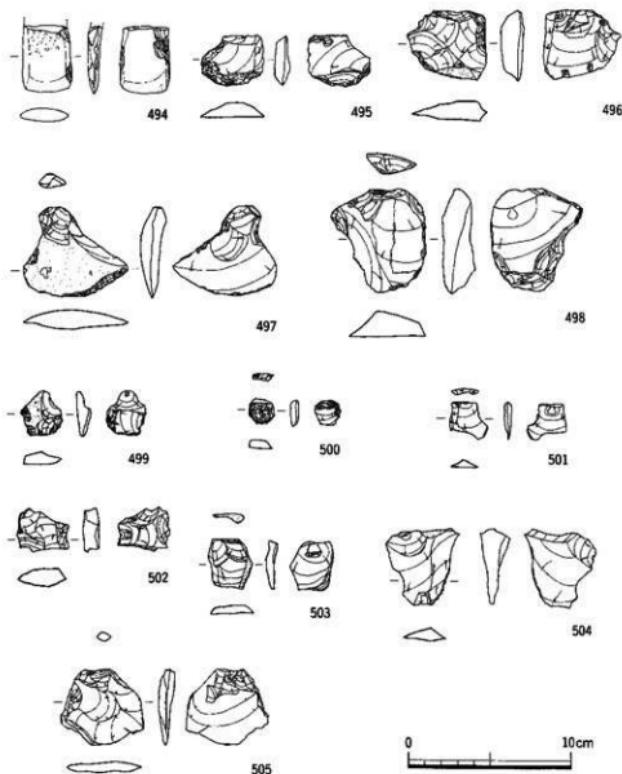
第58图 A地区第Ⅱ层石器类测图(4)



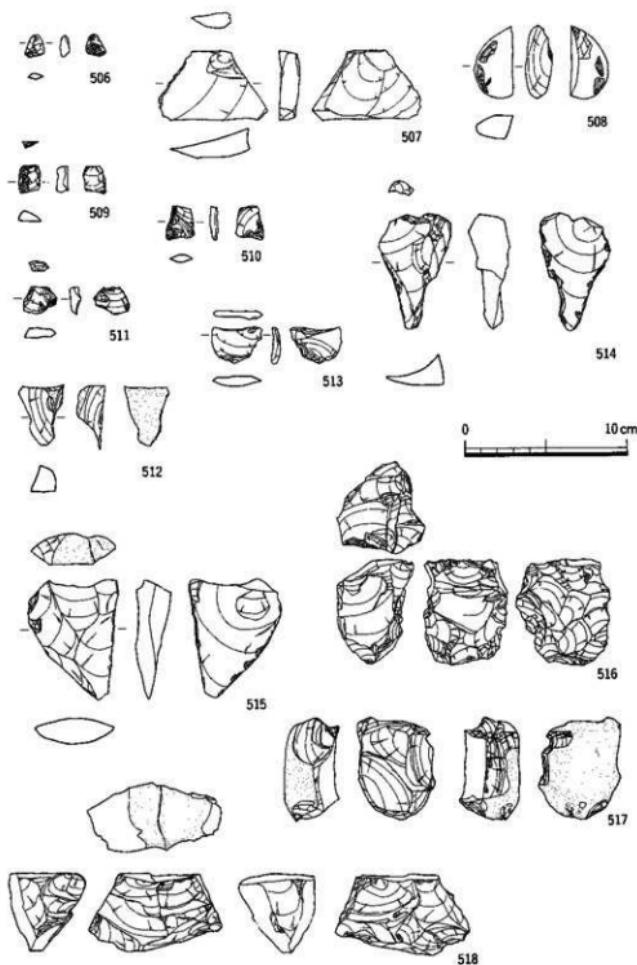
る部分を打ち欠くもの（482～484）長楕円形状で短軸方向を打ち欠くもの（485）、形状は様々であるが長軸方向に切り目を入れるもの（486～488）がある。重量は器形には関係なく、10gから重たいもので300gを越える。切り目石錐は11g～67gを示す。石材は砂岩が圧倒的で流紋岩や頁岩も使用される。481は敲打痕のようなものがみられる。

凹石・磨石・敲石（489～493）

489は中央を小さく凹ませる。側面全体には磨った痕跡がある。490～492は磨石である。石材は尾鈴山酸性岩類や安山岩が使用されている。



第59図 A地区第Ⅱ層石器実測図(5)



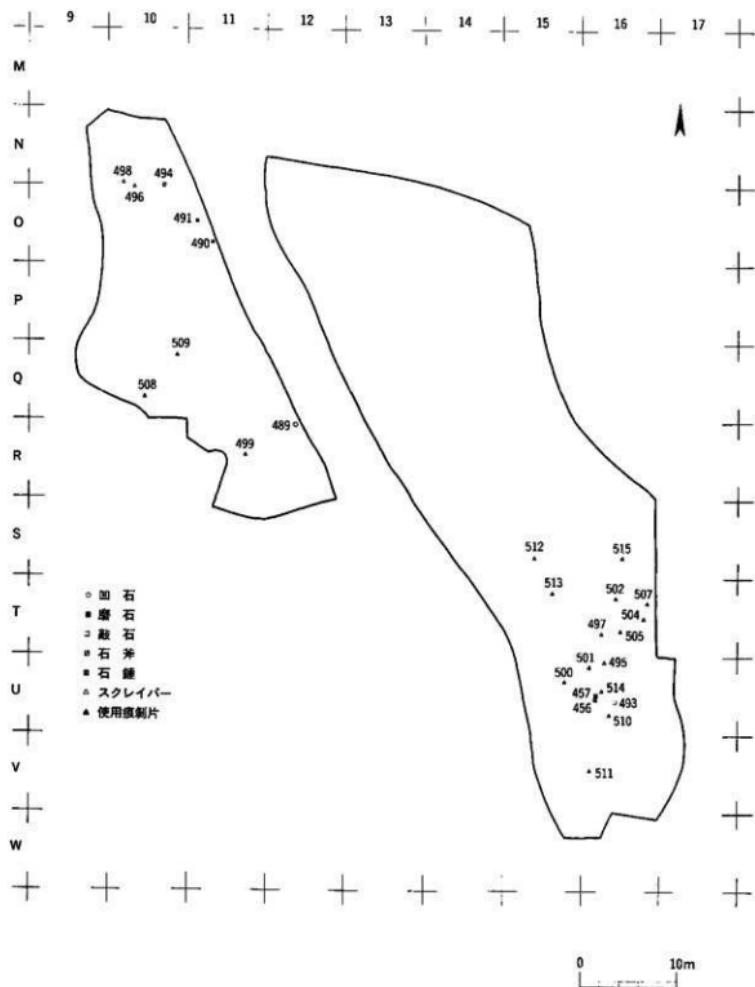
第60図 A地区第Ⅱ層石器実測図(6)

石斧 (494)

欠損しており刃部のみである。

スクレイパー (495~498)

497は自然面を残した面に細かい調整を行なっている。



第61図 A地区第Ⅱ層石器分布図(2)

表—7 A地区第Ⅱ層石器觀察表

No.	揮 図	圓版	出土地点	器 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	石 材	備 考
456	54	19	U-16	石 錘	4.0	2.4	0.65	7	流紋岩	
457	54	19	U-16	石 錘	3.8	2.5	1.15	11	流紋岩	
458	55	—	P-11	石 錘	4.1	2.9	0.7	13	頁岩	
459	55	—	U-16	石 錘	3.6	2.5	0.95	11	流紋岩	
460	55	—	R-12	石 錘	3.35	3.35	0.8	13	砂岩	
461	55	—	O-10	石 錘	3.9	3.6	0.7	15	頁岩	
462	55	19	T-16	石 錘	3.55	3.3	1.05	17	砂岩	
463	55	—	U-16	石 錘	4.5	3.95	1.1	25	砂岩	
464	55	—	R-12	石 錘	7.75	5.8	1.4	91	砂岩	
465	55	—	O-10	石 錘	4.1	3.35	0.95	18	砂岩	
466	55	—	Q-11	石 錘	4.8	3.7	1.05	23	砂岩	
467	55	—	U-16	石 錘	5.35	3.8	1.55	45	砂岩(粗粒)	
468	55	19	U-16	石 錘	5.65	3.85	1.45	43	砂岩(粗粒)	
469	55	—	R-11	石 錘	6.45	5.0	1.25	54	砂岩	
470	55	19	R-11	石 錘	4.85	4.3	1.6	49	砂岩	
471	55	—	U-16	石 錘	6.6	3.4	1.3	48	砂岩(粗粒)	
472	55	19	T-16	石 錘	6.25	3.85	1.85	57	砂岩	
473	55	—	R-12	石 錘	5.6	4.35	1.05	35	砂岩	
474	55	—	U-16	石 錘	4.8	4.05	1.25	31	砂岩	
475	55	—	O-10	石 錘	9.7	6.0	1.45	130	砂岩	
476	55	—	V-16	石 錘	5.25	4.3	1.15	38	砂岩	
477	55	—	T-16	石 錘	4.8	4.55	1.65	53	砂岩	
478	56	—	R-11	石 錘	6.9	5.5	1.7	81	頁岩	
479	56	19	O-10	石 錘	9.0	6.5	2.0	148	砂岩	
480	56	—	V-16	石 錘	9.4	6.2	2.25	180	砂岩	
481	56	19	O-11	石 錘	10.65	6.45	3.35	320	砂岩	
482	56	—	V-16	石 錘	5.7	5.55	2.05	80	砂岩	
483	56	19	U-16	石 錘	5.5	5.05	0.85	62	砂岩(粗粒)	
484	56	19	U-16	石 錘	6.4	6.2	1.95	104	砂岩	
485	56	19	Q-11	石 錘	6.55	8.45	2.2	148	砂岩	
486	56	19	S-15	石 錘	5.8	5.65	1.65	67	頁岩	
487	56	19	U-15	石 錘	4.6	2.7	0.7	12	頁岩	
488	56	19	U-15	石 錘	5.1	2.65	1.4	26	砂岩	

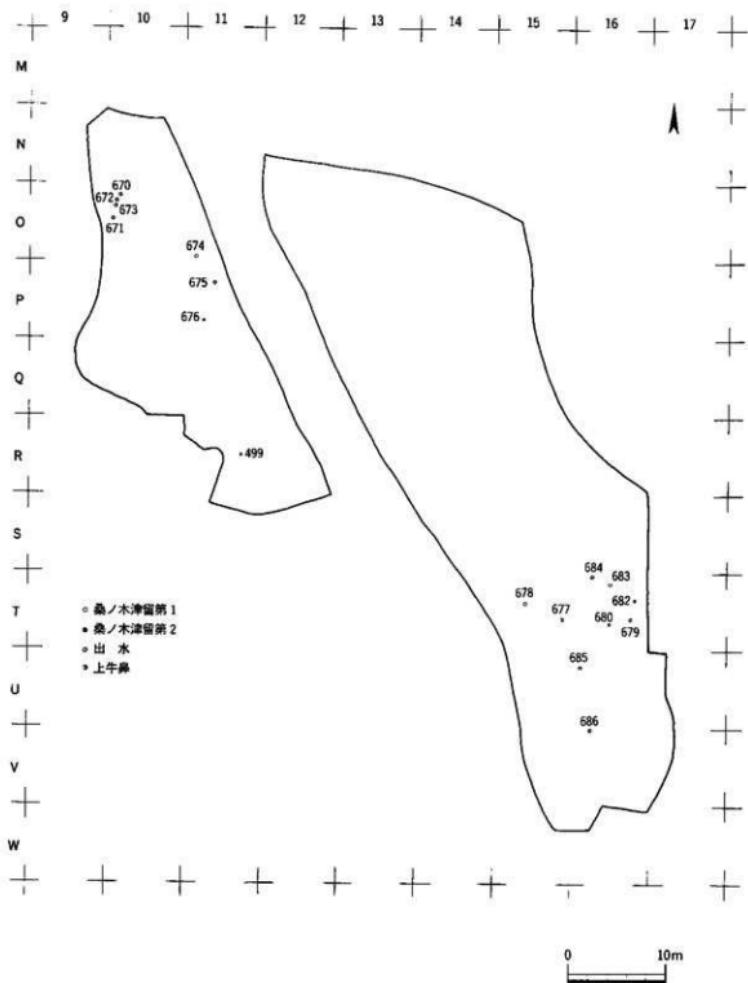
489	58	20	R-12	磨 石	11.95	10.4	4.95	985	尾鈴山酸性岩	
490	58	—	O-11	磨 石	10.4	10.65	4.7	795	尾鈴山酸性岩	
491	58	—	O-11	磨 石	11.5	9.6	5.45	830	尾鈴山酸性岩	
492	58	—	V-16	磨 石	8.5	10.0	4.0	378	安山岩	
493	58	20	U-16	敲 石	7.55	5.25	5.2	172	ホルンフェルス	
494	59	20	O-10	石 斧	4.15	3.0	0.8	15	ホルンフェルス	
495	59	—	U-16	スクレイバー	3.15	3.25	0.95	13	流紋岩	
496	59	—	O-10	スクレイバー	4.15	4.75	1.5	30	流紋岩	
497	59	20	T-16	スクレイバー	5.45	6.3	1.25	34	頁岩	
498	59	—	N-10	スクレイバー	6.3	5.6	1.9	54	頁岩	
499	59	—	R-11	使用痕剥片	2.7	2.45	0.8	4	黒曜石b	
500	59	—	U-15	使用痕剥片	1.5	1.5	1.5	1	黒曜石C	
501	59	—	U-16	使用痕剥片	2.1	2.35	2.25	2	流紋岩	
502	59	—	T-16	使用痕剥片	2.5	3.0	0.95	9	砂岩	
503	59	—	V-16	使用痕剥片	2.95	2.5	0.5	4	頁岩	
504	59	—	T-16	使用痕剥片	4.65	4.1	1.75	21	流紋岩	
505	59	—	T-16	使用痕剥片	4.6	4.9	0.9	17	ホルンフェルス	
506	60	—	O-10	使用痕剥片	1.3	1.2	0.55	0.5	ホルンフェルス	
507	60	—	T-16	使用痕剥片	4.2	6.5	1.15	37	頁岩	
508	60	—	Q-10	使用痕剥片	4.25	2.2	1.6	22	流紋岩	
509	60	—	Q-10	使用痕剥片	1.6	1.25	0.75	1	黒曜石a	
510	60	—	U-16	使用痕剥片	2.0	1.65	0.45	1	流紋岩	
511	60	—	V-16	使用痕剥片	1.65	4.2	0.65	2	黒曜石	
512	60	—	S-15	使用痕剥片	3.45	2.15	1.55	10	流紋岩	
513	60	—	T-15	使用痕剥片	2.05	3.0	0.45	4	流紋岩	
514	60	—	U-16	使用痕剥片	7.0	4.15	2.3	27	流紋岩	
515	60	—	S-16	使用痕剥片	7.05	5.4	2.05	62	砂岩	
516	60	—	T-16	プランク	6.5	5.75	—	152	頁岩	
517	60	—	T-16	プランク	6.0	4.8	—	126	流紋岩	
518	60	—	O-10	プランク	8.1	4.8	—	172	ホルンフェルス	

使用痕剥片 (499~515)

剥離痕の形状により三日月形のもの (502~505)、長方形状の剥離が認められるもの (499・500・506・507)、深い弧状の輪郭をもつもの (508~515) がある。石材は、流紋岩や頁岩が多用されている。

石核 (516~518)

516は頁岩、517は流紋岩、518はホルンフェルスである。



第62図 A地区第Ⅱ層黒曜石分布図

第2節 B地区の調査

1 第IV層の遺構と遺物

1 遺構

B地区の大まかな地形はG～I-8～10グリッド付近が約57.6mと最も標高が高く、北に向かって傾斜し、G～K-0～2グリッド周辺は標高約54.6mで南にのびる舌状台地の基部にあたり、その北西側は等高線がきつくなり、急傾斜で落ちている。

集石遺構は総数で16基検出されたが、大きくはG～I-8～10グリッド付近（a群）および標高約55.0～54.6mの北傾斜面に分布し、後者はさらにB・C-7～9グリッド（b群）、F～K-0・1グリッド周辺（c群）の箇所に分れる。

a 群

礫は集石遺構を除くと調査区全体で約20,750個検出されたが、特にH～A-0・1グリッド付近に密集しており、その分布はさらに南に延びると推定される。また、集石遺構の分布にはほぼ一致するのはc群のみで、a群では南に礫のまとまりがみられ、b群では集石遺構と一致するが検出された量は少ないなど違いがあり、三つの群の間には空白部分も存在する。重量でみると50g未満が約11,890個と最も多く、以下51～100g未満約8,300個、101～150g未満約4,390個と重くなるにつれて数量は減少する。2000gを超える礫は集石遺構の配石や台石として使用された可能性があるが総数は20点、多くは集石遺構や土器、石器などの遺物の分布とは正反対の状況を示し、集石遺構および礫空白部分に検出されている。

b 集石遺構

集石遺構は総数で16基検出されたが、形態としては土坑および配石を有するもの（A-1類）3基、土坑のみのもの（A-2類）4基、土坑をもたず礫のみが集積されたもの（B-2類）9基となる。a群では2基検出され、B-2類のみ、b群では4基（A-2類2基、B-2類2基）、c群では10基（A-1類3基、A-2類2基、B-2類5基）とc群に分布の中心があり、さらに形態においてもc群のみにA-1類がみられる。

出土遺物は非常に少なく、第41・42号集石遺構から土器が2点検出されたにすぎなかった。

第31号集石（第66図）

第31号集石は、I 2グリッド第36号集石の東約12mに位置する。IV層中から検出され、V層まで掘り込まれる。掘り込みは、長径1.13m、短径約1.06m、深さ約0.30mの不整円形を呈す。礫は874個あり約1.3m×1.0mの方形状に広がる。4～18cm大の礫が掘り込み全体に詰り、床面にのみ30cm前後の礫が4個配されている。

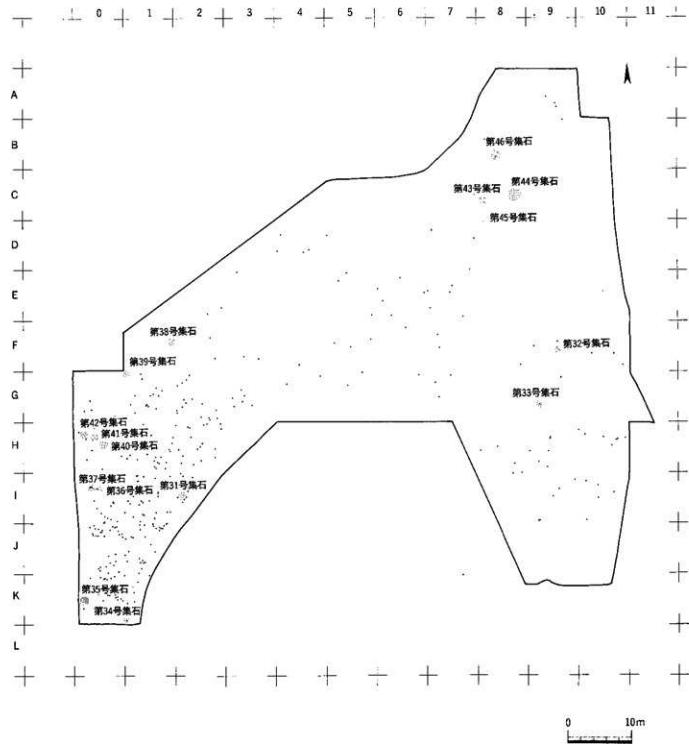
第32号集石（第64図）

第32号集石はF 9グリッド、第33号集石の北約12mに位置する。礫は241個検出され、1.0m×0.65mの範囲に重なりあって集積している。調査では掘り込みは確認できなかったが、礫の断面の状況や1000gを超える礫3点を検出していることなどから掘り込みを有していた可能性が高い。炭化物や焼土は確認できなかつた。

第33・34号集石（第64図）

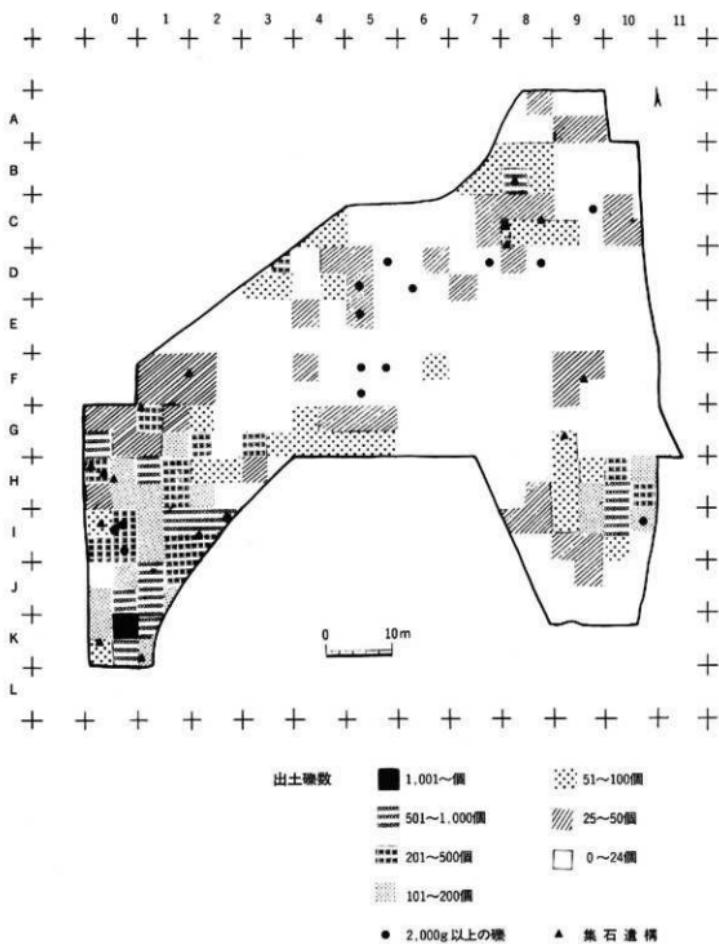
IV層中で検出されたが、何れも掘り込みをもたない形態で、礫も平面的な広がりをなす。また、炭化物や焼土は確認できなかつた。

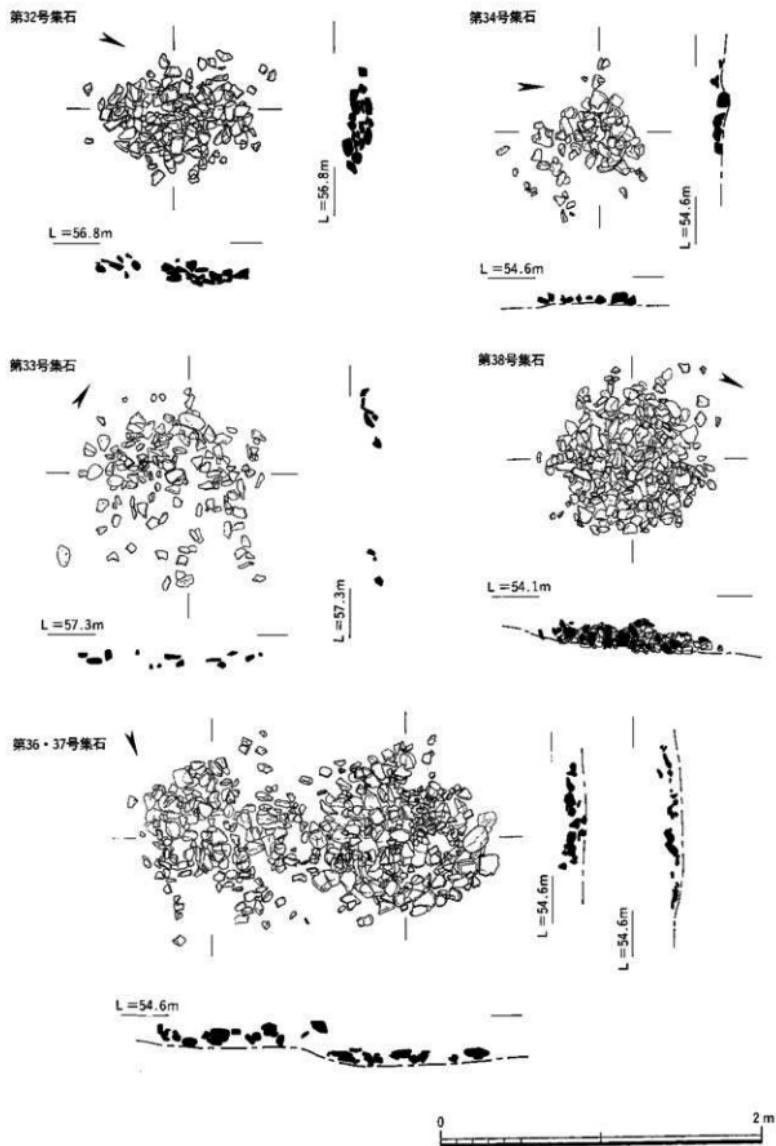
第33号集石はG 9グリッド、第32号集石の南約12mに位置する。1.25mの範囲に散漫に157個の礫が分布



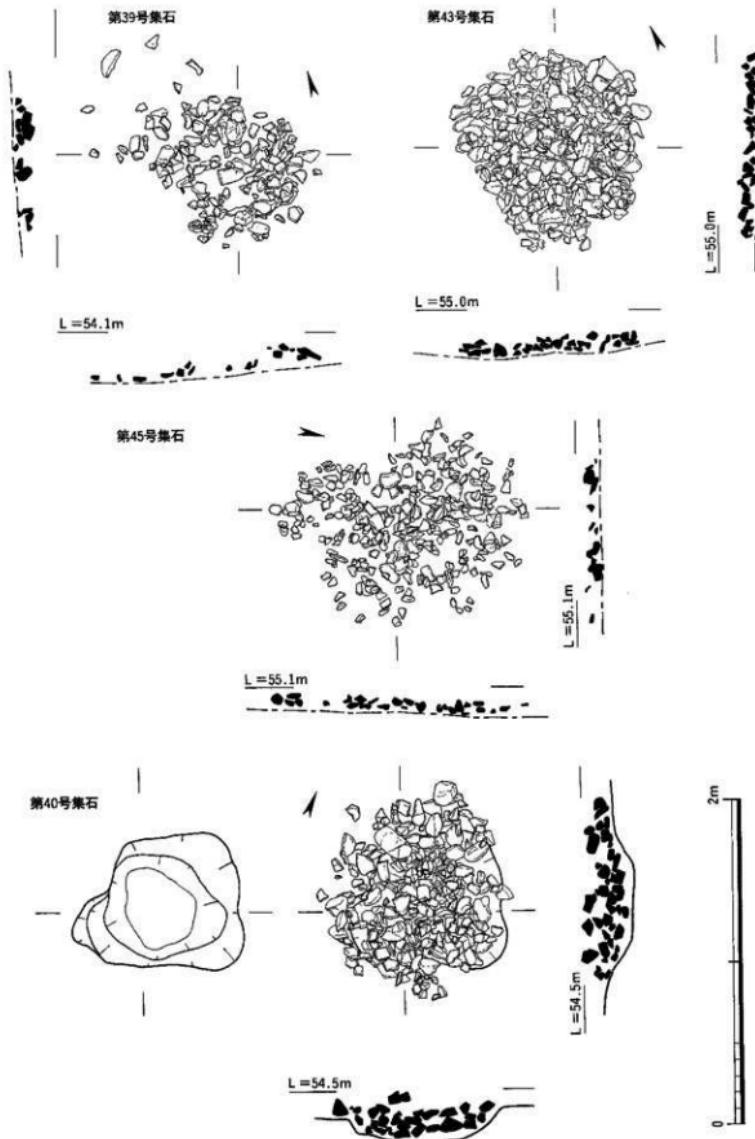
第63図 B地区第11層調査状況図

表一8 B地区第M層グリット別礫構成表



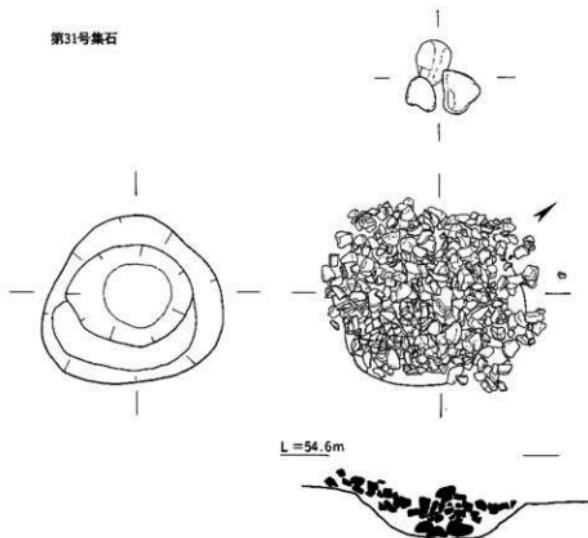


第64図 B地区第IV層集石造構実測図(1)

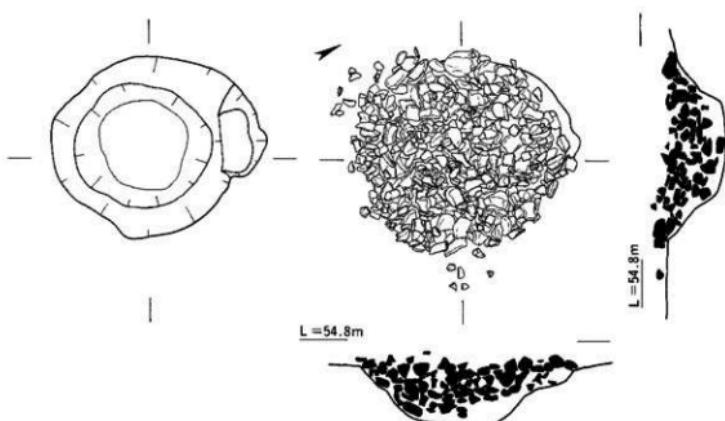


第65図 B地区第IV層集石遺構実測図(2)

第31号集石

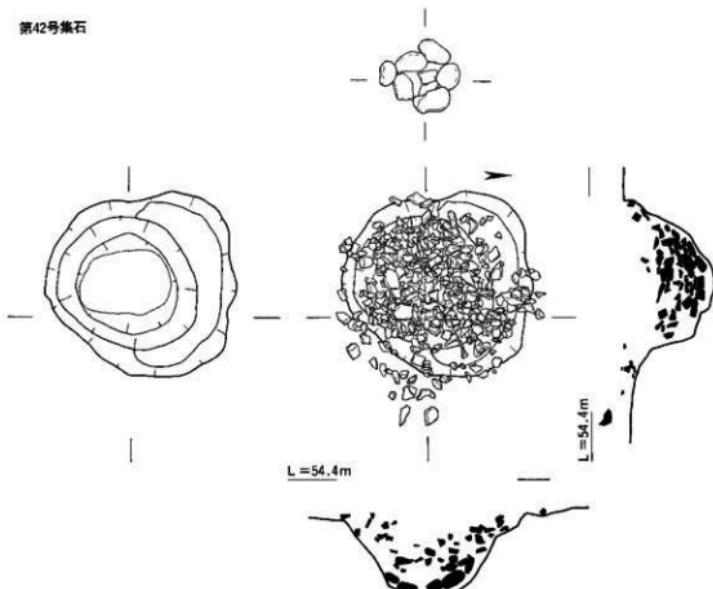


第35号集石

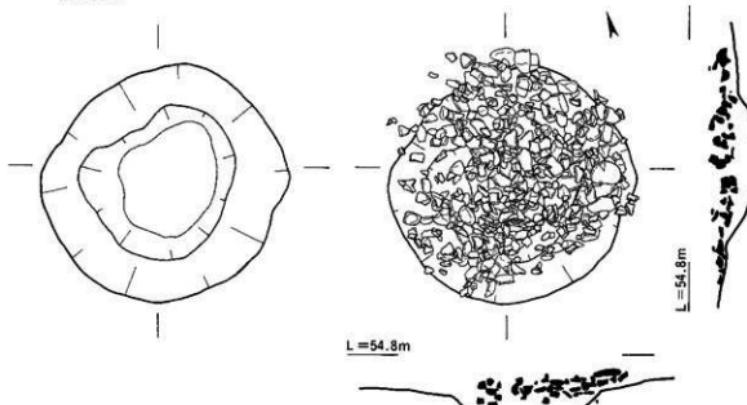


第66図 B地区第IV層集石遺構実測図(3)

第42号集石



第46号集石



0 2m

第67図 B地区第IV層集石遺構実測図(4)

している。500 g を超える礫は含まれない。第34号集石は K 1 グリッドに位置し、0.8m の狭い範囲に広がる。91個からなるが500 g を超えるものはない。

第35号集石（第66図）

第35号集石は、K 0 グリッドIV層中から検出され、第34号集石の北西約6 m に位置する。掘り込みは二段に掘られ、長径1.31m、短径約1.11m、深さ約0.37mの不整形円形を呈す。埋土は炭化物を微量含む褐色土、床面から約20cmの高さ（二段目の掘り込み）付近からは炭化物を含むやや軟質の黒褐色土となり、礫にも多量の炭化物が付着している。検出面での礫は径約1.25mの範囲に広がるが、掘り込み内に配石はみられない。ただ、2000 g を超す礫が3点検出されているものの、多くは10cm内外の小さな礫が掘り込み内に詰っている。焼土は確認できなかった。

第36・37号集石（第64図）

第36・37号集石は、I 0 グリッドに隣接して検出された。いずれも加熱によるヒビ割れをなしているものが多いが、炭化物、スス、焼土等は認められなかった。また、明瞭な掘り込みや配石もみられない。第36号集石は平面的に約1 m の範囲に広がり、第37号集石は15cm前後の偏平な礫と小振りの礫約400個が重なりあって集積され36号と対象的な状況を示している。さらに埋土の状況に違いがないことや礫の堆積状況にレベル差が認められることから時期差が想定される。

第38号集石（第64図）

第38号集石は、F 1 グリッドIV層中から検出され、第39号集石の北東約8mに位置する。掘り込みは検出面では確認できなかったが、礫の堆積状況からすれば掘り込みを有していた可能性がある。礫は約320個からなり10cm前後の大きさのものが多く、径約0.9mの範囲に広がり、重なって集積されているが、配石らしい大きめのものは見られない。炭化物や焼土も確認できなかった。

第39・43・45号集石（第65図）

IV層中で検出されたが、何れも掘り込みをもたない形態をなす。

第39号集石は G 1 グリッド、第38号集石の南西約7 m に位置する。径0.8mの範囲に礫が集中しているが礫のほとんどは重ならず平面的に広がる。第43号集石は C 8 グリッド、第44号集石の西約4 m に位置する。礫は10cm内外の破碎礫が重なりあって集積されている。第45号集石は C 8 グリッド、第43号集石の南約2 m に位置する。礫は2～5 cmの赤変した破碎礫約330個が径1.55m×1.1mの範囲に平面的に広がる。礫群の中央付近では厚さ5 cm程度黒褐色土が堆積している。炭化物は全体に観察され、床面にも認められた。

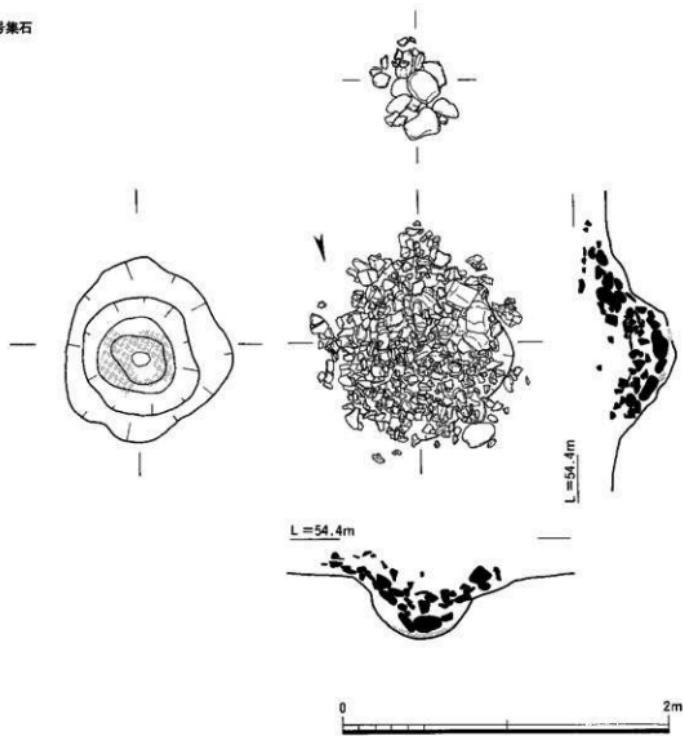
第40号集石（第65図）

第40号集石は、H 0 グリッドIV層中から検出され、第41号集石に隣接する。掘り込みを有し、長径0.97m、短径約0.80m、深さ約0.21mを測る。礫は約390個検出され、径約1.2mの範囲に広がるが、配石は見られず、7～15cm大の礫が掘り込み全体に詰り、床面から約10cm付近で特に密集している。

第41号集石（第68図）

第41号集石は、H 0 グリッドIV層中から検出され、第40・42号集石に挟まれている。下部に掘り込みを有し、長径1.13m、短径約0.98m、深さ約0.37mの不整形を呈す。埋土は上層が炭化物を微量含む暗褐色土、下層が炭化物を含む黒褐色土。礫は径約1.2mの範囲に広がり、比較的大きめで偏平な礫が掘り込みの床面および傾斜に沿って配されている。さらにその配石の上部には10cm内外の小さな礫が多量に詰っている。礫総数は約880個で、2000 g を超えるものが8点検出されている。また、焼土が配石の下、掘り込み床面で認められた。

第41号集石



第68図 B地区第IV層集石遺構実測図(5)

遺物としては、土器が1点出土している。519は山形の押型文土器で斜位帶状に施文される。色調はにぶい橙色である。胎土は黒色光沢粒、透明粒、白色粒と小石粒を微量含む。

第42号集石（第66図）

第42号集石は、H 0 グリッドIV層において不明瞭ながら落ち込みが認められた。掘り込みは、長径1.17m、短径約1.11m、深さ約0.45mの不整円形をなし、床面は径約0.62mの範囲で10cm程度深く掘り下げられる。埋土は上層が炭化物を微量含む暗褐色土、下層が炭化物を多量に含む黒褐色土。礫は10cm以下の小さなもので、掘り込みの中位から下位にかけて検出され、床面から約5cm浮いた位置で7個の偏平な礫が配されている。焼土は確認できなかったが床面が部分的に赤変し固くしまっている箇所が認められた。

遺物としては、土器が1点出土している。520は内側が剥離している。櫛歯状の工具で縦方向に段を構成して浅く条痕状に連續施文される。色調はにぶい橙色で、胎土は半透明砂粒を多く含む。IV類に属すると思われる。（分類基準はII-第一2節遺跡の概要参照）

第44号集石（第66図）

第44号集石はC 8 グリッド、第43集石の東約4m北側の緩斜面に位置する。礫の広がりでは最大規模の集石遺構で、径約2mを測る。礫総数は約1,850個、2,000gを超えるものが39点。検出された礫は3~20cm程度の大きさであるが10cm内が大部分を占め、下部の方に1~3cmの小振りの礫が多くなる。掘り込みは、長径2.17m、短径約1.95m、深さ約0.15mの不整円形をなす。配石はみられない。埋土は炭化物を含む暗褐色土で、埋土中に部分的に焼土がみられ、礫にもススや炭化物が付着しているものが認められた。炭化物は下層にならにつれ0.5~2mmの大きなものが多くなる。

第46号集石（第68図）

第46号集石は、B 8 グリッド、調査区の北端に位置する。掘り込みを有するが配石はない。径約1.5mの円形を呈す。掘り方は周囲は浅い皿状をなし、中央部さらに15cm程度一段深く掘り込まれる。礫は褐色土埋土とするこの浅い皿状の部分に検出され、礫を取り除くと下位に炭化物（0.1~1cm大）を混入した黒褐色土が堆積しているが、焼土は確認できなかった。

このように、集石遺構やその形態による分布、あるいは礫やあとで述べる遺物の分布状況などをみると、それらは生活活動の違いを表出している可能性があり、遺物の分布や炉として想定される土坑内に配石を有する集石遺構がc群のみにみられる状況は示唆的である。礫および遺物のまとまりを人間の生活活動の結果と考えれば、c群がその中心であったことは想定される。それに対し遺物および礫の検出が少ないa・b群についてもやはり何らかの活動の痕跡であり、それはやはり集石遺構の機能差に求めるべきであろうか。時期比定は当然のことながら、礫の焼成の有無の判断、予備礫・廃棄礫の認定など現段階では詳細には言及できない。

2 遺物

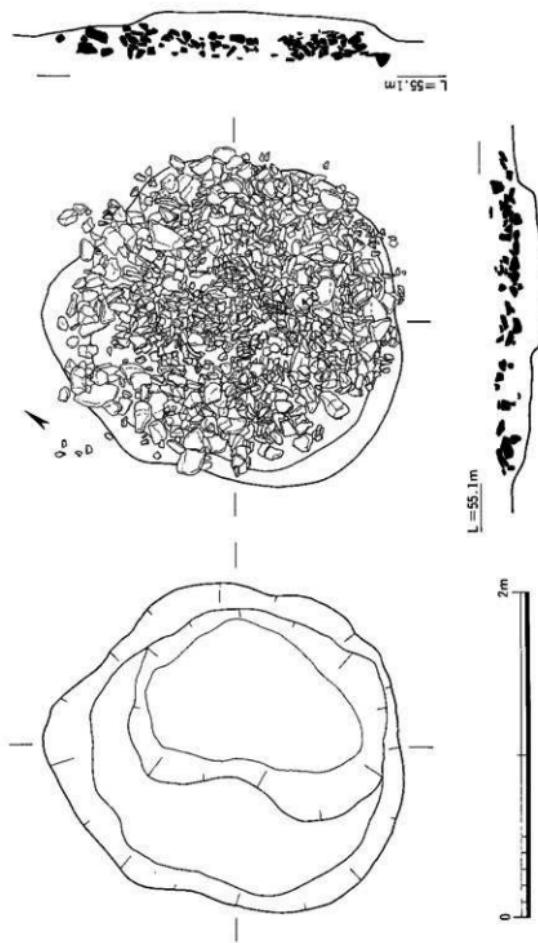
a 土器

B地区の出土遺物は、前平式を中心とするI類や押型文土器のⅣ類が大勢を占める。その分布状況は、平面的には調査区西側に集中し、垂直分布状況は他の遺物も含めてみても明確に区分する事はできなかった。

I類土器（521~541）

口縁部に貝殻やヘラ状工具を用いて、押圧又は刺突するなどして施文するものである。

第44号集石



第65图 B地区第IV层集石堆积剖面图(6)

1類(526) 口縁端にヘラ状工具による連続押圧文(刺突文)を施す。

2類(521~525・527) 口縁部に竪状工具による2段の連続押圧文と横方向の貝殻条痕文を施す。521・522は太いヘラ状工具で深めに施文する。523は押圧文を上段と下段で交互に施文し、貝殻条痕は、524・525と同様で横方向に太く施文する。器形は、全て直行する口縁部で口唇部が527以外は平坦となる。527は、口唇部が尖口氣味となる。

3類(528~530) 口縁部に貝殻復縁連続刺突文を施す。528・529は縦位に貝殻刺突文を浅く施されることからa類に属する。530は斜位に間隔をあけて貝殻刺突文を浅く施文する。b類に属すると思われる。

5類(538・540) ヘラ状工具や貝殻腹縁により上から下に縦条痕を施す。538は斜位の貝殻条痕を施した後に1段のみ長さ約1cm程の縦条痕を入れる。540は横位の貝殻条痕後2段に列点文状に施す。口唇部は斜方向の刻目を施す。

6類(531~537) ヘラ状工具や貝殻腹縁により連続刺突をするなどして縦位に浅くて細く条痕状に施すものである。531・532は口縁端部に浅く短く施文し、斜位に貝殻条痕を施す。

III類土器(545)

口縁部や胴部に斜位又は綾杉状に連続刺突文を施すもので、545はヘラ状工具で綾杉文を施し、横位の貝殻復縁刺突文もみられる。

IV類土器(544)

貝殻やクシ歯状工具等を使用して羽状や流水状に施文するもので、544は1類に属し、クシ歯状のもので斜位・羽状に短く施文するものである。

V類土器(546~548)

塞ノ神・平格式土器である。

1類(546) 口縁部や頸部に貝殻連続刺突文を施すものである。三代寺式といわれている。546は口縁部に縦位の貝殻刺突文を巡らせている。

3類(547・548) 2本の平行沈線間に捺糸文を施すもので格ノ原式といわれている。547は丁寧な作りで器壁は薄い。口唇部両端に斜位の刻目を入れ、口縁部は二本の平行沈線を直線的に施す。548は横位の平行沈線を3本入れ、その下に捺糸文を施す。

VI類土器

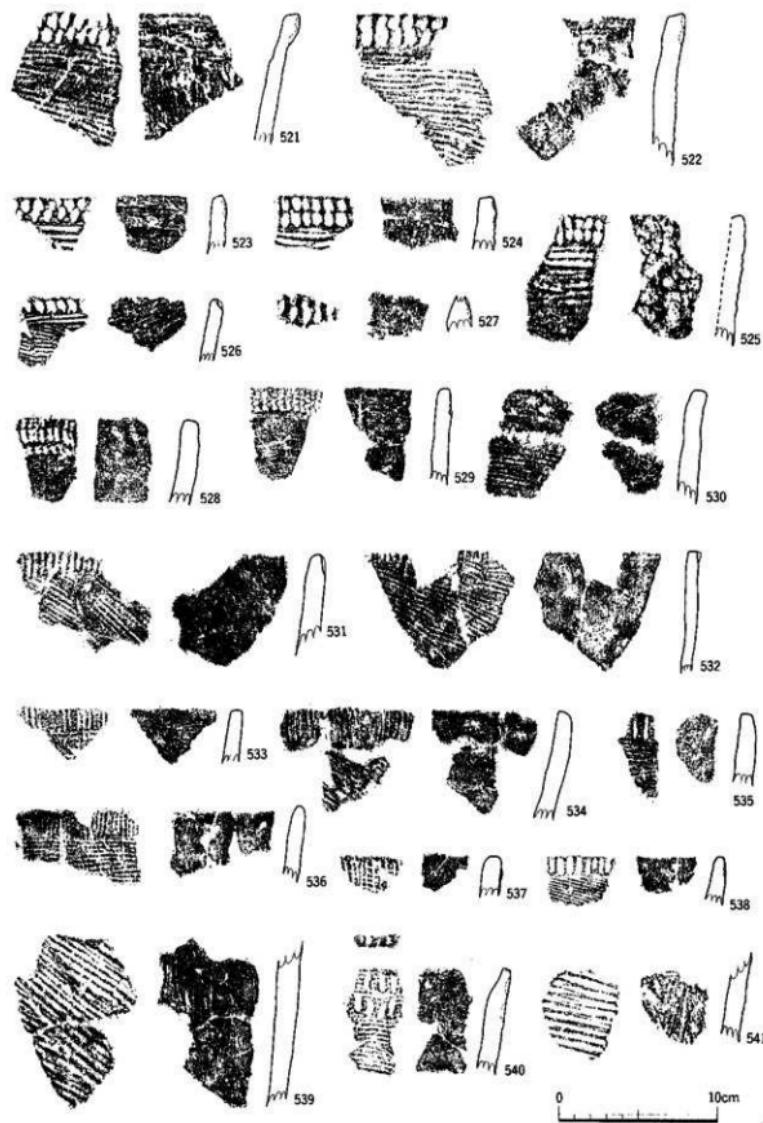
押型文土器である。文様形態により、山形・楕円・格子目の三種類に分類した。それを、山形施文については、施文状況が密で丁寧に施してあるものを「山形A類」とし、施文が雑で間延びしたようなものや文施文単位が大きなものを「山形B類」とした。また、楕円については、丸味のあるものを「楕円A類」とし直線的で菱形状のものを「楕円B類」に分け、さらに施文方向や施文部位等でそれぞれ分類した。ただし胴部のについては一括で取り扱った。B地区の押型文土器は表9のとおりである。押型文土器のはほとんどは、調査区西側で出土しており、垂直分布による分類は他の土器同様不可能である。



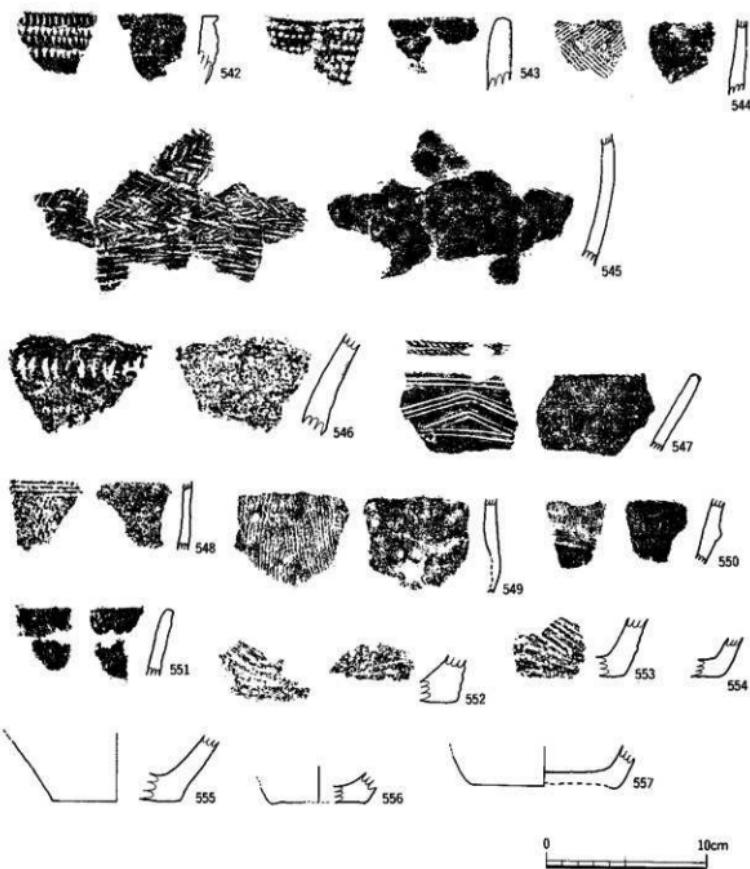
第70図 B地区第17層集石遺構
出土遺物実測図

山形A類口縁部は縦施文の564で口唇部に竹管状のもので小さく連続刺突される。口縁部内側は横位の山形押型文が施される。

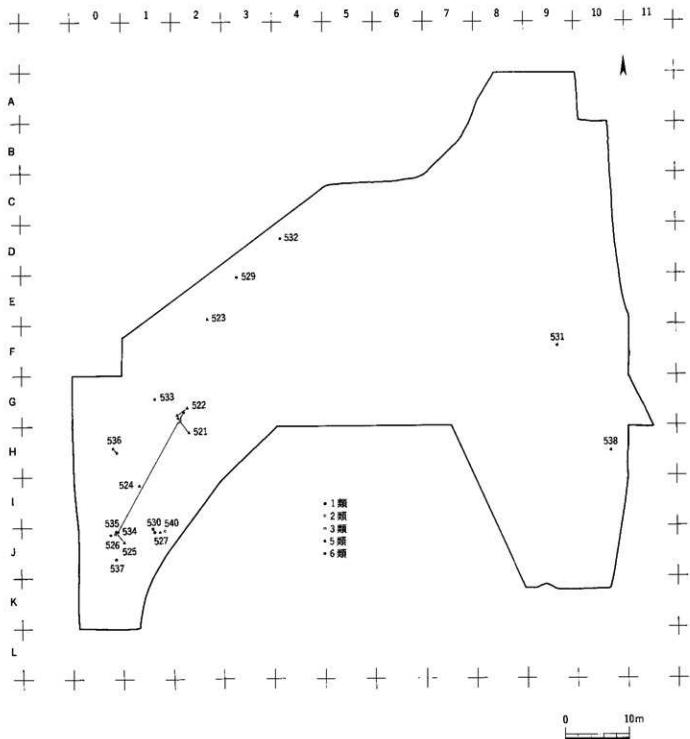
山形B類口縁部の施文方向は一定でなく、横、縦、斜に分けられる。



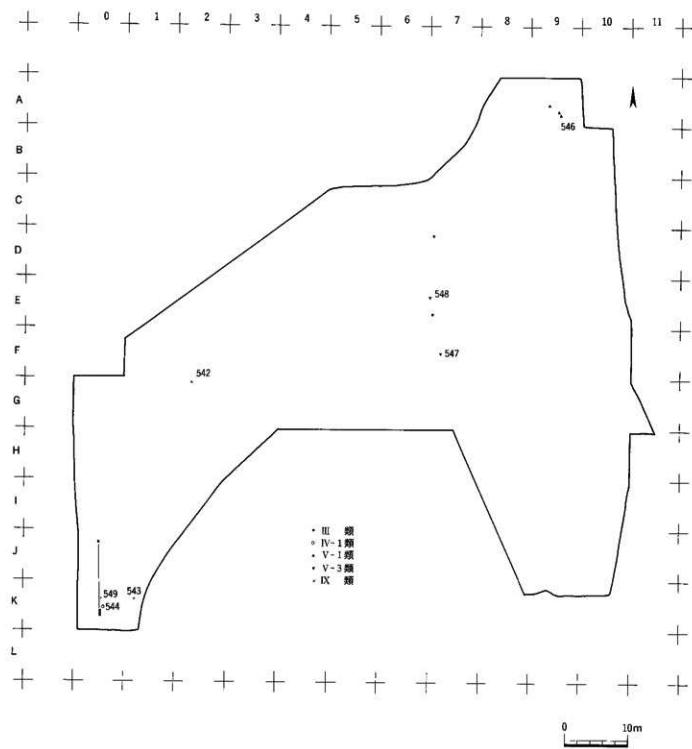
第71図 B地区第IV層縄文土器実測図(1)



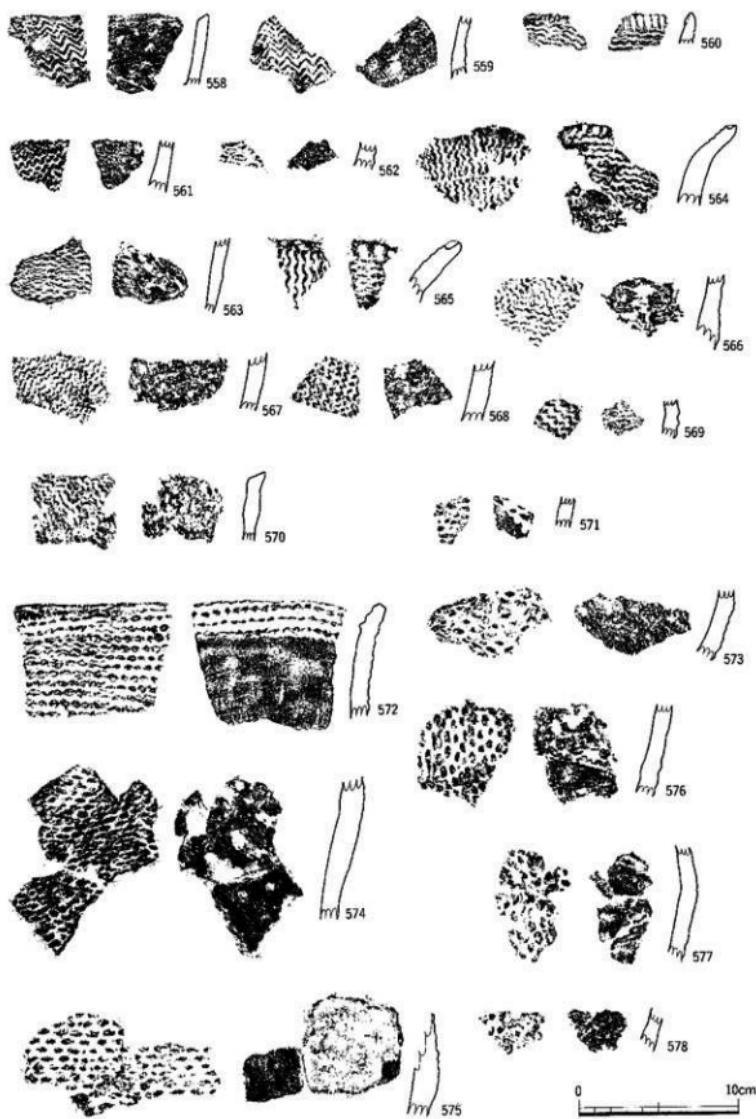
第72図 B地区第IV層縄文土器実測図(?)



第73図 B地区第M層縄文土器（I類）分布図



第74図 B地区第IV層縄文土器（Ⅲ～V・K類）分布図



第75図 B地区第IV層縄文土器実測図(3)

表-9 B地区第IV層縄文土器第VI類口縁部分類表

分類記号		外面施文	内面施文	横状文	口唇施文	器形	備考
山形A	1 a	縱方向	○	×	○	外反	564
山形B	1 a	横方向	×	×	×	直開	558
	1 b	横方向	×	×	×	やや外反	559
2	a	縱方向	○	×	○	外反	565
	3 a	斜方向	○	○	×	直開	560
楕円A	2 b	縱方向	○	×	○	やや外反	572
	3 c	斜方向	○	×	×	外反	571

558・570は口縁部外側のみの山形押型文である。560は口縁部内側に唯一短い横状文（原体条痕）が施される。565の口唇部は564と同じ手法であるが565は大きく施文される。胸部も施文方向は部位の違いがあるものの一定しない。563は横位で施文が重なり合っている。

楕円A類口縁部施文方向は横と斜方向である。I 1・J 1グリットに分布している。572は口縁部内側に横位の楕円押型文が施文される。

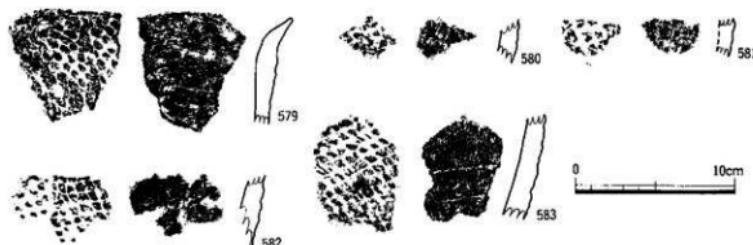
楕円B類すべて胴部で横方向の施文である。

K類土器 (550・551)

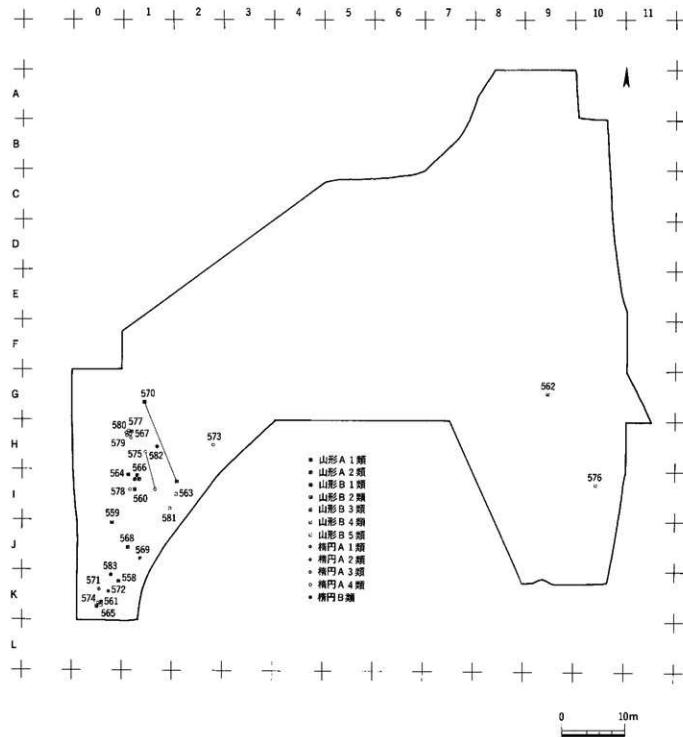
2類無文系の土器である。550はナデ調整で突帯を有する。

X類土器

その他としてまとめた。542は口縁部に縱位の短い貝殻連続刺突文を4段に分けて施される。543は口縁部に横位の貝殻腹縁刺突文を数段巡らす。549は、縱位の撚糸文を施す。



第76図 B地区第IV層縄文土器実測図(4)



第77図 B地区第IV層縄文土器（四類）分布図

表-10 B地区第IV層縄文土器観察表

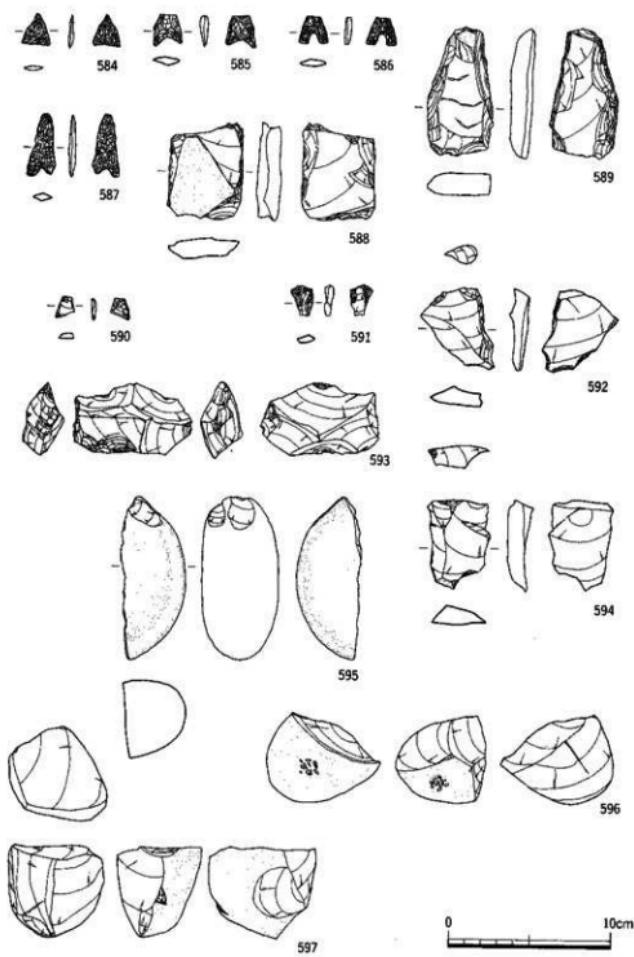
※①口唇部 ②口縁部 ③脚部 ④底部

No.	層級	図版	出土地点	文様・調査		色 漆	跡 上	焼 成	備 考
				外 面	内 面				
521	71	—	H-2	②ヘラ状工具による2段連続押印文 ③貝殻条痕	②横方向のケズリ風ナデ ③ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ④ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑤ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑥ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑦横方向のいねいなナデ ⑧横方向のいねいなナデ ⑨横方向のナデ	外 Hue2.5Y 黒褐色3/1 内 Hue10YR にぶい黄緑7/4	半透明粒(1mm前後) 多量 白色粒(1mm~3mm) 多量 輕石状のスコリア少量 にぶい黄緑7/4	やや堅緻	
522	71	14	J-1	②ヘラ状工具による2段連続押印文 ③貝殻条痕	②横方向のケズリ風ナデ ③ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ④ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑤ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑥ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑦横方向のいねいなナデ ⑧横方向のいねいなナデ ⑨横方向のナデ	外 Hue10YR 浅黄緑8/4 内 Hue10YR にぶい黄緑7/2	白色粒(1mm~3mm) 多量 半透明粒(1mm前後) 多量 輕石状のスコリア少量 にぶい黄緑7/2	やや堅緻	
523	71	—	J-1	②ヘラ状工具による2段連続押印文 ③貝殻条痕	②横方向のケズリ風ナデ ③ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ④ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑤ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑥ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑦横方向のいねいなナデ ⑧横方向のいねいなナデ ⑨横方向のナデ	外 Hue7.5YR 白褐色6/4 内 Hue5YR にぶい黄緑7/4	白色粒(1mm以下) 少量 半透明粒(1mm前後)	堅緻	
524	71	—	K-1	②ヘラ状工具による2段連続押印文 ③貝殻条痕	②横方向のケズリ風ナデ ③ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ④ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑤ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑥ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑦横方向のナデ ⑧横方向のナデ ⑨横方向のナデ	外 Hue10YR 黒褐色3/1 内 Hue7.5YR 橙6/6	半透明粒(1mm前後) 多量 白色粒(1mm前後) 多量 砂粒少量 輕石状のスコリア多量	やや堅緻	
525	71	—	J-0	②ヘラ状工具による2段連続押印文 ③貝殻条痕	②横方向のケズリ風ナデ ③ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ④ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑤ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑥ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑦横方向のナデ ⑧横方向のナデ ⑨横方向のナデ	外 Hue7.5YR 灰褐色4/2 内 Hue5YR 橙7/6	白色粒(1mm~5mm) 多量 半透明粒(1mm前後) 多量 赤色粒(1mm前後) 少量	やや堅緻	
526	71	—	J-1	②端部にヘラ状工具による連続押印文	②横方向のケズリ風ナデ ③ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ④ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑤ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑥ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑦横方向のナデ ⑧横方向のナデ ⑨横方向のナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	白色粒(1mm以下) 多量 半透明粒(1mm以下) 多量	堅緻	
527	71	—	J-1	②ヘラ状工具による2段連続押印文	②横方向のケズリ風ナデ ③ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ④ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑤ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑥ドカラ上方に向かうケズリ風ナデ ⑦横方向のナデ ⑧横方向のナデ ⑨横方向のナデ	外 Hue10YR にぶい黄緑7/4 内 Hue10YR にぶい黄緑6/3	半透明粒(1~4mm) 多量 白色粒(1mm前後) 多量 砂粒少量 半透明粒	堅	
528	71	—	K-1	②縦のU型深絞連続刺突文 ③条痕	②横方向のナデ ③ナデ ④ナデ	外 Hue10YR 灰褐色7/2 内 Hue10YR 灰褐色7/2	白色粒(1mm~2mm) 多量 半透明粒(1mm前後) 多量 輕石状のスコリア少量	やや堅緻	
529	71	14	K-1	②縦のU型深絞連続刺突文 ③条痕	②横方向のナデ ③ナデ ④ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄緑7/4 内 Hue7.5YR 浅黄8/4	半透明粒(1mm以下) 多量 白色粒(1mm以下) 少量 赤色粒(1mm以下) 少量	堅緻	
530	71	—	J-1	②斜位の貝殻痕連続刺突文	②横方向のナデ ③ナデ ④ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄8/4 内 Hue2.5Y 浅黄8/4	白色粒(1mm前後) 多量 半透明粒(1mm前後) 多量 砂粒多量	やや堅	
531	71	—	J-1	②ヘラ状工具による縦の連続刺突文	②横方向のナデ ③ナデ ④ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄緑7/4 内 Hue7.5YR にぶい黄緑7/4	白色粒(1mm前後) 多量 半透明粒(1mm前後) 多量 赤色粒(1mm前後) 少量 砂粒少量	堅	
532	71	14	K-1	②ヘラ状工具による縦の連続刺突文 ③貝殻条痕	②横方向のナデ ③ナデ ④ナデ	外 Hue10YR にぶい黄緑7/2 内 Hue10YR 赤褐色6/1	黑色多量 輕石状のスコリア少量 半透明粒(1mm以下) 多量 白色粒(1mm以下) 多量 赤色粒(1mm以下) 少量	やや堅緻	
533	71	—	K-1	②ヘラ状工具による縦の連続刺突文 ③貝殻条痕	②横方向のナデ ③ナデ ④ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue5Y 灰褐色6/1	半透明粒(1mm以下) 多量 白色粒(1mm以下) 少量 輕石状のスコリア少量	やや堅緻	
534	71	—	K-1	②ヘラ状工具による縦の連続刺突文 ③貝殻条痕	②横方向のナデ ③ナデ ④ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 浅黄7/3	輕石状のスコリア少量 白色粒(1mm以内) 多量 半透明粒(1mm以内) 多量	堅	
535	71	—	J-0	②ヘラ状工具による縦の連続刺突文 ③条痕	②横方向のナデ ③ナデ ④ナデ	外 Hue7.5YR にぶい黄緑7/4 内 Hue7.5YR にぶい黄緑6/3	半透明粒(1mm以下) 多量 白色粒(1mm以下) 少量 輕石状のスコリア少量	堅	

No.	揮因	因版	出土地点	文様・調査		色 調	地 土	焼 成	備 考
				外 面	内 面				
536	71	—	J-1	②ヘラ状工具による板の連續刺突文 ③貝紋奈良	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR 灰黄褐6/2	白色粒(1mm以下) 多量 半透明粒(1mm以下) 多量 赤色粒(1mm以下) 少量	堅	
537	71	—	J-1	②ヘラ状工具による板の連續刺突文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR 灰黄褐6/2	半透明粒(1mm以下) 少量 白色粒(1mm以下) 少量	堅	
538	71	—	J-1	②ヘラ状工具による上から下方向への条痕 ③貝紋奈良	②ナデ	外 Hue2.5Y 明灰黃5/2 内 Hue2.5Y 黄5/1	半透明粒(1mm前後) 多量 白色粒(1mm前後) 少量	やや堅板	
539	71	—	J-1	③貝紋奈良	③輻方向のナデ	外 Hue2.5YR 褐6/8 内 Hue2.5YR 橙6/6	白色粒(1mm以下) 多量 半透明粒(1mm以内) 多量 赤色粒(1mm以内) 少量	堅板	
540	71	—	K-1	①割目 ②貝紋縦條痕後2段に板の連續刺突文 ③貝紋奈良	②横方向のナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue10YR 褐6/1	半透明粒(1mm前後) 多量 砂粒少量	堅	
541	71	14	I-0	③貝紋奈良	③下から上方に向へのケズリ墨ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	白色粒(2mm~3mm) 多量 雲母多量 赤色粒(1mm前後) 多量	堅	
542	72	—	I-9	②板の貝紋連續刺突文	②ていねいなナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue10YR にぶい黄橙7/4	砂粒多量 半透明粒(1mm以下) 少量 赤色粒(1mm以下) 少量	厚板	
543	72	15	I-9	④鏡のII級旗縫刺突文	②ナデ	外 Hue2.5YR にぶい褐5/4 内 Hue2.5YR にぶい赤褐5/4	白色粒(1mm~2mm) 多量 雲母多量	堅	
544	72	—	I-10	③クシ状工具による連續刺突文	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙6/3 内 Hue2.5YR 灰オリーブ5/2	白色粒(1mm~3mm) 多量 砂粒少量 輕石状のスコリア多量	やや堅板	
545	72	—	I-9	③ヘラ描の絞杉文と貝紋縫刺突文	②横方向のナデ	外 Hue2.5YR にぶい赤褐5/4 内 Hue2.5YR にぶい赤褐5/3	白色粒(1mm前後) 多量 赤色粒(1mm前後) 少量	堅板	
546	72	14	I-9	⑤貝紋縦條縫刺突文	②ナデ	外 Hue2.5YR にぶい橙7/4 内 Hue2.5YR 橙6/6	黑色粒少量 半透明粒(1mm前後) 多量 白色粒(1mm前後) 多量 赤色粒(1mm前後) 多量	堅	
547	72	14	I-8	①端部に割目 ②沈線文	②横方向のナデ	外 Hue2.5YR にぶい赤褐5/4 内 Hue10YR にぶい黄橙6/3	雲母多量 白色粒(1mm前後) 多量 半透明粒(1mm前後) 少量 輕石状のスコリア多量	堅板	
548	72	14	I-10	③熟系文 沈線文	②ナデ	外 Hue2.5YR にぶい褐6/4 内 Hue2.5YR 明赤褐5/6	白色粒(1mm~2mm) 多量 雲母多量 赤色粒(1mm前後) 多量	やや堅板	
549	72	—	I-8	③クシ状工具による条痕	③ナデ	外 Hue2.5YR にぶい褐6/4 内 Hue2.5YR 橙6/6	半透明粒(1mm前後) 少量 赤色粒(1mm前後) 少量 砂粒多量 輕石状のスコリア少量	やや堅板	
550	72	—	I-10	③突帯ナデ	③ナデ	外 Hue10YR にぶい黄橙7/4 内 Hue2.5YR 黄5/1	半透明粒(1mm以下) 少量 白色粒(1mm以下) 多量 砂粒少量	やや堅板	
551	72	—	I-10	③ナデ	③ナデ	外 Hue2.5Y 灰黄7/2 内 Hue2.5Y 黄5/1	半透明粒(1mm~2mm) 多量 赤色粒(1mm前後) 少量 輕石状のスコリア少量	堅	

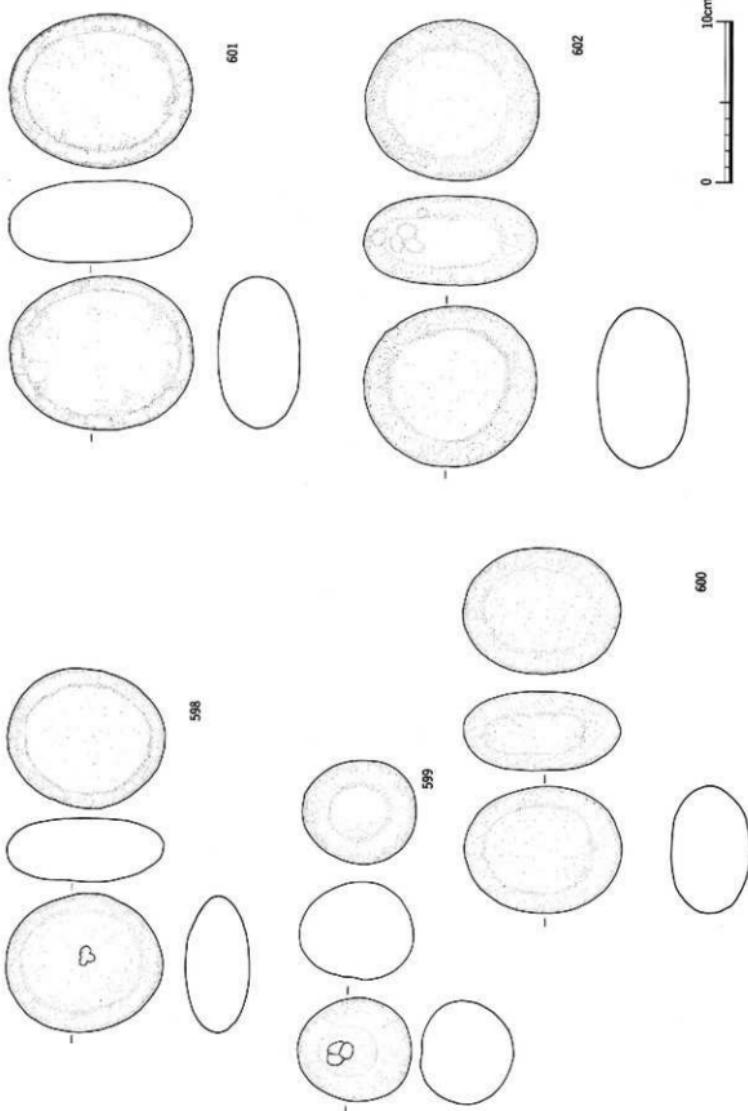
No.	埠団	國版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外 面	内 面				
552	72	—	J-1	④側部は貝殻模様条痕文	④ケズリ風ナデ	外 Hue10YR 内 Hue10YR にぶい 黄橙7/3 内 Hue7.5YR にぶい 黄橙7/4	白色粒 (2mm~3mm) 多量 黒母多量 赤色粒 (1mm前後) 多量	堅	
553	72	—	J-1	④側部は貝殻模様条痕文	④ナデ	外 Hue5YR 明赤褐5/6 内 Hue7.5YR 褐5/6	半透明粒 (1mm~2mm) 少量 白色粒 (1mm前後) 少量 輕石状のスコリア少量	やや堅	
554	72	—	I-1	①ナデ	④ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/4 内 Hue10YR 褐5/1	白色粒 (1mm以下) 多量 半透明粒 (1mm以下) 多量	やや堅	
555	72	—	I-1	④ナデ	④ナデ	外 Hue7.5YR 浅黄橙8/4 内 Hue10YR にぶい 黄橙7/3	砂粒多量 半透明粒 (1mm前後) 多量 白色粒 (1mm前後) 多量 輕石状のスコリア多量	堅	
556	72	—	I-1	④ていねいなナデ	④ナデ	外 Hue10YR 浅黄橙8/4 内 Hue10YR にぶい 黄橙7/2	半透明粒 (1mm前後) 多量 白色粒 (1mm前後) 多量 砂粒多量	堅	
557	72	—	J-1	④網焼している	④ナデ	外 Hue7.5YR にぶい 褐5/4 内 Hue10YR 浅黄橙8/4	赤色粒 (1mm以下) 多量 白色粒 (1mm以下) 少量	堅	
558	75	—	H-9	②横位の山形押型文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい 褐5/4 内 Hue10YR 灰6/2	半透明粒 (1mm以下) 多量 砂粒少量 輕石状のスコリア多量	やや堅微	
559	75	—	H-9	②横位の山形押型文	②ナデ	外 Hue10YR にぶい 黄橙7/3 内 Hue10YR にぶい 黄橙7/3	半透明粒 (1mm前後) 多量 砂粒少量 輕石状のスコリア多量	やや堅微	
560	75	—	H-10	②横位の山形押型文 ⑦ラ形状工具による 糸痕状の捺压文 横位の山形押型文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい 褐5/4 内 Hue7.5YR にぶい 褐6/3	黒母多量 白色粒 (1mm前後) 多量	堅微	
561	75	—	H-8	②横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい 黄橙7/4 内 Hue2.5Y 淡黄6/3	砂粒少量 白色粒 (1mm前後) 少量	堅微	
562	75	—	H-10	②横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue2.5Y 浅黄7/3 内 Hue2.5Y 灰6/2	半透明粒 (1mm前後) 少量	やや堅微	
563	75	—	H-8	②横位の山形押型文	③ナデ	外 Hue7.5YR にぶい 褐6/3 内 Hue2.5Y 灰6/2	白色粒 (1mm~3mm) 多量 赤色粒 (1mm~3mm) 少量 砂粒多量 黒母多量	堅微	
564	75	—	F-9	②横位の山形押型文 ⑦端部へラ形状工 具による連続刻 突 横位の山形 押型文	②ナデ	外 Hue7.5YR にぶい 褐6/4 内 Hue7.5YR にぶい 褐5/3	白色粒 (1mm前後) 多量 半透明粒 (1mm前後) 少量 赤色粒 (1mm~2mm) 少量 砂粒少量 輕石状のスコリア少量	堅	
565	75	—	H-10	②縦位の山形押型文 工具による連続刻 突 横位の山形 押型文	②ナデ	外 Hue5YR にぶい 褐6/4 内 Hue5YR にぶい 褐5/4	黒母多量 白色粒 (1mm前後) 多量 輕石状のスコリア少量	堅微	
566	75	—	H-9	③縦位と横位の山形 押型文	③ナデ	外 Hue5YR にぶい 褐7/4 内 Hue7.5YR にぶい 褐6/3	半透明粒 (1mm前後) 少量 赤色粒 (1mm前後) 少量 白色粒 (1mm前後) 多量	やや堅微	
567	75	—	H-9	③斜位の山形押型文	③ナデ	外 Hue2.5YR 明赤褐5/6 内 Hue2.5YR にぶい 赤褐5/3	黒母多量 白色粒 (1mm前後) 多量	堅微	

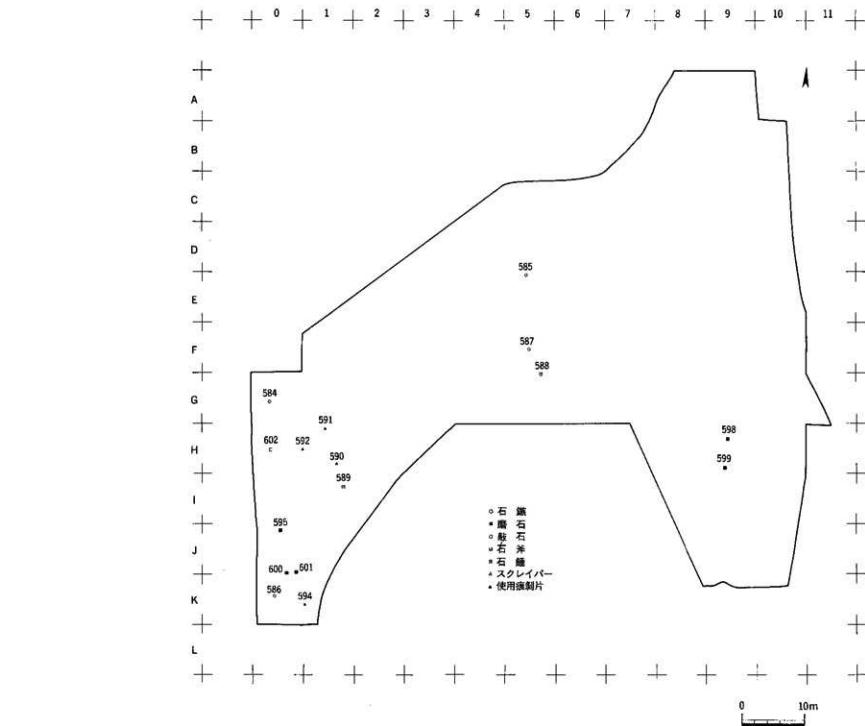
No.	押固	固版	出土地点	文様・調整		色調	胎土	焼成	備考
				外面	内面				
568	75	—	H-10	③斜位の山形押型文	③ナデ	外Hue5YR に赤い楕7/4 内Hue2.5Y 赤黄7/3	赤色粒(1mm~2mm) 少量 半透明粒(1mm前後) 少量 輕石状のスコリア少量	やや堅版	
569	75	—	H-10	③斜位の山形押型文	③ナデ	外Hue5YR に赤い楕6/4 内Hue7.5YR 赤黄6/3	白色粒(1mm~2mm) 多量 青母多量 赤色粒(1mm前後) 少量	堅版	
570	75	—	G-1	③斜位の山形押型文	③横方向のナデ	外Hue5YR に赤い楕6/4 内Hue7.5YR 赤い楕5/4	白色粒(1mm~4mm) 多量 半透明粒(1mm前後) 多量 黒色光沢粒少量	やや堅版	
571	75	—	J-0	③横位の楕円形押型文	③横位の楕円形押型文	外Hue5YR 楕6/6 内Hue7.5YR 楕6/6	半透明粒(1mm以内) 少量 輕石状のスコリア少量	やや堅版	
572	75	—	F-10	③横位の楕円形押型文	③横位の楕円形押型文	外Hu10R 赤5/6 内Hu10R 赤5/6	半透明粒(1mm前後) 多量 白色粒(1mm前後) 多量	堅版	
573	75	—	H-2	③横位の楕円形押型文	③ナデ	外Hue10YR に赤い黄楕7/3 内Hue2.5Y 赤黄7/2	半透明粒(1mm前後) 多量 砂粒少量 輕石状のスコリア多量	やや堅版	
574	75	—	F-10	③横位から斜位への楕円形押型文	③ナデ	外Hue2.5YR 楕6/8 内Hue5YR 楕6/6	白色粒(1mm前後) 多量 赤色粒(1mm前後) 少量 半透明粒(1mm前後) 少量 砂粒少量	堅	
575	75	—	F-10	③横位の楕円形押型文	③ナデ	外Hue5YR 楕6/6 内Hue7.5YR に赤い楕6/3	白色粒(1mm~3mm) 多量 赤色粒(1mm前後) 少量 半透明粒(1mm~4mm) 多量	やや堅版	
576	75	—	H-10	③斜位の楕円形押型文	③ナデ	外Hue2.5YR 明赤楕5/6 内Hue2.5YR に赤い赤楕5/4	白色粒(1mm~3mm) 多量 半透明粒(1mm~2mm) 多量	やや堅版	
577	76	—	H-1	③斜位の楕円形押型文	③ナデ	外Hue2.5YR 明赤楕5/6 内Hue2.5YR に赤い赤楕4/3	白色粒(2mm~3mm) 多量 赤色粒(2mm~3mm) 多量 半透明粒(1mm前後) 少量	堅版	
578	76	—	G-9	③斜位の楕円形押型文	③ナデ	外Hue2.5YR 明赤楕5/6 内Hue5YR に赤い赤楕5/3	砂粒(2mm~3mm) 少量	やや堅版	
579	76	—	H-8	③斜位の楕円形押型文	③横方向のナデ	外Hu10R 赤4/6 内Hue5YR に赤い赤楕5/3	赤色粒(1mm~4mm) 多量 半透明粒(1mm以下) 多量 白色粒(1mm前後) 多量	堅版	
580	76	—	F-9	③斜位の楕円形押型文	③ナデ	外Hue2.5YR 明赤楕5/6 内Hue2.5YR に赤い赤楕5/3	白色粒(1mm前後) 多量 砂粒少量	やや堅版	
581	76	—	F-8	③斜位の楕円形押型文	③ナデ	外Hue10YR 楕7/6 内Hue10YR に赤い黄楕7/3	白色粒(1mm前後) 少量 砂粒少量	堅	
582	76	—	H-9	③横位のひし形楕円形押型文	③横方向のナデ	外Hue7.5YR に赤い黄楕7/4 内Hue7.5YR 楕版6/1	半透明粒(1mm前後) 多量 黒色光沢粒少量	堅	
583	76	—	H-9	③横位のひし形楕円形押型文	③ていねいなナデ	外Hu10YR に赤い黄楕7/4 内Hue2.5Y 赤黄7/4	半透明粒(1mm前後) 多量 白色粒(1mm前後) 少量 黒色光沢粒多量	堅版	



第78図 B地区第IV層石器実測図(1)

第79图 B地区第V层石器素面图(2)





第80図 B地区第IV層石器分布図

b 石器

石器の分布は2点の磨石がH9グリットで出土した以外は、ほとんど調査区西側で土器の分布状況に似ている。石材は、A地区と状況は似ている。ただ、黒曜石の原産地については、A地区ではほとんど確認されなかった腰岳や姫島等の九州北部のものが出土し、半分以上がそれである。分布状況については他の遺物と同じような状況で調査区西側に分布する。

石鐵 (584~587)

585~587は基部に抉りをもつ。586は両面とも調整が細かく施される。587は刃部長3.5cmで長く、両面に細かな調整が施される。

石斧 (588~589)

588は刃部のみである。頁岩を使用し両サイドにも剥離を入れている。589も頁岩を使用し両サイドには丁寧に剥離が施され調整している。

使用痕剥片 (590~592・594)

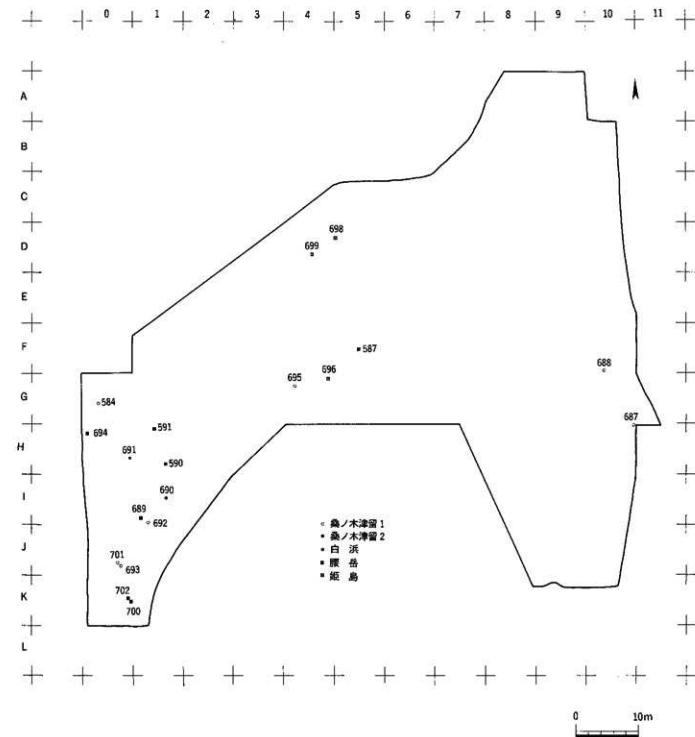
黒曜石ないし頁岩が使用されている。592・594は半弧状の使用痕剥離がみられる。591は台形状の使用痕剥離がみられる。

磨石 (595・598~601)

砂岩ないし尾鈴山酸性岩類を使用している。595は爪形の剥離がみられる。598・599は、中央部に径1~2cmほどの凹みがみられる。

表-11 B地区第IV層石器観察表

N O	摺図	図版	出土 地点	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	備考
584	78	—	G-0	石鎌	1.9	1.8	0.3	1	黒曜石a	
585	78	—	E-5	石鎌	1.9	1.6	0.6	2	黒曜石	
586	78	19	K-0	石鎌	1.6	1.8	0.5	1	チャート	
587	78	19	F-5	石鎌	3.9	1.7	0.4	2.5	黒曜石g	
588	78	—	G-5	石斧	6.0	4.5	1.5	55	頁岩	
589	78	20	I-1	石斧	7.8	4.1	1.3	75	頁岩	
590	78	—	H-1	使用痕剥片	1.3	1.1	0.3	0.5	黒曜石g	
591	78	—	H-1	使用痕剥片	1.8	1.3	0.6	1	黒曜石g	
592	78	—	H-1	使用痕剥片	5.0	5.0	1.2	20	頁岩	
593	78	—	G-5	石核	4.4	7.1	2.1	80	頁岩	
594	78	—	K-1	使用痕剥片	5.5	4.0	1.5	25	頁岩	
595	78	—	J-0	磨石	10	4	4.7	240	尾鈴山酸性岩	
596	78	—	K-0	ブランク	5.5	7.0	5.6	220	頁岩	
597	78	—	J-0	ブランク	5.9	5.6	5.1	220	頁岩	
598	79	20	H-9	磨石	9.65	8.6	3.9	430	砂岩(細粒)	
599	79	20	H-9	磨石	7	6.4	6	360	砂岩	
600	79	—	J-0	磨石	9.7	7.7	4.85	550	尾鈴山酸性岩	
601	79	—	J-0	磨石	11.3	9.5	5	765	砂岩(中粒)	
602	79	—	H-0	敲石	10.7	9.85	5.5	820	砂岩(中・細粒)	



第81図 B地区第11層黒曜石分布図

IV 分析

橋山第1遺跡出土の黒曜石製造物の原産地分析

萬科哲男

(京都大学原子炉実験所)

はじめに

自然科学的な手法を用いて、石器石材の産地を客観的に、かつ定量的に推定し、古代の交流、交易および文化圏、交易圏を探ると言う目的で、蛍光X線分析法により研究を行っている。当初は手近に入手できるサヌカイトを中心とし、分析方法と定量的な産地の判定法との確立を目標として研究したが、サヌカイトで一応の成果を得た後に、同じ方法を黒曜石にも拡張し、本格的に産地推定を行なっている^{1), 2), 3)}。サヌカイト、黒曜石などの主成分組成は、原産地ごとに大きな差はみられないが、不純物として含有される微量元素組成には異同があると考えられるため、微量元素を中心に元素分析を行ない、これを産地を特定する指標とした。

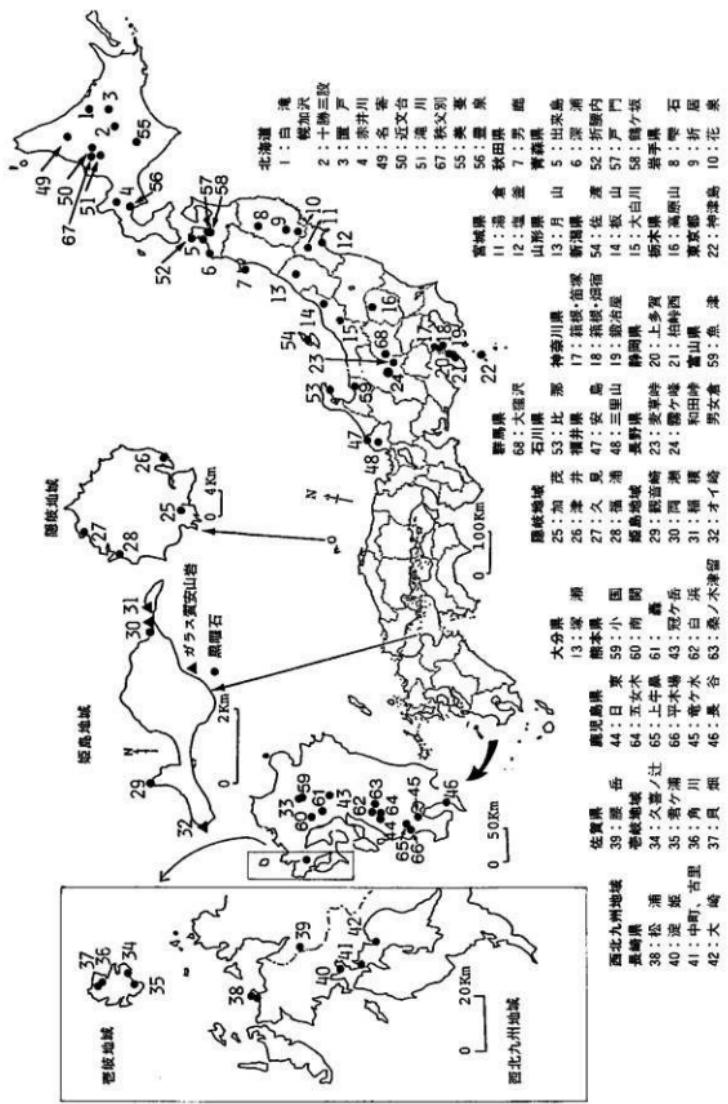
蛍光X線分析法は試料を破壊せずに分析することができて、かつ、試料調整が単純、測定の操作も簡単である。石器のような古代人の日用品で多数の試料を分析しなければ遺跡の正しい性格が分からぬという場合にはことさら有利な分析法である。分類の指標とする元素組成を遺物について求め、あらかじめ、各原産地ごとに数十個の原石を分析して求めておいた各原石群の元素組成の平均値、分散などと、遺物のそれを対比して産地を推定する。この際多変量解析の手法を用いて、各産地に帰属される確率を求めて産地を同定する。

今回分析した縄文時代早期と後期の黒曜石製造物は、宮崎県東諸県郡高岡町に位置する橋山第1遺跡のA地区出土のNO.1~NO.109の109個、B地区出土のNO.110~NO.129の20個で合計129個について産地分析の結果が得られたので報告する。

黒曜石原石の分析

黒曜石原石の風化面を打ち欠き、新鮮面を出し、塊状の試料を作り、エネルギー分散型蛍光X線分析装置によって元素分析を行なう。分析元素はAl、Si、K、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Sr、Y、Zr、Nbの12元素をそれぞれ分析した。塊試料の形状による分析値への影響を打ち消すために元素量の比を取り産地を特定する指標とした。黒曜石ではCa/K、Ti/K、Mn/Zr、Fe/Zr、Rb/Zr、Sr/Zr、Y/Zr、Nb/Zrをそれぞれ用いる。

黒曜石の原産地は北海道、東北、北陸、東関東、中信高原、伊豆箱根、伊豆七島の神津島、山陰、九州、の各地に黒曜石の原産地は分布する。調査を終えた原産地を第82図に示す。黒曜石原産地のほとんどすべてがつくされている。元素組成の上から、これら原石を分類すると表12に示すように96個の原石群に分かれれる。佐賀県の腰岳地域および大分県の姫島地域の觀音崎、両瀬の両地区は黒曜石の有名な原産地で、姫島地域ではガラス質安山岩もみられ、これについても分析を行なった。諫岐島、壱岐島、青森県、和田岬の一部の黒曜石には、Srの含有量が非常に少なく、この特徴が産地分析を行う際に他の原産地と区別する、有用な指標となっている。九州西北地域の原産地で採取された原石は、相互に組成が似た原石がみられる(表13)。西北九州地域で似た組成を示す黒曜石の原石群は、腰岳、古里第一、松浦第一の各群(腰岳系と仮称する)および淀姫、中町第一、古里第三、松浦第四の各群(淀姫系と仮称する)などである。また、古里第二群原石と内眼的および成分的に似た原石は嬉野町松尾地区でも採取でき、この原石は姫島産乳灰色黒曜石と同色調をしているが、組成によって姫島産の黒曜石と容易に区別できる。もし似た組成の原石で遺物が作られたと



第82圖 黑曜石原產地

き、この遺物は複数の原産地に帰属され原石産地を特定できない場合がある。たとえ遺物の原石産地がこれら腰岳系、淀姫系の原石群の中の1個の群および古里第二群のみに帰属されても、この遺物の原石産地は腰岳系、淀姫系および古里第二群の原石を産出する複数の地点を考えなければならない。角礫の黒曜石の原産地は腰岳および淀姫で、円礫は松浦、中町、古里（第二群は角礫）の各産地で産出していることから、似た組成の原石産地の区別は遺物の自然面から円礫か角礫かを判断すれば原石産地の判定に有用な情報となる。また、九州中部地域の塚瀬と小国の原産地は隣接し、黒曜石の生成マグマは同質と推測され両産地は区別できない。また、熊本県の南闇、森、冠ヶ岳の各産地の原石はローム化した阿蘇の火碎流の層の中に含まれる最大で親指大の黒曜石で、非常に広範囲な地域から採取される原石である。従って南闇産に同定された遺物の原材産地を局所的に特定できない。桑ノ木津留原産地の原石は元素組成によって2個の群に区別することができる。桑の木津留第1群は道路切り通し面の露頭から採取できるが、桑ノ木津留第2群は転礫として採取でき、これら两者を肉眼的に区別はできない。遺物の産地分析によって桑ノ木津留第1群と第2群の使用頻度を遺跡毎に調査して比較することにより、遺跡相互同じ比率であれば遺跡間の交易、交流が推測できるであろう。鹿児島県の種町町上牛鼻産および平木場産の両原石の各元素比は似ているため区別はできない。これは両黒曜石を作ったマグマは同じで地下深くにあり、このマグマが地殻の割れ目を通って上牛鼻および平木場地区に吹きだしたときには、両者の原石の組成は似ると推定できる。また、出水産原石組成と同じ原石は日東、五女水の各原産地から産出していてこれらは相互に区別できない。

結果と考察

遺跡から出土した黒曜石製石器、石片は風化に対して安定で、表面に薄い水和層が形成されているにすぎないため、表面の泥を水洗するだけで完全な非破壊分析が可能であると考えられる。黒曜石製の石器で、水和層の影響を考慮するすれば、軽い元素の分析ほど表面分析になるため、水和層の影響を受けやすいと考えられる。 Ca/K 、 Ti/K の両軽元素比量を除いて産地分析を行なった場合、また除かずに産地分析を行った場合、いずれの場合にも同定される産地は同じである。他の元素比量についても風化の影響を完全に否定することができないので、得られた確率の数値にはや、不確実さを伴うが、遺物の石材産地の判定を誤るようなことはない。今回分析した遺物の結果を表14に示した。

石器の分析結果から石材産地を同定するためには数理統計の手法を用いて原石群との比較をする。説明を簡単にするため Rb/Zr の一変量だけを考えると、表12の試料番号32541番の遺物では Rb/Zr の値は1.136で、桑ノ木津留第2群の〔平均値〕±〔標準偏差値〕は、 1.242 ± 0.060 である。遺物と原石群の差を標準偏差値(σ)を基準にして考えると遺物は原石群から 1.7σ 離れている。ところで桑ノ木津留第2群の原産地から100ヶの原石を探ってきて分析すると、平均値から 1.7σ のずれより大きいものが9個ある。すなわち、この遺物が、桑ノ木津留第2群の原石から作られていたと仮定しても、 1.7σ 以上離れる確率は9%であると言える。だから、桑ノ木津留第2群の平均値から 1.7σ しか離れていないときには、この遺物が桑ノ木津留第2群の原石から作られたものではないとは、到底言いかねない。ところがこの遺物を腰岳群に比較すると、腰岳群の平均値からの隔たりは、約 7σ である。これを確率の言葉で表現すると、腰岳の産地の原石を探ってきて分析したとき、平均値から 7σ 以上離れている確率は、千万分の一であるといえる。このように、千万個に一個しかないような原石をたまたま採取して、この遺物が作られたとは考えられないから、この遺物は、腰岳産の原石から作られたものではないと断定できる。これらのことを簡単にまとめて言うと、「この遺物は桑ノ木津留第2群に9%、腰岳群に十万分の一%の確率でそれぞれ帰属される」。各遺物について、この判断を表12のすべての原石群について行ない、低い確率で帰属された原産地を消していくと残るのは、桑ノ

木津留第2群の産地だけとなり、桑ノ木津留産地の石材が使用されていると判定される。実際はRb/Zrといった唯1ヶの変量だけでなく、前述した8ヶの変量で取り扱うので変量間の相関を考慮しなければならない。例えばA原産地のA群で、Ca元素とRb元素との間に相関があり、Caの量を計ればRbの量は分析しなくても分かるようなときは、A群の石材で作られた遺物であれば、A群と比較したとき、Ca量が一致すれば当然Rb量も一致するはずである。もしRb量だけが少しずれている場合には、この試料はA群に属していないと言わなければならない。このことを数量的に導き出せるようにしたのが相間を考慮した多変量統計の手法であるマハラノビスの距離を求めて行なうホテリングのT²検定である。⁴⁾これによって、それぞれの群に帰属する確率を求めて、産地を同定する。表15に遺跡より出土した遺物の産地推定の結果を示す。原産地は確率の高い産地のものだけを選んで記した。原石群を作った原石試料は直径3cm以上であるが、小さな遺物試料によって原石試料と同じ測定精度で元素含有量を求めるには、測定時間を長くしなければならない。しかし、多数の試料を処理するために、1個の遺物に多くの時間をかけられない事情があり、短時間で測定を打ち切る。また、検出された元素であっても、含有量の少ない元素では、得られた遺物の測定値には大きな誤差範囲が含まれ、原石群の元素組成のバラツキの範囲を越えて大きくなる。したがって、小さな遺物の産地推定を行なったときに、判定の信頼限界としている0.1%に達しない確率を示す場合が比較的多くみられる。この場合には、原石産地（確率）の欄の確率値に替えて、マハラノビスの距離D²の値を記した。この遺物については、記入されたD²の値が原石群の中で最も小さなD²値で、この値が小さい程、遺物の元素組成はその原石群の組成と似ているといえるため、推定確率は低いが、そこの原石産地と考えては間違いないと判断されたものである。

今回分析した繩文時代早期と後期の橋山第1遺跡および参考試料として繩文時代早期の天ヶ城跡出土黒曜石遺物の原石産地別使用頻度を表16に示した。橋山第1遺跡のA地区出土のNO.1～NO.109の第IV層出土分90個の各原石産地別使用頻度を見ると桑ノ木津留第1群、第2群では50%、21%で出水産が13%で、白浜は2%、上牛鼻は2%、竜ヶ水は3%で、松浦第3群に同定された試料番号32545番の遺物は表13に示すように松浦半島の大石、牟田地区以外に針尾島の淀姫、古里地区からも採取できるため一地区に原石産地が特定できず、西北九州地域原産地から伝播したと結論した。また、原石産地が特定できなかった遺物は3%（4個）である。B地区出土のNO.110～NO.129の第IV層出土分20個では桑ノ木津留第1群、第2群では35%、白浜産が5%、腰岳産が35%、姫島産20%でA地区に比べて北部九州の腰岳、姫島産の使用頻度が55%と高くなっている。天ヶ城跡出土の121個の遺物では桑ノ木津留第1群、第2群では30%、4%で出水産が3%で、白浜産が1%で、九州西北部の腰岳産が54%、淀姫産が2%、東北部九州の姫島産の使用頻度は3%で、北部九州からの原石の伝播状況は橋山第1遺跡B地区に比較的似ているようである。また、原石産地が特定できなかった遺物は3%（2個）である。直径約1メートルの範囲に集中して出土した天ヶ城跡の169個は全て桑ノ木津留第1群であった。これら遺物の出土状況と産地分析の結果で推考することにより考古学上の興味深い推論ができると思われる。

参考文献

- 1) 藤井哲男・東村武信（1975）蛍光X線分析法によるサメカイト石器の原産地推定（II）考古学と自然科学8:61-69
- 2) 藤井哲男・東村武信・鎌木義昌（1977）（1978）蛍光X線分析法によるサメカイト石器の原産地推定（III）（IV）考古学と自然科学10,11:53-81,133-47
- 3) 藤井哲男・東村武信（1983）石器原材の産地分析考古学と自然科学15:59-89
- 4) 東村武信（1976）産地推定における統計的手法考古学と自然科学9:77-90
- 5) 東村武信（1980）考古学と物理化学学生社

表-12 各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値 (\bar{x}) と標準偏差値 (6)

原産地	分析	Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K	
原石群名	個数	$\bar{x} \pm 6$										
名古屋第一	114	0.478±0.011	0.121±0.005	0.035±0.007	2.011±0.063	0.614±0.032	0.574±0.022	0.120±0.017	0.024±0.016	0.033±0.002	0.451±0.010	
* 第二	12	0.315±0.011	0.106±0.003	0.023±0.005	1.796±0.070	0.692±0.043	0.254±0.017	0.233±0.018	0.039±0.020	0.029±0.002	0.401±0.010	
白浜第一	130	0.173±0.014	0.051±0.003	0.079±0.013	2.714±0.142	1.340±0.059	0.283±0.019	0.341±0.030	0.073±0.026	0.028±0.002	0.374±0.010	
軽井沢	23	0.139±0.009	0.023±0.001	0.099±0.015	2.975±0.102	1.794±0.077	0.104±0.010	0.470±0.037	0.103±0.027	0.027±0.002	0.369±0.007	
白浜第二	27	0.138±0.004	0.021±0.002	0.102±0.015	3.049±0.181	1.855±0.088	0.097±0.016	0.492±0.039	0.107±0.019	0.027±0.002	0.368±0.006	
高文台第一	30	0.819±0.013	0.165±0.006	0.081±0.010	3.266±0.117	0.604±0.031	0.941±0.030	0.165±0.030	0.039±0.016	0.039±0.002	0.457±0.008	
* 第二	107	0.517±0.011	0.099±0.005	0.067±0.009	2.773±0.097	0.812±0.037	0.818±0.034	0.197±0.024	0.041±0.019	0.035±0.002	0.442±0.009	
* 第三	17	0.514±0.012	0.098±0.005	0.066±0.014	2.765±0.125	0.814±0.068	0.815±0.042	0.199±0.039	0.078±0.008	0.034±0.002	0.443±0.011	
秋武京第一	51	0.249±0.017	0.122±0.006	0.078±0.011	1.614±0.068	0.995±0.037	0.458±0.022	0.235±0.024	0.023±0.021	0.022±0.004	0.334±0.013	
北海道	* 第二	25	0.506±0.016	0.098±0.005	0.070±0.011	2.750±0.099	0.805±0.042	0.808±0.032	0.197±0.026	0.027±0.016	0.027±0.003	0.371±0.010
高川第一	31	0.253±0.018	0.122±0.006	0.077±0.009	1.613±0.090	1.017±0.045	0.459±0.025	0.233±0.029	0.038±0.018	0.025±0.003	0.370±0.023	
* 第二	15	0.510±0.015	0.098±0.005	0.068±0.009	2.740±0.072	0.802±0.019	0.812±0.019	0.192±0.026	0.032±0.023	0.030±0.004	0.393±0.031	
豊戸	65	0.326±0.008	0.128±0.005	0.045±0.008	1.813±0.062	0.824±0.034	0.454±0.020	0.179±0.023	0.044±0.021	0.030±0.002	0.412±0.010	
十勝第三	60	0.256±0.018	0.074±0.005	0.068±0.010	2.281±0.087	1.097±0.055	0.434±0.023	0.334±0.029	0.064±0.025	0.029±0.002	0.396±0.013	
美登第一	41	0.499±0.020	0.124±0.007	0.032±0.010	2.635±0.181	0.802±0.061	1.707±0.044	0.199±0.029	0.039±0.023	0.033±0.002	0.442±0.015	
* 第二	28	0.593±0.036	0.144±0.012	0.056±0.010	3.028±0.251	0.762±0.040	0.764±0.051	0.197±0.026	0.038±0.022	0.034±0.002	0.449±0.009	
春井川	50	0.254±0.029	0.070±0.004	0.086±0.010	2.213±0.104	0.969±0.060	0.428±0.021	0.249±0.024	0.058±0.023	0.027±0.002	0.371±0.009	
豊島	75	0.473±0.019	0.148±0.007	0.060±0.015	1.764±0.072	0.438±0.027	0.507±0.028	0.157±0.020	0.025±0.017	0.032±0.002	0.469±0.013	
新潟県	折星川	35	0.190±0.015	0.075±0.003	0.040±0.008	1.575±0.066	1.241±0.046	0.318±0.014	0.141±0.033	0.076±0.021	0.024±0.002	0.348±0.010
苗木島	27	0.354±0.022	0.132±0.007	0.031±0.019	2.368±0.088	0.965±0.044	1.106±0.026	0.399±0.038	0.179±0.031	0.038±0.003	0.499±0.013	
湯浦	36	0.080±0.008	0.097±0.011	0.013±0.002	0.697±0.021	0.128±0.008	0.002±0.000	0.064±0.007	0.035±0.004	0.026±0.002	0.379±0.010	
戸門第一	28	0.250±0.024	0.069±0.003	0.068±0.012	2.358±0.257	1.168±0.062	0.521±0.063	0.277±0.065	0.076±0.025	0.026±0.002	0.362±0.015	
* 第二	28	0.084±0.006	0.104±0.004	0.013±0.002	0.691±0.021	0.123±0.006	0.002±0.002	0.069±0.010	0.033±0.005	0.025±0.002	0.369±0.007	
鶴ヶ坂	33	0.344±0.017	0.132±0.007	0.232±0.023	2.261±0.143	0.861±0.052	1.081±0.060	0.390±0.039	0.186±0.037	0.037±0.002	0.496±0.018	
秋田県	男鹿	43	0.293±0.007	0.087±0.004	0.223±0.015	1.637±0.072	1.512±0.082	0.920±0.054	0.287±0.042	0.125±0.031	0.027±0.002	0.362±0.006
岩手県	李石	25	0.636±0.033	0.187±0.012	0.052±0.007	1.764±0.061	0.305±0.016	0.431±0.021	0.209±0.016	0.045±0.014	0.041±0.003	0.594±0.014
折層	22	0.615±0.055	0.180±0.016	0.058±0.007	1.751±0.068	0.306±0.003	0.421±0.051	0.228±0.079	0.045±0.011	0.041±0.005	0.594±0.055	
花巣	30	0.596±0.046	0.177±0.018	0.056±0.008	1.742±0.072	0.314±0.019	0.420±0.025	0.220±0.016	0.044±0.013	0.041±0.003	0.586±0.030	
宮城県	鳴子	21	2.174±0.068	0.349±0.017	0.057±0.005	2.544±0.149	0.116±0.009	0.658±0.024	0.138±0.015	0.020±0.013	0.073±0.003	0.356±0.040
岩手県	雄延	37	4.828±0.395	1.630±0.104	0.178±0.017	1.162±1.150	0.168±0.018	1.298±0.063	0.155±0.016	0.037±0.018	0.077±0.002	0.720±0.032
山形県	月山	44	0.285±0.021	0.123±0.007	0.182±0.016	1.906±0.096	0.966±0.069	1.022±0.071	0.276±0.036	0.119±0.033	0.033±0.002	0.443±0.014
新潟県	佐渡第一	34	0.228±0.013	0.078±0.006	0.020±0.005	1.492±0.079	0.821±0.047	0.288±0.018	0.142±0.018	0.049±0.017	0.024±0.004	0.338±0.013

新潟県	板山	12	0.263±0.032	0.097±0.018	0.020±0.006	1.501±0.053	0.717±0.106	0.326±0.029	0.091±0.022	0.046±0.015	0.026±0.002	0.338±0.009	
	大白川	44	0.232±0.011	0.068±0.003	0.169±0.017	2.178±0.110	1.772±0.098	0.772±0.046	0.374±0.047	0.154±0.034	0.027±0.002	0.359±0.009	
		22	0.569±0.012	0.142±0.007	0.033±0.005	1.608±0.049	0.261±0.012	0.332±0.011	0.150±0.015	0.033±0.011	0.036±0.003	0.491±0.014	
栃木県	西足山	40	0.738±0.067	0.200±0.010	0.044±0.007	2.016±0.110	1.381±0.025	0.502±0.028	0.190±0.017	0.023±0.014	0.036±0.002	0.516±0.012	
	那律山等	56	0.381±0.014	0.136±0.005	0.102±0.011	1.729±0.079	0.471±0.027	0.689±0.037	0.217±0.021	0.090±0.026	0.036±0.003	0.504±0.012	
	東京都	+	23	0.317±0.016	0.120±0.008	0.114±0.014	1.833±0.069	0.615±0.039	0.656±0.050	0.303±0.034	0.107±0.026	0.033±0.002	0.471±0.009
神奈川県	高根・葛原	30	6.765±0.254	2.219±0.057	0.228±0.019	9.282±0.622	0.048±0.017	1.757±0.061	0.252±0.017	0.025±0.019	0.140±0.008	1.528±0.046	
	・鎌倉	41	2.056±0.064	0.669±0.019	0.076±0.007	2.912±0.104	0.062±0.007	0.580±0.029	0.202±0.011	0.011±0.010	0.080±0.005	1.126±0.031	
	鎌倉	31	1.663±0.071	0.381±0.019	0.056±0.007	2.139±0.097	0.073±0.008	0.629±0.025	0.154±0.009	0.011±0.009	0.067±0.005	0.904±0.020	
静岡県	上多賀	31	1.329±0.078	0.294±0.018	0.041±0.006	1.697±0.068	0.087±0.009	0.551±0.023	0.138±0.011	0.010±0.009	0.059±0.004	0.856±0.018	
	柏崎西	35	1.213±0.164	0.314±0.028	0.031±0.004	1.699±0.167	1.113±0.007	0.391±0.022	0.143±0.007	0.009±0.009	0.047±0.004	0.663±0.028	
富山県	魚津	12	0.278±0.013	0.065±0.004	0.064±0.008	2.084±0.095	0.906±0.057	0.611±0.046	0.194±0.014	0.102±0.021	0.027±0.002	0.372±0.008	
	石川県	17	0.370±0.014	0.087±0.004	0.060±0.009	2.699±0.157	0.639±0.028	0.534±0.023	0.172±0.028	0.032±0.018	0.032±0.002	0.396±0.017	
福井県	安島	21	0.407±0.007	0.123±0.005	0.038±0.006	1.628±0.051	0.643±0.041	0.675±0.030	0.113±0.020	0.061±0.016	0.032±0.002	0.450±0.010	
	三重山	21	0.350±0.018	0.123±0.008	0.036±0.006	1.561±0.081	0.608±0.031	0.798±0.039	0.069±0.020	0.062±0.013	0.028±0.002	0.381±0.008	
	郡馬県	大津沢	42	1.481±0.117	0.466±0.021	0.042±0.006	2.005±0.135	0.182±0.011	0.841±0.044	0.105±0.010	0.009±0.008	0.033±0.005	0.459±0.012
長野県	霧ヶ峰	171	0.138±0.009	0.066±0.003	0.104±0.011	1.339±0.057	0.176±0.047	0.360±0.023	0.275±0.030	0.112±0.023	0.026±0.002	0.361±0.013	
	御田村裏一	143	0.167±0.028	0.049±0.008	0.117±0.011	1.346±0.085	1.833±0.124	0.112±0.056	0.409±0.048	0.139±0.026	0.025±0.002	0.355±0.016	
	・ 第二	17	0.146±0.003	0.032±0.003	0.151±0.010	1.461±0.039	2.449±0.135	0.036±0.012	0.517±0.044	0.186±0.025	0.027±0.002	0.368±0.007	
	・ 第三	62	0.248±0.048	0.064±0.012	0.114±0.011	1.520±0.182	1.573±0.140	0.274±0.104	0.374±0.048	0.122±0.024	0.025±0.003	0.348±0.017	
	・ 霧ヶ	37	0.144±0.017	0.063±0.004	0.094±0.009	1.373±0.085	1.311±0.037	0.206±0.030	0.263±0.038	0.090±0.022	0.023±0.002	0.331±0.019	
	・ 第五	47	0.176±0.019	0.075±0.010	0.073±0.011	1.282±0.086	1.053±0.196	0.275±0.058	0.184±0.042	0.066±0.023	0.021±0.002	0.306±0.013	
	・ 第六	53	0.156±0.011	0.055±0.005	0.095±0.012	1.333±0.064	1.523±0.093	0.134±0.031	0.279±0.039	0.010±0.017	0.021±0.002	0.313±0.012	
	・ 霧ヶ	33	0.138±0.004	0.042±0.002	0.123±0.010	1.259±0.041	1.978±0.067	0.045±0.010	0.442±0.039	0.142±0.022	0.026±0.002	0.380±0.010	
	男女倉	119	0.223±0.026	0.102±0.010	0.059±0.008	1.169±0.081	0.701±0.109	0.409±0.052	0.128±0.024	0.053±0.017	0.026±0.002	0.354±0.008	
	支那峰	68	0.263±0.020	0.138±0.011	0.049±0.008	1.403±0.069	0.532±0.048	0.764±0.031	0.101±0.018	0.056±0.016	0.029±0.002	0.401±0.017	
鳥取県	加茂	20	0.154±0.008	0.092±0.009	0.018±0.003	0.943±0.029	0.289±0.016	0.006±0.003	0.047±0.010	0.141±0.019	0.022±0.001	0.269±0.017	
	串井	30	0.150±0.008	0.100±0.003	0.015±0.002	0.919±0.023	0.305±0.010	0.013±0.003	0.046±0.013	0.132±0.007	0.022±0.001	0.258±0.006	
	久見	31	0.142±0.004	0.061±0.002	0.020±0.003	0.981±0.048	0.398±0.013	0.001±0.002	0.093±0.015	0.229±0.010	0.023±0.002	0.317±0.006	
	親不知	41	0.216±0.017	0.045±0.003	0.028±0.007	6.897±0.806	1.829±0.220	1.572±0.180	0.325±0.088	0.622±0.099	0.035±0.002	0.418±0.011	
	阿蘇第一	33	0.221±0.021	0.045±0.003	0.050±0.001	7.248±0.668	1.917±0.194	1.660±0.173	0.355±0.057	0.669±0.105	0.035±0.002	0.419±0.008	
大分県	・ 第二	32	0.634±0.047	0.140±0.013	0.194±0.026	4.399±0.322	0.614±0.077	3.162±0.189	0.144±0.031	0.240±0.041	0.038±0.002	0.451±0.011	
	・ 第三	10	1.013±0.140	0.211±0.026	0.126±0.016	3.491±0.231	0.305±0.067	4.002±0.174	0.109±0.021	0.137±0.028	0.040±0.004	0.471±0.017	
	東オイ崎	29	1.074±0.110	0.224±0.024	0.122±0.012	3.460±0.301	0.286±0.048	4.010±0.197	0.101±0.022	0.133±0.025	0.040±0.003	0.469±0.014	
	東緑種	25	0.653±0.066	0.141±0.016	0.189±0.030	4.398±0.425	0.605±0.096	3.234±0.264	0.151±0.033	0.245±0.050	0.037±0.002	0.448±0.015	
鹿児島県	原瀬	30	0.313±0.023	0.127±0.009	0.065±0.010	1.489±0.124	0.600±0.051	0.686±0.082	0.175±0.018	0.102±0.020	0.028±0.002	0.371±0.009	

佐賀県	唐岳	26	0.214±0.013	0.029±0.001	0.076±0.012	2.694±0.110	1.686±0.085	0.441±0.030	0.293±0.039	0.257±0.029	0.027±0.002	0.356±0.008
長崎県	久喜ノ辻	37	0.165±0.012	0.066±0.002	0.034±0.003	1.197±0.030	0.403±0.012	0.005±0.004	0.114±0.012	0.326±0.008	0.021±0.002	0.294±0.008
	君ヶ浦	28	0.161±0.011	0.054±0.002	0.034±0.003	1.209±0.032	0.405±0.008	0.005±0.004	0.119±0.016	0.322±0.010	0.025±0.002	0.294±0.006
	角川	29	0.138±0.010	0.037±0.002	0.056±0.007	1.741±0.083	1.880±0.076	0.012±0.012	0.303±0.038	0.632±0.036	0.026±0.002	0.358±0.010
	佐世第一	23	0.218±0.010	0.029±0.002	0.085±0.013	2.692±0.125	1.674±0.064	0.439±0.027	0.284±0.047	0.266±0.028	0.027±0.002	0.359±0.012
	・第二	17	0.175±0.016	0.030±0.004	0.082±0.022	2.364±0.389	1.607±0.245	0.308±0.074	0.277±0.056	0.210±0.050	0.026±0.002	0.361±0.010
	・第三	16	0.245±0.019	0.060±0.005	0.015±0.012	1.975±0.240	0.878±0.099	0.421±0.081	0.130±0.030	0.145±0.023	0.026±0.002	0.358±0.013
	・第四	22	0.287±0.019	0.057±0.004	0.044±0.007	1.906±0.106	0.765±0.074	0.484±0.034	0.115±0.023	0.117±0.018	0.028±0.001	0.367±0.007
	深瀬	44	0.329±0.014	0.080±0.005	0.042±0.007	1.804±0.065	0.539±0.022	0.504±0.035	0.077±0.018	0.117±0.014	0.029±0.002	0.374±0.009
	中町第一	25	0.248±0.017	0.058±0.008	0.057±0.007	1.884±0.085	0.832±0.092	0.403±0.026	0.112±0.021	0.152±0.017	0.028±0.002	0.363±0.007
	・第二	17	0.327±0.030	0.080±0.017	0.045±0.007	1.832±0.074	0.633±0.088	0.488±0.030	0.090±0.030	0.093±0.023	0.027±0.002	0.358±0.012
福岡県	古里第一	40	0.192±0.020	0.027±0.003	0.080±0.016	2.699±0.215	1.780±0.164	0.413±0.065	0.312±0.056	0.259±0.040	0.027±0.002	0.358±0.008
	・第二	22	0.414±0.012	0.073±0.006	0.102±0.015	2.898±0.304	1.221±0.094	1.951±0.124	0.133±0.047	0.261±0.034	0.031±0.002	0.383±0.010
	・第三	19	0.257±0.035	0.062±0.009	0.054±0.009	1.939±0.131	0.812±0.113	0.436±0.052	0.101±0.029	0.145±0.037	0.028±0.002	0.364±0.011
	大崎	25	0.161±0.011	0.051±0.002	0.037±0.006	1.718±0.056	0.948±0.030	0.179±0.018	0.191±0.026	0.137±0.019	0.024±0.002	0.340±0.006
	小国	30	0.317±0.023	0.127±0.005	0.063±0.007	1.441±0.070	0.611±0.032	0.703±0.044	0.175±0.233	0.097±0.017	0.023±0.002	0.320±0.007
	南関	30	0.261±0.016	0.214±0.007	0.034±0.003	0.788±0.033	0.326±0.012	0.278±0.015	0.069±0.012	0.081±0.009	0.021±0.002	0.243±0.008
熊本県	森	44	0.258±0.009	0.214±0.006	0.033±0.005	0.794±0.078	0.329±0.017	0.275±0.010	0.066±0.011	0.083±0.009	0.020±0.003	0.243±0.006
	君ヶ島	21	0.261±0.012	0.211±0.008	0.032±0.003	0.780±0.038	0.324±0.011	0.279±0.017	0.064±0.011	0.087±0.006	0.025±0.002	0.277±0.009
	白浜	40	0.197±0.020	0.101±0.008	0.025±0.006	1.405±0.073	1.048±0.087	0.348±0.028	0.163±0.023	0.033±0.017	0.019±0.001	0.273±0.007
	冬木津	47	0.207±0.015	0.094±0.006	0.070±0.009	1.521±0.075	1.080±0.048	0.418±0.020	0.266±0.034	0.063±0.024	0.020±0.003	0.314±0.011
	第一	33	0.261±0.015	0.094±0.006	0.066±0.010	1.743±0.096	1.242±0.060	0.753±0.030	0.205±0.029	0.047±0.030	0.022±0.002	0.323±0.019
	第二	47	0.207±0.015	0.094±0.006	0.070±0.009	1.521±0.075	1.080±0.048	0.418±0.020	0.266±0.034	0.063±0.024	0.020±0.003	0.314±0.011
鹿児島県	西水口町	42	0.262±0.018	0.143±0.006	0.022±0.004	1.178±0.040	0.712±0.028	0.408±0.025	0.100±0.018	0.029±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	五女木	37	0.266±0.021	0.140±0.006	0.019±0.003	1.170±0.061	0.705±0.027	0.405±0.021	0.108±0.015	0.028±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	上牛島	41	1.629±0.098	0.804±0.037	0.053±0.006	3.342±0.215	1.088±0.013	1.105±0.050	0.087±0.009	0.022±0.009	0.036±0.002	0.391±0.011
	下木島	34	1.944±0.054	0.912±0.028	0.062±0.005	3.975±0.182	1.084±0.011	1.266±0.049	0.093±0.010	0.021±0.010	0.038±0.003	0.408±0.010
	奄ヶ水	28	0.514±0.032	0.167±0.008	0.063±0.009	1.524±0.079	0.619±0.038	0.719±0.054	0.115±0.019	0.082±0.016	0.037±0.003	0.523±0.009
	長谷	30	0.553±0.032	0.137±0.006	0.065±0.010	1.815±0.062	0.644±0.028	0.553±0.029	0.146±0.021	0.066±0.020	0.037±0.003	0.524±0.012
	JG-1a ^{**}	127	0.755±0.010	0.202±0.005	0.076±0.011	3.759±0.111	0.993±0.036	1.331±0.046	0.251±0.027	0.105±0.017	0.028±0.002	0.342±0.009

*: ガラス質安山岩 a): Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E. (1974). 1974 compilation of data on the GSJ geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal Vol. 8, 175-192.

表—13 九州西北地域原産地採取原石が各原石群に同定される割合の百分率(%)

原石群	九州西北地域原産地地区名(原石個数)						
	腰岳	淀姫	古里 陸地	古里 海岸	中町	牟田	大石
	(26)	(44)	(66)	(21)	(44)	(46)	(39)
腰岳群	100		37			24	33
淀姫群		100					
古里第一群	100		63	5		43	51
第二群			8	57	2		
第三群		95	25	33	91	50	26
中町第一群		12	14	24	61	26	18
第二群			14	24	64	39	28
松浦第一群	88	98	32			24	33
第二群	96		51	5	2	39	51
第三群		51	24	33	82	54	49
第四群		88	17	24	82	52	33

表—14 橋山第1遺跡(A・B地区)出土の黒曜石製造物分析結果

遺物番号	試料番号	元素比									
		Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	St/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
251	32541	.275	.092	.051	1.473	1.136	.718	.237	.071	.024	.350
245	32542	.268	.092	.047	1.675	1.154	.776	.221	.076	.000	.288
603	32543	.277	.097	.053	1.459	1.075	.738	.227	.105	.022	.343
275	32544	.169	.061	.053	1.329	.996	.705	.228	.052	.013	.217
604	32545	.209	.056	.048	1.703	.863	.409	.167	.187	.024	.341
262	32546	.265	.092	.046	1.378	1.085	.777	.175	.064	.020	.308
605	32547	.287	.100	.054	1.655	1.088	.780	.254	.072	.023	.349
264	32548	.301	.102	.072	1.608	1.124	.776	.211	.080	.023	.342
606	32549	.295	.114	.029	1.431	.977	.694	.202	.059	.026	.350
607	32550	.228	.093	.060	1.299	.981	.433	.299	.089	.023	.306
608	32551	.214	.093	.061	1.410	.993	.384	.270	.095	.022	.327
609	32554	.250	.139	.020	1.191	.703	.395	.087	.052	.021	.296
216	32559	.200	.099	.021	1.358	1.123	.354	.177	.040	.020	.282
610	32562	.109	.065	.087	1.549	1.161	.425	.260	.086	.017	.240
611	32563	.180	.088	.056	1.423	.971	.393	.288	.078	.021	.318
267	32564	.293	.107	.053	1.562	.931	.695	.190	.073	.025	.354
265	32565	.218	.099	.076	1.476	.992	.441	.289	.058	.020	.331
612	32566	.298	.100	.058	1.599	1.050	.845	.160	.041	.021	.343
613	32567	.245	.101	.056	1.427	1.010	.377	.226	.082	.025	.343
614	32569	.229	.098	.072	1.585	1.067	.450	.262	.074	.022	.340
276	32570	.297	.105	.047	1.589	1.007	.706	.169	.046	.024	.367
254	32571	.213	.095	.062	1.467	1.042	.395	.288	.082	.022	.322
615	32573	.270	.085	.063	1.780	1.296	.790	.223	.086	.022	.350
616	32574	.183	.091	.078	1.559	.976	.384	.256	.079	.022	.334
617	32575	.207	.089	.069	1.508	1.067	.413	.264	.064	.024	.337

618	32576	.222	.093	.065	1.504	1.012	.412	.257	.079	.025	.357
619	32577	.243	.129	.019	1.165	.757	.437	.070	.027	.020	.284
266	32578	.290	.101	.057	1.654	1.052	.728	.167	.044	.025	.362
620	32579	.187	.097	.069	1.465	1.043	.419	.299	.077	.022	.319
621	32580	.238	.134	.028	1.168	.703	.397	.086	.024	.018	.288
622	32581	.244	.145	.019	1.142	.729	.398	.124	.038	.021	.288
623	32582	.212	.131	.015	1.220	.753	.410	.098	.061	.023	.292
624	32583	.285	.102	.047	1.490	.973	.667	.179	.051	.022	.331
625	32585	.138	.085	.062	1.505	.997	.413	.252	.087	.021	.306
626	32586	.209	.099	.029	1.298	1.038	.333	.169	.062	.020	.275
627	32587	.185	.090	.072	1.512	1.052	.401	.218	.079	.023	.350
628	32589	.182	.092	.069	1.500	1.080	.416	.252	.049	.020	.318
629	32590	.208	.090	.068	1.532	1.110	.400	.243	.087	.023	.341
630	32591	.320	.113	.047	1.467	.963	.710	.122	.062	.023	.354
631	32592	.161	.088	.094	1.546	1.135	.440	.261	.077	.024	.319
632	32593	.247	.128	.014	1.081	.671	.381	.124	.022	.020	.278
633	32594	.215	.089	.069	1.569	1.065	.404	.258	.071	.025	.332
634	32595	.272	.100	.045	1.475	1.005	.729	.240	.054	.020	.303
278	32596	.154	.064	.063	1.448	1.027	.369	.247	.062	.016	.251
635	32597	.213	.087	.061	1.521	1.031	.391	.272	.065	.020	.341
636	32598	.184	.092	.080	1.367	1.022	.388	.258	.081	.022	.346
647	32599	.209	.090	.069	1.556	1.120	.418	.308	.094	.025	.341
638	32600	.253	.137	.015	1.100	.674	.399	.116	.041	.021	.282
639	32601	.276	.147	.018	1.115	.728	.412	.127	.057	.020	.281
640	32602	.176	.090	.073	1.414	1.048	.392	.261	.050	.022	.343
641	32603	.297	.109	.053	1.646	1.025	.722	.173	.043	.027	.385
642	32605	.283	.124	.022	1.171	.716	.425	.110	.026	.021	.299
643	32606	.201	.090	.066	1.488	1.077	.421	.313	.000	.022	.339
644	32607	.200	.094	.063	1.391	.986	.380	.219	.057	.023	.340
263	32608	.226	.090	.064	1.513	1.065	.443	.255	.060	.024	.336
645	32609	.294	.107	.057	1.574	.967	.692	.130	.020	.025	.350
646	32610	.172	.093	.071	1.590	1.056	.435	.262	.077	.024	.355
647	32611	.215	.103	.058	1.536	1.095	.413	.277	.057	.021	.329
215	32612	.234	.085	.064	1.516	.898	.416	.264	.079	.023	.342
255	32613	1.557	.790	.037	2.926	.227	1.123	.090	.026	.032	.388
648	32614	.239	.145	.019	1.109	.648	.367	.120	.043	.021	.295
649	32615	.222	.095	.081	1.845	1.102	.450	.275	.067	.024	.338
260	32616	.221	.094	.081	1.618	.986	.412	.313	.076	.024	.325
261	32617	.191	.096	.073	1.444	1.012	.407	.276	.079	.021	.334
650	32621	.303	.112	.060	1.677	1.069	.765	.158	.031	.023	.341
651	32622	.199	.090	.083	1.705	1.153	.438	.303	.053	.021	.319
259	32623	.507	.162	.045	1.363	.603	.694	.102	.070	.030	.445
652	32624	.214	.089	.082	1.664	1.053	.406	.307	.068	.025	.344
653	32625	.281	.103	.057	1.580	1.013	.705	.175	.072	.023	.371
654	32628	.164	.099	.021	1.089	.767	.432	.098	.067	.016	.220
655	32630	.279	.101	.062	1.560	1.030	.775	.216	.057	.021	.349
656	32631	.285	.108	.054	1.588	1.017	.735	.149	.055	.022	.326
657	32632	.229	.102	.069	1.449	1.086	.454	.213	.061	.024	.334
658	32633	.190	.096	.079	1.462	1.003	.368	.249	.077	.025	.335
659	32634	.292	.105	.058	1.616	.975	.699	.194	.044	.024	.362
660	32639	.269	.102	.049	1.446	.963	.659	.160	.038	.022	.326
500	32640	.242	.143	.013	1.122	.662	.381	.112	.031	.020	.291

661	32641	.253	.148	.022	1.245	.724	.404	.110	.042	.021	.292
248	32642	.152	.086	.019	1.121	.749	.424	.055	.039	.016	.200
662	32643	.215	.091	.076	1.620	1.149	.443	.281	.069	.024	.337
663	32644	.257	.092	.066	1.511	.957	.684	.143	.046	.019	.307
664	32645	.277	.100	.042	1.650	1.016	.698	.164	.059	.024	.341
665	32647	.257	.139	.021	1.161	.707	.376	.128	.037	.022	.282
666	32648	.650	.168	.062	1.424	.594	.837	.092	.074	.034	.479
258	32649	.179	.095	.059	1.466	1.096	.395	.305	.036	.024	.336
275	32650	.472	.164	.060	1.460	.630	.662	.101	.097	.031	.445
667	32651	.284	.085	.053	1.393	.659	.761	.137	.056	.018	.263
668	32654	.221	.093	.072	1.515	.969	.407	.316	.078	.023	.322
669	32655	.216	.086	.071	1.535	1.086	.436	.321	.068	.020	.320
214	32656	.301	.100	.037	1.536	.943	.709	.185	.022	.027	.358
670	32552	1.486	.767	.053	2.735	.191	1.020	.090	.039	.036	.413
671	32553	.244	.139	.022	1.163	.726	.411	.099	.043	.019	.290
672	32555	.263	.143	.017	1.170	.722	.413	.118	.038	.022	.287
673	32557	.232	.140	.022	1.016	.666	.399	.129	.037	.023	.286
674	32558	.253	.101	.075	1.589	.964	.420	.213	.058	.025	.335
675	32560	.293	.130	.014	1.118	.725	.423	.125	.048	.021	.291
676	32561	.288	.107	.061	1.658	1.056	.751	.194	.000	.021	.353
509	32568	.300	.108	.055	1.517	.981	.653	.194	.048	.023	.343
499	32584	.282	.106	.052	1.658	1.049	.755	.189	.058	.022	.334
677	32618	.277	.150	.028	1.165	.702	.423	.076	.028	.020	.286
678	32619	.215	.088	.076	1.686	1.153	.453	.288	.000	.028	.362
679	32626	.253	.149	.016	1.178	.676	.366	.107	.027	.017	.280
680	32627	.230	.090	.079	1.605	1.049	.548	.286	.092	.022	.334
681	32629	.225	.118	.012	1.146	.608	.377	.104	.025	.018	.240
682	32635	.311	.115	.039	1.372	.908	.716	.175	.036	.024	.327
683	32637	.185	.089	.076	1.474	1.038	.407	.269	.099	.023	.320
684	32638	.253	.147	.023	1.185	.713	.432	.103	.018	.019	.284
685	32646	.240	.136	.026	1.145	.708	.397	.136	.030	.021	.307
686	32653	.257	.141	.021	1.020	.677	.352	.128	.033	.021	.279
687	32657	.215	.090	.078	1.642	1.136	.436	.238	.062	.023	.336
688	32658	.212	.094	.057	1.343	1.014	.393	.251	.053	.027	.307
689	32659	.215	.031	.088	2.643	1.676	.448	.334	.236	.023	.315
690	32660	.168	.097	.024	1.265	.990	.328	.216	.040	.018	.275
691	32661	.312	.107	.053	1.713	1.020	.759	.186	.036	.024	.358
584	32662	.196	.090	.077	1.492	1.001	.397	.262	.066	.018	.309
591	32663	.176	.029	.089	2.740	1.711	.471	.257	.237	.023	.329
590	32664	.169	.030	.088	2.715	1.676	.445	.305	.259	.023	.344
692	32665	.213	.096	.062	1.548	1.063	.422	.249	.033	.022	.321
693	32666	.219	.097	.065	1.409	1.094	.419	.207	.060	.023	.316
694	32667	.217	.028	.086	2.678	1.544	.413	.297	.278	.026	.344
695	32669	.207	.094	.059	1.360	1.022	.407	.246	.078	.023	.322
587	32670	.221	.034	.064	2.936	1.894	.497	.305	.236	.022	.331
696	32671	.125	.031	.374	6.303	1.957	1.538	.431	.609	.023	.282
697	32672	.255	.068	.517	7.586	1.743	1.641	.398	.521	.035	.369
698	32673	.239	.045	.551	7.203	1.865	1.624	.500	.559	.034	.388
699	32674	.234	.046	.542	8.230	2.493	2.096	.443	.643	.029	.359
700	32675	.224	.030	.065	2.682	1.609	.446	.309	.236	.023	.301
701	32676	.164	.085	.095	1.577	1.011	.422	.215	.087	.000	.315
702	32677	.225	.039	.055	2.569	1.632	.495	.373	.172	.002	.274

表一十五 橋山第1遺跡（A・B地区）出土の黒曜石製石器、石片の原産地推定結果

遺物番号	試料番号	地区	グリット	層位	原石产地（確率）	判定	備考
251	32541	A	S-16	IV	桑ノ木津留第2群 (18%)	桑ノ木津留	
245	32542	A	S-15	IV	桑ノ木津留第2群 (9%)	桑ノ木津留	
603	32543	A	T-16	IV	桑ノ木津留第2群 (3%)	桑ノ木津留	
275	32544	A	S-16	IV	桑ノ木津留第2群 (D=116)	桑ノ木津留	
604	32545	A	R-12	IV	松浦第3群(4%)、古里第3群(1%)	松浦	
262	32546	A	S-14	IV	桑ノ木津留第2群 (0.1%)	桑ノ木津留	
605	32547	A	T-16	IV	桑ノ木津留第2群 (0.3%)	桑ノ木津留	
264	32548	A	T-16	IV	桑ノ木津留第2群 (0.2%)	桑ノ木津留	
606	32549	A	P-14	IV	桑ノ木津留第1群 (D=74)	桑ノ木津留	
607	32550	A	R-11	IV	桑ノ木津留 (53%)	桑ノ木津留	
608	32551	A	S-15	IV	桑ノ木津留 (81%)	桑ノ木津留	
609	32554	A	O-10	IV	出水(86%)、五女木(72%)、白浜(2%)	出水	日東産の可能性
216	32559	A	P-10	IV	白浜 (75%)	白浜	茶色
610	32562	A	P-13	IV	桑ノ木津留第1群(D=83)、舊ケ峰(D=47%)	桑ノ木津留	
611	32563	A	P-13	IV	桑ノ木津留第1群 (26%)	桑ノ木津留	
267	32564	A	P-14	IV	和田崎礁群(D=72)桑ノ木津留第2群(D=73)	桑ノ木津留	
265	32565	A	P-14	IV	桑ノ木津留第1群(24%)、瀧川第1(5%)	桑ノ木津留	
612	32566	A	P-14	IV			
613	32567	A	Q-10	IV	桑ノ木津留第1群 (18%)	桑ノ木津留	
614	32569	A	Q-10	IV	桑ノ木津留第1群(22%)、瀧川第1(8%)	桑ノ木津留	
276	32570	A	Q-11	IV	桑ノ木津留第2群 (0.1%)	桑ノ木津留	
254	32571	A	Q-11	IV	桑ノ木津留第1群 (96%)	桑ノ木津留	
615	32573	A	Q-13	IV	桑ノ木津留第2群 (44%)	桑ノ木津留	
616	32574	A	Q-13	IV	桑ノ木津留第1群 (10%)	桑ノ木津留	
617	32575	A	Q-14	IV	桑ノ木津留第1群 (65%)	桑ノ木津留	
618	32576	A	Q-14	IV	桑ノ木津留第1群 (70%)	桑ノ木津留	
619	32577	A	Q-14	IV	出水(1%)、五女木(6%)、白浜 (1%)	出水	日東産の可能性
266	32578	A	Q-14	IV	桑ノ木津留第1群 (67%)	桑ノ木津留	
620	32579	A	Q-14	IV	桑ノ木津留第1群 (91%)	桑ノ木津留	
621	32580	A	Q-14	IV	出水(22%)、五女木(22%)、白浜(1%)	出水	少しまぶし白浜の可能性
622	32581	A	Q-15	IV	五女木(88%)、出水(67%)白浜(0.5%)	出水	日東産の可能性
623	32582	A	Q-15	IV	五女木(9%)、出水(2%)、白浜(0.6%)	出水	日東産の可能性
624	32583	A	Q-15	IV	桑ノ木津留第2群 (1%)	桑ノ木津留	
625	32585	A	R-11	IV	桑ノ木津留第1群 (0.4%)	桑ノ木津留	
626	32586	A	R-11	IV	白浜 (45%)	白浜	
627	32587	A	R-11	IV	桑ノ木津留第1群 (68%)	桑ノ木津留	
628	32589	A	R-12	IV	桑ノ木津留第1群 (39%)	桑ノ木津留	
629	32590	A	R-12	IV	桑ノ木津留第1群 (27%)	桑ノ木津留	
630	32591	A	R-14	IV	和田崎礁群(D=73)、桑ノ木津留第2群(D=10)	桑ノ木津留	
631	32592	A	R-14	IV	桑ノ木津留第1群 (0.5%)	桑ノ木津留	
632	32593	A	R-14-15	IV	五女木(44%)、出水(11%)、白浜(4%)	出水	黒、白浜の可能性?日東産?
633	32594	A	R-15	IV	桑ノ木津留第1群 (83%)	桑ノ木津留	
634	32595	A	R-15	IV	桑ノ木津留第2群 (2%)	桑ノ木津留	
278	32596	A	R-14	IV	舊ケ峰(D=45)桑ノ木津留第1群(D=55)	桑ノ木津留	
635	32597	A	R-14	IV	桑ノ木津留第1群 (48%)	桑ノ木津留	
636	32598	A	S-15	IV	桑ノ木津留第1群 (6%)	桑ノ木津留	

637	32599	A	S—15	IV	桑ノ木津留第1群 (55%)	桑ノ木津留	
638	32600	A	S—15	IV	出水(46%)、五女木(80%)、白浜(2%)	出 水	白浜の可能性
639	32601	A	S—15	IV	出水 (58%)、五女木 (31%)	出 水	日東産の可能性
640	32602	A	S—15	IV	桑ノ木津留第1群 (30%)	桑ノ木津留	
641	32603	A	S—15	IV	桑ノ木津留第2群 (0.1%)	桑ノ木津留	
642	32605	A	S—15	IV	出水 (22%)、五女木 (44%)、白浜 (5%)	出 水	円碟
643	32606	A	S—15	IV	桑ノ木津留第1群 (31%)	桑ノ木津留	
644	32607	A	S—15	IV	桑ノ木津留第1群 (49%)	桑ノ木津留	
263	32608	A	S—16	IV	桑ノ木津留第1群 (76%)	桑ノ木津留	
645	32609	A	S—16	IV	桑ノ木津留第2群 (D ^a =70)	桑ノ木津留	
646	32610	A	S—16	IV	桑ノ木津留第1群 (22%)	桑ノ木津留	
647	32611	A	S—16	IV	桑ノ木津留第1群 (66%)	桑ノ木津留	
215	32612	A	S—16	IV	桑ノ木津留第1群 (0.3%)	桑ノ木津留	
255	32613	A	S—16	IV	上牛鼻 (0.1%)	上 牛 鼻	
648	32614	A	S—16	IV	出水 (46%)、五女木 (30%)	出 水	白浜産
649	32615	A	S—16	IV	桑ノ木津留第1群 (0.2%)	桑ノ木津留	
260	32616	A	S—16	IV	桑ノ木津留第1群 (5%)	桑ノ木津留	
261	32617	A	T—15	IV	桑ノ木津留第1群 (55%)	桑ノ木津留	
650	32621	A	T—15	IV	桑ノ木津留第2群 (D ^a =70)	桑ノ木津留	
651	32622	A	T—15	IV	桑ノ木津留第1群 (64%)	桑ノ木津留	
259	32623	A	T—16	IV	竜ヶケ水 (63%)	竜 ケ 水	
652	32624	A	T—16	IV	桑ノ木津留第1群 (25%)	桑ノ木津留	
653	32625	A	T—16	IV	桑ノ木津留第2群 (1%)	桑ノ木津留	
654	32628	A	T—16	IV			
655	32630	A	T—16	IV	桑ノ木津留第2群 (D ^a =59)	桑ノ木津留	
656	32631	A	T—16	IV	桑ノ木津留第2群 (D ^a =63)	桑ノ木津留	
657	32632	A	T—16	IV	桑ノ木津留第1群(23%)、瀧川第1群(9%)	桑ノ木津留	
658	32633	A	T—16	IV	桑ノ木津留第1群 (29%)	桑ノ木津留	
659	32634	A	T—16	IV	桑ノ木津留第2群 (0.1%)	桑ノ木津留	
660	32639	A	T—16	IV	桑ノ木津留第2群 (1%)	桑ノ木津留	
500	32640	A	U—15	IV	出水 (56%)、五女木 (42%)、白浜 (1%)	出 水	日東
661	32641	A	U—16	IV	出水 (89%)、五女木 (88%)	出 水	日東
248	32642	A	U—16	IV			
662	32643	A	U—16	IV	桑ノ木津留第1群 (85%)	桑ノ木津留	
663	32644	A	U—16	IV	桑ノ木津留第2群 (0.1%)	桑ノ木津留	
664	32645	A	U—16	IV	桑ノ木津留第2群 (0.2%)	桑ノ木津留	
665	32647	A	U—16	IV	出水 (79%)、五女木 (76%)、白浜 (2%)	出 水	日東
666	32648	A	V—15	IV	竜ヶケ水 (4%)	竜 ケ 水	
258	32649	A	V—16	IV	桑ノ木津留第1群 (21%)	桑ノ木津留	
275	32650	A	V—16	IV	竜ヶケ水 (76%)	竜 ケ 水	
667	32651	A	V—16	IV			
668	32654	A	V—16	IV	桑ノ木津留第1群 (26%)		
669	32655	A	V—17	IV	桑ノ木津留第1群 (58%)	桑ノ木津留	
214	32656	A	V—15	IV	桑ノ木津留第2群(D ^a =94)和田村第3群(D ^a =94)	桑ノ木津留	
670	32552	A	O—10	II	上牛鼻 (2%)	上 牛 鼻	
671	32553	A	O—10	II	出水 (67%)、五女木 (81%)、白浜 (2%)	出 水	日東産の可能性
672	32555	A	O—10	II	出水 (97%)、五女木 (98%)、白浜 (2%)	出 水	日東産の可能性
673	32557	A	O—10	II	出水 (1%)、五女木 (28%)	出 水	日東産の可能性
674	32558	A	O—10	II	瀧川第1群(9%)、桑ノ木津留第1群(1%)	桑ノ木津留	

675	32560	A	P-11	II	山水(9%)、五女木(24%)、白浜(1%)	出水		
676	32561	A	P-11	II	桑ノ木津留第2群(0.1%)	桑ノ木津留		
509	32568	A	R-10	II	桑ノ木津留第2群(1%)	桑ノ木津留		
499	32584	A	R-11	II	桑ノ木津留第2群(0.1%)	桑ノ木津留		
677	32618	A	T-15	II	出水(75%)、五女木(9%)	出水	日東	
678	32619	A	T-15	II	桑ノ木津留第1群(18%)	桑ノ木津留		
679	32626	A	T-16	II	出水(54%)、五女木(54%)	出水	日東or白浜	
680	32627	A	T-16	II	和田跡第3群(D=67)、桑ノ木津留第2群(D=81)	桑ノ木津留		
681	32629	A	T-16	II	五女木(1%)、白浜(0.5%)	出水	日東	
682	32635	A	T-16	II	細幹第3群(D=85)、桑ノ木津留第2群(D=121)	桑ノ木津留		
683	32637	A	T-16	II	桑ノ木津留第1群(27%)	桑ノ木津留		
684	32638	A	T-16	II	出水(86%)、五女木(32%)	出水	日東	
685	32646	A	U-16	II	五女木(46%)、出水(39%)、白浜(2%)	出水	日東	
686	32653	A	V-16	II	五女木(21%)、出水(2%)	出水	日東	
687	32657	B	H-10	IV	桑ノ木津留第1群(82%)	桑ノ木津留		
688	32658	B	F-10	IV	桑ノ木津留第1群(58%)	桑ノ木津留		
689	32659	B	I-1	IV	腰岳(90%)、古里第1(90%)、松浦第1(71%)	腰岳		
690	32660	B	I-1	IV	白浜(4%)	白浜		
691	32661	B	H-0	IV	細幹第3群(D=76)、桑ノ木津留第2群(D=84)	桑ノ木津留		
584	32662	B	G-0	IV	桑ノ木津留第1群(67%)	桑ノ木津留		
591	32663	B	H-1	IV	古里第1(68%)、腰岳(54%)、松浦第1(5%)	腰岳		
590	32664	B	H-1	IV	腰岳(56%)、古里第1(43%)、松浦第2(5%)	腰岳		
692	32665	B	I-1	IV	桑ノ木津留第1群(55%)	桑ノ木津留		
693	32666	B	J-0	IV	桑ノ木津留第1群(62%)	桑ノ木津留		
694	32667	B	H-0	IV	腰岳(85%)、松浦第1(39%)、古里第1(7%)	腰岳		
695	32669	B	G-4	IV	桑ノ木津留第1群(81%)	桑ノ木津留		
587	32670	B	F-5	IV	古里第1(4%)、腰岳(6%)、松浦第1(1%)	腰岳		
696	32671	B	G-4	IV	観音崎(D=95)	姫島		
697	32672	B	E-5	IV	両瀬第1(D=98)	姫島		
698	32673	B	D-5	IV	観音崎(18%)、両瀬第1(7%)	姫島		
699	32674	B	D-4	IV	両瀬第1(1%)、観音崎(0.2%)	姫島		
700	32675	B	K-0	IV	古里第1(76%)、松浦第1(73%)、腰岳(63%)	腰岳		
701	32676	B	J-0	IV	桑ノ木津留第1群(0.1%)	桑ノ木津留		
702	32677	B	K-0	IV	古里第1群(0.2%)	腰岳		

表-16 橋山第1遺跡、天ヶ城跡出土の縄文時代早期遺物の原石产地別頻度分布

遺跡(地区)	原石产地 個数(%)								
	桑ノ木津留		出水	白浜	上牛鼻	竜ヶ水	腰岳	淀	姫島
	第1群	第2群							
橋山(A地区)IV層	45(50)	21(23)	13(14)	2(2)	1(1)	3(3)		1(1)	4(4)
II層	3(15)	5(26)	10(32)		1(5)		7(35)		
* (B地区)IV層	7(35)	1(5)		1(5)			65(54)	2(2)	4(20)
天ヶ城跡	37(30)	5(4)	4(3)	1(1)					4(3)
* (1m不集中)	169(100)								3(2)

Vまとめ

1 遺構について

ここでは、集石遺構について触れておきたい。集石遺構の検出された位置関係では、一部の遺構については、遺物の分布状況だけでは時期決定の根拠に乏しく、それだけでは時期の決定は困難である。さらに用途であるが、土坑をもつA類と配石を有し土坑を伴わないB-1類は、炉としての機能も想定できようが、土坑も配石も伴わないB-2類については、すべてに炉としての機能を与えるのは早急である。その集石を構成する礫が熱を受けていない場合は準壇礫の可能性があり、熱を受けている礫は、集積状に検出されたとしても礫群と同じような廃棄礫の集合体としての可能性も有り得るのではないかろうか。ただ、調査現場において礫が熱を受けているか否かをすべて判断することは現在のところ困難であり、遺構の機能をそれぞれ限定することはできない。

2 遺物について

a 繩文土器

IV層から出土する繩文早期土器は、I-1・2類は「前平式」、II-1・2類は「知覧式」、II-3・4類は「吉田式」、III類は「下剥峰式」、IV-1~3類は「桑ノ丸式」、IV-4類は「苦浜式」、V-1類は「三代寺式」、V-2類は「塞ノ神式」、V-3類は「桥ノ原式」、V-4類は「手向山式」にそれぞれ比定される。I-3~6類は橋上遺跡、芳ヶ追第1遺跡、札ノ元遺跡、前原西遺跡等でも出土しており、施文形態や手法からみて「前平式」に準ずるものと理解したい。知覧式は角筒土器の出土があり、この遺跡からも出土している。IV-4類の「苦浜式」は、横峰C遺跡をはじめ鹿児島県内で確認されている。森式系統の土器として塞ノ神式前後に位置づけられているが、器面の流水文をみるとかぎりでは「桑ノ丸式」にみられる流水文との関係も考えられる。V-1類は、土器の胎土をみるとかぎりでは他の土器と比較すると全く異質である。出土遺物の最低個体数は、表-17のとおりである。遺物数では、前平式と押型文系においてピークがみられる。

表-17 繩文土器出土最低個体数集計表

分類	A 地区 (IV層)																		計				
	I			II			III			IV			V			VI			VII			IX	X
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	1	2	山形	橋円	格子	1	2
個体数	3	2	6	4	4	5	4	1	4	4	2	4	2	7	3	6	1	1	A	B	A	B	自

分類	B 地区 (IV層)										計								
	I			IV		V		VI		IX									
1	2	3	4	5		1	2	山形	橋円	1	2	X							
個体数	1	9	4	1	10	4	1	3	4	2	5	2	1	1	2	2	52		

II-a層からの出土土器は、口縁部の主文様が連続列点文（I類）、貝殻連続刺突文（II類）、沈線文（III類）に大きく分けることができる。器面全体の調整は貝殻条痕を主とするが、口縁部の文様部分についてはほとんどの遺物がナデ消す傾向にあり、条痕を残すものは稀である。I類土器はほとんどの出土土器が口縁部のみで胴部を伴わないことから、細分の基準は口縁部中心でおこなっており、この分類が最良のものだとは考えていない。しかしながら、全体的にみると、「阿高式」の影響を多分に受けた土器群であるといえる。沈線間に連続列点文や貝殻連続刺突文を施すIV類の土器群は、瀬戸内を中心に発達した磨消繩文土器を多分に意識したものと思われ、在地色の強いものとそうでないものとがある。V類でみられる「中津式」を含む磨消繩文土器の出土も考えると、その土器文化西漸による影響は否定できないであろう。IV-1類にみられる口縁部の綫長の細い列点文はI-4類にみられるものをやや小さくしたものであり口縁部だけをみると類似している。それは、IV-1類はI類、IV-2・3類はII類やIII類のそれぞれの土器群により影響を受けた結果であると思われ、IV類の土器群の出土量が少ないと、磨消繩文文化西漸の初期的現象として考えられる。また、在地と移入のどちらの立場にしても、今までの伝統を捨てきらない一面をみることができる。沈線間に文様を施す土器は、県内では、串間市の「崩野遺跡」、田野町の「丸野第2遺跡」、綾町の「尾立遺跡」等でも出土している。また、刻目突帯のみを口縁部に施すⅤ類は他の土器群とは異なった施文形態であるが、都城市の「正坂原遺跡」でも同じように刻目突帯のみを口縁部に施す土器が出土しており、今後検討が必要であろう。

b 石器

IV層の石器組成をみると、石鎚13点（13.9%）、石錐9点（9.6%）、石斧8点（8.6%）、スクレイバー9点（9.6%）、使用痕剥片38点（40.8%）、磨石7点（7.5%）、蔽石3点（3.2%）、凹石1点（1.2%）、その他5点（5%）の合計93点である。使用痕剥片が1/3以上を占め、石鎚や石錐がそれに続く。それらの石器の分布状況は、遺跡の先端部近くに集中している。また、器種は、石錐がA地区では出土しているがB地区では全く出土していない。次に、II層の石器組成は、石錐32点（48.4%）石錐2点（3%）、石斧1点（1.5%）、スクレイバー4点（6%）、使用痕剥片17点（25.7%）、磨石3点（4.5%）、蔽石・凹石各1点、その他5点の合計66点である。

両方を比較すると、II層では石鎚は全く無くなり、スクレイバーや使用痕剥片が半減する。石錐は逆に4倍近く増加する。この現象は主要な生業基盤の変化を意味するようでもある。確かに、石鎚や石錐は移動性のあるものであり、出土量のことだけを取り上げては、そのような根拠にはならないが、可能性としては考えられる。石錐は、IV層出土は平均重量45.4g、II層出土は平均重量64.6gである。打ち欠き石錐については、IV層出土は小型軽量のものが多く、II層出土は小型のものと大型のものに分けられ、小型のものは19点ありその平均重量は33.7g、大型のものは10点でその平均重量は135.8gである。IV層出土の打ち欠き石錐は9点と少なく、しかも出土分布状況は散乱してまとまりがない。この場合、石錐の用途としては地理的なことと浮子の存在を考えれば漁労具として使用された可能性が高いが、製品加工から製品使用、そして廃棄までの行動過程を検討することで別の用途も浮かび上がってくるであろう。切り目石錐は、II層から3点のみ出土しており全体の1割弱で、これは第II層出土IV類土器群の在り方に似ている。そしてII層出土の切り目石錐と打ち欠き石錐の割合は、出土量に違いがあるものの「丸野第2遺跡」とは逆の様相を示している。この遺跡付近の大淀川は、河幅が現況（堤防間）で300m前後あり、当時の水量は現在より豊富で緩やかな流れであったと思われる。さらに、打ち欠き石錐が比較的軽量であることを考えれば、このような出土状況は

この遺跡の立地条件によるものと時期的なものがあると思われる。石材については、磨石をはじめ石錘とスクレイパーと石斧の一部についてを宍戸草氏に依頼した。その結果、磨石については、尾鈴山酸性岩使用のものと大淀川で採取可能な砂岩を使用したものがあった。また、石錘のほとんどは砂岩を使用しているが、大淀川流域の砂岩以外に外部から搬入された砂岩を使用しているものがあった。それは、近隣を想定した場合には耳川、五ヶ瀬川流域などの県北部で採取されるもので、同じように石斧等に使用されたホルンフェルスは、近いところで五ヶ瀬または一つ瀬川流域が考えられるという。それとは別に、環状石斧に使用された石材は溶結凝灰岩であり近いところで南西部の霧島周辺が想定されるという。氏が言うように近隣を想定した場合の産地推定であり、県外の遠端地からの搬入も十分考えられるわけであるが、それにしてもあえて搬入品を使用するということは、石材採取と製品加工も含めた当時の交易の在り方を考えるには重要である。また、黒曜石の分析結果については、B地区において九州北部産の黒曜石の搬入がみられた。これについては土器文化との照合を試みた。まず、双方の分布状況を重ね合わせると、大まかではあるがやはり押型文系の土器が浮かび上がる。また、B地区のみで出土した土器型式をも考えたが、それについては明確にはできなかった。現状では、押型文系土器のさらに狭い範囲が想定されるものの、県内における押型文土器の編年には依然確立されたとは言い難い。また、B地区と同様の分析結果が得られた遺跡が現在整理中であり、それを持って再度考えてみたい。

3 おわりに

以上のように、遺構や遺物についてまとめてみたが、最後に、この遺跡の性格について若干述べて終わりとしたい。縄文早期では、押型文系土器（Ⅶ・Ⅷ類）の出土があり一時期を成していたと思われるが、主流は貝殻文系土器群であり、集石遺構の検出状況なども含めて南九州的な様相を示している。先に調査されたC地区の調査結果をみても、Ⅶ類は確認されていないが、Ⅳ類の桑ノ丸式、Ⅹ類の手向山式、そしてⅠ類の範中に類する土器が出土しておりA・B地区と大きくかわるものではない。縄文後期については、A地区のみで確認されている。ここでは阿高式系土器が主流を占めている。また、疑似磨消縄文や磨消縄文も若干出土しており、これは、切目石錘と打ち欠き石錘の出土量の比を考え合わせると磨消縄文文化の影響を受ける一過程と認識できる。

この遺跡は日向灘から約15km程の所の丘陵にあり、大淀川に面し遺跡の立地としては最良の所にある。それは生業はもとより交易を含めた物の移動という観点からもそう言えるであろう。この遺跡周辺では今後の発掘調査の増加による資料の蓄積によりさらに鮮明になるにちがいない。

図 版



A地区遠景（北から）

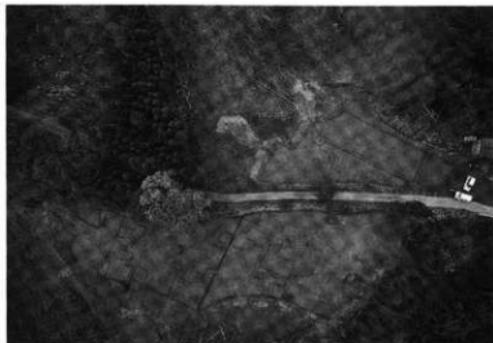


B地区遠景（西から）

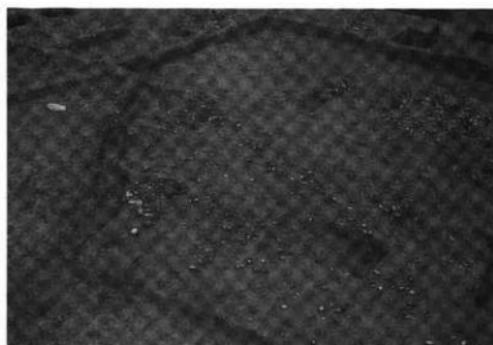
图版 2



A地区遠景（西から）



A地区全景

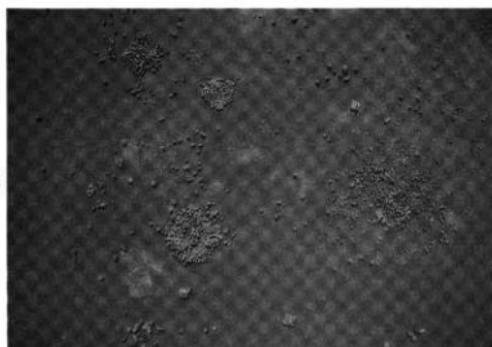


A地区北側群群検出状況

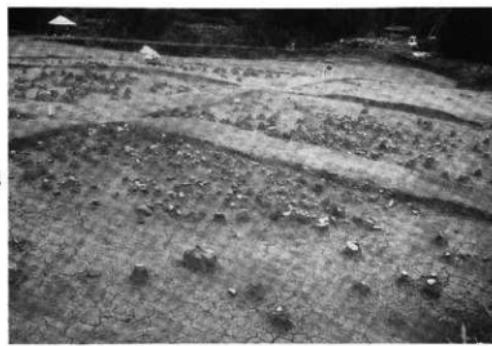
B地区西侧（c群）砾群検出状況



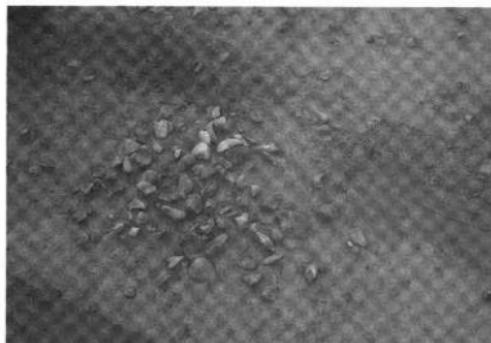
B地区北側（b群）遺構検出状況



B地区東側（a群）砾群検出状況



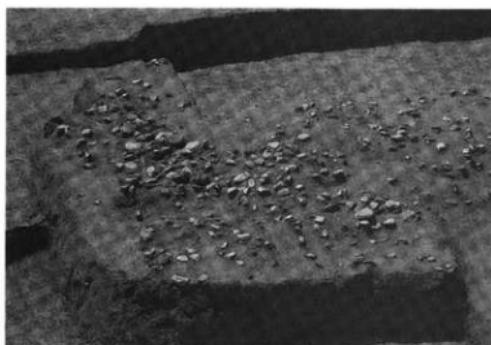
图版 4



第1号集石遺構



第2号集石遺構

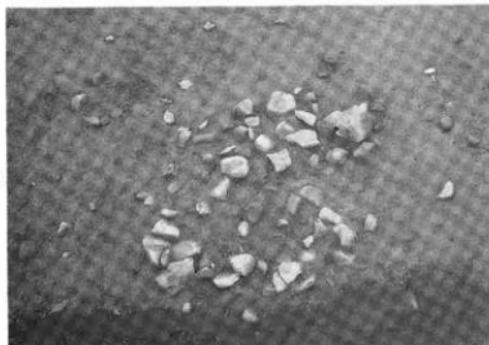


第3・4号集石遺構

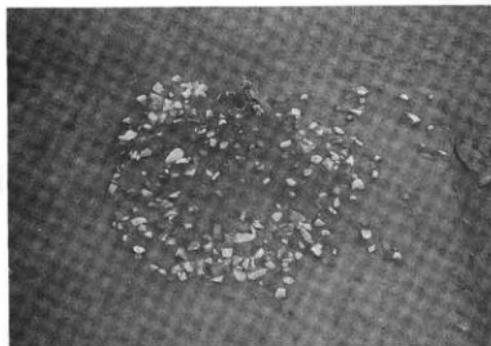
第3号集石遺構配石

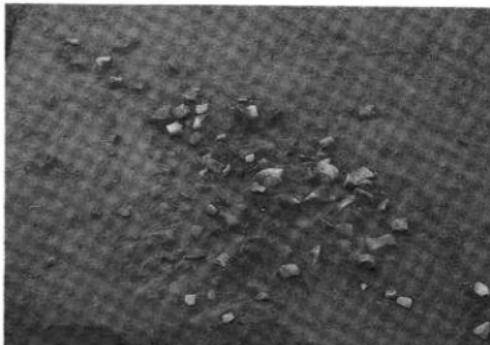


第12号集石遺構

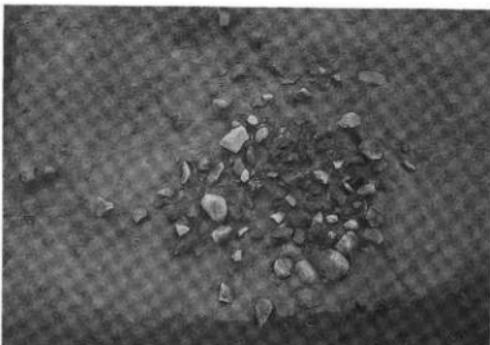


第13号集石遺構

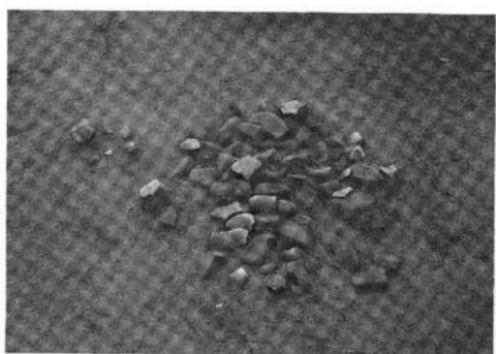




第14号集石遺構

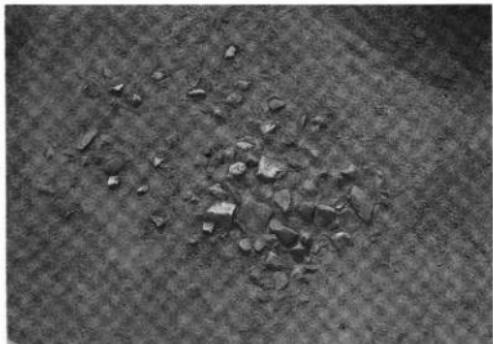


第22号集石遺構

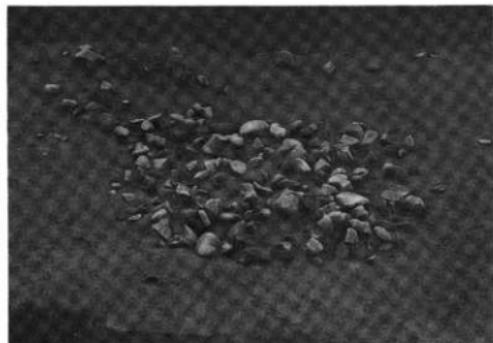


第25号集石遺構

第26号集石遗構



第29号集石遺構



第30号集石遺構



图版 8



第31号集石遗構

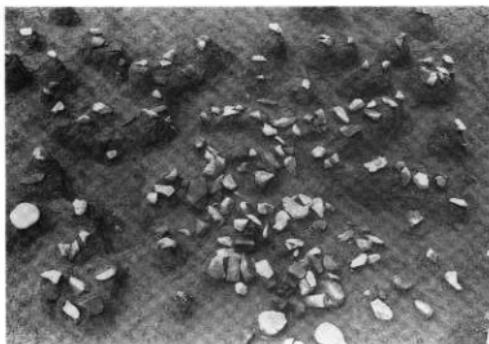


第31号集石遺構半截狀況



第32号集石遺構

第33号集石遺構



第34号集石遺構



第35号集石遺構





第35号集石遗構半裁状況



第37号集石遺構



第38号集石遺構

第38号集石遺構

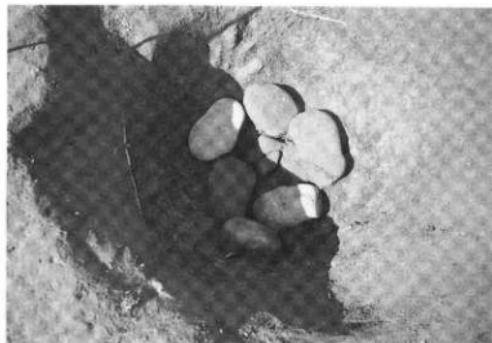


第39号集石遺構



第40・41号集石遺構





第42号集石遺構配石



第43号集石遺構

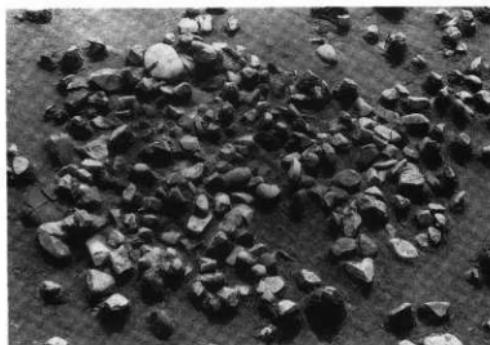


第44号集石遺構

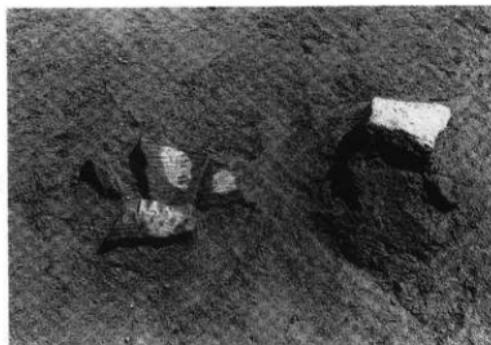
第45号集石遗構

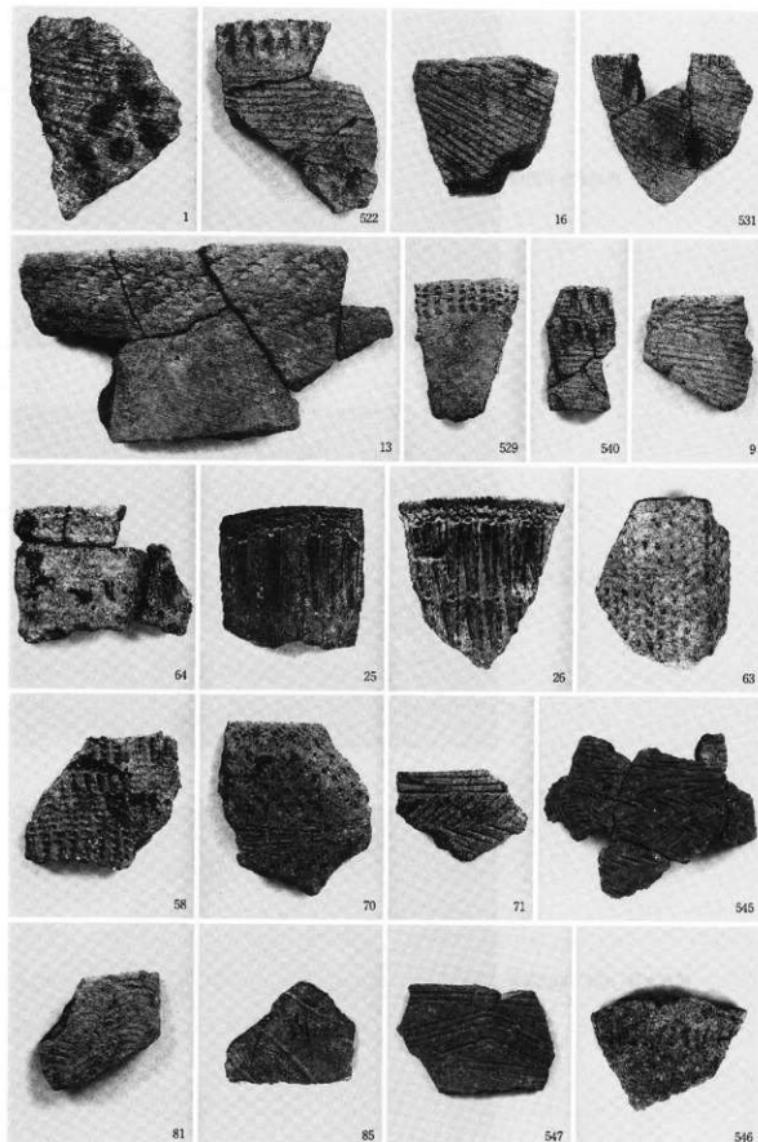


第46号集石遺構



绳文土器（521）出土状况





第IV層出土土器(1)